

廣島大學

國語史研究會會報

第參拾壹號



【目次】

廣島大學藏『しのびね』本文并に自立語索引

本文篇

凡例

本文

翻字注

自立語索引篇

凡例

自立語索引

わ  
ら  
や  
ま  
は  
な  
た  
さ  
か  
あ  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
219 219 213 197 183 171 145 129 103 61

る  
り  
み  
ひ  
に  
ち  
し  
き  
い  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
222 219 202 188 180 162 134 111 69

る  
ゆ  
む  
ふ  
ぬ  
つ  
す  
く  
う  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
219 214 208 194 180 164 139 114 78

ゑ  
れ  
め  
へ  
ね  
て  
せ  
け  
え  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
222 219 209 195 181 166 142 116 84

を  
よ  
も  
ほ  
の  
と  
そ  
こ  
お  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
225 223 216 210 196 181 167 143 117 84

平成二十一〜二十三年度

活動報告・学内会員消息



廣島大學藏 『しのびね』 本文并に自立語索引



# 本文篇



## 本文篇凡例

- 一、この本文は、広島大学蔵本『しのびね』（『広島大学国語史研究会報第拾號』に影印）を底本として、その全文を翻字したものである。
- 一、翻字の際の上下巻の別・原本の丁数・行数は、各行の初に、上巻を上・下巻を下で、丁数を漢数字で、丁の表・裏をオ・ウで、行数をアラビア数字で示した。
- 一、所謂、誤字・宛字については底本のままに翻字した。
- 一、平仮名・片仮名の字体は、印刷の便を考えて、現行の字体に改めた。
- 一、踊字は、漢字・平仮名ともに底本に従って翻字した。
- 一、翻字に際して注が必要な箇所には\*を挿入し、その注文は本文篇末尾に一括して掲げた。
- 一、文意理解の便宜上、私に句読点・引用符・濁点等を付けた。また、和歌の部分については、一律に行頭二字下げを施した。

翻字に際して、『桂宮本叢書第十六巻 物語二 いはてしのふ・しのひね物語・松浦宮物語・恋地ゆかしき大将』（昭和三十五年、養徳社、注では桂宮本と略記）及び大槻修・田淵福子・片岡利博校訂『中世王朝物語全集10 しのびね・しら露』（平成十一年、笠間書院、注では全集本と略記）を参考にした。

## 作成者

石井聡子、大井さき、大久保綾子、小倉健太、片桐まい、加藤京子、熊崎由衣、田中祐輔、田邊真心、田辺美佳、富永洋介、豊川史子、中原縁、二宮千佳、平田哲也、松浦目委、松尾晋平、松本光隆、参輪千草、森万希子、森岡信幸、山崎麻衣、山本純子



上卷

上二オ1 そのころ、時のいうしよくとの、しられ給しは、う  
 上二オ2 ちのおほいどの、四位の少将とかや、まことにひ  
 上二オ3 かりかゝやきたまふ御さまは、かつみるく  
 上二オ4 とあかぬ心ちするに、ましてほのかにも  
 上二オ5 みたてまつる人の、あぢきなき思ひの  
 上二オ6 たねとなるはことほりぞかし。殿、上の「かなし」  
 上二オ7 とおぼしたる御けしき、いづれのきんだ  
 上二オ8 ちよりもすぐれてかしづききこえ給ふ。  
 上二オ9 御いもうとは春宮の女御、きりつばにて  
 上二オ10 おほします。とりぐゝにいとほなやかなる  
 上二ウ1 御おぼえ、やむごとなき御さまとも。十月ばかり  
 上二ウ2 の事なるに、少将殿はさがのあたりののみぢ  
 上二ウ3 御らんありて、をぐらのすそなどこゝろしづ  
 上二ウ4 かなながめたまふほどに、いとよしあるこし  
 上二ウ5 ばがきの中に、みゝなれぬほどのきんのをと  
 上二ウ6 ひゞきあひてきこゆ。「おもひよらぬこと  
 上二ウ7 ねかな。いかなる人のひくらん」とずいじん  
 上二ウ8 にあないみせたまふ。「みすかけわたして  
 上二ウ9 かうし二ばかりあけたるうちに侍る」と  
 上二ウ10 申せば、なにとなくおほして、こしばがきの  
 上二オ1 かげにうちかくれてきゝおほす。ひもくれゆけ  
 上二オ2 ば、月やうくさしいでゝ、おかしきたそがれ  
 上二オ3 にことのねもなべてならぬを、「ゆかし」とおぼし

上二オ4 て、人のみぬかたのすのこにしりかけてなが  
 上二オ5 めるたまひつるに、おとなしやかなるこゑにて  
 上二オ6 「いと\*えんなるにほひかな。いづくより吹くる  
 上二オ7 かぜにや」といへば、すこしわかきこゑにて、「姫  
 上二オ8 君のかたに御ひとりめしつる、\*さにこそある  
 上二オ9 らめ」といふに、「さればこそひめ君」などいふは  
 上二オ10 いとおぼつかなくて、「みつけれなばたより  
 上二ウ1 にしていひもよらまほし。きとみあらはさ  
 上二ウ2 ぬ程は、人のかたちもしりがたき事ぞかし。  
 上二ウ3 されどことの音にかよひたるありさまなら  
 上二ウ4 ば、などておろかならん。いかにしてみるわざ  
 上二ウ5 してん」とおぼして、やをらのぼりて、たてじ  
 上二ウ6 とみのもとにたゝずみたまへば、かごしまいら  
 上二ウ7 する人みもつけで入ぬ。おほとなあぶらまい  
 上二ウ8 るけしきにて、いづくもかりのすみかとも  
 上二ウ9 えて、したゝかならずあさはかなるすまぬな  
 上二ウ10 れば、こゝかしこかいまみありきたまふ。すみの  
 上三オ1 まのかたにほそきひまみつけてのぞき給へば、  
 上三オ2 人々あつまりて、「ゑにやあらん」と、まきもの  
 上三オ3 みゐたり。すこしおくのかたに「そ\*いふしたる  
 上三オ4 人や、もしひめ君といふ人ならん」と、めをつ  
 上三オ5 けてみたまへば、きくのみゆる。かみのこぼれ  
 上三オ6 かゝりたるは、「まづうつくしや」と、ふとみえ  
 上三オ7 たるに、かほはそばみたればみえず。四十あまり

上三才8 なるあま君、しろききぬのなへばめるに、より  
上三才9 ふして、ゑの物がたりはみるたり。「めのかすみ  
上三才10 て、ちいさきもじはみえぬこそいとあはれ。  
上三才1 つもるとしのしるしに、火あかくかゝげんや」と  
上三才2 いふに、ちいさきわらはよりて、ことごとくしく  
上三才3 かきあげたれば、きら／＼とみゆる。おくなる  
上三才4 人、かいなをまくらにしてゐ給へれば、「御とのご  
上三才5 もるにや、さらばよみさしてん」といふに、すこし  
上三才6 おきあがりて、「さもあらず、よくきゝ侍るを」とて、  
上三才7 すこしほうゑみたるかほの、いはんかたなく  
上三才8 うつくしければ、むねうちさはぎて、あさまし  
上三才9 きまでまもらるゝに、「いかなる人の、かゝる山里  
上三才10 にはしのびてゐたらん」とあはれにて、出べき  
上四才1 心ちもせず。ゑみ\*はてゞ、人／＼さしのき「などに  
上四才2 なをめぐらしきにほひのするかな。こゝも  
上四才3 とにたきたまふかうのかにはにぎめり」といへ  
上四才4 ば、みかうしまいらせつるわらは、「さきにとへ  
上四才5 いでゝ侍れば、さとくゆりかゝる心ちして  
上四才6 侍つる」といふにおそろしくて、たちのきた  
上四才7 まふ。つく／＼とおもひつゞくるに、かくてひ  
上四才8 かずをもへば、もしかりそめに物いみなど  
上四才9 にこもりて立かへりなば、ゆくゑもしらで  
上四才10 はいかゞすべからん。さらにみではえあるまじ  
上四才1 く、おもかげ恋しければ、そのわたりなる人

上四才2 なたづね、「さすがにいかなる人と、くわしくしり  
上四才3 侍らず。八月ばかりよりしのびておはします。  
上四才4 ことし内は、かくてすぐし給ふべきやうに  
上四才5 うけたまはり侍」といふ。いかさまにもことのけ  
上四才6 しきゆかしければ、又たちかへりて「たれ  
上四才7 とかたづぬべからん」とおもひわづらひ給ふに、  
上四才8 「中納言の君や、こちへまいり給ひつ」といふ  
上四才9 こゑにつきてたちより給ひて、ずいじん  
上四才10 して、「こゝに、人の月にひかれてあくがれ侍り、  
上五才1 家ぢもわすれて夜はふけ侍。御やど申さんや」  
上五才2 といはせたまふ。いとおもひかけぬかりぎぬ  
上五才3 すがたのおとこなり。「いかなる人にておはすら  
上五才4 む。このあばらやにはいかでかあかし給ふべき」  
上五才5 とやすらふに、君さしより給ひて、「いとくるし  
上五才6 からぬ物にてはんべる。たゞこゝのみすのまへ  
上五才7 に御とのみ申侍らん。夜もふけぬれば、いくほ  
上五才8 ど侍らじ」との給ふ御けしきの、よのつねの  
上五才9 人とみえずうつくしければ、「申侍らん」とて  
上五才10 いらぬ。あま君しか／＼のことかたりきこゆ。  
上五才1 「かうばかりつるも、これにやおはすらん。この  
上五才2 あたりたゞすみありきたまひつ\*らめ。よふい  
上五才3 なきけはひ、きゝやし給ひぬらん」と、さゝめく。  
上五才4 「いかでなげなく、返したてまつらん」  
上五才5 とて、中もんうちはらひて、御しとねさしいで

上五ウ6 たり。「露もたまらぬいほりなれども、『たびは  
 上五ウ7 さぞ』とおぼしゆるし給へ」とて、いとなれたる  
 上五ウ8 わかう人いでたり。まづ、うれしく、はしの  
 上五ウ9 かにうちながめてゐたまひつる、御さま  
 上五ウ10 月のひかりにかゝやきて、めもあやにおどろか  
 上六オ1 る。人めもみしりたてまつらねども、なつかし  
 上六オ2 げにうちかたらひ給ふ。「ゆくすゑもなくま  
 上六オ3 よひ侍べるに、うれしき御たびねをもしる  
 上六オ4 かな。おなじくみちびきはて給へかし」とて、  
 上六オ5 すこしほゝゑみたまへば、「なをおくへはおはし  
 上六オ6 ますべきところも侍らぬものを」とおほめ  
 上六オ7 けば、「うちつけにおもふこときこゆるは、あさき  
 上六オ8 やうになれど、この世ならぬことにや、世に  
 上六オ9 たちまふべきこゝちしもし侍らぬを」  
 上六オ10 とて、  
 上六ウ1 「よのつねの恋とやおもふひまもなき  
 上六ウ2 袖のしぐれにそむるもみぢを」  
 上六ウ3 ちりくるもみぢをまさぐりにしていで給ふ  
 上六ウ4 は、あさましくて、  
 上六ウ5 「さらぬだにはれますくなき山里に  
 上六ウ6 そでの時雨やなにとそふらん  
 上六ウ7 御心なぐさみぬべきもみぢの色も侍らぬ  
 上六ウ8 物を」と、大かたにいひなせば、「うたてくものた  
 上六ウ9 まひなすかな。おぼろけにてたづねまいら

上六ウ10 ぬもの。『これもむかしのちぎりか』とおぼし  
 上七オ1 なせかしや。数ならぬ身なればことほりぞ」と  
 上七オ2 まめやかにとし月おぼしそめたるやうに  
 上七オ3 いひなし給ふ。きのふけふみそめての給ふ  
 上七オ4 やうにもなれば、「いかにして『かゝる人\*おはしま  
 上七オ5 す』ときゝ給ひけん」とおぼつかなし。まめやかに  
 上七オ6 せめ給ば、あまうへは、「いとおもひかけぬことにも  
 上七オ7 あるかな。さてもたれともしらぬ人に、とかくいら  
 上七オ8 へきこえんにもあらず。なべてならぬ御さまは『夜  
 上七オ9 めにもしるき』と、けふあす宮こにめでのゝしら  
 上七オ10 れ給ふおほいどのゝ四位の少将殿にやおはすらん。  
 上七ウ1 さて、いかばかりのかたちし給へる人はおほえざ  
 上七ウ2 めり。とまれかくもあれ、かくかずならぬ御身  
 上七ウ3 をときめきたまふ人のみすぐし給ふべき  
 上七ウ4 にもあらず。物ほかなきさまにて、人におとし  
 上七ウ5 められ給はんも、いとくおしき御ことにも  
 上七ウ6 あ\*るかな』などおぼしわづらふ。「御すぐせはなに  
 上七ウ7 にもよらぬことなれば。かくてつくぐとおはし  
 上七ウ8 まさんも、みたてまつる我さへかなしければ、  
 上七ウ9 とにもかくにも『かひあ\*る御さまをみきて、  
 上七ウ10 いかにもならばや』とこそおもへども、いかなるべき  
 上八オ1 ことにか。なにさまにも、御いらへなからんはびんなか  
 上八オ2 るべし」とて、「かくおほせらるべき人も侍らぬ  
 上八オ3 を、『もしところたがへにや侍らん』とたどられ

上八才4 侍」とあれば、「なをぎりに思ひたどらず、うち出べ  
上八才5 きことにも侍らず。かくおほせらるゝなん  
上八才6 中くあさくおぼえ侍」と、いとねんごろに  
上八才7 きこえ給へば、いふべきことのはもなく、  
上八才8 「いかにもたゞいまは、おもひわき侍らず。かくか  
上八才9 ずならぬ身ひとつをうちたのむ人なん  
上八才10 はんべれども、さやうに御らんじいるべき  
上八才11 さまにも侍らず。このふた月ばかり、ものゝけに  
上八才12 わづらふこと侍て、いとゞ心のやみにさへみぐる  
上八才13 しく侍を、いまちとおもひしづめて、とも  
上八才14 かくもきこえさせん」とのみいらへ給へば、「いと心  
上八才15 うくもおぼめかしくの給ひなす。ほのかに  
上八才16 みたてまつりしゆふべより、しづ心なき  
上八才17 を。まづ身づからの御ことこそかたからめ、い  
上八才18 となめげなれども、人づては御心づかひも  
上八才19 \*くるしからん。あまうへに、たゞくらき程のまぎ  
上八才20 れ、\*たいめん給はん」と、せちにのがるべきもあらず  
上九才1 きこえまつはし給へば、さのみいなみ給はんも人  
上九才2 が\*らびんなければ、なへらかな\*るきぬひきゝて  
上九才3 しやうじほそめにあげていざりいで給ふ。  
上九才4 すこしゐなをりたまひて「うちいづるほど  
上九才5 はあさきやうに侍れども、心のそのふかきを  
上九才6 かごとにてなんたづねまいるるを『たゞう  
上九才7 ちつけのすき心』とおぼしめしなすなん

上九才8 なげかしく侍」といとらうたげなる御こゑ  
上九才9 にて、さすがにはぢしらひての給へば、御いら  
上九才10 へきこえにくけれど、「かくおぼしめし  
上九才11 より侍」と、『この世ならぬこと』はおもひ給ながら、  
上九才12 人にもにぬ身のほどもはゞかり侍る」などいひ  
上九才13 かはしたまふほどにや、やうく月もかた  
上九才14 ぶき、あげがたちかくなるに、殿より、御むかへ  
上九才15 の物どもまいりつどいて、よるよりたづね  
上九才16 たてまつりつるよし申て、女御どのもき  
上九才17 のふよりまかだたまへるに、とくくかへり  
上九才18 おはすべきよしなど、さまぐにことぐ  
上九才19 しげにまふしなすに、あま君「さればこそ  
上九才20 おほいどのゝ御子におはする」としりはてぬ。は、  
上二〇才1 うへの御せうそくとありなすれば、わづらは  
上二〇才2 しくて、「さいごのみぢのおりすこさず。か  
上二〇才3 ならずまいりこんずる。とかくさしはなた  
上二〇才4 せ、御けしきにいとほいなきを、かずならず  
上二〇才5 とも、いまはつねにこそまいらまほしけ  
上二〇才6 れ」とて、なをくいでやり給はねば、御車  
上二〇才7 らうによせてこはづくる。ゐたるにあはた、  
上二〇才8 しくていで給、おはしつきたれば、との、は、  
上二〇才9 うへなど、久しくこもりおはしつるに、めづら  
上二〇才10 しくおぼしたるさまのあはれにおぼゆるに、女  
上二〇才11 御どのゝ御まへゝまいり給ければ、いとにほひ

上二〇ウ 2 やかにけたかきものから、あいぎやうこぼれて、  
上二〇ウ 3 さらにたゞいまの世には、ありがたくみえ給ふ  
上二〇ウ 4 にも、「かのほのかなりしほかげは、をとるまじ  
上二〇ウ 5 くみえし」と、心にかゝりて恋しくおぼえ  
上二〇ウ 6 たまふ。そのゝちもたびくねんごろに  
上二〇ウ 7 御せうそくきこえ給ふに、はゝ君もおぼしわ  
上二〇ウ 8 づらひて、『かくものはかなき御さまを、なかく』  
上二〇ウ 9 とはおもへども、ゆくすゑのことは御すくせに  
上二〇ウ 10 したがふことなれば、かくてつくぐとおはし  
上二一オ 1 まさんに、あすをしらぬいのちのはかなにむなし  
上二一オ 2 くもなりなば、いかなるあやしのものにも  
上二一オ 3 やどりたてまつらん。しばしにても、かゝる  
上二一オ 4 人にこそさしならべてみだてまつりたけ  
上二一オ 5 れ」と、おぼしよはりて、はしたなき御返し  
上二一オ 6 もし給はず。さて卅日わたりに、いと心ことに  
上二一オ 7 かほりみちてうちけさうじておはし  
上二一オ 8 たり。かくと御せうそこあるに、御心まふけし  
上二一オ 9 給へることなれば、おどろきがほにもあらず  
上二一オ 10 いたたてまつる。あまぎみいでゝ、「かばかり御心  
上二一ウ 1 をとゞめたまふべき人にもおはしませず。い  
上二一ウ 2 と物はかなき御さまを『御らんじがたくこ  
上二一ウ 3 そ侍め』とおもひ給へながら、『ぎのみとかくためらひ  
上二一ウ 4 侍らんも、いとびんなきこと』ゝ思ひ給へ、はゞかり  
上二一ウ 5 てなん」との給ふさまの、けたかくうちほひた

上二一ウ 6 るさまゆゝしくみゆるに、「いかにもたゞ人には  
上二一ウ 7 あらじ」とおぼしたり。夜うちふくるまゝ  
上二一ウ 8 にかうしひきあげていり給へる。こうばい  
上二一ウ 9 の七ばかりに、あをきひとへ、からあやのこうちき\*  
上二一ウ 10 給へるさま、よそにてほのかにみしよりも  
上二二オ 1 ちかまざりはたとへんかたなし。とかくもの  
上二二オ 2 たまふに、あさましくはづかしげなるさまの、  
上二二オ 3 いひしらずらうたくて、「かゝる人をしらずし  
上二二オ 4 て、ほかさまにもなりなば、くちおしかるべきこと」  
上二二オ 5 と御心ざしのあさからぬも、ゆくすゑあぢきなき  
上二二オ 6 ことなりかし。夜あけて、みかうしなどまいる  
上二二オ 7 に、ひのけぎやかにさしいでたれば、みず、きちやう  
上二二オ 8 ひきあげてみ給ふに、けきはまだつくろい給  
上二二オ 9 はぬほどの御かほの、うちあかみ給へるは、さらに  
上二二オ 10 この世のものともみえず、かみたけにすこし  
上二二ウ 1 あまりて、かんざし、ひたいつきのあてにうつくし  
上二二ウ 2 さは、「女御の君にもなをたちまさりてや」と  
上二二ウ 3 おぼすに、わが心ざしのあさからぬみなしにや、人  
上二二ウ 4 にもみせまほしく、つくぐとみるに、「なを  
上二二ウ 5 たぐひあらじ」とおもへば、そばみ給へるをひき  
上二二ウ 6 むけて、「などかく『に\*くし』とおぼすらん。まろは  
上二二ウ 7 すこしのへだても、いまよりはものもうかる  
上二二ウ 8 べきを、ち\*かきところへもわたし\*たてまつらん」

上二二ウ9 と、いとなつかしくの給へば、「あま君には、いかで  
上二二ウ10 かはなるべき」いとおきなげにの給へ\*るさま、わか

\*う

上二三オ1 うつくしければ、うちわらひて、「いとおきなくこそ

上二三オ2 おはしけれ。それも御身にそひてこそおはせ

上二三オ3 め。たよりなくてはいかゞ」との給へば、「たゞかくて

上二三オ4 こぞ」とおぼしたるけしきのらうくじく

上二三オ5 なつかしければ、そのひもたちかへり給はず。

上二三オ6 いととをき道のほどをしもかよひありき

上二三オ7 給ふべきことの所せき御身には、「いと大じ

上二三オ8 なるべき」とおぼして、わたしたてまつらん

上二三オ9 ことをのたまふ。また御むかへものまいり

上二三オ10 ぬ。「おり」とおぼして、こまぐとかたらひを

上二三ウ1 きていでたまふ。「此ほどにひついでなどみせて

上二三ウ2 御むかへまいらせん」と、あま君にもこまぐとの

上二三ウ3 給ふ。おきて出給ふ。とのへおはしたるに、「など

上二三ウ4 かくはるかなるみちのほど、かろぐしく

上二三ウ5 かよひありきたまふらん」。むつかり給へば、

上二三ウ6 「さればよ」と、いまよりさへ心ぐるしくおぼし

上二三ウ7 て、かしこまりてたちたまふ。わかき女ばう

上二三ウ8 などは、「いかなる御ことに、しづ心なくあくがれ

上二三ウ9 ありきたまふらん」など、ゆ\*かしがりきこゆ

上二三ウ10 れば、「よのつねならず、もみぢにひかれてよ」

上二四オ1 とて、うちほゝゑみたまへるに、あいぎやうはこ

上二四オ2 ぼるばかりにて、にほひをちらし給へる御さま

上二四オ3 の、げにすぎ給はざらんも「さ\*うぐしからん」

上二四オ4 とみえたり。さて、御めのとに、「おほくかさならず

上二四オ5 とも、女のせうぞく一くだり」との給へば、うけた

上二四オ6 まはりて、もみぢがさね十ばかりに、あかきは

上二四オ7 かま、こきくれなるのひとへ、御こうちきなど、

上二四オ8 いたうつくしくしてたてまつる。「あま上の

上二四オ9 しやうぞくもようなる」との給へば、くち\*なし、

上二四オ10 はなだ\*など、しろきはかまにそへてたてま

上二四ウ1 つるに、しも月二、三日のころ、よきひみせて、御めの

上二四ウ2 とごのさちう弁なるいゑに、のたまひおほせ

上二四ウ3 て、とりはらひしつらひて、みす、きちやう、びやう

上二四ウ4 ぶ、しとねなどやうの物ども、こしらへてはこ

上二四ウ5 ばるゝに、ごたちなども「さはやかにあるべし」

上二四ウ6 と心えて、「おほろけ\*の人にはあらじ。たれば

上二四ウ7 かりしてあらん。さ大将のひめ君のこと、ゝ

上二四ウ8 の、御けしき給らせたまふに、わづらはし

上二四ウ9 きことやあらん」としたにはぶめり。又しのび

上二四ウ10 やかにおはしてみ給ふに、又このほどにひかり

上二五オ1 さしそひてめづらしきに、「あはれ、\*おなじくはと

上二五オ2 の、かみの御心にたがはぬことにて、こゝろやすく

上二五オ3 うちとけて、殿へもわたしてみばや」とおぼし

上二五オ4 なるぞ、せめてもの御心ぎしなる。あま上も御

上二五オ5 てうづどもなど、もとよりのはむかしびたる

上二五才6 もあれば、いとよういくわへてまちたてまつり  
上二五才7 つれば、めやすく御らんじわたす。かの御しやうぞ  
上二五才8 くどもきせたてまつりてみ給ふに、「なを  
上二五才9 うつくし」とみたまふに、きこえたまへば、御く  
上二五才10 るまにのりたまふ。あま君、「此たびはいかゞ」と  
上二五才1 ためらひ給へども、「しらぬ所たよりなくおはせ  
上二五才2 む」とてそゝなかしきこえ給へば、げに姫君の  
上二五才3 御事も心ぐるしくて出給ふ。一両にはとのゝ  
上二五才4 姫君のり給ふ。一りやうにはあま君、せうな  
上二五才5 ごんといふわか\*うど、御めのとのりけり。おはし  
上二五才6 つきてみたまふに、所せく、御よういどものつね  
上二五才7 ならず、さちう弁まじり、まい\*ををたのもし  
上二五才8 げなる。かくて、こゝろやすくあけくるゝをしら  
上二五才9 ず、みるまゝにあいぎやうなつかしく、けた  
上二五才10 かきことのつきせぬも、ありがたきことなり。  
上二六才1 あくる月より、たゞならずなり給ひて、なやみ  
上二六才2 たまへば、めづらしくうれしき物から、  
上二六才3 くるしくおぼしまどふ。御いのりなんども  
上二六才4 さまぐゝにせらるゝ。おほとなきゝ給ひて、「いと  
上二六才5 あしきことにもあるかな。大\*しやうのことも、よ  
上二六才6 きうしろみなれば、うけひききこえしに、  
上二六才7 かゝる人におもひつきぬる事」と、むつかりた  
上二六才8 まふ。はゝ君心ぐるしくおぼしてきゝお  
上二六才9 はす。あくる八月に、うつくしきわか君ぞむまれ

上二六才10 たまへる。心ばかりは「いかゞ」とおぼしながら、御  
上二六才1 おやたちのうけひき給はぬことなれば、おほ  
上二六才2 すかぎりもぎしきのなきを、あかずおぼし  
上二六才3 めす。いづかたにてかをろかなるべき、ひにそへて  
上二六才4 ひきのぶるやうに、「よるひかりけん玉か」とみゆる  
上二六才5 御さまを、いとゞ御こゝろざしまさるに、その  
上二六才6 秋つかさめしのことありて、\*中将にてさいしやう  
上二六才7 をかけ給へり。いとゞけたかきをさへそひた  
上二六才8 まへる御さまの、うつくしきのみまさるに、「おな  
上二六才9 じく心やすく思ふことなくてあらばや」と  
上二六才10 御心のうちになげかしきは、かの大将の御  
上二七才1 事をおぼせばなりけり。そのとしもあけぬ。  
上二七才2 わかきみ二になり給ふ。いと大きにうつくし  
上二七才3 きことのたとへんかたなきを、いかなる御かど  
上二七才4 の「御むすめをえざらん」とのたまふとも、たゞ  
上二七才5 いま心うつろふべくもおぼえず、たゞ心に  
上二七才6 かゝることなべて、わか君うちあいして、「二ごは  
上二七才7 くらすべきもの」とおぼしきだむるぞ、御物思ひ  
上二七才8 のたねとあぢきなき。五月五日のうちより  
上二七才9 まかで給ひて、うすいろのなをししどけなく  
上二七才10 きなしそひふし給に、ひめ君しやうぶの五、あふ  
上二七才1 ちのからぎぬなど\*ひきつくろひて給  
上二七才2 へるに、いまみつけたる心ちして、たびごと  
上二七才3 におどろかるゝ御さまをつくぐゝとまぼり給

上二七ウ 4 に、すべてかゝやく心ちのすれば、しやうぶの  
上二七ウ 5 いとながきをてまさ\*ぐりにして  
上二七ウ 6 「君とわれよどのはかれじながきねの  
上二七ウ 7 ためしにひけるけふのあやめに  
上二七ウ 8 おなじ御心ならば」とて、うちやり給へば、すこし  
上二七ウ 9 \*はぢしらひ給ひて  
上二七ウ 10 「かずならぬうき身をすればあやめ草  
上二八オ 1 いつもたもとにねぞなかけける」  
上二八オ 2 といひけち給へるに、うつくしき御さまどものさし  
上二八オ 3 ならび給へるは、みるかいあり、めでたきに、は、  
上二八オ 4 君うちなみだぐみてみたてまつり給ふ。  
上二八オ 5 わか君はひにそへてうつくしくなり給て、  
上二八オ 6 かつことうちませてもものゝ給ふは、みるたび  
上二八オ 7 に、御すくせのほどもあはれにて、「あこはいつ  
上二八オ 8 かうちへまいるべき」との給さまの、らうたけ  
上二八オ 9 れば、「とのも御らんじて『ことほり』とぞお  
上二八オ 10 ぼさん。かくていつまでか、しのびたるさまに  
上二八ウ 1 て、こもりおはすべき。ことしうちすぎなば、  
上二八ウ 2 三でうなる所しつらひて、かるぐしからず  
上二八ウ 3 もてなしきこえん」とおぼす。しめやかなる  
上二八ウ 4 ゆふつかた、御めのとをめて、「さてもいかな  
上二八ウ 5 る人の御子にておはするぞ。あまのとき、  
上二八ウ 6 たてまつるとも、をろかなるべきにもあら  
上二八ウ 7 ず。心ふかくか\*くしたまふこそつらけれ」と

上二八ウ 8 の給へば、「なにをかはかくし給。いつのほどに  
上二八ウ 9 又御なのりをし給はん。このは、君は、こしき  
上二八ウ 10 ぶきやうのみやの御こにおはしましし。かす  
上二九オ 1 かなるさまにておはせしを、中つかさの宮し  
上二九オ 2 のびておはせて侍しに、やがてこのきみむま  
上二九オ 3 れ給しを、いとかしづき給ふべき御心を  
上二九オ 4 きての侍しかども、いづれもうせ給て、あと  
上二九オ 5 なくなり給しかば、『いかゞもてなしきこえん』  
上二九オ 6 とおぼしわづらひつるを、かくおぼえぬことの  
上二九オ 7 おはしつれば、『ほとけの御たすけ』とこそみた  
上二九オ 8 てまつれ」ときこゆれば、いとゞあはれに、「いづ  
上二九オ 9 かつたもみこのすぢにて、かくけたかき所はた  
上二九オ 10 ぐひなきぞかし」と、いよく御心ぎしをまさ  
上二九ウ 1 るべし。秋にもなりぬ。左大将のひめ君のこと、ま  
上二九ウ 2 めやかにの給ひて、「とのゝ御けしきよろし  
上二九ウ 3 くは、『この霜月に』と思へど、御心もしり侍らず。  
上二九ウ 4 なかく人をかしきことや」と申給へば、「さらに  
上二九ウ 5 おぼしとまるまじきこと」ゝ、うけひききこえ  
上二九ウ 6 給ふ。大将も『かくおぼす人あり』とはしり給へな  
上二九ウ 7 がら、それにてこそあらめ、かくあたらしき  
上二九ウ 8 人をよそにみんはくちおしかるべく」おぼし  
上二九ウ 9 たち、「うちへまいらせん」とおぼしたるを、  
上二九ウ 10 「たゞいまきりつぼの御かた、ならびなく  
上二〇オ 1 てときめき給へば、なかくをしけたれ給は

上二〇才2 むもほいなるべし。みやづかへのほいたがはゞ、  
上二〇才3 この中将にこそ」とおぼしなりぬる。殿は中  
上二〇才4 将よびきこえたまひて、「大将こそしかくの  
上二〇才5 給へれ。いとよき事。たゞいま世のかためと  
上二〇才6 なるべきしたかたなれば、なに、つけてもた  
上二〇才7 のもしき人なるを、おぼしなびかぬなんあし  
上二〇才8 きこと」の給へば、御かほうちあかめて、「かくか  
上二〇才9 ずならぬ身にあまたかづらはむは、と\*るかた  
上二〇才10 なくやおぼさん。『まかりかよふところあり』  
上二〇才1 とはしらせ給はぬやらん。おさなきもの侍はみ  
上二〇才2 すてがたくて」との給へば、「よにあることかくれ  
上二〇才3 なければしらるらめど、『さてもあれ』と思へば  
上二〇才4 こそこの給らめ。よろしき\*きはの人の、たゞ一  
上二〇才5 ところすきまなくてす\*すなどならばこそ」  
上二〇才6 と。とゆいかくいひのがるべきやうもなければ、  
上二〇才7 かしこまりてたちたまふ。我かたへおはし  
上二〇才8 て、いつものやうにわか君あいしけうじもし給は  
上二〇才9 ず。ものおぼしたるさまにてつくぐと  
上二〇才10 ながめおはするを、ひめ君「あやし」とおぼせ  
上二〇才1 \*ど、しらぬさまにておはするに、わか君はしり  
上二〇才2 おはして、御ひぎにみてわらひあそび給へば、  
上二〇才3 御かほうつくぐとうちまぼりて、なみだの  
上二〇才4 おつるをまぎらはしたまふに、ひめ君、「いか  
上二〇才5 にもたゞごとにはあらず。かくよふ\*なきもの

上二一才6 なれば、との、いさめたまふにや」と心え給ふに  
上二一才7 つけても、もの、みあはれなり。ひもくれぬ  
上二一才8 れば、みきちやうの中に入給て、たゞながき  
上二一才9 ちぎりのみしたまふ。ひめ君もつねより物  
上二一才10 おぼしたるさまなれば、「かく心ぐるしき  
上二一才1 ことの色にみゆるにや」とおぼして、いとゞ御  
上二一才2 ころのかはりたまふまじきことのみた  
上二一才3 まへども、たゞうちしめり給へるさまのらうた  
上二一才4 ければ、「いかなるいはの中にも、げに心にかなはぬ  
上二一才5 世ならば、ひきぐしてこそすゞさめ」とおぼ  
上二一才6 しめ\*し\*ちぎ\*るも、あさからぬ御心ざしなり。「ま  
こと  
上二一才7 にうちさだまるまでは、姫君にもきこえ  
上二一才8 じ」とおぼしわた\*るに、十月のすゑのほど  
上二一才9 に、大将はひなどさだめて、このよし申給へば、  
上二一才10 又、中将をよびたてまつりて、「さだめられ候  
上二一才1 なれば、のこるべきことならば、あこをばこれへむ  
上二一才2 かへてそだてん」との給へば、いとゞ御むねふた  
上二一才3 がりてなみだもすゝみいづれば、すべりいで給ふ。  
上二一才4 「いまはかくすともか\*ひあらじ」とおぼして、し  
上二一才5 かくのことがたりきこえ給へば、「いとゞきこ  
上二一才6 とこそあらめ」とばかり、さはがずのたまへども、  
上二一才7 つゝむなみだのほろくとこぼれそめては  
上二一才8 えとゞめ給はず。「いかなることありとも、つゆかはる

上二二オ9 まじきを、しばし御らんじさだめざらん  
上二二オ10 ほど、心をき給ふべきこそはりなけれ。『げに  
上二二ウ1 かよひあり\*くこともかなはず\*は、いかなるのゝすゑ  
上二二ウ2 までもひきぐしきこえて、いの\*ちのあらん  
上二二ウ3 ほどは心やすくあらん』とおもふを、いかにほゞぎ  
上二二ウ4 みなどのひがさまにの給ふことありとも、まろ  
上二二ウ5 にしられ給はで心かろきことおぼしたつ  
上二二ウ6 なゝど、なぐさめかたらひたまふ。あ\*けぬれば、うち  
上二二ウ7 へまいらたまふべきひにて、いでたまふ。  
上二二ウ8 ひめぎみとみにも\*おき給はず、なみだにひち  
上二二ウ9 ておはするに、はゞ君みたてまつり給て、「こは  
上二二ウ10 いかなる御さまぞや。このほど、殿の御けしき  
上二三オ1 のものおもしげにおはしつるをこそ、心ぐるし  
上二三オ2 くおもふに、又かくはいかに」と思へば、むねつぶれて  
上二三オ3 さしより給て、「などかくはおはするぞ。なに事  
上二三オ4 なりとも、我に心\*をきたまふことあらじ。も  
上二三オ5 し中将殿の御こと、ほかさまにおぼした  
上二三オ6 まふことの侍にや」との給へば、はゞ君の御らん  
上二三オ7 ずるもかたはらいたければ、おきあがり給て、  
上二三オ8 「さやうのことありとも、かくしづみ侍べ  
上二三オ9 きにもあらず。心ちのあしければ」とて、な  
上二三オ10 みだの所せきをまぎらはし給へば、「さにか  
上二三ウ1 そ」とおもふにかなしくて、もろともになき  
上二三ウ2 ゐたまへり。そのほどにもなれば、とのゝうち

上二三ウ3 も御しやうぞくなどいそぎたちて、大将殿に  
上二三ウ4 もうちへまいらするとも、かばかりこそ心  
上二三ウ5 はつくさめ、おもふほどきよ\*らをつくし給ふ。  
上二三ウ6 中じやうはなに事もめにもみゝにもいらす、  
上二三ウ7 たゞひたすらうちこもりて、もろともに  
上二三ウ8 なみだよりほかのことなく、ひめ君は「おこがまし  
上二三ウ9 くさのみ思ひしづみて、みえたてまつらじ」  
上二三ウ10 とさらぬけしきにもてなし給へども、心に  
上二四オ1 おもふこと、などかみえざらん。とのは、「わか君むか  
へた  
上二四オ2 てまつらん」とて、ひまでさだめ給へば、「これ  
上二四オ3 さへな\*くて、なをいかにつれぐならめ」と、い  
上二四オ4 たはしくおぼせば、又「わか君をみたまひて  
上二四オ5 は、はゞぎみのことを、さのみなきけなくおぼし  
上二四オ6 すてじ」とおもへば、かつはうれしくて、「あこ  
上二四オ7 をこそ『むかへん』との給へ。さ心え給へ。つれぐ  
上二四オ8 こそ心ぐるしかるべけれ」との給へば、またこれ  
上二四オ9 さへかなしくて、むまれ給しひより、かたと  
上二四オ10 きたちさることもなくて、ならひ給へば、恋し  
上二四ウ1 からんことはりなけれ、「とのへおはしては、人に  
上二四ウ2 なり給はんもよきこと」ゝおぼしなぐさめて、  
上二四ウ3 御しやうぞくなどこしらへたまふ。あすとての  
上二四ウ4 ゆふがたほどに、中将おはして、れいのつきせ  
上二四ウ5 ぬことゝものたまふ。ひめ君はわかぎみを御ひ

上二四ウ 6 ぎにきて、たゞさめぐとなき給へば、  
上二四ウ 7 御かほうちまもりて、「なにをなき給ふぞ。小  
上二四ウ 8 車のほしきか」とて、うつくしき御てにて御  
上二四ウ 9 なみだをかきはらひ給へば、せんかたなくて、「あ  
上二四ウ 10 こをみるまじきほどに、恋しからんこと  
上二五オ 1 をなくぞ」とのたまへば、「などみ給まじき。よく  
上二五オ 2 もみ給へ」とて、御かほにさしあて給へば、しのぶ  
上二五オ 3 べきこゝちもせずむせかへり給へば、中將も  
上二五オ 4 なみだにくれて物もの給はず。むぼ君もこれ  
上二五オ 5 をみ給て、こゑもたつばかりなきおはする。「わか  
上二五オ 6 ぎみをみたてまつるに、おひもわすれてあ  
上二五オ 7 けくれのなぐさめに思ひつるにいかでかすぐす  
上二五オ 8 べき」とおぼしまどふもことほりなり。中將  
上二五オ 9 殿は「さのみなゝげき給ひそ。三条なるところ  
上二五オ 10 しつらひはてなば、わたしたてまつりて  
上二五ウ 1 心やすくあらん。まかりかよふ所ありとも、ま  
上二五ウ 2 ろがこゝろこそあらめ。心ぐるしくなおほし  
上二五ウ 3 いろそ。わかをばつねにぐして、みせてまつ  
上二五ウ 4 るべき。三条へわたりなば、あこをもひとゝころ  
上二五ウ 5 にてみせてまつらん。たゞいまはまづ、『とのへ』と  
上二五ウ 6 の給へば、『つ\*ゐでにみせてまつらん』とおもふ  
上二五ウ 7 ぞ」との給へば、「いまこそかくの給とも、めづらしき  
上二五ウ 8 かに御心うつりなば、おぼしとはんじ」と思ふ  
上二五ウ 9 に、あはれすくなからず。よあけてわか君の

上二五ウ 10 御むかへに御くるままいりぬ。うつくしげに  
上二六オ 1 したてまつりてみ給へば、さらにたぐひなく  
上二六オ 2 うつくしきことの恋しかるべきを、「いかゞせん」  
上二六オ 3 とおぼしまどふ。御くるまよせられたれば、母君  
上二六オ 4 いだきて御くるまよせ\*までおはしたるに、  
上二六オ 5 「もろとものにらん」となき給へば、まづ中將  
上二六オ 6 のり給ひて、いだきのせたてまつり給。しり  
上二六オ 7 に御めのとのりけり。「はゝ君とのらん」とて  
上二六オ 8 なき給ふ御こゑ、はるかにくるますぐるまで  
上二六オ 9 きこゆれば、ひめ君はそのまゝたふれふして  
上二六オ 10 おはします。あまうへも人めもしらずなき  
上二六ウ 1 給ふに、さらにしのぶべき心ちせず。やゝためら  
上二六ウ 2 ひて、はゝ君、「あな心うや。などさのみかくはおはす  
上二六ウ 3 るぞ。『これもちからなき事』とおぼしなし給へ。  
上二六ウ 4 かずならぬ身には、思ひさだめしことぞかし。あ  
上二六ウ 5 はれなりとも、こ宮おはしまさましかば、かく  
上二六ウ 6 人にあなづられたてまつらじ」とて、なぐ  
上二六ウ 7 さむる我もなみだにかきくれて、いひもやり  
上二六ウ 8 給はず。中將、とのへおはして、わか君、御めのと  
上二六ウ 9 だきたてまつりて\*まいるに、との、うへ御らん  
上二六ウ 10 じて、「うつくしきちぎのさまかな。さいしやう  
上二七オ 1 のおさなかりしにたがはぬこそらうたけれ」  
上二七オ 2 とて、むぼ君御ひぎにかきをきたてまつり  
上二七オ 3 給へば、すこし\*も\*おぢ給はずうちみま\*はしての

上二七才4 ちぞ、はゞぎみのおはせぬをおぼすにや、いま  
上二七才5 うちひそみたまふ。中将は姫君の御さまの心  
上二七才6 ぐるしく御らんじをきつれば、たちかへりお  
上二七才7 はしたり。ありつるまゝにて、おきもあがり給  
上二七才8 はず。中将はせんかたなくおはして、とかくこし  
上二七才9 らへなくさめたまふ。わか君の御ことかたり  
上二七才10 きこえ給へば、又かほうちひき入てなき給へば、  
上二七才1 「よし、さのみなおぼしいりそ。つゐには、『おもふ  
上二七才2 さまにおなじ所にてみん』とおぼして、たゞなく  
上二七才3 さみ給へ」など、一日なくさめ給ふ。とのへまいり  
上二七才4 給へばみつけ給て、「てゝのおはしたり。はゞ君は」  
上二七才5 とて、「めづらし」とおぼしたれば、かきいできて、  
上二七才6 「はゞ君よびてまいらせんよ」との給へば、「いつ  
上二七才7 おはすべきぞ。恋しきに」とてうちひそみ給  
上二七才8 へば、こゝもかしこも心ぐるしく、「いかなりし  
上二七才9 ちぎりにて、かく物おもふらん」とつゞくる  
上二七才10 に、あぢきなくて、はゞ上の御まへゝまいり  
上二八才1 給へばうちみあげ給ひて、「など\*それほどはやせた  
上二八才2 まへる。とのは、の給ふ事うけひきたまはぬと  
上二八才3 て、御けしきのあしければ、かれ\*きくにみづ  
上二八才4 からもいとこゝろぐるしく\*こそあれ。なに  
上二八才5 ごともちからなきことなれば、御こゝろにまか  
上二八才6 せてみ給へかし。『御うしろみ』とても『たいぐ  
上二八才7 しかるべきにもあらず』とおもへども、『なを

上二八才8 世に\*おもだゞしきやうに』とおぼしなすに  
上二八才9 こそ」との給へば、「かならずしも女にいたは\*ら  
上二八才10 るゝがたけきことにも侍らず。大将のいきほ  
上二八才1 いをからずとても、人にあなづらるべき身に  
上二八才2 もなければ、『いくほどなき世に、おさなきもの  
上二八才3 をも心やすくみん』とおもへば、『いみじきあた  
上二八才4 り』と、なにともおぼえず」とて、御かほよりにほ  
上二八才5 ひて、なみだのこぼるゝをあふぎにてまぎら  
上二八才6 はしたまふ御さまを、はゞうへはまことにさり  
上二八才7 がたく、あはれにおぼす。「御うちこそあるらめ。  
上二八才8 かく心をとゞむるは、おぼろけの人にはあらじ。  
上二八才9 いかにか『わか君恋し』とおぼすらん」と、「これさ中  
上二八才10 将の御ゆかり」とおぼせば、いとゞおしく心ぐるし  
上二九才1 くおぼしやらるゝ。わか君はうば君にいとよう  
上二九才2 なつき給て、この比となりてことさらひかり  
上二九才3 そひてうつくしく\*おひいで給へば、みるたび  
上二九才4 ごとに袖のみ露けき心ちす。かくてあけく  
上二九才5 るゝほどに、十一月にもなりぬ。十六日とさだ  
上二九才6 められたれば、ひ数の過るにも心うく、いづ  
上二九才7 かたへもひきぐして、野にも山にもあくが  
上二九才8 れまほしくおぼせど、「たゞいまは、まづおやに  
上二九才9 したがひきこえて、のちはともあれかくも  
上二九才10 あれ、はばかるべきにもあらず。三条へわた  
上二九才11 して、あなづらはしからず、かしづききこえん」

上二九ウ2 とおぼして、たゞひめ君にもかくぞきこえて。  
上二九ウ3 すでにそのひにもなりぬれば、中将はひぐらし  
上二九ウ4 ふし給て、ひきつくろひ給ふこともなし。  
上二九ウ5 ひくれゆけば、殿より「はやく／＼わたり給へ」  
上二九ウ6 とよびきこえ給へば、つらくおぼえて、おきも  
上二九ウ7 あがり給はず。おりふしあられふり、さむき  
上二九ウ8 夜なるに、おきわかれん空もおぼえず。ひめ  
上二九ウ9 ぎみ  
上二九ウ10 「あられふりさゆる霜夜におきわかれ  
上三〇オ1 こよひばかりやかぎりなるらん」  
上三〇オ2 とて、しのべどもせきあへ給はず。中将、  
上三〇オ3 「いかでかはかぎりなるべきわがやどの  
上三〇オ4 こゝろいたやのあられふるとも  
上三〇オ5 さらば、あか月はとかくまいらん。ならばぬ御ひとり  
上三〇オ6 ねこそ心ぐるしけれ。まいらんほどは、あま上、  
上三〇オ7 御あたりちかくおはせよ」との給ひ、「ならばで  
上三〇オ8 ひとりぬる、物おそろしき心ちするぞ」など  
上三〇オ9 の給へば、きぬひきかづきて、物ものたまはず。な  
上三〇オ10 を、いでもやり給はねば、「とく／＼」とごぜんなど  
上三〇ウ1 そゝのかしきこゆ。御車にのり給ても、たゞなみ  
上三〇ウ2 だのみせきがたくて、おはしつきても、とみにも  
上三〇ウ3 御前へもまいり給はず。殿は「いかに／＼」との給へ  
上三〇ウ4 ば、はしのかたにつ＊いて、「などひきもつくろひ給  
上三〇ウ5 はぬ」と御けしきあしければ、中納言といふ

上三〇ウ6 女ばう、御きやうだいたてまつる。かた／＼へ  
上三〇ウ7 むきて、御かほみ給ふに、御まゆもうちにほひて、  
上三〇ウ8 御めもなきはれたれば、「我ながらかくおもふ  
上三〇ウ9 べきこと」ゝはおもへども、心うきことはかぎり  
上三〇ウ10 なし。御まへなる弁の君といふ女ばう、「人は  
上三一オ1 みなかけても、か＊ゝるならひにこそ侍れ、めざまし  
上三一オ2 き御もてなしこそ心ぐるし」と申せば、「なにと  
上三一オ3 かはあまりのうれしきに物もおぼえでこそ」  
上三一オ4 とてうちほゝゑみ給へば、いはんかたなくうつ  
上三一オ5 くしげなり。「よしといふとも、これにきしなら  
上三一オ6 び給はん女ばうはかたはらいたく」とみえたり。  
上三一オ7 御まゆばかりひきなをしても人うちながめて  
上三一オ8 おはす。とのほ、たき＊しめたる御しやうぞくども  
上三一オ9 きせたてまつりて、みづからたゞこゝかしこ  
上三一オ10 ひきなをし給へば、心ならずいで給ふ。ごぜん  
上三一ウ1 など、おびたゝしくひきつゞきて出給ふさま、  
上三一ウ2 おぼすことなくはめでたかるべきことなれども、  
上三一ウ3 「いづくへゆくらん」と夢路にまどふ心ちして、お  
上三一ウ4 はしつき給ふ。か＊しこの有さまいはんかたなく、  
上三一ウ5 大将の心をつくしけんもあらはれて、めもかゝ  
上三一ウ6 やく心ちす。女ばう卅人ばかり、しろきぎぬ、し  
上三一ウ7 ろきはかまにてなみりたり。こ＊とどもはてゝ  
上三一ウ8 夜ふくるほどに、みきちやうをしやりてみた  
上三一ウ9 まへば、松かさね十ばかりに、しろきはかまぞみ

上三二ウ10 ゆる。まづ、ゐたけのほどのくしく、ひ\*た  
上三二オ1 ひはれて、め大に、色はあくまでしろうく、「おやのめに  
上三二オ2 は『よし』とおもふらん」とみえたりしも、まづ古  
上三二オ3 郷の人にはいひならふべきかたなし。おほと  
上三二オ4 ごもりても、「ふるさとの人のかにならぬひとり  
上三二オ5 ねを、『つれづれ』と思ふとし給ふらん」。「おとこの心  
上三二オ6 はさだめなければ、いまこそをろかならずいふ」とも  
上三二オ7 おもへるけしきの、いはぬにしるくみえつるを、おぼ  
上三二オ8 し出るにかなしければ、の給ふべきことのはも  
上三二オ9 おぼえず。ま\*へのかみのさまもこはぐとして、  
上三二オ10 てあたり物ふとくよくこえて、さかりとみゆる  
上三二ウ1 に、かの\*人うすものゝ御ぞも猶おもかげに、あへ\*か  
上三二ウ2 なるさまを、おぼし出るに、恋しきことたとへ  
上三二ウ3 なし。鳥のねまちつけて出給ふ。わが御かたへ  
上三二ウ4 おはしたるに、「姫君はよもすがらね給はざり  
上三二ウ5 ける」とみえて、御袖のいたくぬれて、ひやく  
上三二ウ6 としたるてあたり、いと心ぐるしくて、「こよひ  
上三二ウ7 の御つれづれはいかに。まづは夢の心ちして、たゞ  
上三二ウ8 何事をおもひわかざりつれば、ありつる人も  
上三二ウ9 『あやし』と思ひつらん。夢にやみ給へる」との  
上三二ウ10 給へば、  
上三三オ1 「うきことをこゝろひとつにおもはずは  
上三三オ2 なぐさむほどの夢もみてまし」  
上三三オ3 といひまぎらはし給ふさまの、なを人を見るに

上三三オ4 もありがたき心ちして、たぐひなくおぼ  
上三三オ5 えたり。  
上三三オ6 「まどろまでみえつるゆめのかなしさを  
上三三オ7 なぐさむほどや君にかたらん  
上三三オ8 我ながらあまりにこそおぼゆれ。いとかくおもふ  
上三三オ9 人もあらじ」などいろくにかたらひたまふ。  
上三三オ10 あけてのちみ給へば、おもやせたまへる御かほ  
上三三ウ1 の、なみだにあらはれたりしも、しろうかゝや  
上三三ウ2 く心ちして、かのはなやかにもてなしつる人に  
上三三ウ3 は、ならべてもいはんかたなきぞ、なをもの思ひの  
上三三ウ4 つまなりける。「かの御めうつり」とはづかしけれ  
上三三ウ5 ば、うちそばみておはするに、「などかくもてなし  
上三三ウ6 たまふ。夜のほども御心のかはりけるよ」とて、ひ  
上三三ウ7 きむけ給へば、「夜のまの御心かはりは、御心ならひ  
上三三ウ8 にや」とて、すこしうちゑみ給へるに、いまみつ  
上三三ウ9 けたる心ちす。『げにかく物おもはせてまつらん』  
上三三ウ10 とこそ、露おもはざりしに、世はうき物にこそ」  
上三四オ1 とて、うちなみだぐみたまへば、もよほされて  
上三四オ2 ほろくくとこぼれそむるなみだの、やがてとゞ  
上三四オ3 こほらずながれいづれば、「よし、かくなおぼし  
上三四オ4 そ。ひとよりことに思ひきこゆる心ぎしはつる  
上三四オ5 に御らんぜよ。いのちこそしらね」とて、なみだ  
上三四オ6 にまろがれたる御ぐしかきやりて、御袖に  
上三四オ7 て御かほをのごひ給へば、はづかしくてうつ

上三四才8 ぶしておはする。とのより、「かの所へ御ふみは  
上三四才9 やり\*給はぬか」との給へば、御心にもいらねども  
上三四才10 かきたまふ。くれなるのうすやうに、  
上三四ウ1 「あふさかのせきにやきりのたちつらん  
上三四ウ2 こえてののちもなをまよふらん」  
上三四ウ3 とかきて、ひめ君\*に「いつはりをこそしなら  
上三四ウ4 ひけれ」とて、みせたてまつれば、「いづれかま  
上三四ウ5 ことなる」とて、うちをき給ふ。「なを、かくのみ心を  
上三四ウ6 き給ふこそ心うけれ」とて、なきみわらひみか  
上三四ウ7 たらひたまふ。ことをもてまいる。み給へば、  
上三四ウ8 「あふさかのせきにはきりもへだてねど  
上三四ウ9 おもはぬみちやなをたどるらん」  
上三四ウ10 「げに、これぞまことなる」とて、わらひたまひ、て  
上三五才1 もすこしわろきを物めかしてかきたる。その  
上三五才2 夜も又くるままいりて、「とく出給へ」とあれば、  
上三五才3 「三かちからなくまかりなん。その、ちはたゞ心  
上三五才4 にまかすべきに」とて出給ふ。心ごとにつく  
上三五才5 ろひたてられてみたまへるさま、かの人の、な  
上三五才6 みだにしづみてひきだにつくろひたまはぬ  
上三五才7 さまに、\*思ひくらぶれば、めにもつきたまはず。物な  
どの給ふに、御いらへきこえ給ふこゑけはひ、すこし  
上三五才8 はやりかに、おもくしくもきこえず。御との  
上三五才9 あぶらちかくて、なにとなきやうにてみ給へば、  
上三五才10 いづくとほこりにしろく、心ちよげにはみえ

上三五ウ1 たれど、らうたくあひぎやうづき、おもほしき  
上三五ウ2 ところのなきぞうたてきや。ふるさとの人に  
上三五ウ3 ならぶほどこそなくとも、これもすてがたき  
上三五ウ4 ほどならば、いづれともなだらかにてみるべ  
上三五ウ5 きぞかし。さらにおなじさまにいふべきやうも  
上三五ウ6 なきは、かの人の、あまりすぐれたまへるめうつり  
上三五ウ7 には、なべての人、いかでかはよのつねにおぼされん。  
上三五ウ8 かゝる人をみずは、これもたゞ「よのつねの」と  
上三五ウ9 こそおぼされけめ。かみはたけにあまりてみ  
上三五ウ10 ゆれど、しなもなく、いづくもたゞこまやかに  
上三六才1 ものくしげにぞみゆる。ふるさとの人は  
上三六才2 「御心ざしこそかはらずとも、との、御もてなし  
上三六才3 にしたがひ給はゞ、つるに我身はたのまるべき  
上三六才4 にもあらず。あまにも成てあらばや」とおほ  
上三六才5 すにも、わか君の恋しきぞはりなきや。三日  
上三六才6 のほどはおはして、その、ちはたゞあけ暮こも  
上三六才7 りおはするをとのはきこしめして、「なをいと  
上三六才8 あしきことかな。この人の、かくてあらんほど  
上三六才9 は、いかにも御心のさだまるまじきを、いかにし  
上三六才10 てもいだ\*さばや」とおぼしたばかり、廿日ばかり  
上三六ウ1 こもりおはしたれば、「あたりに御けしきあし」  
上三六ウ2 ととき\*、給ふに、からうしてわたり給へり。  
上三六ウ3 ひさしかりつるほどをうらめしくおぼす  
上三六ウ4 にや。\*うちそばみ給つるをあながちにもかたらひた

まはず、我もうちながめてつくぐとはしのかたに  
上三六ウ5 おはす。その夜はちからなくとゞまりたまひ  
上三六ウ6 て、あしたとく出給ふ。ひめぎみは、「かくはやう  
上三六ウ7 はいで給ふ。とのゝ御けしきわるかんなるを、いま  
上三六ウ8 ちともおはせよかし。身づからは心やすく侍らん。  
上三六ウ9 よのわづらはしきこそくるしけれ」とてらう  
上三六ウ10 たげにうちなみだぐみ給ふ。「あこをひさし  
上三七オ1 くみね\*ばおぼつかなきを、みてまいらん」とて、  
上三七オ2 とのへおはしたり。はしりいでゝ、「母ぎみよび  
上三七オ3 てまいらんよ。いままろが車にのりて、そと母  
上三七オ4 君のもとへ」との給へば「とのゝしかりたまはん」と  
上三七オ5 て、おとなしくのたまへば、なみだ\*つきせず。母上  
上三七オ6 の御まへにて、「母なるものゝ、あまりにこひし  
上三七オ7 がり侍れば、かりそめにぐしてまいらん。夕が  
上三七オ8 たはかへり侍らん」との給へば「とのゝうちへま  
上三七オ9 いらたまへるひまなれば、さもし給へ。きゝ  
上三七オ10 たまひてあしからん」との給へば、御めのと、御  
上三七ウ1 あまぎみなど、そこゝとして、御車にのせ  
上三七ウ2 給ふ。おはしつきたれば、母ぎみ、うばぎみ夢の  
上三七ウ3 心ちして、まづなみだぞ\*こぼれける。この  
上三七ウ4 ほどに、うつくしくおほきに成給て、母ぎみ  
上三七ウ5 の御くびにとりつきて、「などあこをばみ給はで  
上三七ウ6 おはする。恋しくはおはせぬか」とてわらひ  
上三七ウ7 たはぶれ給へば、「恋しけれども、\*えみぬぞよ」と

上三七ウ8 てなき給へば、中將もかなしくおぼえてお  
上三七ウ9 はするところに、とのより、「たゞいま『殿おはし  
上三七ウ10 て、わかぎみたづねたまへる』と申て侍を、と  
上三八オ1 くぐ」と、母上の文あり。いそぎいで給はんとす  
上三八オ2 るに、母ぎみは中くありしなごりより  
上三八オ3 も、ひとしほせんかたなくて、人めもしらず  
上三八オ4 いだきてなきおはす。むば上も「中くなる思  
上三八オ5 ひのまさるべきとなりけるよ」とて、こゑを  
上三八オ6 たてゝなきたまふ。されどもかなはぬこと  
上三八オ7 なれば、ちからなく御車にのせたてまつる  
上三八オ8 に、これもありしよりは御心つきて、「たゞかく  
上三八オ9 ては母ぎみの御もとにあるべきを」とて、なきた  
上三八オ10 まへるさまのかなしさぞ、なにゝたとへんかた  
上三八ウ1 なし。う\*しのあしもおそくておはしつきたり。  
上三八ウ2 しのびたるかたよりおろしたてまつりて、  
上三八ウ3 殿の御まへにいだきていれたてまつり  
上三八ウ4 給ふ。きたのかた、御みゝにさしあてゝ、「母の御  
上三八ウ5 もとへゆきたまへることばしの給ふなよ」と  
上三八ウ6 のたまへ\*ば、うちうなづきておはす。なにかと  
上三八ウ7 するほどにそのとしもあけぬ。春のぢもく  
上三八ウ8 に中將も中納言になり給ひぬ。いよく御  
上三八ウ9 門の御いとをし\*みのみにて、人もうらやみた  
上三八ウ10 てまつるに、大將の御いきほいきへさしそひた  
上三九オ1 まへば、たゞいまの世には、ならぶべき人ぞな

上三九才2 かりける。御心の中の物おもしきはいろに  
上三九才3 いで\*じとすれども、みかどの御らんじて、「などや  
上三九才4 この比は、もの思へるけしきみゆるは。なにごとに  
上三九才5 か、きゝてともにおもはばや」とおほせらるれ  
上三九才6 ば、うちかしこまりてさぶらひ給ふ。この  
上三九才7 比は、なをうちこもりておはすれば、殿にはに  
上三九才8 がくしくきびしくのたまへば、「さらば  
上三九才9 まかりて、あすとくまいらん」との給へば、『や  
上三九才10 が出て出給へ』とて御心たがふなるを、二、三日も  
上三九ウ1 おはせよかし。このつれづれは、はやならひに  
上三九ウ2 たるを」とて、いとうつくしげにそひふした  
上三九ウ3 まへる。御ぐしすましつれば、いとおほき御ぐし  
上三九ウ4 にてとみにひもやらねば、かたぐへうちな  
上三九ウ5 びかして花山ぶきの御ぞにはかまばかりき給  
上三九ウ6 て、つくぐとながめ給へるさまの、いつより  
上三九ウ7 \*おどろかれて、またたちかへりつゝ、  
上三九ウ8 そのひもおはせず成ぬるに、殿は、三条の御所  
上三九ウ9 つくりあらため給て、うつし給はんとする  
上三九ウ10 こともきこしめして、「ひたぶるにさへおもふ  
上四〇才1 らん。かしこへわたしてもめかしなば、大将の  
上四〇才2 おもはん所もきやうくなり」といとおほし、  
上四〇才3 さてそのうち二、三日して暮ほどに殿より  
上四〇才4 御車まいりて、「かくのみこもりおはすること」  
上四〇才5 との給ふとも、この比となりては、ありしよ

上四〇才6 りいやまさりなる御心ざしの、いよく一よ  
上四〇才7 のほどはなれがたくおぼしければ、「何ごとも  
上四〇才8 この世一ならぬことにてこそ、かくもおぼゆら  
上四〇才9 め。いくほどならぬよの中に、なをくるしむる  
上四〇才10 もあぢきなし」とて、「ただ『かしこへゆきたり』  
上四〇ウ1 と殿へはきこえよ」とて、御車をかへし給ふ。  
上四〇ウ2 そのあくるひ、殿よりよびきこえ給へば、「又れい  
上四〇ウ3 のむ\*つかし」とおほしながらまいり給ふに、「かくの  
上四〇ウ4 みおはすること、大将の思ふらんとくも、かつうは  
上四〇ウ5 いと\*おしきを、いづかたをもなだらかにもて  
上四〇ウ6 なして、女のうらみなおもはれず、いとあしき  
上四〇ウ7 ことなれども、あすをもしらぬおやの心に  
上四〇ウ8 たがひ給ふ」とさまぐにのたまへば、かほう  
上四〇ウ9 ちあかめたち給。そのまゝかの所へおはしま  
上四〇ウ10 したれば、大将もかくのみとだへおほきを  
上四一才1 うらめしくおぼせども、あやなる御さまのうつ  
上四一才2 くしさに、よろづのともわすられて、かしづ  
上四一才3 ききこえたまふ。しばしうちやすみて、うちへ  
上四一才4 まいり給ふに、けふのむまのときより、七日の  
上四一才5 ほどは、御ものいみにてとへもいせず、こもり  
上四一才6 給ふべきなれば、心うく、「時のほどだにこひし  
上四一才7 きを、七日のほどをも、いりてすぐすべき」とむ  
上四一才8 ねふたがりて、「かくとはしらずで、『たゞいまのかた  
上四一才9 に心うつりて、こぬ』とやおぼさん」とかなしけれ

上四一オ10 ば、文たてまつり給へども、御ふみをば、ずいじん  
上四一ウ1 に心をあはせて、殿へとりて、かしこへはやり  
上四一ウ2 給はず。そのよおはせずなりぬるを、「かしこに  
上四一ウ3 とゞまりたまふ」とおぼしたるに、あくるひも  
上四一ウ4 みえたまはず。「けふはさりと」と思ふに、「文だ  
上四一ウ5 になければこそ」とおぼしけるにも、御心のつら  
上四一ウ6 さやるかたなし。四日といふに、殿より御つかひ  
上四一ウ7 あり。「中将はかしこに、『いましばし侍らん』と申  
上四一ウ8 つる。『よもちかきほどは、まいり侍じ』となん。  
上四一ウ9 御つれぐなるべければ、いづかたへも立いで、  
上四一ウ10 なぐさみ給へ。中将かへり侍らば、御むかへたて  
上四二オ1 まつらん」とあり。『はやいでよ』との給ふにこそ」とお  
上四二オ2 もふに、思ひま\*うけつることなれども、「さしも  
上四二オ3 出給ひしおりふしまで、あさからずこそ  
上四二オ4 給をきつるを、かくもありけるよ」とあさましく、  
上四二オ5 うらめしきことかぎりなし。あま上も、いふかた  
上四二オ6 なくつらければ、「かゝるうきことをみんために  
上四二オ7 こそ、いま、でながらへけめ」と、ふししづみて  
上四二オ8 なき給ふ。「かくはしたなくの給はん所に、一日  
上四二オ9 もいかで侍べき。いづくへかへりおはせん」とお  
上四二オ10 もひめぐらすに、まことや、うちのないしの  
上四二ウ1 すけにて侍るものは、あま上のためにしたしく  
上四二ウ2 おはすれば、「こゝにちと、人の『しのびて侍べき』との  
上四二ウ3 給。御車のついであらばよせ給へ。くはしくは

上四二ウ4 身づから」ときこえたり。そのほどみぐるしき  
上四二ウ5 物どもしたゝめて、御身にそふべきものとして  
上四二ウ6 御こと、さうしのはこ、御ふすまなどのやうの  
上四二ウ7 物をもとりあつめ給ふに、「思ひさだめしこと  
上四二ウ8 なれども、人はかねてもかはるけしきもすこ  
上四二ウ9 しみ\*えましかば、『うき』としりてもまぎれ  
上四二ウ10 ぬべきを、たゞいまいでたまひしにても、さ  
上四三オ1 ばかり『我にしられ給はで、かるぐしくおぼし  
上四三オ2 なること』こそ、くりかへしの給ひをきしが、い  
上四三オ3 まかくひしくとおさかるべきこととはおも  
上四三オ4 はざりしを、なをとのゝとりこめ給てかく  
上四三オ5 御つかひはあるにこそ」とおもひつゞけ給ふ。「もし  
上四三オ6 ありしにかはらぬ御心ならば、かくゆくすゑも  
上四三オ7 しらず成ぬるを、いかゞおぼしなげかまし」と  
上四三オ8 すべてゆめに夢みる心ちして、わか君の  
上四三オ9 御こともをのづから風につてにもきゝてなぐ  
上四三オ10 さみたまひしを、「ながきわかれのはじめにこ  
上四三ウ1 そ」となきふし給へるもことほりなり。ひも  
上四三ウ2 やうくくれゆくに、御車まいりてければ  
上四三ウ3 \*はゝうへ、「さらばいで給へ。いかゞおぼすとも、さ  
上四三ウ4 ばかりなきけなくはしたなき世には一時も  
上四三ウ5 物うく侍り。わか君をとりはなし給ひし  
上四三ウ6 より、かゝるおもひ、さだめ給はずやありし  
上四三ウ7 との給へば、おきあがりてみまはし給ふに、

上四三ウ 8 この三四年お\*はしつる所なれば、たちいでべ  
 上四三ウ 9 き心ちいはんかたなくあはれなり。みどりの  
 上四三ウ 10 うすやう、なくくとりいだし、思ふことすこ  
 上四四オ 1 しかき給ふ。きこえまほしきことはいとお  
 上四四オ 2 ほかれども、さのみかきをきてもおこがましか  
 上四四オ 3 るべければ、こそくとしていで給ふ。ひやう  
 上四四オ 4 \*ゑとてこ女ばうのあるに、「もし中将のたづね  
 上四四オ 5 給ふことあらば、『殿よりかやうの御つかひあり  
 上四四オ 6 しか、やがてかく出にし』とかたりきこえ  
 上四四オ 7 よ」などの給にも、「もしたゞいまもや、ふとおは  
 上四四オ 8 する」と、なをやすらはるゝを、「あないはけなや。  
 上四四オ 9 われなからんげにうたてしく、よりく、  
 上四四オ 10 しき心にもありけるかな」とおもひつゝ御車に  
 上四四ウ 1 のり給。ほどちかければ、ないしのつぼねへ、しの  
 上四四ウ 2 びて御くるまよせてをり給ふまゝ、みすのう  
 上四四ウ 3 ちによりふし給ぬ。母上、しかくのこともかた  
 上四四ウ 4 りつゞけて、なき給ふことかぎりなし。\*ないしも  
 上四四ウ 5 「あないとおしや。こ宮のおはしまさましかば、  
 上四四ウ 6 かくうきことや侍べき。人にはかるしめられ  
 上四四ウ 7 給ふまじきを、世はうき物にこそ侍れ。そうじ  
 上四四ウ 8 てこのおほいどのは、御心きらくしく、はな  
 上四四ウ 9 やぎ給へる人にて、世にすたれ給へる、おほし  
 上四四ウ 10 おとしけるこそ。大将のひめぎみのことはしり  
 上四五オ 1 きこえず、このきみは、いとうつくしくおはせし

上四五オ 2 が、みたてまつらでとし月にもなり侍を」  
 上四五オ 3 とて、きちやうをしのけ給へば、はづかしくて  
 上四五オ 4 すこしおきなをりて、うちそばみ給へるに、  
 上四五オ 5 かみのゆくゑもうちやられたるに、ほろくくと  
 上四五オ 6 こぼれかゝりて、みだれたるすぢなく、御かほ  
 上四五オ 7 もまゆのあと\*だになく、なみだにあらはれたりし  
 上四五オ 8 を、しろくこまやかにうちおどろかるゝ心ちのす  
 上四五オ 9 れば、御ぐしをかきやりて、「さのみむつかしき  
 上四五オ 10 ことおぼしなかりそ。をのれ侍らんかぎりは、人  
 上四五ウ 1 おかしくはしなしたてまつらじ。げに中将ど  
 上四五ウ 2 のゝ、はかなくおぼすらんもことはりの御さまなり」  
 上四五ウ 3 と。「わが御心ととだえ給ふことは侍らじ。いかにも  
 上四五ウ 4 おほいどのきびしくの給ひて、えいで給はぬ  
 上四五ウ 5 にこそあらめ」との給へば、はづかしくもかなし  
 上四五ウ 6 くもおぼえて、いとゞなみだのふりおつれば、ないし  
 上四五ウ 7 ほろくとうちなきてみたてまつり給ふ。「わが  
 上四五ウ 8 \*みはとしをつもりて、宮づかへもたへがたく  
 上四五ウ 9 侍れば、かはりに出したてまつらん。人めをも  
 上四五ウ 10 御らんじて、御心もなぐさみ給へ」などの  
 上四六オ 1 給へば、とてもかくても世にたちまふべきことは  
 上四六オ 2 心うく、「たゞありしき\*がにあまになりてこそ  
 上四六オ 3 すぐさまほしけれ」とおほせ、宮づかへもなにと  
 上四六オ 4 もおぼされず。まことや中納言は七日の御物いみ  
 上四六オ 5 もはてければ、まづ大将どのへもおほいどの

上四六才6 へもおはせで、いそぎおはしたれば、れいなら  
上四六才7 ずおろしこめて、人のけしきもなければ、  
上四六才8 かうしてづからあけて入てみ給へば、とりした  
上四六才9 ためたるけしきにて人もなし。「こはいかに」  
上四六才10 とむねうちきはぎて、ひやう\*ゑめして、「いづくへ  
上四六ウ1 ぞ」ととひたまへば、ありしまゝにきこゆれば、心  
上四六ウ2 もくれてさらに物もおぼえ給はず。こゝろうき  
上四六ウ3 ことかぎりなし。とにかくに、とのゝうらめしく、  
上四六ウ4 「われを世にあらせんとし給ふことなれども、  
上四六ウ5 たゞいまうしなひたまふべきにこそ。ゆく  
上四六ウ6 すゑもしらずなりなば、いかにもうき世にも  
上四六ウ7 立まふべき身は」と、ふししづみてなき給ふ  
上四六ウ8 ことかぎりなし。かきをき給へる物をとり  
上四六ウ9 出てたてまつれば、おぼししぼりてみ給へば  
上四六ウ10 「立かへりちぎりいでにしおもかげを  
上四七才1 うき身にそへてわれぞいでぬる  
上四七才2 かきくれて行べきかたもおぼえぬに  
上四七才3 なみだばかりやさきにたつらん  
上四七才4 なでしこの露のゆかりもかれぬれば  
上四七才5 は、ちりぐゝになるぞかなしき  
上四七才6 なからんあとにわすれ草やしげからん」と  
上四七才7 かきまぎらはし給へるに、すべて声もたて  
上四七才8 \*ぬべき心ちしてむせかへり給ふこと、みるめ  
上四七才9 もくるゝ心ちして、左中弁はかなしくみた

上四七才10 てまつりて「ありしき\*がにやおはすらん。  
上四七ウ1 たづねまいらん」とて、「文を給て」と申せば、「あさ  
上四七ウ2 ましきことはなかく、『夢か』とのみたどられて」  
上四七ウ3 と、さだかならずかきて、いだし給へり。まめや  
上四七ウ4 かにかみもいたく、身もあつきまでなきこ  
上四七ウ5 がれ給へば、かたときもいのちさへあやうきを、  
上四七ウ6 「などかく物おもひのたねとなりしことぞ」と、  
上四七ウ7 ありし秋のゆふべうらめしき心ちす。ひ  
上四七ウ8 くれてのちかへりまいりて、ゆめぐゝお  
上四七ウ9 もひよらぬよしを申けるに、いとゞかきく  
上四七ウ10 れてひきかづきてふし給へるまくら  
上四八才1 よりあまるなみだはところせきに、とのよりは  
上四八才2 「けふまでの物いみなれば、いで給ふらん。とく  
上四八才3 わたり給へ」と御つかひあれば、うとましく  
上四八才4 心うくて「みだり心ちのあしき」とて、ま  
上四八才5 いらたまはず。母上は「このことをおぼし入て  
上四八才6 こそ」と心ぐるしくて、たちかへり御つかひあ  
上四八才7 り。「いかなる御心ち\*ぞ。御だいなどこれにてまい  
上四八才8 れ」とあれども、ひきかづきておきもあがり  
上四八才9 給はず。その夜はさながらなみだにひちてあ  
上四八才10 かし給。あけても「とのゝ御心もとながらせ給へ\*る」  
上四八ウ1 とてたびぐゝ人まいりければ、立出ても、  
上四八ウ2 なきはれたるかほもつゝましくて、ひをく  
上四八ウ3 らしておきあがりたまひて、御しやうぞくた

上四八ウ 4 てまつり給て出給ふ。殿のおはしまして、はし  
上四八ウ 5 のかたにつるゝ給へば、こびんなどもうちふく  
上四八ウ 6 みて、なきしほれ給へるさまを御らんじて、  
上四八ウ 7 「あさましきことかな。よしなきものに心を  
上四八ウ 8 うつして、大しやうもいかにこゝちあしくおぼ  
上四八ウ 9 すらん。『よにあれ』とおもへば、かく心うきこそ、  
上四八ウ 10 おやの思ふばかり子はおもはざりけるよ」とて、  
上四九オ 1 かつははらをたての給へば、ともかくも申給はで  
上四九オ 2 たち給ふ。母うへ御まへにまいり給へば「さても  
上四九オ 3 ありし人のおはせ\*ぎんなるこそ心ぐるしけ  
上四九オ 4 れ」とのたまへば「『殿の御かたより、きびしく  
上四九オ 5 御つかひの侍』とて出にし。をさなきものゝ侍れば、  
上四九オ 6 『たとひまかりかよふところありとも、いづく  
上四九オ 7 にもをき侍らん』とこそおもひつれ。はゝなる人  
上四九オ 8 もそひて侍りつる。なをくしき\*きはの人に  
上四九オ 9 ては侍らざりつるを、いかにまろを『きやうく  
上四九オ 10 なり』とおもひ侍りつらん。『よにあれ』とおぼせ  
上四九ウ 1 ずとも、人のほうなればしらぬことにて侍  
上四九ウ 2 ものを」とて、うちうつぶきてなみだをま  
上四九ウ 3 ぎらはし給へば、母上はともにかくばかりかな  
上四九ウ 4 しくおぼしたり。御だいなどくれ\*てひしめ  
上四九ウ 5 きてまいるもうるさくて、をしのけてつく  
上四九ウ 6 くとながめおはするに、人くも心ぐるしく  
上四九ウ 7 みたてまつる。わか君\*おはして、れいの、「母よび

上四九ウ 8 ておはせよ」との給へば、とにかくにかきみだれ  
上四九ウ 9 て我御かたにおはしてなき給ふ。『かく心ならぬ  
上四九ウ 10 さはりあり』ともしらで、たゞわが心の、『かはり  
上五〇オ 1 たるぞ』とこそおぼしつ\*らめ。いづくにいかにして  
上五〇オ 2 おはすらん。たとひよをそむくとも、『いづくに  
上五〇オ 3 あり』としられでは、むりやうごうをふるとも、  
上五〇オ 4 心のすみ侍ことあらじ」とおぼせば、やがても  
上五〇オ 5 そむき給はず、大将殿へも、かきたえておはせ  
上五〇オ 6 ず、たゞ神仏にも、「あり所しらせてたびたま  
上五〇オ 7 へ」とのみのり給ふ。かのひめぎみは、たゞひに  
上五〇オ 8 そへて御ゆをだにのみ入給はず、「ざりとも  
上五〇オ 9 中納言の心ざしは、むげにかはらじを、せき  
上五〇オ 10 もりのかたきにこそ」とおぼせば、「いまははや、  
上五〇ウ 1 『なき』とやしり給ふらん」と、ひるよなくおぼし  
上五〇ウ 2 こがれたり。あるとき、な\*いし、上の御ぐしけづ  
上五〇ウ 3 りにまいり給へるに、うちしめり、なにとなき  
上五〇ウ 4 御物がたりのつゐでに、「こゝに物思ひなぐさまで、  
上五〇ウ 5 しづみふして侍るわかき人のさまをみたまへ  
上五〇ウ 6 あつかひ侍。身づからとしもよりにて、宮づかへも  
上五〇ウ 7 くるしくさぶらふに、『かはりにも』と思ひ侍を、み  
上五〇ウ 8 づからはたゞ『あまになりて』とのみの給へども、  
上五〇ウ 9 みるめのあた\*らしさに」\*と、のこりゆ\*かしげに  
上五〇ウ 10 そうし給へば、うちはらはせ給て、「そのもの  
上五一オ 1 おもひこそむつかしけれ。とくまいらせよ。ま

上五二オ二 ろなくさめなば、すこしおもひわすれもぞす  
 上五二オ三 る」との給へば、「まづむつかしきことのすぢに  
 上五二オ四 おぼしなすなん。たゞいまはいかなる御なぐさめ  
 上五二オ五 にもよるまじげなるさまにて侍」と申せば、  
 上五二オ六 「まことにゆかし」とおぼしたり。そのうち、うへ  
 上五二オ七 へのぼるたびに、「さておもひはすこしうすく  
 上五二オ八 なりぬるにや。いかなることを、さまでは思ひこ  
 上五二オ九 がるらん。すこしきゝてことはらばや」と、せち  
 上五二オ一〇 へのたまへば、なひしもかたじけなく「ふとお  
 上五一ウ一 もひ出るまゝにそうしだして、この御さまも  
 上五一ウ二 ひにそへてしづみたまへば、いかなるべきにか」と  
 上五一ウ三 心ぐるしくて、きちやうをしのかけて、「などさ  
 上五一ウ四 のみかくはおぼしいるぞ。『人のつらきは』とこそ  
 上五一ウ五 申侍。なか／＼やすくおぼしなして、すこし  
 上五一ウ六 はれ／＼しくおはせよ。おほいどの＊きき、  
 上五一ウ七 給はんにも、すこしかひあるさまにてこそよか  
 上五一ウ八 らめ。中納言殿もまことに御心ざしかはらず  
 上五一ウ九 は、『かやうのよすがあり』としらせ給はぬこと  
 上五一ウ一〇 あらじに、たづねこそし給らめ。ともかく  
 上五二オ一 いぶせき、うつろふかたのふかきこそ侍らめ。さ  
 上五二オ二 のみ『むつかしき』とおぼししづまで、物なども  
 上五二オ三 み入給へ。上に『しか／＼の人侍』とそ＊うし侍れば、  
 上五二オ四 『とくまいらせよ』とのみおほせらるゝ。そのかけ  
 上五二オ五 くしきすぢならばこそあらめ。身づからこそ  
 上五二オ六 より御いとまゆりがたきに、かはりにまいり  
 上五二オ七 給ひて、すこしなくさめ給へ」とて、なみだに  
 上五二オ八 ぬれたる御ぐしときくだし、＊なきしほれ給へる御  
 上五二オ九 ぞ、かへなどするに、「宮づか＊へならはねば、すべき  
 上五二オ一〇 心ちもせず、又いつしか『よにあり』ときかれた  
 上五二ウ一 てまつらんも、中納言殿のおぼさんもつゝまし。  
 上五二ウ二 人めみてもなくさむべき思ひならばこそあらめ、  
 上五二ウ三 うきにまぎれぬこひしさの、ぬれば夢さむ  
 上五二ウ四 ればおもかげのうちそひて、しのぼんとすれど  
 上五二ウ五 もしのばれぬを、かくてはいくほどあるべき心  
 上五二ウ六 ちもせねば、おこなひをもせばや」とのみおぼせ  
 上五二ウ七 ば、な＊いしの給ひなくさむるもうらめしくて、  
 上五二ウ八 たゞひきかづきてふし給へるに、母上も、み給  
 上五二ウ九 へあつかひて、「ないしのおぼさん所も、かつは  
 上五二ウ一〇 かはらいたくおぼしめさぬか。人のつらき  
 上五三オ一 をば思ふこそおこがましけれ」と「せめてわすれ  
 上五三オ二 給ふやうに」ととかくの給へども、それにつけ  
 上五三オ三 て＊も  
 上五三オ四 それにつけてもはづかしくかなしくて  
 上五三オ五 たゞなみだならはながれたまはず。上はこの  
 上五三オ六 こときこしめしてより、「いかに／＼」とせめ  
 上五三オ七 給へども、ないしは「たゞ千びきのいしをう  
 上五三オ八 ごかす心ちのみし侍」と申せば、「いとゞいぶせ  
 上五三オ九 きことかな」とて身づからわたらせ給ふ。ゑん

上五三才10 だうなどまいるをとすれば、ないしもかた  
 上五三ウ1 じけなくて、母うへもかくれ給ふ。みきちやう  
 上五三ウ2 をしやりて御らんずれば、いよくきぬひき  
 上五三ウ3 かづきておはするに、「こはいかに、いとめづらかな  
 上五三ウ4 ること\*かな。身づからまいりなば、よろこびに  
 上五三ウ5 おき給ふこそせぎらめ、いとどうづもれ給へる、  
 上五三ウ6 びんなのわざや」とて、ひきのけたまへば、かみの  
 上五三ウ7 ゆくゑもしらずひれふして、いとゞしのびがたげ  
 上五三ウ8 になき給ふを、かきをこし給ひてかほを御らん  
 上五三ウ9 ずるに、「なきあかみたる」とおぼえて、色ははな  
 上五三ウ10 ぐとしろく、ひきもつくろはぬわけめ、かん  
 上五四才1 ざし、あてやかに、うつくしきこといふよしも  
 上五四才2 なきを、うちおどろかれ給ひて、「いまゝで、これ、  
 上五四才3 \*おなじ雲井のうちにありながら、みざりつる。  
 上五四才4 我をこたり」と、くやしきまで御心うつろひ  
 上五四才5 て、「なに」とを、さまざまふしいるぞ。きゝて、もろ  
 上五四才6 ともにおもはばや」との給へば、いとゞはづかしく  
 上五四才7 てなみだのこぼれおつるを、御袖にてうちはら  
 上五四才8 ひ、「こはいかに、まろをさへなきぬらし給ふよ。  
 上五四才9 いんなる物を」とて、とにかくになぐさむばか  
 上五四才10 りの給へども、露もなぐさむけしきも  
 上五四ウ1 なきをおぼしわづらひて、「いかなる人をこひ  
 上五四ウ2 たまふらん。』かたおもひぞ」とよ。もろこひならま  
 上五四ウ3 しかば、かばかりしづみたまはじ。おもはぬ人を

上五四ウ4 思ふは、我のみくるしき」とおほせらるれば、「この  
 上五四ウ5 ことしろしめしたるにや」と心のおくにかた  
 上五四ウ6 はらいたくて、かほをひき入てなき給へば、「さ  
 上五四ウ7 てや、あな心ぐるしや」とて、ひもくるれば、たち  
 上五四ウ8 さらせたまひても、なを「いかにすべき」と  
 上五四ウ9 おぼしわづらひて、ないしをめて、「こ  
 上五四ウ10 の人にめはなつな。いみじく物おもひたるさ  
 上五五才1 まあるを、はさ\*みなどとり\*かくせ。たゞ

下巻

- 下一才1 いまはいかなりともなぐさむべきけしき\*も  
下一才2 なぎを、よくいひ\*をしへよ」とおほせら\*るれば、「さ  
ればよ、  
下一才3 御心のうつろひにけり」とみたてまつりて、「『身づか  
らの  
下一才4 なぐさめにはよらじ』とみたてまつるを、なを御なぐ  
下一才5 さめにこそ」と申せば、「なにごとをかくはおもひほれ  
たらん。  
下一才6 そこにしらぬことあらじ。きかせよ」との給へば、  
下一才7 「心に入て思ひ侍ることも侍らねば、身づから  
下一才8 又とはずがたりもなにかし侍らん」とそう  
下一才9 するに、そのあした、中納言あまりのおも  
下一才10 ひになぐさめかねて、うちわたりにたゞずみ  
下一ウ1 ありきて、ながめをもするほどに、霜月ばか  
下一ウ2 りのことなるに、ゆき、あられふりてあるゝひ、ふゑ  
下一ウ3 うちふきておはすれば、御かどきこしめして、  
下一ウ4 「きんつねか、こなたへ」とめせば、まいり給ふ。りん  
下一ウ5 だうのうきおりもの\*ゝなをし、いとほれやかに  
下一ウ6 ひきつくろひ給へども、身づからのけしきいつと  
下一ウ7 なく物おぼしたるさまにて、ともすればながめ  
下一ウ8 うちしつゝ、なみだをうけ給へば、御門、「あやし  
下一ウ9 く、このごろはもの心ぼそげにみゆるを、なをたゞ  
下一ウ10 にはあらじ。なにごとならん」とおぼすに、

- 下二才1 「もし、この心をつくす人のことをやおもふらん。  
下二才2 よはまはればひとつなるを、もしいかやうなること  
下二才3 やあらん。大将のむすめに、このごろとなりてかよふ  
下二才4 なるを、さやうのみだれにおもひうつして、このな  
下二才5 いしをしるべにやまよひ出つらん。もしさもあ  
下二才6 らば、たがひにおもふらんはことほりぞかし。われ  
下二才7 おんなならましかば、中納言には、いかなるゑぞが  
下二才8 しままでもしたひゆくべき心ちこそすれ。又この  
下二才9 \*人も、おとこのこゝろ、まよひぬべきさまなれば、  
下二才10 いづかたも\*わりなき心の物おもひもことほりに  
下一ウ1 こそ。まろがいふことをなびかぬも、これにふかく  
下一ウ2 心もとゞめけるにこそ」とおぼしよるにも、ねたき  
下一ウ3 ものから、あはれに御らんず。「いみじくこそおもひ  
下一ウ4 やられけれ。さてしも、みまほしきさまのしたる  
下一ウ5 こそ\*わりなけれ」とて、ほ\*ほゑみ給へば、「心のう  
ちに思\*ふ  
下二ウ6 ことのあらはにみゆるにや」といとゞもよほされて、  
下二ウ7 なみだのおちぬれば、「さてやいかさまにも、ものおもふ  
下二ウ8 にこそ」と心ぐるしく御らんじて、「こひしき恋  
下二ウ9 の」と御くちずさみ給ふ御けしき、いとなまめかしく、  
下二ウ10 けたかくおはしますを、たがいにうつくしく御らんじ  
下三才1 けり。御ふゑそゝなかし給へば、ばんしきてうに吹たて  
下三才2 給ふ。とうの中將、ひやうゑのすけ、ごん大納言なども  
下三才3 さぶらひ給ふ。色くくに吹たてゝあそび給ふに、みかど

下三才 4 も御ことめして、なつかしくかきならし給\*ふ。

下三才 5 このしのびねのきみは、きゝ給ひて、中納言のふゑの  
ねと

下三才 6 しり給へば、そゞろに物がなしく、おなじくもゐ

下三才 7 のうちながら、しられぬことの心うくて、ひきかづき

下三才 8 てふし給へり。ことはてゝ、御かど、れいのわたらせ

下三才 9 たまひて、「たゞ人のものゝねどもの中に、中

下三才 10 納言のふゑのねほど、なつかしきはなかりつる。

下三才 1 もしきゝたまふことやありし」とのたまへば、

下三才 2 「さればこそ、このことをあしくしろしめしける

下三才 3 にこそ」といとゞはづかしくて、物も申さでうつぶ

下三才 4 き給へば、なを「きゝ給へりしにや」\*とたびくゝとひ

下三才 5 給ふに、はづら\*はしくて、「いかでか、たゞいまなら  
では」と

下三才 6 ばかりきこえ給へば、「笛のねは、いまはじめてき

下三才 7 き給ふとも、ありさまはみたてまつり給ひし

下三才 8 か」ととひ給へば、とも\*かくもきこえたまはで、う  
つぶきて

下三才 9 さぶらひ給へば、「このたびまいりなば、みせたて

下三才 10 まつらんよ。御心はしらず。ま\*ろは、女ならましかば、

下四才 1 おなじはらからなりとも、かならずかよひぬべき

下四才 2 さまのしたるを」など、いろくゝにたはぶれ給へば、むつ

下四才 3 かしくて、「よはうき物なりけり。いかなることにても

下四才 4 夜のまのほどにきえもうせなばや」とおもひつゝけ

下四才 5 給ふに、しのぶとすれども、なみだほろくゝとおつ

下四才 6 れば、「『さればよ。いかにもこのゆかり』と思ふ」な  
どいよ

下四才 7 くゝ心え給て、「中納言は、このごろいみじく物おも

下四才 8 ひたるさまのしるきは、もし御ことをや。おもひ、もし

下四才 9 さもあらば、『おなじくもるにあり』とばかり、文やり

下四才 10 給へ。まろつたへん」など、うち出たのたまへば、い  
よく

下四才 1 せきかねたるを、ねんじたるさまの、いろ

下四才 2 しるければ、「あふさかのせきもり」と、くちず

下四才 3 さみ給\*ひて、とかく心をと給へども、露なぐ

下四才 4 さむべきさまなし。「ともすれば、このしのびね

下四才 5 こそむつかしけれ。すこしはれぐしくもて

下四才 6 なしてみえ給へ。いとまがくゝしき御さまは、みる

下四才 7 われさへあぢきなくこそおぼゆれ」などの給ひて、

下四才 8 内侍をめて、「この人のけしき、ひかすふるまゝ

下四才 9 に物おもひのはるゝけしきも\*なきは、いと

下四才 10 ふびんなることかな。もし中納言などこそ『\*わり

下五才 1 なくおもふ人のあり』ときゝしに、また大しやう

下五才 2 のあたりへゆきかよふなる、さやうのことゆへあ

下五才 3 くがれ出たる人か。いかにもまろがおもひ合すること

下五才 4 『たがはじ』となんおもふ。なをまろになかく

下五才 5 しそ。\*そこにしらぬことあらじ。へだてありて

下五才 6 あらがふこそうたてけれ」などまめやかにとひ給へば、

下五才7 「さのみかくしたてまつるべきことかは。かくおほせ

下五才8 らるゝもかたじけなくてや、ありのまゝにそう

下五才9 せまし」とおもへど、なを「たゞいまは\*いとゞおし

かるべきこと」ゝおもひかへして、「いましづかにとひ侍らん。物申せども返事をはかゞしくすることの侍らぬまゝに、ましてそのいかなりしことゞも、あきらかにうちかたらいなどいかゞ侍るべき。たゞ人にしのぶべきことばかりきゝ侍る」。申まぎらはしつゝさぶらひ給ふ。しのびねの君はよるひるおもひしづみて、まばやかに、こゝちもわびしくものを御らんじいるゝことのなければ、身もよはくなりければ、「かくてはいかゞせん。ありしさがにわたして、あまになさせ給ひてよ。かくおもひのほかなるくものうへに、心ならずもありへば、もし中納言などもきゝ給て、『心ゆきたるみやづかへなどにもさし出たる』と、心かろくおもひたまはんがつらき心ながら、はづかしくもあるを、しばしもながらへんほどはねんぶつをもとなへて、心みだらず侍ん」となきしづみての給へば、ないしも、「心ぐるしげにおぼすらんもことほりの御おもひなれども、さりといかゞすべき、我心といでたち給ふらんとも、よもおぼさじ。たゞいまはよろづかひなき

下五才10 ことにおぼしなして、上の御らんじ侍らん

下五才1 時、さのみしづみて、なみ\*えたてまつり給ふぞ。『いと

下五才2 いたしげなきこと』ゝおぼさずや。いまはたとへ身

下五才3 づから心ゆきて、いだしだてまつるとも、うへの

下五才4 『よし』とおぼしめすまじければ、この身もめん

下五才5 ぼくうしなひぬべし。いとびんなきわざ」と、「げに

下五才6 も」と思ひつゝこしらへ給ふとも、『よにあらん』と

下五才7 おもはねば、人のかたじけなきこともしるまじ

下五才8 きを」といよくふししづみ給へば、母うへも、「いと

下五才9 かたはらいたきこと」ゝいさめ給へども、心のうち思ひ

下五才10 やるにかなしくて、なきおはす。中納言のかきたへて

下六才1 二条へもおはせず、たゞありしふる里にむ

下六才2 なしきとこの上も、「そのあと」ゝおもへばなつか

下六才3 しくてなみだならではひまもなし。わかぎ

下六才4 みも\*こ\*いしけれども、さし出給へるとのゝ、「かし

下六才5 こへおはせず」とてわづらはしくの給へば、むつかし

く、

下六才6 母上の御かたばかりへまいり給へば、いといたうや

下六才7 せあをみ給ひて、御だいなどはうへのてづからま

下六才8 かなふやうにてすゝめ給へども、さらにけしきば

下六才9 かりにてうち\*をきたまへば、心ぐるしくて、「ありし

下六才10 人の御ゆくゑはいまだしらせ給ひ候はぬか」ととひ

下六才1 給へば、「たづね侍ることのなければ、いかにかしり

下六才2 侍らん」と、いひもやり給はず、やがて\*御なみだの

うきければ、わか君もつくぐゝとまばり給ひ

下六才3 て、「はゝぎみはいづくへおはしけるぞ、あこを

下六才4 ばすてゝ」とうつくしげにのたまへば、「まろがなからん

下六ウ5 おりも恋しかるべきか」との給へば、うちうなづきて  
下六ウ6 おはするかほの、たゞ「恋し」とおもふ人に、たが\*ふ  
ところ

下六ウ7 もなければ、「あはれ、よしなきみちのほだしかな。

下六ウ8 よにあるべき身にもあらぬを」と、とにかくにむね

下六ウ9 のこがるゝぞかなしき。せめての心やりに、ひき

下六ウ10 つくろ\*ひて、うちへまいり給へり。雪かきくれてふ

下七オ1 りければ、御まへに御あそびあるべきにて、きん

下七オ2 つね、たづね\*おはしますほ\*となりければ、御けしき

下七オ3 よくて、「けふのそらはいかゞ」とてうち御らんずれば

下七オ4 ありしにもあらずやせくとして、いとゞな

下七オ5 まめかしくうちほひたるまみ、くちつきなど

下七オ6 を、御めとゞめてまぼられ給ふ。「これにすこしもな

下七オ7 れそめたらんおんなは、かならずしうはとまりなん」

下七オ8 いろいろめかしき御心におぼえて、とをすこし

下七オ9 御らんじいだして

下七オ10 「人しれずこひをしぐれのはつゆきは

下七ウ1 なみだの雨にきえやわたらん」

下七ウ2 うちずむじ給て、中納言のかたをみおこ\*させ給へる

下七ウ3 御まじりの物はづかしげにすこしうちゑみ給

下七ウ4 へるを、いかにも「わが思ふ心のしるくみゆるにや」と

下七ウ5 かほうちあか\*み心ちして、きゝもしらぬやう

下七ウ6 にてさぶらひ給ふ。御あそびはてゝ、れいのしのび

下七ウ7 ねに、「中納言の『いつ』といひながら、ことさら物お

下七ウ8 もひたるけしきのみえつるを、おもひあはするこ

下七ウ9 とのすぢ、おもひいでらるゝを、うらみなくかたりて、

下七ウ10 なぐさみ給へかし。まろは物\*いひせぬものぞよ。『人

下八オ1 にかくせ』とあらば、いとよくかくしてん。ものかくし

下八オ2 するは、つみふかうなる物を」など、うるさきことゞも

下八オ3 たはぶれ給へば、れいの、めをもみあ\*はせたてまつ

らず。

下八オ4 かくて、人々はまかで給へるに、中納言のたちとゞまり

下八オ5 て、ながめありき給ふに、しよきやうでんのあたり

下八オ6 をなにとなきやうにてきゝ給へば、人の物いふこ

下八オ7 ゑのしのびくゝにきこゆれば、あやしくて、「御

下八オ8 かどの、このごろは、『たがまいる』ともきこえぬに、

この御

下八オ9 つぼねへしげくゝとわたらせ給へる。いかなるかう

下八オ10 などの御心にしみたるばしき\*ぶらひたまふ

下八ウ1 か」とあやうくて、やをらうちきゝ給へば、上の御こゑ

下八ウ2 にて「物おもふは身のくるしき物ぞ。このしのび

下八ウ3 ねのつきせぬこそ、あまりいぶせきわざなれ。よ

下八ウ4 し、まろをば『にくし』と思ひ給ふもことほりぞ。

下八ウ5 おもひあはする人のたがはずは、げにいかばかりの人

にか

下八ウ6 心をつくし給はん。みるまゝにあいぎやうづき

下八ウ7 うつくしきことのならびなきを、丸、女ならましかば、

下八ウ8 じゃうどのむかへなりとも、この人の『みすてゝはな

るべ

下八ウ9 し』とはおぼえぬさまのしたるを、なをいかなりしこ  
下八ウ10 と、かくあくがれ給ふぞ。さりながら、かたおもひ

はよし

下九オ1 なきこと。まろは、さやうにものはおもはせてま

下九オ2 つるまじきを」と、つぶく〜と御こゑのきこゆれば、

下九オ3 「なをあやしのわざや」とおもひて、ひまをもと

下九オ4 め給ふに、はしらのそひにむしのくひたるあな

下九オ5 のあれば、「もしやみゆる」とのぞきたまへば、さとは

下九オ6 上のおはします御そばのおくのかたに、こうばいの

下九オ7 こくうすきかさなり袖ぐち、\*あを\*きひとへ、あかき

下九オ8 はかまのそばに、かみのすそのうちひろごりたる

下九オ9 やうにて、ほのぐ〜みゆる。たれとはさだかにみえず、

のた

下九オ10 まひつゞくることの葉あやしきにむねうちさは

下九ウ1 ぎて、なをたちのかずまほり給へば、この人をうへ

下九ウ2 の御ひぎにかきよせて、「なをかく心つらきは、かへりて

下九ウ3 いとふびんなるわざかな。いまだかく人にく

下九ウ4 まれてならはぬ心にや、めざましき心こそすれ」

下九ウ5 とて、みだれかゝりたるかみをかきのけ給へば、きぬ

の袖

下九ウ6 かほに\*をしあてゝしのびがたげになくさまの、「まがふ

下九ウ7 べくもあらぬを」とおもふに、むねはおとにもきこえ

下九ウ8 ぬべくさはぎて、なみださへすゝみいづるを、なを

下九ウ9 「ひがめにや」と、\*をしあてゝみるに、「かほに袖を」

とみる

下九ウ10 に、ひきもはなたぬを、「こはいかに、『とふにつらさ

のま

下一〇オ1 さる』とかや。ことはりぞ」とて袖をひきのけ給へば、

下一〇オ2 なきあかみ給へるかほの「たゞそれ」とみなすに、さら

下一〇オ3 にはんかたなくあさましくも、うれしく

下一〇オ4 もおぼえて、しばしたち給へども、露なびきたてま

下一〇オ5 つるけしきもなし。やゝありて上はかへらせおは

下一〇オ6 しますが、又たちかへりて「い\*はんかたなきさまは、

身づ

下一〇オ7 からさへうらめしくこそおぼゆれ。『かく人におれした

下一〇オ8 がふ人はあらじ』と思ふ」など、あさからずおぼし

たる

下一〇オ9 御けしきしるければ、ほのかにみゆる\*おもかげの恋し

下一〇オ10 ければ、又たちよりのぞきたまへば、ひれふして、

下一〇ウ1 かみのゆくゑもしらず、なき給へるさまの、やがて

下一〇ウ2 うち入てもなぐさめまほしくおぼせども、人め

下一〇ウ3 つゝましくて、みつゑといふみずいじんに、御すゞり

下一〇ウ4 めして御たゝうがみに、あさましきことはなかく

下一〇ウ5 きこえんかたなくて、

下一〇ウ6 「世にあらん心ちこそせね行ゑなき

下一〇ウ7 月のすみかをそことみしより」

下一〇ウ8 かきて、ひのくるゝも\*をそくて、たそかれどきにたち

- 下二〇ウ 9 より給て、中納言のきみとたづね給ふ。夢にも  
 下二〇ウ 10 おもひよらぬことなれば、ふといでたるをひかへて、  
 「やうて」
- 下二一才 1 もいひやるかたなき御心のつらさは、たとへんかた  
 下二一才 2 なし。さばかりいかなることをおぼしよるとも、  
 下二一才 3 まろにしらせで、あはたゝしき御ふるまひあき  
 下二一才 4 ましくこそ聞え\*をきしが、さて、いかなる  
 下二一才 5 しるべにて、これにはわたらせ給ひけるぞ」とて  
 下二一才 6 なき給へば、いとおしくて、「とのゝ御かたよりきび  
 下二一才 7 しき御つか\*ひ侍しかば、いかゝかたときもわたら  
 下二一才 8 せおはしますべき。『うちなどにさぶらひ給ふ』とも  
 下二一才 9 しりたてまつりたらば、御せうそこもきこゆべかり  
 下二一才 10 しかども、『大将殿にわたらせ給』とうけ給しかば  
 下二一ウ 1 いかでおどろかしもまいらせおはしますべき。  
 下二一ウ 2 母上の御やすが有て、この御つぼねへしのびいらせ  
 下二一ウ 3 給て侍を、うちのほのかにみたてまつりて、なのめなら  
 下二一ウ 4 ずおぼしいらるれども、身づからの御けしきは  
 下二一ウ 5 いつとな\*うはるゝよなく、『ありしさがにさまをもかへ  
 下二一ウ 6 てあらん』とのみなきこがれ給ふ。ありしまゝかき  
 下二一ウ 7 たえて物もみ入給はず、みたてまつるもかなしく」  
 下二一ウ 8 とてこれもなきけり。「はかなかりけることかな。さて  
 下二一ウ 9 もかくておはしますまば、いとめでたかるべき御ことよ、身  
 下二一ウ 10 づからこそいかなる野山のすゑにもとぢこも\*らぬ。  
 下二二才 1 このひる、おもひかけず、みたてまつりつるに、いまだ
- 下二二才 2 わすれ給はぬ御心のほどは、うれしくも、いと  
 下二二才 3 おしくも、おもひたてまつれども、上のかばかり御心に  
 下二二才 4 しみそめたらんことの、いかにものがるべき御ことなら  
 下二二才 5 ねば、しばしこそおぼしこがるゝとも、さてこそ  
 下二二才 6 おはせんずらん。おなじ雲のうちに、御いき  
 下二二才 7 \*ほひ、ありさまを、みきゝたてまつらんも『いかな  
 る御  
 下二二才 8 こと』ゝ思ひたてまつるも、むねいたかるべし。又  
 下二二才 9 世にあることかくれなければ、かならず人もいひ  
 下二二才 10 つたへんことの、をこがましきも、さることにて、  
 下二二ウ 1 うきにまぎれで、恋しくおはせんこそ心う  
 下二二ウ 2 けれ。人づてならで、いまひとたび、このほどのいぶ  
 下二二ウ 3 せきははるけ侍るまじきかとよ。い\*かなるところに  
 下二二ウ 4 も、立しのびておはせんを、かくみつけたてまつり  
 下二二ウ 5 たらば、いかにひとへにうれしくて、おやの心を  
 下二二ウ 6 もとりたてまつりてあるべきを、かく雲上の御  
 下二二ウ 7 すまゐにて、うへの御心にしみ給へることなれば、  
 下二二ウ 8 いかにおもふとも、かひあるべきことならず。このこ  
 下二二ウ 9 とをおぼしめしあはせて、つねに『物おもふ』  
 下二二ウ 10 とのみ、ほのめかしておほせられけるに、いかに  
 下二三才 1 おこがましく御らんじけん」とかつは心ちあし  
 下二三才 2 く、そゞろになみだぞつきせざりける。「まづ  
 下二三才 3 この文をたてまつりて、御返事とりておは  
 下二三才 4 せよ」とあれば、れいのひれふしておはするを

- 下一三才5 おどろかしたてまつれば、「れいのむつかしき  
 下一三才6 事」とおぼえて、きゝも入給はねば、「中納言どの  
 下一三才7 の『これにおはします』ときこしめしける御  
 下一三才8 ふみたてまつらん」と申ければ、おきあがりて  
 下一三才9 み給へば、まことにあり。夢うつゝとも\*思ひわけられ  
 下一三才10 ず、むねうちさはぎて、せんかたもなし。「まづ  
 下一三才1 御返事とくく」ときこゆれば、我にもあ  
 下一三才2 らずかきたまふ。  
 下一三才3 「うはのそらにあくがれいでし月影を  
 下一三才4 そこはかとなくかげやたえなん  
 下一三才5 心よりほかなるすまゐは、ひにそへて心うく」と  
 下一三才6 ばかりかきたまふ。「このごろは『御心をとらん』とにや、  
 下一三才7 よるひる上のわたらせ給へば、いかゞすべき。おもひ  
 下一三才8 わづらふに、こよひはこうきでんのまいり給へる  
 下一三才9 よしきこゆれば、よきひま」とおもひていれ  
 下一三才10 たてまつる。たがひの御心のうち中くおし  
 下一四才1 はかるべし。かつはうらみ、かつはなぐさめ、なみだ  
 下一四才2 のさきだつことかぎりなし。「おはせざりし  
 下一四才3 ひより、いかなる山のおくまでも、ひきこもり  
 下一四才4 たく侍しかども、『いづくに、いかにしてすみ給ふ  
 下一四才5 らん』と御ゆくゑのゆかしさに、いまゝで世に  
 下一四才6 たちまふ心のうちは、『いかばかりか』とおぼしつる。  
 下一四才7 されども、かくてさぶらひ給へば、御ためはいとめで  
 下一四才8 たかるべき御ことにもあるかな。かゝる御しゆく  
 下一四才9 せにてこそ、心うき事も、とのゝおぼした  
 下一四才10 まひけめ。なにごとくも、『この世ひとつならぬ事』  
 下一四才1 とおぼ\*えて、「いまは上の御心にしたが\*ひたてま  
 下一四才2 たり給へ。ゆめくうらみとおもひたてまつる  
 下一四才3 べからず。あこが事をおぼしはなたで、御心  
 下一四才4 にかけさせたまへ。身づからはこんじやういくほど  
 下一四才5 ならぬことなれば、はちすの露をもあきらかに  
 下一四才6 玉とみがくまでこそかたからめ。心のかぎりはお  
 下一四才7 こなひて、つゝにすゞしきみちにおもむき\*なば、九  
 下一四才8 ほんのうてなには、おなじはちすのぎをも待  
 下一四才9 たてまつらん。こんじやうのげんぎんはこよひ  
 下一四才10 ばかりこそかぎりならめ。『なにやかや』と\*物おぼし  
 みた  
 下一五才1 れでさぶらひつき給へ。かくまでち\*かづきたてま  
 下一五才2 つるも、いとびんなきことなれども、いまだ御心と  
 下一五才3 けぬ事とみたてまつりしかば、『いま一たびはな  
 下一五才4 にかくるしからまし』とおもひ侍るぞ。いかなる野  
 下一五才5 のすゑにても御ことわすれがたきに、ねんぶつも  
 下一五才6 さはりあるべきこそ、かねてより心うけれ」といひ  
 下一五才7 つゞけてなき給へば、ましてひめぎみは、いかでか\*か  
 下一五才8 なしくおぼさであるべき。なみだにむせびて、も  
 下一五才9 のものたまはず。ぶつみやうのとの暮にも  
 下一五才10 なれば、うちわたりも花やかに、いまめかしき  
 下一五才1 ことおほく、まぎるゝにも、御かどはたゞ、このしのび

- 下一五ウ2 ねのきみとのみ、御心をつくさせおはします。  
 下一五ウ3 中納言にしたられ給しよりは、いとゞ、上のおはし  
 下一五ウ4 ますおりも、おきだにありが給はず。\*ないしなどは  
 下一五ウ5 「いとびんなきことなり。うちとけみえたてまつり  
 下一五ウ6 給ふ事なくとも、けしきをだに、よのつねしく  
 下一五ウ7 もてなしておはせよ」とのたまへども『世にあらん』  
 下一五ウ8 とおもはゞこそ、びんなきこと\*もあらめ」とおぼえ  
 下一五ウ9 て「いかなるひまもあらば、かみをそぎおとして  
 下一五ウ10 \*ぼや」とおぼして、中納言のきみといふ女房に「この  
 下一六オ1 かみのさのみおひゆくがむつかしきに、『すそをそ  
 下一六オ2 ぎてぼや』とおもふに、はさみもいづくにあるやらん」と  
 下一六オ3 なにとなきやうにのたまへば、「おぼすやうにあるべ  
 下一六オ4 し」と心えて、「御はさみはわかぎみの御れうにとら  
 下一六オ5 せ給しかば、さぶらはず。みづからはもち侍らず」と申  
 下一六オ6 せば、「いとくちおしき、たれをたのむべきかたも  
 下一六オ7 なきよなめり」とかなしくて、「夜のまのほどにき  
 下一六オ8 えうせぼや」とおぼえて御ゆをだにみ入給はね共、  
 下一六オ9 かぎりある御命の、心にまかせぬことのみうら  
 下一六オ10 めしくて、おぼしこがれたり。上のわたらせ給  
 下一六ウ1 ふときは、いよ／＼「うつくしげなるさまをもみえ  
 下一六ウ2 たてまつらじ」と、かみ、かほの行ゑもしらず、かゞ  
 下一六ウ3 みにむかふこともたえてしたまはず、やつれ給へ  
 下一六ウ4 ども、中／＼うつくしきさまのたぐひなければ、い  
 下一六ウ5 かにやつれ給ふとも、おぼしうとむことぞなかり  
 下一六ウ6 ける。中納言は、うちへまいりて上をみたてまつ  
 下一六ウ7 るにつけても、「思ひよらざりける御すくせかな」と、  
 つく  
 下一六ウ8 ぐとみたてまつるも、おそろしくて、ほかさまへ  
 下一六ウ9 みやらるゝ。としあけぬれば、春のひかりはいづ  
 下一六ウ10 くを御らんずるもめでたくのどやかなるにも、  
 下一七オ1 御心ひとつには「ことしばかりこそ」とおぼせば、  
 下一七オ2 なに、つけてもめのみとゞまりけり。このひめ君  
 下一七オ3 のおはせざりしききに、なにとなくときぐ  
 下一七オ4 物をものたまひし院のじゞうのないしなど  
 下一七オ5 も、そのゝちはたゞ大かたのなきけばかりにて、よる  
 下一七オ6 などとまり給ふことはなかりしも、「うらめしく  
 下一七オ7 おもふらん」とあはれにて、だいばんどころにて  
 下一七オ8 人もなくうちながめ給へるに、思ひかけずいでき給  
 下一七オ9 へりければ、ひきとゞめて、「いみじうこそうとみ給  
 下一七オ10 けれ。などやらん物心ほそくて、世にたちまふ  
 下一七ウ1 べくもあらぬを」など、かくもとはせ給はぬを、うらみ  
 下一七ウ2 給へば、「たががたのつらさになしてか」とてうち  
 下一七ウ3 わらひたるもにくからず。「しのばれん」とやしぼし  
 下一七ウ4 たはぶれて、又しよきやうでんのかたのめんどう  
 下一七ウ5 になたゞみて、ふゑをいとおもしろくふきたまへば、  
 下一七ウ6 上はれいのこゝにおはしまして、つき\*せぬ御けしき  
 下一七ウ7 をこしらへかねさせおはしますに、「このふゑのねは  
 下一七ウ8 『たが』とかき、給へる」とせちにとひ給へども、なに

下 一七ウ 9 かいら\*へ給はん、うちうつぶしておはするに、御か  
どは

下 一七ウ 10 中納言の「しりたり」ともおぼさで、「こなたへ」とめし  
ければ、「いづくへ」との給ふに、「しよきやうでんへ」

と人

下 一八才 2 のきこゆれば、『またおはします』とこそ」とむね

下 一八才 3 うちさはぎてまいり給ふ。みすのちに、かしこま

下 一八才 4 りてさぶらふ。ちやうじぞめのかほりふかき御なをし

下 一八才 5 に、花やかなるさしぬき\*き給て、もの思ひにやせた

下 一八才 6 まへるしも、いふよしもなくうつくしきさまを、

下 一八才 7 上は、このきみをひきよせたまひて、「あれみ給へ。

下 一八才 8 しのび給ふもことほりなるありさまかな。』こゝに

下 一八才 9 あり』となのり給へ」ときこえたまへば、かほの\*を  
かん

下 一八才 10 かたなく、「しろしめしけるこそ」と心うくて、御袖

下 一八ウ 1 よりなみだのつゆぞこぼれける。「\*きんつねは、いみじ

下 一八ウ 2 く心すごげにこそみゆれ。たゞいまのてうしに、

下 一八ウ 3 なにゝても」とおほせらるれば、うちかしこまりて、

下 一八ウ 4 ふえをいとおもしろく吹たまへば、「これにことひき

下 一八ウ 5 あはせてこそあそび給ひつらめ」とて、うへ\*もとき  
ぐ

下 一八ウ 6 しゃうが\*し給。中納言は、みすのうち思ひやるに、

下 一八ウ 7 「さしならびてこそ\*おはすらん」とむねもしづかな

下 一八ウ 8 らず。』こゝにあり」と\*よもしらじ』とこそ、上の  
御らん

下 一八ウ 9 ずらん」と、おこがましくおぼしめすらんも、かた

下 一八ウ 10 ぐ心のさはぎければ、すこしふきならして

下 一九才 1 たちたまふ。「なととくたちぬるぞ。しづ心なきこと

下 一九才 2 のあるにや」とほのめかし給ふさへ、みゝにとゞまり

下 一九才 3 ておぼゆれば「たゞ、とくうき世をそむかん」の御心

下 一九才 4 ぞ、ふかくなり行。みぐるしきほうごどもやり

下 一九才 5 ずて、御ぐそくどもしたゝめて、わかぎみの

下 一九才 6 御れうにし\*をかせたまふ。「正月はなにと

下 一九才 7 なくびんなからん」とおぼしとゞこほりて、

下 一九才 8 「二月に」とさだめ給ふに、ひかずのつもり

下 一九才 9 ゆくもさすがにかなしければ「これも心から

下 一九才 10 ぞや。いかなるところへもひきぐして、い\*はの

下 一九ウ 1 上にも、もろともにすごしなばや」とおぼし

下 一九ウ 2 よるおりもあれど、又「わが身こそあらめ。これ

下 一九ウ 3 ほど上の、なのめならずおぼして、御心を

下 一九ウ 4 つ\*くし給ふに、ひきもぐしなば、おやたち

下 一九ウ 5 をも『よし』とおぼしめすまじき。又わか

下 一九ウ 6 ぎみも『われかくなりぬる』とおぼしめさば、人にも

下 一九ウ 7 なるべきを、かたぐいとおしかるべきこと。たゞ

下 一九ウ 8 我身ひとつをなきになして、のこりとゞまらん

下 一九ウ 9 人々、おやたちをも、心やすくあらせたてまつ

下 一九ウ 10 らん。ひめぎみも、いまはおぼしこがるゝとも

- 下二〇才1 とし月かきならば、わすれ\*てこそ\*おはせめ。『いづ  
 下二〇才2 れの女御』ときこゆともこれにならび給べき  
 下二〇才3 ことかたければ、上も\*をろかにはおほしめきじ。  
 下二〇才4 人々いひつる心さへあはれなり。『わかぎみのいか  
 下二〇才5 なたづねたまはん』とおもふのみぞかなしき。と  
 下二〇才6 かくするほどに、正月もうちすぎければ「大将の  
 下二〇才7 ひめぎみにもいまたび」とおぼしておはしたり。  
 下二〇才8 「けしきとだ\*えの、ことはりすぎたるもうらめし  
 下二〇才9 けれども、うちみるときはうつくしきによる  
 下二〇才10 づのこともわすれて、めづらしくおほゆれ  
 下二〇才1 ども、うきことしらずがほならんも、むげに心  
 下二〇才2 うつくしきさまに」とおぼえて、とみにめもみあ  
 下二〇才3 げ給はず。「たま〜まいりたるに、なかかほ」とて、  
 下二〇才4 そばへよりたまへば、かへりてうらみかけ給ふに、  
 下二〇才5 「身づからは、いふべきこともおぼえず」とて、さす  
 かに
- 下二〇才6 うちわらひ給へるにもいとをしく、「この人も、さす  
 下二〇才7 がに『恋し』とはおもひこそせめ」とおぼすにも、「あ  
 下二〇才8 はれ、かたぐ〜につけても、よしなき物おもひど  
 下二〇才9 ものたねでもしいだし給へるものかな」と心ぐ  
 下二〇才10 るしくて、「まろはしばし物ま\*うでし侍らん  
 下二一才1 ずれば、御いとま申にまいりたるぞ。つねにま  
 下二一才2 いる事こそまれなれども、おなじみやこのうちは  
 下二一才3 心やすくすすすを、いとおぼつかなくこそおも
- 下二一才4 ひたてまつれ。なからんほどはいかゞおぼすべき」との  
 下二一才5 たまへば、「たえ〜に\*をとづれたまふさへ心う  
 下二一才6 きに、とをくはまして」とばかりにてなみだぐみ給へば、  
 下二一才7 「もし人の身なれば、いづくにてもきえうせなば、又  
 下二一才8 みえたてまつらぬこともや」とおもへば、心ほそく  
 下二一才9 こそ侍れ。なにとやらんよの中あぢきなくて、  
 下二一才10 たゞひとりながめありきつるま〜に、\*ひ比たえつる  
 下二一才1 心の\*をろかは、露も侍らぬぞ。うらめしくおほし  
 下二一才2 なすな」とて、その夜はと〜まり給へば、大将殿も  
 下二一才3 うれしくて、「いかゞ」とかしづききこえ給ふ。その  
 下二一才4 夜もさきぐ〜よりもこまぐ〜とかたらひあかし  
 下二一才5 たまへば、ひめぎみもいとあはれにおほしけり。  
 下二一才6 あくるひもと〜まり給ふに、人々も「おほしめし  
 下二一才7 なをしたるにこそ」とめでたくうれしきこと  
 下二一才8 におもひてつか\*うまつる。又のあしたは「いで給ふ」  
 とて
- 下二一才9 「これ、まろがかへりまいらんほど、これに\*をき  
 下二一才10 給へ」とて、霜がれに月いだして、いたくかほり  
 下二一才1 たる御あふぎと、したにめし給へるあやの  
 下二一才2 御ぞのなへらかなるとを\*をきたまへば、たゞ『かぎり』  
 下二一才3 とおほしめす」とはいかでしり給べき、とりておき  
 下二一才4 給ふ。御まへの女ばうたちにも、わかきにもおひ  
 下二一才5 たるにも、こと葉なつかしくかけ給て「物よりかへ  
 下二一才6 り侍らばまいりこん」とて出たまふ。さしもおほ

- 下二二オ7 さぬあたりなれども、「いまをかぎり」とおぼせば、いと  
 下二二オ8 あはれなり。さて、とのへおはしてことさらひき  
 下二二オ9 つくろひ、花やかに御しやうぞくしたま\*ひて、「いま  
 下二二オ10 一たび、上をも、又さらぬ人々をもみたてまつらん」  
 下二二ウ1 とおぼしてまいり給へば、「たゞいまばかり」とおもふ  
 下二二ウ2 に、なみだのおつるをまぎらはしつゝさぶらひ  
 下二二ウ3 たまへば、上は御らんじ「つきせぬものおもはし  
 下二二ウ4 げさの心ぐるしげなる」をも、「ちと物へま\*うづる  
 下二二ウ5 ことの侍る。とくまいり侍らん」とそうし給へば、「いづ  
 下二二ウ6 くぞ。うらやましくこそ」とのたまへば、「くらまのか  
 たへ」  
 下二二ウ7 とばかりにて、あたりしのびがたければ、まぎらはし  
 下二二ウ8 つゝたちたまふ。「さらばとくかへれよ。\*をそくは  
 その  
 下二二ウ9 ほどつれぐならん」とおほせらるゝ、『ながきわかれ』  
 下二二ウ10 としろしめされぬことゝあはれなり。めんどう  
 下二三オ1 なたゝずみくらし、かの御つばねへまぎれ入た  
 下二三オ2 まふ。よのつねのなかだにも、わかればかなしかるべ  
 下二三オ3 きを、中く、めもくれて、物もおぼえず。「たゞよく  
 下二三オ4 さぶらひつき給へ。いづくのすへにても、『かやうにて  
 下二三オ5 さぶらひたまふ』ときかば、うれしかるべきに、いか  
 なる  
 下二三オ6 かたへも、あくがれいで給ひなば、思ひのほかなるこ  
 とも  
 下二三オ7 又あらば、いと、ほひなかるべし。『御心』と、なびき  
 たて  
 下二三オ8 まつり給ふ』とも思はゞこそ、うらみもあらめ。たゞ、  
 下二三オ9 あこがごと、いと\*お\*しうて。おとなしくもならば、  
 との  
 下二三オ10 も『わが身』とおぼして、うちへぞまいらせ給はんず  
 らん。  
 下二三ウ1 さやうのときは御らんじも又はみまいらせんずる  
 下二三ウ2 こともあるべしを、我身こそたゞいまよりほかは、夢  
 下二三ウ3 ならずしてみもみえもせじ。ありしわかれよ  
 下二三ウ4 りもひとしほ心うくこそおぼゆれ」とて、さめぐと  
 下二三ウ5 なきたまへば、ひめぎみは、「たゞいづくまでもおほせ  
 下二三ウ6 よ」と、「さらにのこりとゞまるべき心ちもせず」と、  
 した  
 下二三ウ7 ひたまへば、「かくては、かなはじ」とおぼ\*えて「さ  
 らばちから  
 下二三ウ8 なし。ぐしたてまつるべし。この暮をまちたまへ。  
 下二三ウ9 まいりて、あかつきにい侍らん」と、「まづたゞいま  
 は、あま  
 下二三ウ10 りにあはたゝしきを、との御かほをも、あこをも、いま  
 下二四オ1 一どみ侍らん」と、いとよくすかしたまへば、あやうく  
 下二四オ2 て、「たゞいま、まづいづくまでもぐしておはせよ」とて、  
 下二四オ3 \*はぢのこともおぼ\*えず、中納言にとりつきてはなれ  
 下二四オ4 給はねば、心ぐるしく、かなしきせんかたなくて、

下二四才5 「すかしたてまつることはあるまじ。いづくまでも  
下二四才6 身にそふべき物なれば、これをとゞめ侍らん」とて、  
下二四才7 御じゆずとあふぎを\*をきたまへば、なをあやしき  
下二四才8 ことのまさるに、いとせんかたなくて、なきたまへば、  
下二四才9 なさけなくふりすてゝも、いかでか出給ふべき。と  
下二四才10 かくすかしたまふほどに夜もふけゆけば、「こは  
下二四才1 いかに。みぐるしくなりぬるを、くれはとく\*御むか  
へに

下二四ウ2 まいらん。たとへぐしたてまつるとも、あかくなれば、  
下二四ウ3 いかでか。又きりとてこれにあるべきにてもなきを、  
下二四ウ4 したゝめて待給へ」とて出給へば、めんどうまでもひめ  
下二四ウ5 ぎみいで給ふ。心づよくはいでたまへども、これをか  
下二四ウ6 ぎりなれば、「いま一たび」とおぼして、ありあけの  
下二四ウ7 なに心もなくひかりさしたるにたち\*帰て、「暮は  
下二四ウ8 とくまいらんよ」といとまごひし給ふやうにて、御かほ  
下二四ウ9 をつくぐとみたまへば、いみじくなきはれてきら  
下二四ウ10 くとしたる御かほのいよくひかるやうにしるく  
下二五才1 うつくしければ、御ぐしをかきやりて、「かく物おもは  
下二五才2 せたてまつるべき身となりけんすくせこそ心  
下二五才3 うけれ。いかなりしむかしのちぎりならん」  
下二五才4 とていでたまへば、なみだにくれてさらに「いづ  
下二五才5 くへゆく」ともおぼ\*え給はず、ひめ君は「まことに

この

下二五才6 暮」とおぼしてまちたまふ御心はかなかりけり。

下二五才7 中納言は殿へまいり給へば、いつよりもはなやかに  
下二五才8 ひきつころひたまへば、との、は、上は「うつくし」と  
下二五才9 おぼして、たぐひなくいとをしくおぼしたり。  
下二五才10 「たゞいまばかりぞかし。おやたちにものおもはせ  
下二五ウ1 たてまつらんことをつみふかさに、さりながらまことの  
下二五ウ2 みちにいりぬれば、つるにはたすけたてまつらん」と  
下二五ウ3 心づよくおぼし返して、わか君のなに心なくは  
下二五ウ4 しりありきたまふぞ、めもくるゝ心ちして、かなし  
下二五ウ5 き。さて我かたへおはして、御身のしたゝめよくし  
下二五ウ6 て、ひめ君の御かたへのふみ、こまぐとをかき給へば、な  
下二五ウ7 みだのこぼれいでゝ、もじもみえず。その夜は御  
下二五ウ8 かにふし給て、あか月に夜ふかくおき給。ずいじん  
下二五ウ9 のみついゑめして、「ちと人にしのびて物ま\*うでの  
下二五ウ10 事あり。ゆめくかくしていでたて」との給へば、御

下二六才1 むまにくらをきなどして、まちたてまつる。いま  
下二六才2 一たび若君のみまほしければ、おはして、御めの  
下二六才3 とおこしたまふ。「などかく夜ふかくは」と申せば、「ち  
下二六才4 とものま\*うでする。わかをひさしくみるまじ  
下二六才5 ければ」とて、御こゑのうちはわなゝくに、むねさはぎ  
下二六才6 て、「き\*たのかたへつげたてまつらん」とて、あなたへ  
下二六才7 まいれば、ひきとゞめて、「よし、ことぐしく、なき  
下二六才8 こえそ。やがてく、七日ばかりのたえまぞ」との給

へば、

下二六才9 御とのあぶらかきたてゝ、みせたてまつれば、若君、

下二六才10 なに心なくねいり給へるを、かきいできて「あこよ、  
 下二六ウ1 まろがまいりたるぞ。めあきてみたまへ」とあれば、  
 下二六ウ2 「とのゝおはしたるか。はゞぎみは」とて御めはあかず  
 下二六ウ3 ながら御てをさしあげていだかれ給ふ。御ぐしは  
 下二六ウ4 めざしにおいて、とりのけにてふきたるやうに、色は  
 下二六ウ5 あくまでしろくたふくゝとこえて、うつくしき  
 下二六ウ6 まみのほど、はゞ君によくにたまへるかほのあはれ  
 下二六ウ7 に、「いまならではいつの世にか又みるべき」とおぼせ  
 ば、中  
 下二六ウ8 くゝかきくらす心ちのたえがたければ、めのとのかたへ  
 下二六ウ9 \*ゆづり給て、「物よりかへらんほどは、めはなち給  
 下二六ウ10 はで、いとをしくせよ」とていで給ふ。かたぐゝおもひ  
 下二七才1 みだれて、御むまにのり給に、「いづくへゆくぞ」と夢ぢ  
 下二七才2 にまどふ心ちして、よかはといふ所へおはしつき  
 下二七才3 たり。かねてより、ひじりに「かく出家の心ざし」と  
 下二七才4 こそのたまはねども、「まいりてほうもんのだいをも  
 下二七才5 うけたまはらん」との給をきしことなれば、「さぞこそ」  
 下二七才6 と思ひて入たてまつるに、いみじく心ぼそげにて、  
 下二七才7 しゆけのよしをの給へば、ひじり大きにおどろ  
 下二七才8 き、「おほいどのゝ御心にたがひまいらせて、いかゞし  
 下二七才9 侍らん。そのうへ、かくあたらしき御身を、いまやつ  
 下二七才10 してさせ給はずとも、御心にてこそ侍らめ。いか  
 下二七ウ1 にも、えやつしたてまつるまじき」と申せば、「おほい  
 下二七ウ2 どのゝ、なに事にか御身のために、わづらひをばかけ

下二七ウ3 給ふ  
 べき。いとさることありとも、身づから身にかへてま  
 \*うし  
 下二七ウ4 あきらめん。たゞかりそめにおもひそめつることにも  
 下二七ウ5 侍らず。とし月の事なれば、ゆめくゝせいし給ふ  
 下二七ウ6 ともかひあるまじ」との給へば、のがるべくもあらず、ち  
 下二七ウ7 からおよびで、御ぐしをそりたてまつる。「るてん三が  
 下二七ウ8 い」と、三どらいし給へば、さすがになみだのさきだち  
 下二七ウ9 て、めもみ\*え給はず、たゞいまもひめぎみのしたひ  
 給へる  
 下二七ウ10 おもかげ、わか君のことおぼしいづるに、心よはくた  
 下二八才1 おちになみだのふりおつれば、「ひじりもさこそ思  
 下二八才2 すましたる心によはくしくおもはん」とおもひか  
 下二八才3 へして、かいをたもち給ふ。御かいのふせに、御しやう  
 下二八才4 ぞくたてまつりて、ふぢのころも御けさなかねて  
 下二八才5 よりもち給へば、やがてたてまつる。きのふまでは  
 下二八才6 いろきらをつくし、はなやかなる御袖にこんじやう  
 下二八才7 のにほひをたきしめて、ゆきすぎ給へる、あとにも  
 下二八才8 ひるがへし、たちより給ふところまでは、たまかゞみ  
 下二八才9 をみがきていつくしかりし御さまを、けふはひき  
 下二八才10 かへて、ふぢのころもにあさのけき、あたりをうち  
 下二八ウ1 \*みまはし給へば、しばのあみどに竹のすがき、  
 下二八ウ2 松かぜ、たきのをとすさまじく、かうのけふりはくん

下二八ウ3 ゑかうのかほりにひきかへたるさまは、「世のことはり」といひ

下二八ウ4 ながら、ことさらあはれさつきせず。みつ家もおなじ  
下二八ウ5 くそりおとして、ふぢのころもになりぬ。おも影身  
下二八ウ6 にそひて、念仏もこゝろきたなくまぎるゝぞ

下二八ウ7 かなしき。かくて、京には、「おほいどのゝ中納言、けき  
下二八ウ8 『ものま\*うで』とて出給ひしが、たゞずいじん一人  
下二八ウ9 つきたてまつりつるにこそ」ときこゆれ。「よのつね  
下二八ウ10 の物ま\*うでならば、なにしにかく人をもつれ給は

下二九オ1 ざらん」とおぼしきはぎて、おはしましゝとこ  
下二九オ2 ろへおはして、との、はゝうへ、御らんずれば、御ふみ  
下二九オ3 ふたつあり。一は「きたの御かたへ」とあり。ひとつ  
は「しよ

下二九オ4 きやうでんの中納言のつぼねへ」とぞかける。あけて  
下二九オ5 みたまへば、「さてもこんじやうにては御めにかゝるべ  
下二九オ6 きことの侍るまじきこそ、御名ごりおしく侍れ

下二九オ7 ども、ぼだいのきしにいたりぬれば、後の世のやみ  
下二九オ8 をば、はるけたてまつらん身となり侍る。夢まぼろし  
下二九オ9 の世中に、つみふかきことのみにてあかしくらすも、  
下二九オ10 かつはやくなきことなり。それにつけてはあこが

下二九ウ1 事、我ながらんあとに、『かたみ』とおぼしていとをし  
下二九ウ2 くし給へ。おとなしくもなり侍らば、殿上せさせ  
下二九ウ3 てうへのげんぎんにいれ給へ。この文、うちのしよき

やう

下二九ウ4 でんのつぼねへつげさせおはしませ」などこまぐ  
下二九ウ5 とかゝれたるをみたまふに、はゝうへの御心のうち

下二九ウ6 中くたとへんかたなし。「けきはこれへおはし  
下二九ウ7 けるにや。などや身づからにはしらせぬぞ」と、御こゑ  
下二九ウ8 をたてゝふしまろび給へば、とのも『かゝるべし』

下二九ウ9 とおもはゞ、なにしにおもひたちけん。『いかにも世に  
下二九ウ10 あれかし』と思ふによりてこそ大将の事も思ひ  
下三〇オ1 たちしか。かく『いたづらになすべきはし』とやおもひ  
下三〇オ2 し。おやおもふほどは子はなかりけり」となきたまふ  
下三〇オ3 ことかぎりなし。さて、姫君は「このくれ」との給へ

るを  
下三〇オ4 まち給へども、みえたまはず。「たばかり給てや」とこ

下三〇オ5 ろうくおぼしめすところ\*に、この文をもてまいり  
下三〇オ6 たるに、いそぎあけてみ給へば、さまぐゝのことゝも  
下三〇オ7 かき給て、

下三〇オ8 「あり明の月は雲るにすみはてよ  
下三〇オ9 われこそ山のおくにいとよ  
下三〇オ10 おもひいるみやまがくれのすま\*ゐにも

下三〇ウ1 かたみにつるゝ人のおもかけ  
下三〇ウ2 うちすてたてまつること、いかにうらめしくおぼすらん。  
下三〇ウ3 なれども、おもふこゝろあれば、『つらし』ともなお  
下三〇ウ4 ぼしいりぞ。いまはたゞ御かどの御心にたがはでさぶら

下三〇ウ5 ひたまへ。いづくのすゑまでもひきぐしたてまつり

- 下三〇ウ6 てこそあらまほしけれども、あこがごとをおもふ
- 下三〇ウ7 ゆへぞよ」と、なみだみだれにかきみだし給へり。
- 下三〇ウ8 「さりととも」と、まぢたま\*ひつるに、めもくれて、この文をかほ
- 下三〇ウ9 に\*をしあて、うちふして、そのまゝおきもあがり
- 下三〇ウ10 給はず。「うらめしくもすて給へるものかな」とはおも
- 下三二オ1 へども、「出給ひし月影の、いつの世にまたみる
- 下三二オ2 事のあるべき」とおもへば、さらに人めもしらす
- 下三二オ3 なきしづみ給へり。さるほどに、「中納言うせ給ひぬる」
- 下三二オ4 と、うへもきこしめして、「あさましく世のひかり\*うせ
- 下三二オ5 ぬる」とおぼしなげかる。「あやしく物おもひつるさま
- 下三二オ6 のしるかりしゆへぞ」と、御心ひとつにおぼしあは
- 下三二オ7 する。その御ゆかりの人々もまいり給て、「いみじう
- 下三二オ8 おもふ人の侍るに、又大将のことをおほい殿はのた
- 下三二オ9 まひしよりして、思ひのはるゝ事なかりし。そ
- 下三二オ10 れに、『この人行ゑもなくなりにしかば、おもひかね
- 下三二ウ1 てかくなりぬ』とこそうけたまはれ」とそうしければ
- 下三二ウ2 こそ、「この人のこと\*也けり」といとあはれにおぼし
- 下三二ウ3 めす。そのゝちれいのつばねへおはしたれば、ひきかづ
- 下三二ウ4 きて、おきもあがらず。いまははゝかるところもなくう
- 下三二ウ5 ちいで、中納言こそうせにけれ。いかにかなしく
- 下三二ウ6 おぼすらん。されども、いづくのい\*はの中までもひ
- 下三二ウ7 きぐしたらばこそあらめ、かたおもひこそよしな
- 下三二ウ8 けれ。まろならば、いかなるこけのしたまでも、もろ
- 下三二ウ9 ともにかくれなん」とてひきうごかし給へば、しのび
- 下三二ウ10 ねもあらはれぬべくなきたまへば、我もなみだの
- 下三二オ1 こぼれて、いとをし御らんず。「たゞいまは、この
- 下三二オ2 おもひのせんかたならん」とおぼせば、さのみむつ
- 下三二オ3 かしく、たはぶれもしたまはず。しばしひかずふる
- 下三二オ4 まゝに、いよくなきこがれ給へば、上わたらせ給て、
- 下三二オ5 「いまはいかにおもふとも、かひあるべきかは。『ちか
- 下三二オ6 きこと』ゝおもひなして\*おはせよ」と、なぐさめ給
- 下三二オ7 ふも
- 下三二オ7 くるしきに、かなしき事かぎりなし。かくしつゝ、
- 下三二オ8 五月にもなりぬ。五月雨しげう、はれまもなく
- 下三二オ9 か\*きくもりたるそらに、このしのびねは、なをうち
- 下三二オ10 まさりて、「こひしき人を夢にもみばや」とおぼせど
- 下三二ウ1 も、まどろまねば、夢もなし。「わか君をなりとも、
- 下三二ウ2 いかにしてみるわざしけん」とおぼしなげきて、
- 下三二ウ3 このずゝ、御あふぎを「わすれがたみ」と御らんじて、
- 下三二ウ4 「うき人のかたみのあふぎおりくは
- 下三二ウ5 なみだをさそふかぜもうらめし」
- 下三二ウ6 とうちながめて、すぐしたまふ。おほいどのき
- 下三二ウ7 たのかた、ひにそへておぼしなぐきむよなく
- 下三二ウ8 なき給へどもかひなし。わかぎみは、「なごて
- 下三二ウ9 おはせぎらん」とて、おりくゝなき給へば、いと
- 下三二ウ10 どなみだもよほされて、「せめて、とく七に

下三三才1 なり給へかし。内へまいらせて中納言とおも  
下三三才2 はん」と明くれいとをしきことにしたまふ。  
下三三才3 山ごもりの中納言は心ばかりはおこなひ給へ  
下三三才4 ども、なをありしおもかげのともすれば恋  
下三三才5 しく、おぼしわするゝよなく、しきみつみたまふ  
下三三才6 山ぢの露に御なみだあらそひて、すみぞめ  
下三三才7 の御袖かはくよもなくしほれ給へり。秋\*にも  
下三三才8 なりぬ。よもの山べのみぢして、色くく  
下三三才9 みゆるにも、「かく世をそむきはつべきはじ  
下三三才10 めにこそ。ありしさがにてみそめしも、  
下三三才1 この世のこと」ゝおぼしいづるに、たゞいまの  
下三三才2 心ちして、恋しきことおほし。御かどは、  
下三三才3 とかく心をとりに給へども、さらに一ことば  
下三三才4 の御返しをもし給はず。すでにそのとし  
下三三才5 も暮ぬ。あくる春になれども、ひめぎみの  
下三三才6 御思ひあらたまるべくもなし。うへは、「あまりに  
下三三才7 けしからぬこと」ゝおぼして、内侍に、「たゞ  
下三三才8 つれてまいれ。身づからの心にまかせて  
下三三才9 は、いつかかぎりあるべき。いとむくつけきわぎ  
下三三才10 かな。かゝるためしやはある。まろがかく心を  
下三三才1 つくしたることこそ、いまだおぼえぬ。こ  
下三三才2 とし三年、やすきそらなく、心を見るに、  
下三三才3 『さらになびきがたきは、ちぎりとを\*うてに  
下三三才4 くし』と\*いふらんことにや。いまだ中納言もみや

下三四才5 こになければ、はゞかるべきにもあらず。そこに  
下三四才6 よくい\*はぬぞ」と「まめやかにつらし」とおぼえて  
下三四才7 ほめ給へば、御ことはりにかたじけなくおぼえて、  
下三四才8 つぼねへかへりて、「これほどになぐきめたてま  
下三四才9 つるに、なをかくしづみ給はゞ、はゞ上も身づから  
下三四才10 をぐしたてまつり、いづちへもまかりなん。これに  
下三四才1 一所におはせよ。さらば、よのつねにて宮づかへを  
下三四才2 もし給へ。御心のゆかざらんほどは、うへもひた  
下三四才3 ぶるにおぼしよることあらじ。まづまいりてみ  
下三四才4 給へ」とやうくにくどきて、御ぐしかきくだ  
下三四才5 して、なみだにぬれぬ御衣めしかへさせなどし  
下三四才6 て、ないしすくひたてゝうへゝまいり給へば、  
下三四才7 上は「いとうれし」とおぼして、いまだ、うち、ないし  
下三四才8 によりかゝらせおはしまして、すこしへだてゝ  
下三四才9 おはします。「しのびねのないしとい\*はん」とて  
下三四才10 うちわらはせ給へば、又れいのなみだきぎだちて  
下三五才1 うちうつぶぎてゐたまへば、「つぼねにてこそあ  
下三五才2 らめ。こゝにてなみだおとすはいむなることぞ」  
下三五才3 とてとかくなぐぎめ給へども、たゞはづかしくも  
下三五才4 かなしくもおぼして、心ゆくけしきも  
下三五才5 なし。「ぎのみ人のこゝろをつくし給ふこそ  
下三五才6 いと\*わりなけれ。このみとせは、いみじく御心に  
下三五才7 したがひてすごしきぬ。いまは又すこし  
下三五才8 『あはれ』とも思ひ給へかし」と色くくにきこえ

- 下三五才9 給へば、ないし「いかなることぞや。うへの御返し  
 下三五才10 せぬは。いとびんなきことぞ」との給ひて、ないしは  
 下三五ウ1 つぼねへおり給へば、このしのびねもやがてまか  
 下三五ウ2 だたまふ。は、うへもないしも、「いまは我を  
 下三五ウ3 おぼさば、うへの御心にし\*たがひ給へ。さのみおやに  
 下三五ウ4 心ぐるしきことなみせ給ふぞ。うせ給し中  
 下三五ウ5 納言殿も、さこそくり返し給ひ\*をきしか。  
 下三五ウ6 『我ひとり御心をたてゝも、たけきことあらじ』  
 下三五ウ7 となむ思ひ\*おこし、はれぐしくもてなし  
 下三五ウ8 てみえたてまつり給へば、『びんなくかたじけ  
 下三五ウ9 なし』とおぼさずや」など、さまぐきこえ給\*て、  
 下三五ウ10 わが心にも、「げにも」とはおもへども、なを人は  
 下三六才1 世をそむき、身をやつして、ならはぬさまに  
 下三六才2 なり給ふに、我身はつれなくて、人にみえ  
 下三六才3 たてまつらんことのかなしくて、心もゆかぬ  
 下三六才4 なるべし。やうくすかしこしらへられて、  
 下三六才5 うへの御かたへまいり給ふ。ないしひきつく  
 下三六才6 ろ\*ひなどしてみるに、いとゞあかぬひかりそ  
 下三六才7 ひて、うへのおぼしめすも御ことほりにおもふ。  
 下三六才8 なを、ともすればなみだのさきにたちて、  
 下三六才9 うちとけたる御いらへもしたまはず、はれぐ  
 下三六才10 しくもおはせねば、「たゞこのきみのなぐさみ  
 下三六ウ1 給はんことを」と、うへはよろづの御あそびにおも  
 下三六ウ2 しろきことゞもをつくしたまふ。四月わたり、
- 下三六ウ3 藤つぼのふぢさかりにおもしろき、れいの「し  
 下三六ウ4 のびねのないしまいり給へ」と、御つかひたびく  
 下三六ウ5 かさなりぬれば、ふぢ、やまぶきの七ばかりに、あを  
 下三六ウ6 きひとへ、うきものからぎぬ、あかきはかま  
 下三六ウ7 など、こゝろことにないしつくろ\*ひたてゝ、  
 下三六ウ8 ひさしうかゞみにもむかひ給はぬ御かほ、「さのみ  
 下三六ウ9 はうちすて給はん」、すこしひきつくろひたま  
 下三六ウ10 へるありさま、たゞいまの世にまたたぐひある  
 下三七才1 べき人もなし。うせ給し中納言の御いもう  
 下三七才2 と、きりつぼの御かたこそ、「世にはかゝる人も  
 下三七才3 ありけ\*め」と、うへもおぼしめして、またならぶ  
 下三七才4 人なかりしが、これはいとをしげに、あい  
 下三七才5 ぎやうは、なをまさりてみゆれば、うへは、なのめ  
 下三七才6 ならず御らんじて、「ひごろなみだにうづ  
 下三七才7 もれて、しづみふしたるをさへうつくしく  
 下三七才8 おもひしに、すこしひきつくろ\*ひ給へば、  
 下三七才9 この世の人ともみえず、これをうしなひて  
 下三七才10 世をそむくらんもことほりぞかし。まろは、  
 下三七ウ1 いまよりのち、かた時もみずは恋しかりなん  
 下三七ウ2 とあかずおぼしめす。「けふは藤のゑんあるべ  
 下三七ウ3 し」とて、わかき人々まいりつどひ、ものゝ  
 下三七ウ4 ねどもしらべ、あそび給へば、うち、しのびねの  
 下三七ウ5 ないし、御そばに\*をきたてまつりて、「あのあそぶ  
 下三七ウ6 人々の中にも、ありし中納言のさましたる

下三七ウ 7 人こそなけれ。みめすがたばかりにもあらず、ふき  
下三七ウ 8 たつるものゝねどもうちきくより、すゞろに  
下三七ウ 9 身にしてみてうつくしきことのつきせざりし  
下三七ウ 10 こそ恋しけれ。なにごとにつけても、はへなき  
下三八才 1 心ちのするを、おなじ心におもふ人もあらん」  
下三八才 2 とて御らんじおこせたまへば、かほうちあかめて、  
下三八才 3 まづなみだおつれば、あふぎにてまぎらはし  
下三八才 4 給へるさまの心ぐるしげなり。月ひもすぎ  
下三八才 5 ゆくに、さのみもいかゞしづみ給はん、せちなる  
下三八才 6 御たはぶれのおりは、心ならずうちわらひ給へる  
下三八才 7 \*おりもあれば、うへはめづらしくうれしきことに  
下三八才 8 おぼして、このごろは、又よの御つぼねへもおはし  
下三八才 9 まさず、ひるはひぐらしこもりおはします。くる  
下三八才 10 れば、御つかひのひまなきを、人は『たがまいり  
下三八ウ 1 給ふ』ともきこえぬに、かく時めきたまふ」とき、  
下三八ウ 2 めく。あくる春、わか宮をさへうみたてまつり  
下三八ウ 3 給へば、いまだ御こもおはせぬことをくちおしく  
下三八ウ 4 おぼしめすに、いとゞめづらしくおぼしめす。  
下三八ウ 5 めでたきことかぎりなし。やがてしよきやう  
下三八ウ 6 でんの女御ときこゆ。若宮は二にてとうぐ  
下三八ウ 7 うに\*ゐさせたまへば、中納言の御いもうと、きり  
下三八ウ 8 つぼの御かたこそ、御身のいき\*ほひといひ、うへの  
下三八ウ 9 おぼえならびなかり\*しかば、若宮もいでき  
下三八ウ 10 給はゞ、「うたがひなききなきにこそたて給はん

下三九才 1 ずるに、よ人もおもひ、われもおぼえつるに、  
下三九才 2 おぼえぬ人、にはかにいできて、かくおされぬる  
下三九才 3 こと」ゝくちおしくおぼしわびたり。つとや、おほい  
下三九才 4 どのゝわか君は、七になり給へば、てんじやうせき  
下三九才 5 せたてまつりたまふ。うへ御らんじて、「中納言  
下三九才 6 によくにたりけるかな。うつくしきかほりのあい  
下三九才 7 ぎやうは」。中宮にもかよひ給へるに、いとをしく  
下三九才 8 おぼして、明暮御そばに\*をかせおはします。  
下三九才 9 中宮の御らんずるたびごとに、たゞありし  
下三九才 10 人にたがはぬを、あはれにおぼしめして、ある  
下三九ウ 1 とき、うへのわたらせ給はぬひまに御そばへ  
下三九ウ 2 よびよせ給て、「我をばおぼえ給はぬか」ととひ給へば、  
下三九ウ 3 うちうつぶきておはす。「中納言のことはおぼゆる  
下三九ウ 4 か」との給へば、「それはほのかにおぼえ侍る」とて、  
やがて  
下三九ウ 5 なみだぐみ給て、なみだのこぼるゝをまぎらはし  
下三九ウ 6 給へば、いとゞもよほされて、中宮もきめぐくと  
下三九ウ 7 なき給ふ。「我もさまをもかへてあらまほし  
下三九ウ 8 けれども、心にまかせず、又御ことの心ぐるしさに  
下三九ウ 9 こゝろならぬすま\*ゐにてすぐすとよ。いまちと  
下三九ウ 10 もおとなしくなり給はゞ、山ごりの人をも  
下四〇才 1 たづねて、行ゑをもきゝ給へ」と、こまぐとをかたり  
下四〇才 2 給へば、いよゝさめぐとなきみたまへり。  
下四〇才 3 ありし時、なきけなくひきはなち給ひし事

- 下四〇才4 おぼしいで、たゞいまの心ちのみせられ給ふ。おほ  
下四〇才5 いどのゝ事は、中宮も、ことにうたてくおぼしめせ  
下四〇才6 ども、わかぎみのことをおぼせば、しらずがほにて  
下四〇才7 すぐし給ふ。うちつゞき、宮たちむまれ給  
下四〇才8 へり。わかぎみ、九にてげんぶくして、侍従に  
下四〇才9 なり給ふ。十一にて少将ときこゆ。とうぐうの御  
下四〇才10 はら一のあにゝにておはしませば、\*御かどもいみじく  
下四〇才11 かしづきたまふ。「ひにそへて、中宮はならび  
下四〇才12 なき御おぼえなれば、たゞこの御くわほうに  
下四〇才13 ひかさされて、さる世のわづらひもいでき、中納言  
下四〇才14 もうせ給ひぬるぞ」とおぼえたり。少将は十二の  
下四〇才15 御とし中将になり給ひて、たゞあけくれ、「ちゝの  
下四〇才16 おはすらんところしらせ給へ」と神仏にいのり  
下四〇才17 たまふ。よか\*はにおはしますといふときゝ給ひ  
下四〇才18 て、\*をしあてにおはしたり。「もし、京の人のこも  
下四〇才19 り給へる所は」とたづねありきたまへば、あるあん  
下四〇才20 じちに、こけむして、ことにあはれなるところぞ  
下四一才1 有ける。たちよりてきゝ給へば、ほけきやうをいと  
下四一才2 たかうとくじゆして、ねん仏十べんばかり申  
下四一才3 こゑのしける。あやしくおぼえて、「しかくの  
下四一才4 人」とたづね給へば、中納言入道きゝ給て、「いづく  
下四一才5 より、たれ」ととひ給へば、「おほいどのゝ御まご、中  
将ど  
下四一才6 のゝ、御山ごもりの人をたづね給へる」と申ければ、  
下四一才7 としごろ、人づてには「ことゆへなくておはす」と  
下四一才8 きゝ給へども、御らんぜぬことは心もとなくお  
下四一才9 ぼしわたりつるに、「かつはこひしくもおもふ  
下四一才10 人のことなれば、しのぶべきにもあらず」と  
下四一才11 おぼして、「こなたへ」とのたまへばいり給。秋のこと  
下四一才12 なるに、もみぢ色くおりちらしたる御なを  
下四一才13 し、あざやかにき給ひて、さしぬきのそばた  
下四一才14 かくとりて、にほひいりたまへるさまをみだし  
下四一才15 給ふに、夢の心ちぞする。中将はまづちゝの御かほ  
下四一才16 のゆかしさにいそぎ入てみたまへば、二三人ば  
下四一才17 かりおはする。をとなし\*きまで御らんじたらん  
下四一才18 さへかはりたまへる御さまは、ふとしもみ\*わけぬ  
下四一才19 まじきに、ましてほのかには御おもかげのおぼえ  
下四一才20 給へども、さだかにはいかでかしり給べき。そのな  
下四二才1 かに、まみなどのけたかく、色もよのつねよりし  
下四二才2 ろく\*おはするを、まづ御めとゞめてみたまへば、  
下四二才3 「これへく」との給へるに、うちかしこまりたまひ  
下四二才4 てき\*ぶらひ給ふ。「としごろゆかしうも恋しくも  
下四二才5 御ことを思ふゆへに、念仏もさはりがちなりつるを、  
下四二才6 うれしくもたづね給へるかな。わかれたてまつり  
下四二才7 しきぎみには、『こほどもつまじき物なし。』と  
下四二才8 をくほだし』とおもひしに、いまかくみたてまつ  
下四二才9 れば、こならざらん人は、たれかくきふかき山ざ  
下四二才10 とへたづね入給ふべき」とて、すみぞめの御袖を

下四二ウ1 かほに\*をしあてゝなき給ふ。中将もなをしの  
下四二ウ2 袖ひきもはなたで、やゝためらひて、「むげに  
下四二ウ3 おさなくてはなれたてまつりしかば、さだか  
下四二ウ4 ならねども、ほのかにおぼゆる御おもかげの、  
下四二ウ5 明くれは恋しく、『いかでか\*はれる御すがたをも  
下四二ウ6 みたてまつらん』と、あけくれ神仏にねん  
下四二ウ7 じたてまつりしに、なにとなく人の申侍る  
下四二ウ8 を、やがてしるべにてまいりはんべれば、まことに  
下四二ウ9 おはしましける。ぼんぶのならひのかなしさは、  
下四二ウ10 いまゝでしりたてまつらで、十年あまりが  
下四三才1 あいだ、物を思ひ侍りつることのかなしさよ」  
下四三才2 とて、せきもあへ給はず。ひじりはつくぐと  
下四三才3 まぼりたまふに、我がわかざかりは、あまりにや、  
下四三才4 をるにほそく、なよらびてありしに、これは  
下四三才5 すこしものくしく、ただちもそゝ  
下四三才6 ろかにほこくとしてうつくしき物から、  
下四三才7 まみなどのうちかほり、御くちのあたりのうちに  
下四三才8 ほひたるあいぎやうは、いまもこひしきひめぎみ  
下四三才9 にふとおもひ出て御かどの事などもとひたまふ。  
下四三才10 「しよきやうでんはたゞいまのきさいの宮にて、わか  
下四三ウ1 宮、とう宮ときこゆ。おとなしやかにうつくし  
下四三ウ2 うおはします」など、たゞ大かたにかたり申給へば、  
下四三ウ3 「さすがにのがれがたかりける御すくせかな。これゆへ  
下四三ウ4 我身は、かくいたづらになりぬるぞ」とおほせけれ

下四三ウ5 ば、おもひすてにし心も、うちおどろかさされて  
下四三ウ6 むねのき\*はぐにぞ、うき世のつなはいまだ  
下四三ウ7 はなれざりける。ひじり卅五になり給へども、  
下四三ウ8 いとわかくうつくしうおはせし名残に、やつ  
下四三ウ9 れたまへども、人にまぎれべくもみえ給はず。  
下四三ウ10 色くく山かぜふせぎたまふべき物どもたて  
下四四才1 まつり給ふ。さらぬひじりたちにも、みなたび  
下四四才2 わたしなどして、中将はかへりたまふ。「かくみ  
下四四才3 \*をきたてまつれば、いまよりはおりくまいり  
下四四才4 てみたてまつらん。との、きたのかたきこしめ  
下四四才5 しなば、いかにふしぎがらせたまふべき」など申  
下四四才6 給ひ、いでもやり給はず。たちかへりくみ給へば、  
下四四才7 かうのけぶりにしづみ給へる御さまの、うら山し  
下四四才8 くもあはれにもおぼさるゝ。「この世のゑいぐ\*は  
下四四才9 にほこりて、のちの世のやみわすれ給ふな。いと  
下四四才10 夢のやうなる世の中に侍るぞ」とて、御め\*をし  
下四四ウ1 のご\*ひ給ふ。中将の御うしろかげを御らんじ  
下四四ウ2 \*をくりて、ありしかか月したひ給てなき  
下四四ウ3 給しこと、たゞいまのやうにおぼえ給ふ。さてう  
下四四ウ4 ちへまいり給へば、おりふし御まへのせんざい  
下四四ウ5 うち御らんじいだして、あはれなりしこ  
下四四ウ6 とゞもおぼしめしめで、御袖しほたれ給  
下四四ウ7 へるに、中将ちかくまいりよりたまひて、「いとあは  
下四四ウ8 れなることこそ侍りつれ。かの御山ごもりたづ

下四四ウ 9 ねたてまつりて、たいめんつかまつりぬ」と申  
下四四ウ 10 給へば、「いとめづらかなることかな。いづくにいか  
して」

下四五才 1 との給へば、「よかはにおはしましたり。すみ

下四五才 2 ぞめ\*にやつれて、かうのかほりふかく、さびしき

下四五才 3 御ありさま、身にそ\*ひてかなしくこそ」とてなき

下四五才 4 たまへば、中宮も、いまさら御心みだれて、いよ

下四五才 5 く御なみだぞこぼれける。さてその秋、二位

下四五才 6 の中納言になりたまふ。春宮も八ばかりに

下四五才 7 おはしませば、いよくうつくしうけたかく

下四五才 8 て、御心もおとなしく、よのたもち給ふとも、

下四五才 9 いかにあるみえさせおはします。あくる

下四五才 10 春は、御門、御くらゐさらせ給て、とうぐう、くらゐ

下四五才 1 につき給ふ。かの中宮は女院とぞいはれ給へる。

下四五ウ 2 \*中納言殿も君のおほいどのの中の君にかよひ給ひて、

中納言どのにひきかへて、たちのくことなくて

下四五ウ 3 すごしたまふ。たうだいの御かどは、御げんぶく

下四五ウ 4 ありけり。いつしか、左大将のひめ君、女御にまい

下四五ウ 5 り給て、かの、山ごもりをもたえず\*をとづれ

下四五ウ 6 給ひて、さるべきおりくは、わたりてみたて

下四五ウ 7 まつりたまへるとぞ。

翻字注

- \*上二才6 「え」―底本「ゑ」見消。
- \*上二才8 「さ」―底本「ま」全集本により校訂。
- \*上三才3 「い」―底本「は」桂宮本により校訂。
- \*上四才1 「は」―底本「い」全集本により校訂。
- \*上五才2 「ら」―底本「ゝ」桂宮本により校訂。
- \*上七才4 「お」―底本「を」見消。
- \*上七才6 「る」―底本「り」桂宮本により校訂。
- \*上七才9 「る」―底本「り」桂宮本により校訂。
- \*上八才5 「ぼ」―底本「し」桂宮本により校訂。
- \*上八才9 「くる」―底本「かく」桂宮本により校訂。
- \*上八才10 「たいめ」―底本「いか」桂宮本により校訂。
- \*上九才2 「ら」―「く」桂宮本により校訂。
- \*上九才2 「る」―底本右傍に「りん」あり。
- \*上一一才9 「ゝ」―桂宮本により補入。
- \*上一二才6 「く」―桂宮本により補入。
- \*上一二才8 「か」―補入符により補入。
- \*上一二才8 「た」―補入符により補入。
- \*上一二才10 「る」―底本「り」見消。
- \*上一二才10 「う」―底本「ふ」見消。
- \*上一三才9 「か」―底本「る」桂宮本により校訂。
- \*上一四才3 「う」―底本「ら」桂宮本により校訂。
- \*上一四才9 「な」―底本「もな」桂宮本により校訂。
- \*上一四才10 「な」―底本「か」桂宮本により校訂。
- \*上一四才6 「の」―底本「に」桂宮本により校訂。

- \*上一五才1 「お」―底本「を」見消。
- \*上一五才5 「う」―底本「ふ」見消。
- \*上一五才7 「る」―底本「り」私に校訂。
- \*上一六才5 「し」―底本「み」桂宮本により校訂。
- \*上一六才6 「中」―底本「少」全集本により校訂。二〇丁表に中将という表記あり。
- \*上一七才1 「ひきつろひ」―底本「をしすへらし」全集本により校訂。
- \*上一七才5 「ぐ」―底本「か」桂宮本により校訂。
- \*上一七才9 「は」―底本「う」全集本により校訂。
- \*上一八才7 「く」―底本「た」見消。
- \*上一〇才9 「る」―底本「り」桂宮本により校訂。
- \*上一〇才4 「き」―底本「さ」桂宮本により校訂。
- \*上一〇才5 「す」―底本「に」桂宮本により校訂。
- \*上一一才1 「ど」―底本「は」桂宮本により校訂。
- \*上一二才5 「な」―底本「る」全集本により校訂。
- \*上一二才6 「し」―補入符により補入。
- \*上一二才6 「ち」―桂宮本により補入。
- \*上一二才6 「る」―底本「か」桂宮本により校訂。
- \*上一二才8 「る」―底本「り」見消。
- \*上一二才4 「ひ」―底本「い」見消。
- \*上一三才10 「そ」―底本「と」桂宮本により校訂。
- \*上一三才1 「く」―底本「き」桂宮本により校訂。
- \*上一三才1 「は」―桂宮本により補入。
- \*上一三才2 「ち」―底本「り」見消。
- \*上一三才6 「け」―補入符により補入。
- \*上一三才8 「お」―底本「を」見消。

\*上三三才4 「を」―底本「お」見消。  
 \*上二三ウ5 「ら」―底本「く」桂宮本により校訂。  
 \*上二四才3 「く」―底本「ら」桂宮本により校訂。  
 \*上二五ウ6 「ゐ」―底本「ひ」見消。  
 \*上二六才4 「ま」―底本「た」桂宮本により校訂。  
 \*上二六ウ9 「まいる」―底本「いまる」桂宮本により校訂。  
 \*上二七才3 「も」―桂宮本により補入。  
 \*上二七才3 「お」―底本「を」見消。  
 \*上二七才3 「はし」―底本「いら」桂宮本により校訂。  
 \*上二八才1 「それ」―桂宮本により補入。  
 \*上二八才3 「きく」―底本「きゝ」桂宮本により校訂。  
 \*上二八才4 「こそあれ」―底本「こそこそあれ」。「こそ」見消。  
 \*上二八才8 「お」―底本「を」見消。  
 \*上二八才9 「ら」―底本「る」見消。  
 \*上二九才3 「お」―底本「を」見消。  
 \*上三〇ウ4 「い」―底本「ゐ」見消。  
 \*上三一才1 「ゝ」―底本「へ」桂宮本により校訂。  
 \*上三一才8 「し」―底本「え」見消。  
 \*上三一ウ4 「し」―底本「く」桂宮本により校訂。  
 \*上三一ウ7 「と」―底本「ゝ」桂宮本により校訂。  
 \*上三一ウ10 「た」―補入符により補入。  
 \*上三二才9 「へ」―底本「ゆ」見消。「ゆ」は「つ」に重書。  
 \*上三二ウ1 「人」―底本「へ」見消。  
 \*上三二ウ1 「か」―底本「る」桂宮本により校訂。  
 \*上三四才9 「給」―底本「給ゝ」桂宮本により校訂。  
 \*上三四ウ3 「に」―底本「にこそ」桂宮本により校訂。

\*上三五才7 「思ひくらぶれば、めにもつきたまはず。物などの給ふ」―桂宮本により補入。  
 \*上三六才10 「さ」―底本「ま」桂宮本により校訂。  
 \*上三六ウ2 「ゝ」―底本「え」桂宮本により校訂。  
 \*上三六ウ4 「うちそばみ給つるをあながちにもかたらひたまはず、我も」―補入符により補入。  
 \*上三七才1 「ば」―補入符により補入。  
 \*上三七才5 「つき」―底本「の」桂宮本により校訂。  
 \*上三七ウ3 「こ」―底本「お」見消。  
 \*上三七ウ7 「え」―底本「ゑ」見消。  
 \*上三八ウ1 「し」―底本「く」桂宮本により校訂。  
 \*上三八ウ6 「ば」―底本「る」桂宮本により校訂。  
 \*上三八ウ9 「み」―桂宮本により補入。  
 \*上三九才3 「じ」―底本「ゝ」桂宮本により校訂。  
 \*上三九ウ7 「おどろかれて」―底本「をよりおどろかれて」桂宮本により校訂。  
 \*上四〇ウ3 「つ」―桂宮本により補入。  
 \*上四〇ウ5 「お」―底本「を」見消。  
 \*上四二才2 「う」―底本「ふ」見消。  
 \*上四二ウ9 「え」―底本「たて」見消。傍書「え敷」。  
 \*上四三ウ3 「はゝ」―底本「さし」桂宮本により校訂。  
 \*上四三ウ8 「は」―底本「か」桂宮本により校訂。  
 \*上四四才4 「ゑ」―底本「へ」見消。  
 \*上四四ウ4 「な」―全集本により補入。  
 \*上四五才7 「だ」―桂宮本により補入。  
 \*上四五ウ8 「み」―底本「君」桂宮本により校訂。  
 \*上四六才2 「が」―底本「か」見消、右傍「る」採用せず。

\*上四六才10 「ゑ」―底本「へ」見消。  
 \*上四七才8 「ぬ」―底本「あ」桂宮本により校訂。  
 \*上四七才10 「が」―底本「る」見消。  
 \*上四八才7 「ぞ」―底本「ぞ」見消、右傍「かひて」採用せず。  
 \*上四八才10 「る」―全集本により補入。  
 \*上四九才3 「ざ」―全集本により補入。  
 \*上四九才8 「き」―全集本により補入。  
 \*上四九才4 「て」―底本「と」桂宮本により校訂。  
 \*上四九才7 「お」―底本「を」見消。  
 \*上五〇才1 「ら」―底本「ゝ」桂宮本により校訂。  
 \*上五〇才2 「い」―底本「ひ」見消。  
 \*上五〇才9 「ら」―底本「り」桂宮本により校訂。  
 \*上五〇才9 「と」―桂宮本により補入。  
 \*上五〇才9 「か」―底本「る」桂宮本により校訂。  
 \*上五一才6 「ゝ」―底本「へ」桂宮本により校訂。  
 \*上五二才3 「う」―底本「こ」桂宮本により校訂。  
 \*上五二才8 「なきし」―桂宮本により補入。  
 \*上五二才9 「へ」―底本「へと」桂宮本により校訂。  
 \*上五二才7 「い」―底本「ひ」見消。  
 \*上五三才3 「も」―底本「わすれ給ふやうにととかくの給へども」見消。  
 \*上五三才4 「か」―桂宮本により補入。  
 \*上五四才3 「お」―底本「を」見消。傍書「お歟」、「歟」見消。  
 \*上五五才1 「み」―底本「のみ」桂宮本により校訂。  
 \*上五五才1 「かくせ」―底本「かへを」桂宮本により校訂。  
 \*下一才1 「も」―底本「も」字の下、「な」見消。  
 \*下一才2 「を」―底本「お」見消。

\*下一才2 「る」―補入符により補入。  
 \*下一才5 「ゝ」―底本「と」桂宮本により校訂。  
 \*下二才9 「人」―底本「人」字の上、「この」見消。  
 \*下二才10 「わ」―底本「は」見消。  
 \*下二才5 「わ」―底本「は」見消。  
 \*下二才5 「ほ」―底本「う」見消。  
 \*下二才5 「ふ」―底本「ひ」桂宮本により校訂。  
 \*下三才4 「ふ」―底本「ふ」字の下、「と」見消。  
 \*下三才4 「と」―桂宮本により補入。  
 \*下三才5 「は」―補入符により補入。  
 \*下三才8 「かくも」―桂宮本により補入。  
 \*下三才10 「ろ」―底本「つ」桂宮本により校訂。  
 \*下四才3 「ひ」―底本「ひ」字の上、「ふ」見消。  
 \*下四才9 「な」―底本「な」字の上、「か」見消。  
 \*下四才10 「わ」―底本「は」見消。  
 \*下五才5 「そ」―補入符により補入。  
 \*下五才9 「いとゞおしかるべきこと」ゝおもひかへして、「いましづかにとひ侍らん。物申せども返事をはかゞしくすることの侍らぬまゝに、ましてそのいかなりしことゞも、あきらかにうちかたらいなどいかゞ侍るべき。たゞ人にしのぶべきことばかりきゞ侍る」。申まぎらはしつゝさぶらひ給ふ。しのびねの君はよるひるおもひしづみて、まばやかに、こゝちもわびしくものをも御らんじいるゝことのなれば、身もよはくなりければ、「かくてはいかゞせん。ありしさがにわたして、あまになさせ給ひてよ。かくおもひのほかなるくものうへに、心ならずもありへば、もし中納言などもきゞ給て、『心ゆきたるみやづかへなどにもきし出たる』と、心かろくおもひたまはんがつ

らき心ながら、はづかしくもあるを、しばしもながらへんほどはね  
んぶつをもとなへて、心みだらず侍ん」となきしづみでの給へば、な  
いしも、「心ぐるしげにおぼすらんもことはりの御おもひなれども、  
さりとていかゞすべき、我心といでたち給ふらんとも、よもおぼさ  
じ。たゞいまは」―桂宮本により補入。

\*下五ウ 1

「え」―底本「へ」見消。

\*下六オ 4

「こ」―底本「あ」桂宮本により校訂。

\*下六オ 4

「い」―底本「ひ」見消。

\*下六オ 9

「を」―底本「お」見消。

\*下六ウ 2

「御なみだのうきければ、わか君もつくぐ」―桂宮本により補入。

\*下六ウ 6

「ふ」―底本「ら」見消。

\*下六ウ 10

「ひ」―底本「い」見消。

\*下七オ 2

「お」―底本「を」見消。

\*下七オ 2

「ど」―底本「り」見消。

\*下七ウ 2

「さ」―補入符により補入。

\*下七ウ 5

「み」―底本「ひ」見消。

\*下七ウ 10

「い」―底本「ゆ」見消。

\*下八オ 3

「は」―底本「わ」見消。

\*下八オ 10

「ぶ」―底本「ま」桂宮本により校訂。

\*下九オ 7

「あ」―底本「な」桂宮本により校訂。

\*下九オ 7

「き」―補入符により補入。

\*下九ウ 6

「を」―底本「お」見消。

\*下九ウ 9

「を」―底本「お」見消。

\*下一〇オ 6

「は」―底本「わ」見消。

\*下一〇オ 9

「お」―底本「を」見消。

\*下一〇ウ 8

「を」―底本「お」見消。

\*下一一オ 4 「を」―底本「お」見消。

\*下一一オ 7 「ひ」―底本「い」見消。

\*下一一ウ 5 「う」―底本「り」見消。

\*下一一ウ 10 「ら」―底本「り」桂宮本により校訂。

\*下一二オ 7 「ほひ」―底本「おい」見消。

\*下一二ウ 3 「か」―補入符により補入。

\*下一三オ 9 「思ひ」―補入符により補入。

\*下一四ウ 1 「え」―底本「し」見消。

\*下一四ウ 1 「ひ」―底本「い」見消。

\*下一四ウ 7 「なば」―補入符により補入。

\*下一四ウ 10 「物」―補入符により補入。

\*下一五オ 1 「か」―底本「る」右傍に「か」あり。

\*下一五オ 7 「か」―底本「お」見消。

\*下一五ウ 4 「な」―底本「お」桂宮本により校訂。

\*下一五ウ 8 「も」―底本「し」見消。

\*下一五ウ 10 「ば」―桂宮本により補入。

\*下一七ウ 6 「せ」―補入符により補入。

\*下一七ウ 9 「へ」―底本「せ」桂宮本により校訂。

\*下一八オ 5 「き」―補入符により補入。

\*下一八オ 9 「を」―底本「お」見消。

\*下一八ウ 1 「きんつねは」―底本「にこそと心」見消。

\*下一八ウ 5 「も」―底本「を」桂宮本により校訂。

\*下一八ウ 6 「し」―底本「申」桂宮本により校訂。

\*下一八ウ 7 「お」―底本「を」見消。

\*下一八ウ 8 「よ」―補入符により補入。

\*下一九オ 6 「を」―底本「お」見消。

\*下一九才10 「は」―底本「わ」見消。  
 \*下一九ウ4 「く」―底本「く」の上「し」見消。  
 \*下二〇才1 「て」―補入符により補入。  
 \*下二〇才1 「お」―底本「を」見消。  
 \*下二〇才3 「を」―底本「お」見消。  
 \*下二〇才8 「え」―底本「へ」見消。  
 \*下二〇ウ10 「う」―底本「ふ」見消。  
 \*下二一才5 「を」―底本「お」見消。  
 \*下二一才10 「ひ比」―補入符により補入。  
 \*下二一ウ1 「を」―底本「お」見消。  
 \*下二一ウ8 「う」―底本「ふ」見消。  
 \*下二一ウ9 「を」―底本「お」見消。  
 \*下二二才2 「を」―底本「お」見消。  
 \*下二二才9 「ひ」―底本「へ」全集本により校訂。  
 \*下二二ウ4 「う」―底本「ふ」見消。  
 \*下二二ウ8 「を」―底本「お」見消。  
 \*下二三才9 「し」―底本「し」字の下、「く」見消。  
 \*下二三才9 「お」―底本「を」見消。  
 \*下二三ウ7 「え」―底本「ゑ」見消。  
 \*下二四才3 「は」―底本「か」桂宮本により校訂。  
 \*下二四才3 「え」―底本「ゑ」見消。  
 \*下二四才7 「を」―底本「お」見消。  
 \*下二四ウ1 「御」―補入符により補入。  
 \*下二四ウ7 「帰」―底本「侍」桂宮本「かへり」により「帰」に校訂。  
 \*下二五才5 「え」―底本「ゑ」見消。  
 \*下二五ウ9 「う」―底本「ふ」見消。

\*下二六才4 「う」―底本「ふ」見消。  
 \*下二六才6 「た」―底本「た」字の下、「と」見消。  
 \*下二六ウ9 「ゆ」―底本「ゆ」字の上、「かたへ」見消。  
 \*下二七ウ3 「う」―底本「ふ」見消。  
 \*下二七ウ9 「え」―底本「ゑ」見消。  
 \*下二八ウ1 「み」―底本「み」字の上、「うち」見消。  
 \*下二八ウ8 「う」―底本「ふ」見消。  
 \*下二八ウ10 「う」―底本「ふ」見消。  
 \*下三〇才5 「に」―傍書「に」。  
 \*下三〇才10 「ゐ」―底本「ひ」見消。  
 \*下三〇ウ8 「ひ」―底本「い」見消。  
 \*下三〇ウ9 「を」―底本「お」見消。  
 \*下三一才4 「うせ」―桂宮本により補入。  
 \*下三一ウ2 「也」―底本「成」見消。  
 \*下三一ウ6 「は」―底本「わ」見消。  
 \*下三三才6 「お」―底本「を」見消。  
 \*下三三才9 「き」―底本「き」字の下、「り」見消。  
 \*下三三才7 「に」―補入符により補入。  
 \*下三四才3 「う」―底本「ら」全集本により校訂。  
 \*下三四才4 「い」―底本「ゆ」見消。  
 \*下三四才6 「は」―底本「わ」見消。  
 \*下三四ウ9 「は」―底本「わ」見消。  
 \*下三五才6 「わ」―底本「は」見消。  
 \*下三五ウ3 「た」―補入符により補入。  
 \*下三五ウ5 「を」―底本「お」見消。  
 \*下三五ウ7 「お」―底本「を」見消。

- \*下三五ウ 9 「て」―底本「は、」桂宮本により校訂。
- \*下三六才 6 「ひ」―底本「い」見消。
- \*下三六ウ 7 「ひ」―底本「い」見消。
- \*下三七才 3 「め」―底本「る」見消。
- \*下三七才 8 「ひ」―底本「い」見消。
- \*下三七ウ 5 「を」―底本「お」見消。
- \*下三八才 7 「お」―底本「を」見消。
- \*下三八ウ 7 「ゐ」―底本「い」見消。
- \*下三八ウ 8 「ほ」―底本「お」見消。
- \*下三八ウ 9 「し」―底本「り」見消。
- \*下三九才 8 「を」―底本「お」見消。
- \*下三九ウ 9 「ゐ」―底本「ひ」見消。
- \*下四〇才 10 「御かどもいみじく」―底本「ならひなき」見消。
- \*下四〇ウ 7 「は」―底本「わ」見消。
- \*下四〇ウ 8 「を」―底本「お」見消。
- \*下四一ウ 7 「き」―桂宮本により補入。
- \*下四一ウ 8 「わ」―底本「は」見消。
- \*下四二才 2 「お」―底本「を」見消。
- \*下四二才 4 「ぶ」―補入符により補入。
- \*下四二ウ 1 「を」―底本「お」見消。
- \*下四二ウ 5 「は」―底本「い」「わ」見消。
- \*下四三ウ 6 「は」―底本「わ」見消。
- \*下四四才 3 「を」―底本「お」見消。
- \*下四四才 8 「は」―底本「わ」見消。
- \*下四四才 10 「を」―底本「お」見消。
- \*下四四ウ 1 「ひ」―底本「い」見消。

- \*下四四ウ 2 「を」―底本「お」見消。
- \*下四五才 2 「に」―底本「の」見消。
- \*下四五才 3 「ひ」―底本「い」見消。
- \*下四五ウ 2 「中納言殿も君のおほいどのの中の君にかよひ給ひて」―補入符により補入。
- \*下四五ウ 5 「を」―底本「お」見消。

# 自立語索引篇



## 自立語索引篇凡例

- 一、本索引は、広島大学蔵本『しのびね』に用いられている総ての語のうち、自立語を、翻字本文に基づいて収載したものである。
- 一、自立語と付属語との区別について、問題のある語等は次のように処理した。
  - 1、「る」「らる」「す」「さす」及び「まほし」は助動詞として扱い、付属語とした。
  - 2、「むず」は一語と扱い、付属語とした。
  - 3、接尾語は収載し見出しに掲げたが、用例はそこに示さず、その接尾語によって構成された単語の項に掲げ、その単語をそれぞれ参照できるようにした。
  - 4、「この」「その」「わが」等の連体修飾語としての用法は、一語と扱って、連体詞として収めた。
  - 5、「きこゆ」「たてまつる」「たまふ」等の補助動詞の用法のものは収載した。
  - 6、所謂形容動詞は一語として認め、収載した。
- 一、見出し語は平仮名で歴史的仮名遣によって統一し、排列は最終音節までの五十音順とした。字音語は字音仮名遣によることを原則としたが、仮名の直音表記のみのものはそれを尊重した。見出し語には原則として品詞名は記さないが、他と弁別を要するものについては《》に包んで記した所がある。活用語の活用形式やその他についても同様に処理した。
- 一、見出し語は単語を原則とする。接尾語、複合語の下位要素からも検索できるように参照項目を設けた。
  - 1、単語の認定について、問題のある語等は次のように処理した。
    - 1、動作性の漢語にサ変動詞「す」の付いた形は、一語と扱って収載した。この場合、「す」の項目からも、それぞれの漢語サ変動詞を参照できるようにした。
    - 2、所謂連用形転成名詞に相当するものは、総て名詞と扱って収載した。
  - 一、見出し語の字音仮名遣については、当時の音価と表記とを考え左に従った。
    - 1、合拗音は「くわ」「ぐゑ」で表し、これを「か」「け」と区別する。
    - 2、鼻音のmとnを区別し、それぞれ「む」と「ん」の表記に従う。その排列は「む」(m)をマ行に排列せず、ワ行の次の「ん」(n)と同じ位置に排列する。
    - 3、「中」は「ちう」とする。
  - 一、見出し語には、意味識別の便宜上、その意味に当たると考えられる現行の漢字を宛てた。
  - 一、漢字の読み方は概ね左の基準に従った。
    - 1、「侍」(動詞・補助動詞)「御」(接頭語)については、底本に仮名書きのある場合はそれにより、仮名書きのないものについては原則として「はべり」「おほむ」に統一した。
    - 2、官職名で人物を指す場合には、原則として音読した。

3、漢数字については、便宜的な処理として、一から十までを訓読し、十一以上はおおむね音読した。

一、用例は、一文節を底本の表記に従って示した。但し、補助動詞はその上接語（又は語句）を示すことを原則とした。

一、用例の排列は出現順とした。

一、用例の所在は、上下巻の別を上・下で、丁数を漢数字で、丁の表・裏をオ・ウで、行数をアラビア数字で示した。

例、あいぎやう 上一〇ウ2……「あいぎやう（愛敬）」の語頭が上巻第十丁裏二行目にあることを示す。

一、和歌及び引歌表現に用いられている用例については、他と区別するために所在の後に\*を付けて示した。

一、活用語については、終止形を見出しとする。

作成者

石井聡子、大久保綾子、小倉健太、片桐まい、豊川史子、中原縁、平田哲也、藤原志穂、前田夏海、松浦目委、松尾晋平、松嶋美樹、松本光隆、森岡信幸、山崎麻衣

# あ

あい(愛) ↓うちあいす

あいぎやう(愛敬)

あいぎやう

あいぎやうは

あいぎやう

あいぎやうは

あいぎやうは

あいぎやうは

あいぎやうづく(愛敬付)

あいぎやうづき

あいぎやうづき

あいしきよつず(愛興)

あいしけうじも

あかし(明)

あかく

あかき

あかし(赤)

あかき

あかき

あかく

あかしくらす(明暮)

あかしくらすも

あかす(明) ↓かたらひあかす

あかし給ふべきと

あかし給

あかつき(曉)

あか月は

あかつきに

あか月に

あか月

あかむ(赤)《四段》 ↓うちあかむ

ちあかみこち・なきあかむ

あかむ(赤)《下二段》 ↓うちあかむ《下二段》

あからむ(赤) ↓うちあからめたつ

あがる(上) ↓おきあがる

あがり給はず

あがり給はず

あがり給はず

あがり給はず

あがり給はず

あがらず

あき(秋)

秋

秋にも

秋の

秋にも

秋

あきらかなり(明)

あきらかに

上四八オ9

上三〇オ5

下二三ウ9

下二五ウ8

下四四ウ2

下四四ウ2

下四四ウ2

下四四ウ2

下四四ウ2

下四四ウ2

上二七オ7

上二九ウ7

上四八オ8

下一五ウ4

下三〇ウ9

下三一ウ4

上二六ウ6

上一九ウ1

上四七ウ7

下三三オ7

下四一ウ1

下四五オ5

下四五オ5

下四五オ5

下五オ9

あきらかに

あきらむ(明) ↓まうしあきらむ

あく(飽)

あかぬ

あかぬ

あかぬ

あかぬ

あく(開)《下二段》 ↓いそぎあく

あけたる

あけて

あけて

あけて

あく(開)《四段》

あきて

あかすながら

あく(明)

あけて

あくる

あくる

あくる

あける

あけて

あけて

あけて

あけて

下一四ウ5

上一オ4

上一六ウ2

下三六オ6

下三六オ6

下三七ウ2

上一ウ9

上九オ3

上四六オ8

下二九オ4

下二六ウ1

下二六ウ2

上一二オ6

上一六オ1

上一六オ1

上一七オ1

あくる	下三三ウ 5	あけくるゝを	上二五ウ 8	あさの	下二八才 10
あくる	下三八ウ 2	あけくるゝ	上二九才 4	あさし(浅)	
あくる	下四五才 9	あけくれ(明暮)	あさき	あさき	上六才 7
あぐ(上) ↓うちみあぐ・かきあぐ・さしあぐ・		あけくれの	あさき	あさく	上八才 6
ひきあぐ・みあぐ		あけ暮	あさき	あさき	上九才 5
あくがる(憧)		明くれ	あさからぬも	あさからぬも	上一二才 5
あくがれ侍り	上四ウ 10	明暮	あさからぬ	あさからぬ	上一二ウ 3
あくがれまほしく	上二九才 7	あけくれ	あさからぬ	あさからぬ	上一二ウ 3
あくがれ給ふぞ	下八ウ 10	明くれは	あさからぬ	あさからぬ	上一二ウ 6
あくがれありく(憧歩)		あけくれ	あさからぬ	あさからぬ	上一二ウ 6
あくがれありきたまふらんなど	上一三ウ 8	あこ(吾子)	あさからぬ	あさからぬ	上一二ウ 6
あくがれいづ(憧出)		あこは	あさはかなる	あさはかなる	下一〇才 8
あくがれ出たる	下五才 2	あこをば	あさましかなる	あさましかなる	上一二ウ 9
あくがれいでし	下一三ウ 3*	あこをこそ	あさましかまで	あさましかまで	上一三ウ 8
あくがれいで給ひなば	下二三才 6	あこを	あさましかまで	あさましかまで	上一三ウ 8
あくまで(飽)		あこを	あさましかまで	あさましかまで	上一三ウ 8
あくまで	上三二才 1	あこを	あさましかまで	あさましかまで	上一三ウ 8
あくまで	下二六ウ 5	あこをば	あさましかまで	あさましかまで	上一三ウ 8
あくるひ(明日)		あこをば	あさましかまで	あさましかまで	上一三ウ 8
あくるひ	上四〇ウ 2	あこが	あさましかまで	あさましかまで	上一三ウ 8
あくるひも	上四一ウ 3	あこが	あさましかまで	あさましかまで	上一三ウ 8
あくるひも	下二一ウ 6	あこを	あさましかまで	あさましかまで	上一三ウ 8
あけ(明) ↓ありあけ		あこよ	あさましかまで	あさましかまで	上一三ウ 8
あけがた(明方)		あこが	あさましかまで	あさましかまで	上一三ウ 8
あけがた	上九ウ 4	あこが	あさましかまで	あさましかまで	上一三ウ 8
あけくる(明暮)		あさ(麻)	あさましかまで	あさましかまで	上一三ウ 8

あしき	上二六才五	あそぶ	下三七ウ五	あかふ(扱) ↓みたまへあつかふ	
あしき	上二〇才七	あたらし(惜)	上一九ウ七	あつし(熱)	上四七ウ四
あしければとて	上二三才九	あたらしき	下二七才九	あつきまで	
あしければ	上二八才三	あたらしき	上五〇ウ九	あつまる(集)	上三才二
あしければ	上三〇ウ五	あたらしさ(惜)	上五〇ウ九	あつまりて	
あしき	上三六才八	あたらしさにと	上五〇ウ九	あつむ(集) ↓とりあつむ	
あしと	上三六ウ一	あたり(辺) ↓おほむあたり・てあたり	上二八ウ三	あて(当) ↓おしあて	
あしからんと	上三七才一〇	あたりの	上二八ウ三	あてなり(貴)	
あしき	上四〇ウ六	あたり	上五ウ二	あてに	上二ウ一
あしき	上四八才四	あたりと	上二八ウ三	あてやかなり(貴)	上五才一
あしく	下三ウ二	あたりに	上三六ウ一	あてやかに	
あし(足)	上三八ウ一	あたりへ	下五才二	あと(跡)	
あしも		あたりを	下八才五	あと	上九才四
あした(朝) ↓またのあした		あたりなれども	下二二才七	あとだに	上四五才七
あした	上三六ウ六	あたり	下二二ウ七	あとゝ	下六才二
あした	下二才九	あたりの	下二八才一〇	あと(後)	
あす(明日) ↓けふあす		あぢきなし(味気無)	下四三才七	あとに	上四七才六
あすを	上二一才一	あぢきなき	上二二才七	あとにも	下二八才七
あすとの	上二四ウ三	あぢきなき	上二二才七	なからんあとに	下二九ウ一
あす	上三九才九	あぢきなき	上二二才七	あな	
あすをも	上四〇ウ七	あぢきなき	上二二才七	あな	上二六ウ二
あそび(遊) ↓おほむあそび		あぢきななくて	上二七ウ一〇	あな	上四四才八
あそぶ(遊) ↓わらひあそぶ		あぢきななくて	上四〇才一〇	あな	上四四ウ五
あそび給ふに	下三才三	あぢきなくて	下四ウ七	あな	上五四ウ七
あそび給ひつらめとて	下二八ウ五	あぢきなくて	下二一才九	あな(穴)	
あそび給へば	下三七ウ四	あつ(当) ↓おしあつ・さしあつ		あなの	下九才四

あない(案内)	あはれ	あひだ(間)
あない	あはれ	あいだ
あながちなり(強)	あはれさ(哀)	あふ(合) ↓ ひびきあふ
あながちにも	あはれさ	あへ給はず
あなた(彼方)	あはれなり(哀)	あふ(敢) ↓ せきあふ
あなたへ	あはれにて	あふぎ(扇) ↓ おほむあふぎ
あなづらはし(侮)	あはれに	あふぎにて
あなづらはしからず	あはれにて	あふぎを
あなづる(侮)	あはれに	あふぎ
あなづられたてまつらじとて	あはれなり	あふぎにて
あなづらるべき	あはれなりとも	あふさか(逢坂)
あに(兄)	あはれに	あふさかの
あにゝ	あはれなり	あふさかの
あの(彼)	あはれに	あふさかの
あの	あはれにて	あふち(棟)
あはす(合) ↓ おぼしあはす・おぼしめしあはす・おもひあはす・ひきあはす・みあはす	あはれなり	あふちの
あはせて	あはれに	あぶら(油) ↓ おほとなあぶら・おほむとのあぶら
あばらや(荒屋)	あはれなり	あへかなり
あばらやには	あはれに	あへかなる
あはれ(哀)《名詞》	あはれに	あま(海士)
あはれ	あはれに	あまの
あはれ	あはれなる	あま(尼) ↓ おほむあまぎみ
あはれとも	あはれにも	あまにも
あはれ(哀)《感動詞》	あはれなりし	あまに
あはれ	あはれなる	あまに



あらはれぬべく	下三一ウ 10	あらじと	上一ウ 7	あらず	上二三オ 9
あらふ(洗)		あらじと	上一二ウ 5	あらん	上二五ウ 1
あらはれたりしも	上三三ウ 1	あるべしと	上一四ウ 5	ありとも	上二五ウ 1
あらはれたりしを	上四五オ 7	あらじ	上一四ウ 6	あらめ	上二五ウ 2
あられ(霰)		あらん	上一四ウ 7	ありつる	上二七オ 7
あられ	上二九ウ 7	あらんと	上一四ウ 9	あれ	上二八オ 4
あられ	上二九ウ 10*	あれば	上一五オ 6	あらずと	上二八オ 7
あられ	上三〇オ 4*	あるかな	上一六オ 5	あるらめ	上二八ウ 7
あり(有)	下一ウ 2	ありて	上一六ウ 6	あらじ	上二八ウ 8
ありて		あらばやと	上一六ウ 9	あらず	上二九オ 10
あり	上一ウ 3	あり	上一八オ 3	ありつる	上三二ウ 8
ある	上一ウ 4	あらず	上一八ウ 6	あらしなど	上三三オ 9
あるらめと	上一ウ 4	あらず	上一八ウ 6	あらし	上三五オ 2
あらんと	上二オ 8	ありとは	上一九ウ 6	あれば	上三六オ 2
あらんと	上三オ 2	あらめ	上一九ウ 7	あらず	上三六オ 4
あらんと	上三ウ 6	ありとは	上一〇オ 10	あらばやと	上三六オ 4
あらず	上四オ 10	ある	上一〇ウ 2	あらん	上三六オ 8
あるまじく	上七オ 7	あれと	上一〇ウ 3	あり	上三八オ 1
あるかな	上七オ 8	あらず	上一一オ 5	ありし	上三八オ 2
あらず	上七ウ 4	あらじと	上一二オ 4	ありしよりは	上三八オ 8
あらず	上七ウ 6	あらめとばかり	上一二オ 6	あるべきをとて	上三八オ 9
ある	上七ウ 9	ありとも	上一二オ 8	ありし	上四〇オ 5
あれば	上八オ 4	あらん	上一二ウ 2	あり	上四一ウ 7
あらず	上八ウ 10	あらんと	上一二ウ 3	あり	上四二オ 1
ありなど	上一〇オ 1	ありとも	上一二ウ 4	ありけるよと	上四二オ 4
あるに	上一一オ 8	あらじ	上一三オ 4	あらし	上四二ウ 3
あらず	上一一オ 9	ありとも	上一三オ 8	あるにこそと	上四三オ 5

あり

ありしに	上四三才6	ありと	上五二才10	あれば	下九才5
ありしと	上四三ウ6	あらめ	上五二ウ2	あらぬをと	下九ウ7
あるに	上四四才4	あるべき	上五二ウ5	ありて	下一〇才5
あらば	上四四才5	ありながら	上五四才3	あらじと	下一〇才8
ありしか	上四四才5	あるを	上五五才1	あらん	下一〇ウ6*
ありけるかなと	上四四才10	あらじ	下一才6	ありて	下一一ウ2
あらめと	上四五ウ5	あらじ	下一ウ10	ありし	下一一ウ5
ありし	上四六才2	あらん	下二才3	あらんとのみ	下一一ウ6
ありし	上四六ウ1	あらば	下二才5	ありし	下一一ウ6
あらせんと	上四六ウ4	ありしと	下三ウ1	ある	下一二才9
ありし	上四七才10	あらば	下四才9	あるべきを	下一二ウ6
ありし	上四七ウ7	ありとばかり	下四才9	あるべき	下一二ウ8
あれば	上四八才3	ありと	下五才1	あれば	下一三才4
あり	上四八才6	あらじ	下五才5	あり	下一三才9
あれども	上四八才8	ありて	下五才5	あらず	下一三ウ1
あれと	上四八ウ9	ありし	下五才9	あるかな	下一四才8
ありし	上四九才3	あるを	下五才9	あるべきこそ	下一五才6
ありとも	上四九才6	あらんと	下五ウ6	あるべき	下一五才8
あれと	上四九才10	ありし	下六才1	あらんと	下一五ウ7
ありとも	上四九ウ10	ありし	下六才9	あらめと	下一五ウ8
ありと	上五〇才3	あるべき	下六ウ8	あらば	下一五ウ9
あらじと	上五〇才4	あらぬをと	下六ウ8	あるやらんと	下一六才2
ある	上五一ウ7	あるべきにて	下七才1	あるべしと	下一六才3
ありと	上五一ウ9	ありしにも	下七才4	ある	下一六才9
あらじに	上五一ウ10	あらず	下七才4	あらぬをなど	下一七ウ1
あらめ	上五二才5	あらば	下八才1	ありと	下一八才9

ありと	下二八ウ 8	あるべき	下三三ウ 9	ありがたく	上一〇ウ 3
あるにやと	下一九オ 2	ある	下三三ウ 10	ありがたき	上一五ウ 10
あれど	下一九ウ 2	あらず	下三四オ 5	ありがたき	上三三オ 4
あらめ	下一九ウ 2	あらし	下三四ウ 3	ありく(歩) ↓あくがれありく・かいまみあり	
あらせたてまつらん	下一九ウ 9	あらし	下三五オ 1	く・かよひありく・たたずみありく・たづ	
あらば	下二三オ 7	あらじとなむ	下三五ウ 6	ねありく・ながめありく・はしりありく	
あらめ	下二三オ 8	あるべき	下三六ウ 10	ありさま(有様) ↓おほむありさま	
あるべしを	下二三ウ 2	ありけめと	下三七オ 3	ありさまならば	上二ウ 3
ありし	下二三ウ 3	あるべしとて	下三七ウ 2	有さま	上三一ウ 4
あるまじ	下二四オ 5	ありし	下三七ウ 6	ありさまは	下三ウ 7
あるべきにても	下二四ウ 3	あらず	下三七ウ 7	ありさまを	下一二オ 7
あり	下二五ウ 10	あらんとして	下三八オ 1	ありさまかな	下一八オ 8
あれば	下二六ウ 1	あれば	下三八オ 7	ありさま	下三六ウ 10
ありとも	下二七ウ 3	ありし	下三九オ 9	ありどころ(有所)	上五〇オ 6
あるまじと	下二七ウ 6	あらまほしけれども	下三九ウ 7	あり所	
あらず	下二七ウ 6	ありし	下四〇オ 3	ありのまま(有俚)	
あり	下二九オ 3	有ける	下四一オ 1	ありのまゝに	下五オ 8
あり	下二九オ 3	あらずと	下四一オ 10	ありふ(在経)	
あれかしと	下二九ウ 10	ありしに	下四三オ 4	ありへば	下五オ 9
あれば	下三〇ウ 3	ありし	下四四ウ 2	ある(荒)	
あらまほしけれども	下三〇ウ 6	ありまじう	下四五オ 9	あるゝ	下一ウ 2
あるべきと	下三一オ 2	ありけり	下四五ウ 4	ある(或)	
あらめ	下三一ウ 7	ありあけ(有明)	下四ウ 6	ある	上五〇ウ 2
あるべきかは	下三二オ 5	ありあけの	下三〇オ 8 *	ある	下三九オ 10
ありし	下三三オ 4	あり明の		あれ(彼)	下四〇ウ 9
ありし	下三三オ 10	ありがたし(有難)			

あれ — いかなり

あれ

あわたたし(慌)

あはたゝしくて

あはたゝしぎ

あはたゝしぎを

あをし(青)

あをき

あをき

あをき

あをむ(青) ↓ やせあをむ

あんじち(庵室)

あんじちに

# い

いうしよく(有職)

いうしよくと

いかが(如何)

いかに

いかに

いかに

いかに

いかに

いかに

いかに

下 一八オ 7

上 一〇オ 7

下 一〇オ 3

下 二三ウ 10

上 一ウ 9

下 九オ 7

下 三六ウ 5

下 四〇ウ 9

上 一オ 1

上 四オ 10

上 一三オ 3

上 一五オ 10

上 一六オ 10

上 一九オ 5

上 二六オ 2

上 四三オ 7

いかに

上 四三ウ 3

下 五オ 9

下 五オ 9

下 五オ 9

下 七オ 3

下 一オ 7

下 一三ウ 7

下 二オ 4

下 二ウ 3

下 二七オ 8

下 三八オ 5

上 四ウ 5

下 二ウ 7

上 五ウ 4

上 四二オ 9

下 一ウ 1

下 二二オ 3

下 四二ウ 5

上 五オ 4

上 一ウ 9

上 二五オ 7

上 三〇オ 3 \*

上 三五ウ 7

いかに

下 三ウ 5

下 一五オ 7

下 二四オ 9

下 二四ウ 3

下 四一ウ 10

上 一ウ 7

上 二ウ 4

上 三ウ 9

上 四ウ 2

上 五オ 3

上 七オ 4

上 七ウ 10

上 一オ 2

上 一三ウ 8

上 一七オ 3

上 一八ウ 4

上 二一ウ 4

上 二二オ 8

上 二二ウ 1

上 二二ウ 3

上 二二ウ 10

上 二三オ 2

上 二四オ 3

上 二七ウ 8

上 二八ウ 9

いかに	上三二オ 4	いかなる	下二オ 7	いかにく〜と	上五三オ 6
いかに	上三二ウ 7	いかなる	下二ウ 3	いかにも (如何)	
いかに	上三六オ 9	いかに	下二ウ 5	いかにも	上七ウ 10
いかに	上四六オ 9	いかに	下二ウ 8	いかにも	上八オ 8
いかなる	上四八オ 7	いかに	下二ウ 10	いかにも	上一ウ 6
いかに	上四八ウ 8	いかなる	下四オ 3	いかにも	上二一オ 4
いかに	上四九オ 9	いかに	下四オ 4	いかにも	上三六オ 9
いかに	上五〇オ 1	いかなる	下一五オ 4	いかにも	上四五ウ 3
いかなる	上五一オ 4	いかなる	下一五ウ 9	いかにも	上四六ウ 6
いかなる	上五一オ 8	いかに	下一六ウ 4	いかにも	下四オ 6
いかなるべきにかと	上五一ウ 2	いかなる	下一九オ 10	いかにも	下五オ 3
いかに	上五三ウ 3	いかに	下二〇オ 4	いかにも	下七ウ 4
いかに	上五四オ 8	いかなる	下二三オ 5	いかにも	下一二オ 4
いかなる	上五四ウ 1	いかに	下二四ウ 1	いかにも	下二七オ 10
いかに	上五四ウ 8	いかなりし	下二五オ 3	いかにも	下二九ウ 9
いかなりとも	下一オ 1	いかに	下三〇ウ 2	いかばかり (如何)	
いかなる	下二オ 7	いかに	下三一ウ 5	いかばかりの	上七ウ 1
いかなる	下四オ 3	いかなる	下三一ウ 8	いかばかりの	下八ウ 5
いかなりし	下五オ 9	いかに	下三二オ 5	いかばかりかと	下一四オ 6
いかにか	下六ウ 1	いかに	下三二ウ 2	いかやうなり (如何様)	
いかなる	下八オ 9	いかなる	下三五オ 9	いかやうなる	下二オ 2
いかなりし	下八ウ 9	いかに	下四四オ 5	いきほひ (勢) ↓おほむいきほひ	
いかに	下九ウ 10	いかに	下四四ウ 10	いきほひを	上二八オ 10
いかなる	下一オ 2	いかに	下四五オ 9	いきほひと	下三八ウ 8
いかなる	下一オ 4	いかにいかに (如何如何)	上三〇ウ 3	いくほど (幾程)	
いかなる	下一ウ 10	いかにく〜と		いくほど	上五オ 7

いくほど	上二八ウ 2	いできて	上三八ウ 3	いたはらるゝが	上二八オ 9
いくほど	上四〇オ 9	いだから給ふ	下二六ウ 3	いたや(板屋)	
いくほど	上五二ウ 5	いたし(甚)	上三二ウ 5	いたやの	上三〇オ 4 * (「痛や」と掛詞)
いくほどならぬ	下一四ウ 4	いたく	下六オ 6	いたる(到)	
いさむ(諫)	上二一オ 6	いたう	下二一ウ 10	いたりぬれば	下二九オ 7
いさめたまふにや	下五ウ 9	いたく	下二一ウ 10	いちご(一期)	
いさめ給へども		いたし(痛) ↓かたはらいたし・こころいたし		いちごは	上一七オ 6
いざりいづ(壁出)		いたや	上三〇オ 4 * (「板屋」と掛詞)	いちど(一度) ↓いまいちど	
いざりいで給ふ	上九オ 3	いたく	上四七ウ 4	いちりやう(一輛)	
いし(石) ↓ちびきのいし		いたかるべし	下一二オ 8	一両には	上一五ウ 3
いそぎあく(急開)		いたしげなし		一りやうには	上一五ウ 4
いそぎあけて	下三〇オ 6	いたしげなき	下五ウ 2	いつ(何時)	
いそぎいづ(急出)		いだす(出) ↓うちごらんじいだす・ごらんじ		いつまでか	上一八オ 10
いそぎいで給はんと	上三八オ 1	いだす・さうしいだす・しいだす・とりい		いつの	上一八ウ 8
いそぎいる(急入)		だす・みいだす		いつ	上二七ウ 6
いそぎ入て	下四一ウ 6	いださばやと	上三六オ 10	いつより	上三九ウ 6
いそぎおはず(急御座)		出したてまつらん	上四七ウ 9	いつと	下一ウ 6
いそぎおはしたれば	上四六オ 6	いだし給へり	上四七ウ 3	いつと	下七ウ 7
いそぎたつ(急裁)		いだししたてまつるとも	下五ウ 3	いつと	下一一ウ 5
いそぎたちて	上二三ウ 3	い出して	下二一ウ 10	いつよりも	下二五オ 7
いだきのす(抱乗)		いたづらなり(徒)		いつの	下二六ウ 7
いだきのせてまつり給	上二六オ 6	いたづらに	下三〇オ 1	いつの	下三二オ 1
いだく(抱) ↓かきいだく		いたづらに	下四三ウ 4	いづ(出) ↓あくがれいづ・いざりいづ・いそ	
いだきて	上二六オ 4	いたはし(労)	上二四オ 3	ぎいづ・うちいづ・おいいづ・おほしいづ・	
いだきたてまつりて	上二六ウ 8	いたはしく		おぼしめしいづ・おもひいづ・こぼれいづ・	
いだきて	上三八オ 4	いたはる(労)		さしいづ・すすみいづ・すべりいづ・たち	

いづ・ちぎりいづ・とりいづ・ながれいづ・はしりいづ・まよひいづ									
出べき	上三ウ 10	いで給へ	上四三ウ 3	いづかたにてか	上二六ウ 3				
いで、侍れば	上四オ 5	いで給ふ	上四四オ 3	いづかたも	上一九オ 8				
いでたり	上五ウ 8	出にしと	上四四オ 6	いづかたへも	上二九オ 6				
いで給ふは	上六ウ 3	いで給はぬにこそ	上四五ウ 4	いづかたをも	上四〇ウ 5				
いで給	上一〇オ 8	いでぬる	上四七オ 1 *	いづかたへも	上四一ウ 9				
いで、	上一一オ 10	いで給ふらん	上四八オ 2	いづかたも	下二オ 10				
いでたまふ	上一三ウ 1	出給ふ	上四八ウ 4	いづく(何処)	上二オ 6				
出給ふ	上一三ウ 3	出にし	上四九オ 5	いづくより	上二ウ 8				
出給ふ	上一五ウ 3	いでたるを	下一〇ウ 10	いづくも	上三一ウ 3				
いでたまふ	上一二ウ 7	いで給ふとて	下一一ウ 8	いづくへ	上三五オ 10				
いでも	上一〇オ 10	出たまふ	下一二オ 6	いづくも	上三五ウ 10				
いで給ふ	上一一オ 10	いで侍らんと	下一三ウ 9	いづくへ	上四二オ 9				
出給ふ	上一一ウ 1	出給ふべき	下一四オ 9	いづくへ	上四二オ 9				
出給ふ	上一二ウ 3	出給へば	下一四ウ 4	いづくへぞ	上四六オ 10				
出給へと	上一三ウ 3	いで給ふ	下一四ウ 5	いづくにも	上四九オ 6				
出給ふ	上一五オ 2	いでたまへども	下一四ウ 5	いづくに	上五〇オ 1				
出給ふ	上一五オ 4	いで給ふ	下一五オ 4	いづくに	上五〇オ 1				
出給ふ	上一六ウ 6	出給ひしが	下一六ウ 8	いづくへ	下六ウ 3				
いで給ふ	上一六ウ 7	出給ひし	下一八ウ 8	いづくに	下一四オ 4				
いでじと	上一九オ 3	いでも	下一一オ 1	いづくに	下一六オ 2				
出給へとて	上一九オ 10	いつか(何時)	下四四オ 6	いづくを	下一六ウ 9				
いでも	上一四一オ 5	いつか	上一八オ 7	いづくへと	下一八オ 1				
いでよと	上一四二オ 1	いつか	下三三ウ 9	いづくにても	下一一オ 7				
出給ひし	上一四二オ 3	いつか(五日) ↓きつきのいつか		いづくの	下二二ウ 5				
いでたまひしにても	上一四二ウ 10	いづかた(何方)		いづくの	下二三オ 4				
				いづくまでも	下二三ウ 5				





いとほしげに	下三七オ4	いはんかたなく	上三一ウ4	いふ(言) ↓ものいふ	
いとほしみ(愛) ↓おほむいとほしみ		いはんかたなく	上四三ウ9	いへば	上二オ7
いとま(暇) ↓おほむいとま		いはんかたなく	下一〇オ3	いふに	上二オ9
いとまごひ(暇乞)		いはんかたなく	下一〇オ6	いふは	上二オ9
いとまごひ	下二四ウ8	いひ(言) ↓とゆひかくいひ・ものいひす		いひも	上二ウ1
いなむ(否)		いひかはす(言交)	上九ウ2	いふ	上三オ4
いなみ給はんも	上九オ1	いひかはしたまふ		いふに	上三ウ2
いのち(命) ↓おほむいのち		いひけつ(言消)	上二八オ2	いふに	上三ウ5
いのちの	上一オ1	いひけち給へるに		いへば	上四オ3
いのちの	上二二ウ2	いひしる(言知)	上一二オ3	いふに	上四オ6
いのちこそ	上三四オ5	いひしらず		いふ	上四ウ5
いのちさへ	上四七ウ5	いひつたふ(言伝)	下一二オ9	いふ	上四ウ8
いのり(祈) ↓おほむいのり		いひつたへん		いはせ給ふ	上五オ2
いのる(祈)		いひつづく(言続)	下一五オ6	いふべき	上八オ7
いのり給ふ	上五〇オ7	いひつゞけて		いふ	上一五ウ5
いのりたまふ	下四〇ウ6	いひなす(言為)	上六ウ8	いひも	上二六ウ7
いは(岩)		いひなせば	上七オ3	いふ	上三〇ウ5
いはの	上一一ウ4	いひなし給ふ		いふ	上三〇ウ10
いはの	下一九オ10	いひならふ(言習)	上三二オ3	いふとも	上三一オ5
いはの	下三一ウ6	いひならふべき		いふとも	上三二オ6
いはけなし(稚)		いひまぎらはす(言紛)	上三三オ3	いはぬに	上三二オ7
いはけなや	上四四オ8	いひまぎらはし給ふ	下一一オ1	いふべき	上三五ウ5
いはむかたなし(言方無)		いひやる(言遣)		いふに	上四一ウ6
いはんかたなく	上三一オ4	いひやる	下一一オ1	いふよしも	上五四オ1
いはんかたなきぞ	上三三ウ3	いひをしふ(言教)		いふ	下二ウ1
いはんかたなく	上三ウ7	いひをしへよと	下一オ2	いひも	下六ウ2

いひながら	下七ウ 7	いほり	上五ウ 6	いまを	下二二オ 7
いふ	下一〇ウ 3	いま(今) ↓ただいま	いまならでは	いまならでは	下二六ウ 7
いふ	下一五ウ 10	いま	いま	いま	下二七オ 9
いふ	下一八オ 6	いまは	上八ウ 3	いまは	下三〇ウ 4
いひつる	下二〇オ 4	いまよりは	上二二ウ 7	いまは	下三一ウ 4
いふべき	下二〇ウ 5	いまよりはさへ	上一三ウ 6	いまは	下三二オ 5
いふ	下二七オ 2	いま	上一七ウ 2	いまは	下三五オ 7
いひながら	下二八ウ 3	いまは	上二二オ 4	いまは	下三五ウ 2
いふらん	下三四オ 4	いまこそ	上二五ウ 7	いまより	下三七ウ 1
いはぬぞと	下三四オ 6	いま	上二七オ 4	いま	下三九ウ 9
いはんとて	下三四ウ 9	いまこそ	上三二オ 6	いま	下四二オ 8
いひ	下三八ウ 8	いま	上三三ウ 8	いま	下四二ウ 10
いふ	下四〇ウ 7	いま	上三六ウ 7	いまも	下四三オ 8
いはれ給へる	下四五ウ 1	いま	上三七オ 3	いまよりは	下四四オ 3
いふかたなし(言方無)	上四二オ 5	いま	上四一ウ 7	いまいちど(今一度)	下二三ウ 10
いぶせさ	上五二オ 1	いま	上四二オ 7	いま一ど	下四四オ 4
いぶせき	上五三オ 8	いまは	上五〇オ 10	いまさら(今更)	
いぶせき	下八ウ 3	いま	上五四オ 2	いまさら	
いぶせきは	下一二ウ 2	いまは	下一オ 1	いまだ(未)	下六オ 10
いへ(家)	上二四ウ 2	いま	下三ウ 6	いまだ	下九ウ 3
いゑに		いまは	下五オ 9	いまだ	下一二オ 1
いへち(家路)	上五オ 1	いま	下五ウ 2	いまだ	下一五オ 2
家ちも		いま	下一四オ 5	いまだ	下三四オ 1
いほり(庵)		いまは	下一四ウ 1	いまだ	下三四オ 4
		いまは	下一九ウ 10	いまだ	下三四ウ 7

いまだ	下三八ウ 3	いむなる	下三五オ 2	びいる・たづねいる・にほひいる・ねいる・	
いまだ	下四三ウ 6	いもうと(御妹) ↓おほむいもうと・ちうなご		ひきいる・ふしいる・まぎれいる・みいる	
いまひとたび(今一度)		んのおほむいもうと		入ぬ	上二ウ 7
いまひとたび	下二二ウ 2	いやまさりなり(弥増)		いりぬ	上五オ 10
いま一たびは	下二五オ 3	いやまさりなる	上四〇オ 6	いり給へる	上一ウ 8
いま一たびと	下二〇オ 7	いよいよ(愈)		入給て	上二一オ 8
いま一たび	下二二オ 9	いよく	上一九オ 10	いらぬ	上二三ウ 6
いま一たびと	下二四ウ 6	いよく	上三八ウ 8	いらねども	上三四オ 9
いま一たび	下二六オ 1	いよく	上四〇オ 6	いりて	上四一オ 7
いまめかし(今)		いよく	上五三ウ 2	いりそ	上四五オ 10
いまめかしぎ	下二五オ 10	いよく	下四オ 6	入て	上四六オ 8
いみ(忌) ↓ものいみ		いよく	下四オ 10	いりぬれば	下二五ウ 2
いみじ		いよく	下五ウ 8	いるとも	下三〇オ 9 *
いみじき	上二八ウ 3	いよく	下一六ウ 1	いり給	下四一ウ 1
いみじく	上五四ウ 10	いよく	下二四ウ 10	いる(入) 《下二段》	
いみじくこそ	下二ウ 3	いよく	下三二オ 4	いたたてまつる	上一一オ 10
いみじく	下四オ 7	いよく	下四〇オ 2	いたたてまつり給ふ	上三八ウ 3
いみじうこそ	下一七オ 9	いよく	下四五オ 4	入給はず	上五〇オ 8
いみじく	下一八ウ 1	いらく	下四五オ 7	入て	下一オ 7
いみじく	下二四ウ 9	いらふ(応)		入給はねば	下一三オ 6
いみじく	下二七オ 6	いらへきこえんにも	上七オ 7	いたたてまつる	下一三ウ 9
いみじう	下三一オ 7	いらへ給へば	上八ウ 4	入たてまつるに	下二七オ 6
いみじく	下三五オ 6	いらへ給はん	下一七ウ 9	いれ給へ	下二九ウ 3
いみじく	下四〇オ 10	いらへ(答) ↓おほむいらへ		いろ(色) ↓うすいろ	
いむ(忌)		いる(入) 《四段》 ↓いそぎいる・うちいる・お		色も	上六ウ 7
いんなる物をとて	上五四オ 9	ぼしいる・おもひいる・ごらんじいる・しの		色に	上三一ウ 1

色は  
いろに

上三二オ 1  
上三九オ 2

うきことしらずがほなり(憂事不知顔)  
うきことしらずがほならんも

下二〇ウ 1

うかるべきを  
うき

上一二ウ 7  
上一七ウ 10\*

色は  
いろ

上五三ウ 9  
下四ウ 1

うきみ(憂身)  
うき身に

上四七オ 1\*

うき

上二二オ 5  
上三三オ 1\*

いろ  
色も

下二六ウ 4  
下二八オ 6

うきもん(浮紋)  
うきもんの

下三六ウ 6

うき

上三三ウ 10  
上四二オ 6

いろいろ(色々)  
色く

下四一ウ 2

うき世にも  
うき世を

上四六ウ 6

うき

上四二ウ 9  
上四四ウ 6

いろいろなり(色々)  
いろく

上三三オ 9  
下三オ 3

うき世の  
うき世を

下四三ウ 6

うき

上五二ウ 3  
下四オ 3

いろく

下四オ 2

うけ給へば  
うけ給しかば

下一ウ 8

うき  
うきければ

下六ウ 2  
下一二ウ 1

いろく

下三三オ 8

うけたまはる(承)  
うけたまはり侍と

上四ウ 5

うし(牛)  
うき

下三二ウ 4\*

いろく

下三五オ 8

うけたまはり侍と  
うけたまはりて

上二四オ 5

うし

上三八ウ 1

いろめかし(色)  
いろめかしぎ

下七オ 8

うけたまはれと  
うけひく(受引)

下二七オ 5  
下三一ウ 1

うしなふ(失)  
うしなひたまふ

上四六ウ 5  
下五ウ 5

# う

う(得) ↓こころう

上二七オ 4

うけひき給はぬ  
うけひき給はぬ

上二八オ 2

うしなひて  
うしなひぬべし

下三七オ 9

うきおりもの(浮織物)  
えざらんと

下二ウ 5

うけひき給はぬ  
うけひき給はぬ

上二八オ 2

うし(牛)  
うせ給て

上二八オ 2

うきおりもの(浮織物)  
うきおりもの

下二ウ 5

うごかす(動) ↓ひきうごかす  
うごかす

上五三オ 7

うせ給て  
うせなばやと

上五三オ 7

うす — うちいる

うせ給ひぬると	下三一オ3	うちに	上一六ウ10	うちへぞ	下二三オ10
うせぬると	下三一オ4	うちより	上一七オ8	うちの	下二九ウ3
うせにけれ	下三一ウ5	うちも	上二三ウ2	内へ	下三三オ1
うせ給し	下三五ウ4	中の	上三九オ2	うちへ	下四四ウ3
うせ給し	下三七オ1	うちに	上四四ウ2	うち(天皇)	下四四ウ3
うせ給ひぬるぞと	下四〇ウ4	うちに	上五四オ3	うちの	下一一ウ3
うすいろの(薄色)	上一七オ9	うちに	下二ウ5	うち	下三四ウ7
うすし(薄)		うちながら	下三オ7	うち	下三七ウ4
うすく	上五一オ7	うちに	下五ウ9	うちあいす(打愛)	上一七オ6
うすき	下九オ7	うちにて	下一二オ6	うちあいして	
うすもの(薄物)		うち	下一三ウ10	うちあかみこち(打赤心地)	
うすもの、	上三二ウ1	うちは	下一四オ6	うちあかみ心ち	下七ウ5
うすやう(薄様)	上三四オ10	うちは	下一八ウ6	うちあかむ(打赤)《四段》	
うすやうに	上三四オ10	うちは	下一二オ2	うちあかみ給へる	上一二オ9
うすやう	上四三ウ10	うち	下二六オ5	うちあかむ(打赤)《下二段》	
うたがひなし(疑無)		うち(内裏)	下二九ウ5	うちあかめて	上一二オ8
うたがひなき	下三八ウ10	うちへ	上一八オ8	うちあかめて	下三八オ2
うたてし		うちへ	上一九ウ9	うちあからめたつ(打赤立)	
うたてくも	上六ウ8	うちへ	上二二ウ6	うちあかめたち給	上四〇ウ8
うたてきや	上三五ウ2	うちへ	上一三ウ4	うちいづ(打出)	
うたてしく	上四四オ9	うちへ	上三七オ8	うち出べきことにも	上八オ4
うたてけれなど	下五オ6	うちへ	上四一オ3	うち出て	上九オ4
うたてく	下四〇オ5	うちへ	下六ウ10	うちいで、	下四オ10
うち(内・中)↓おほむうち・ことしうち		うちなどに	下一一オ8	うちいる(打入)《四段》	下三一ウ4
うちに	上一ウ9	うちへ	下一六ウ6	うち入ても	下一〇ウ2

うちうつつぶく (打俯)	上四九ウ 2	うちかをる (打薫)	下四三オ 7	うちしつゝ	下一ウ 8
うちうつつぶきて	下三五オ 1	うちかほり	下四三オ 7	うちすぐ (打過)	上一八ウ 1
うちうつつぶきて	下三九ウ 3	うちきく (打聞)	下八ウ 1	うちすぎなば	下一〇オ 6
うちうつつぶして	下二七ウ 9	うちきくより	下三七ウ 8	うちすつ (打捨)	下三〇ウ 2
うちうなづく (打領)	上三八ウ 6	うちけさうず (打懸想)	上一一オ 7	うちすてたてまつる	下三六ウ 9
うちうなづきて	下六ウ 5	うちけさうじて	上二一オ 7	うちすて給はん	下七ウ 2
うちおおく (打置)	上三四ウ 5	うちこもる (打籠)	上二三ウ 7	うちずんず (打誦)	
うちをき給ふ	下六オ 9	うちこもりて	上三九オ 7	うちずむじ給て	
うちをきたまへば	下四三ウ 5	うちこもりて	下四四ウ 5	うちそばむ (打側)	上三三ウ 5
うちおどろかす (打驚)	上四五オ 8	うちごらんじいだす (打御覽出)	上三九オ 7	うちそばみて	上三六ウ 4
うちおどろかされて	下四三ウ 5	うちごらんじいだして	下四四ウ 5	うちそばみ給つるを	上四五オ 4
うちおどろかるゝ	上四五オ 8	うち御らんずれば	下七オ 3	うちそふ (打添)	上五二ウ 4
うちおどろかれ給ひて	上五四オ 2	うちさだまる (打定)	上二一ウ 7	うちそひて	
うちかくる (打隠)	上二オ 1	うちさだまるまでは	上二一ウ 7	うちたのむ (打頼)	上八オ 9
うちかくれて	上三九オ 6	うちさわぐ (打騒)	上三ウ 8	うちたのむ	
うちかしこまりて	下二八ウ 3	うちさはぎて	上四六オ 10	うちつけ (打付)	上九オ 6
うちかしこまりて	下四二オ 3	うちさはぎて	下九オ 10	うちつけの	
うちかたたらふ (打語)	上六オ 2	うちさはぎて	下三三オ 10	うちつけなり (打付)	上六オ 7
うちかたたらひ給ふ	下五オ 9	うちさはぎて	下二八オ 3	うちつづき (打続)	下四〇オ 7
うちかたらいなど		うちしめる (打沈)	上二一ウ 3	うちつゞき	
		うちしめり給へる	上五〇ウ 3	うちとく (打解)	上一五オ 3
		うちしめり		うちとけて	下三六オ 9
		うちす (打為)		うちとけたる	

うちとけみゆ (打解見)				
うちとけみえたてまつり給ふ	下二五ウ5	うちはないしのすけにて	上四二オ10	うちまぼる (打目守)
うちながむ (打眺)		うちはらふ (打払)		うちまぼりて
うちながめて	上五ウ9	うちはらひて	上五ウ5	うちまもる (打目守)
うちながめて	上三一オ7	うちひきいる (打引入)	上五ウ7	うちまもりて
うちながめて	上三六ウ4	うちひき入て	上二七オ10	うちみあぐ (打見上)
うちながめ給へるに	下二七オ8	うちひそむ (打潜)	上二七オ5	うちみあげ給ひて
うちながめて	下三二ウ6	うちひそみたまふ	上二七ウ7	うちみまはす (打見回)
うちなく (打泣)		うちひそみ給へば		うちみまはして
うちなきて	上四五ウ7	うちひろぐる (打広)	下九オ8	うちみる (打見)
うちなびかず (打靡)		うちひろごりたる		うちみる
うちなびかして	上三九ウ4	うちふく (打更)	上二一ウ7	うちやすむ (打休)
うちなみだぐむ (打涙)		うちふくる		うちやすみて
うちなみだぐみて	上二八オ4	うちふく (打吹)	下一ウ3	うちやる (打遣)
うちなみだぐみたまへば	上三四オ1	うちふきて	上四八ウ5	うちやり給へば
うちなみだぐみ給ふ	上三六ウ10	うちふくむ (打含)		うちやられたるに
うちにほふ (打匂)		うちふくみて		うちわたり (内辺)
うちにほひたる	上二一ウ5	うちふす (打臥)		うちわたりに
うちにほひて	上三〇ウ7	うちふして	下三〇ウ9	うちわたりも
うちにほひたる	下七オ5	うちほほゑむ (打頬笑)	上二四オ1	うちわらふ (打笑)
うちにほひたる	下四三オ7	うちほゝゑみたまへるに	上三一オ4	うちわらひて
うちのおほいどののしみのせうしやう (内大臣)		うちまざる (打増)		うちはらはせ給て
四位少将)		うちまさる (打交)	下三二オ9	うちわらひたるも
うちのおほいどの、四位の少将とかや 上一オ		うちまさりて		うちわらひ給へるにも
1		うちまず (打交)	上二一オ6	うちわらはせ給へば
うちのないしのすけ (内内侍典)		うちまぜて		うちわらひ給へる

うちゑむ (打笑)	うつくしき	下 一八オ 6	うつつ (現) ↓ ゆめうつつ
うちゑみ給へるに	うつくしき	下 二〇ウ 2	うつぶく (俯) ↓ うちうつぶく
うちゑみ給へるを	うつくしければ	下 二五オ 1	うつぶき給へば
うづきわたり (四月辺)	うつくしと	下 二五オ 8	うつぶきて
四月わたり	うつくしき	下 二六ウ 5	うつぶす (俯) ↓ うちうつぶす
うつくし (美)	うつくしく	下 三七オ 7	うつぶして
うつくしやと	うつくしき	下 三七ウ 9	うづもる (埋)
うつくしければ	うつくしき	下 三九オ 6	うづもれ給へる
うつくしければ	うつくしき	下 四三オ 6	うづもれて
うつくしければ	うつくしき	下 四三ウ 1	うつり (移) ↓ おほむめうつり・めうつり
うつくしく	うつくしう	下 四三ウ 8	うつる (移)
うつくしと	うつくしう	下 四五オ 7	うつりなば
うつくしき	うつくしう		うつりて
うつくしき	うつくしげなり (美)	上 二五ウ 10	うつるふ (移)
うつくしき	うつくしげに	上 三一オ 4	うつろふべくも
うつくしき	うつくしげなり	上 三九ウ 2	うつろふ
うつくしく	うつくしげに	下 六ウ 4	うつろひて
うつくしく	うつくしげなる	下 一六ウ 1	うつろひにけりと
うつくしき	うつくしき (美)		うてな (台)
うつくしき	うつくしきは	上 一二ウ 1	うてなには
うつくしく	うつくしきのみ	上 一六ウ 8	うとまし (疎)
うつくしく	うつくしきに	上 四一オ 1	うとましく
うつくしき	うつくしきに	下 二〇オ 9	うとむ (疎) ↓ おぼしうとむ
うつくしく	うつす (移) ↓ おもひうつす		うとみ給けれ
うつくしき	うつし給はんと	上 三九ウ 9	うなづく (頷) ↓ うちうなづく
うつくしき	うつして	上 四八ウ 8	うばぎみ (祖母君)



うらめしく 下二一ウ 1  
うらめしく 下三〇ウ 2  
うらめしくも 下三〇ウ 10  
うらめしと 下三二ウ 5 \*  
うらやまし(羨) 下二二ウ 6  
うらやましくこそと 下四四ウ 7  
うら山しくも 上三八ウ 9  
うらやむ(羨) 上四九ウ 5  
うらやみたてまつるに 下八ウ 2  
うるさし(煩) 上四九ウ 5  
うるさくて 上四九ウ 5  
うるさき 上四九ウ 5  
うれし(嬉) 上五ウ 8  
うれしく 上六ウ 3  
うれしき 上二六ウ 2  
うれしき物から 上二四ウ 6  
うれしくて 下二〇ウ 3  
うれしくも 下二二ウ 2  
うれしくも 下二二ウ 2  
うれしくて 下二二ウ 3  
うれしくて 下二二ウ 3  
うれしかるべきに 下二二ウ 7  
うれしと 下三三ウ 5  
うれしき 下三四ウ 7  
うれしき 下三八ウ 7  
うれしくも 下四二ウ 6

うれしさ(嬉) 上三一ウ 3  
うれしきに 上三一ウ 3  
うんじやう(雲上) 下二二ウ 6  
雲上の 下二二ウ 6  
え 上四ウ 10  
え 上二二ウ 8  
え 上三七ウ 7  
え 上四五ウ 4  
え 下二七ウ 1  
えいぐわ(栄華) 下四四ウ 8  
えいぐはに 下四四ウ 8  
えぞがしま(蝦夷島) 下二ウ 7  
えぞがしままでも 下二ウ 7  
えん(宴) 下三七ウ 2  
ゑん 下三七ウ 2  
えんなり(艶) 上二ウ 6  
えんなる 上二ウ 6

え

お

おい(老) 上二五ウ 6  
おひも 上二五ウ 6  
おひいづ(老出) 上二九ウ 3  
おひいで給へば 上二九ウ 3  
おいゆく(老行) 下二九ウ 3  
おひゆくが 下二九ウ 3  
おきあがる(起上) 下二九ウ 3  
おきあがりて 上二九ウ 3  
おきあがり給て 上二九ウ 3  
おきあがりて 上二九ウ 3  
おきあがりたまひて 上二九ウ 3  
おきて(捷) ↓ おほむこころおきて 上二九ウ 3  
おきなほる(起直) 上二九ウ 3  
おきなをりて 上二九ウ 3  
おきわかる(起別) 上二九ウ 3  
おきわかれん 上二九ウ 3  
おきわかれ 上二九ウ 3 \* (「置く」との掛詞)  
おく(奥) 上三ウ 3  
おくの 上三ウ 3  
おくなる 上三ウ 3  
おくへは 上三ウ 3  
おくに 上三ウ 3  
おくの 上三ウ 3  
おくの 上三ウ 3

おくまでも

下 一四才 3

をかせおはします

下 三九才 8

をしのごひ給ふ

下 四四才 10

おくに

下 三〇才 9 \*

おくる(送) ↓ごらんじおくる

おしはかる(推量)

下 一三才 10

おく(起)

おきて

上 一三才 3

おこしたまふ

下 二六才 3

おしやる(押遣)

下 一三才 10

おき給はず

上 二二才 8

おこす(遣) ↓ごらんじおこす・かきおこす

をしやりて

上 三一才 8

おきも

上 二七才 7

おこなひ(行)

上 五二才 6

をしやりて

上 五三才 2

おきも

上 二九才 6

おこなひをも

おす(押)

下 三九才 2

おきも

上 四八才 8

おこなふ(行)

おされぬる

下 三九才 2

おき給ふこそ

上 五三才 5

おこなひて

下 一四才 6

おそし(遅)

下 三九才 2

おきだに

下 一五才 4

おこなひ給へども

下 三三才 3

おそくて

上 三八才 1

おき給

下 二五才 8

おこたり(怠)

上 五四才 4

をそくて

下 一〇才 8

おきも

下 三〇才 9

をこたりと

をそくは

下 二二才 8

おきも

下 三一才 4

おしあつ(押当)

おそろし(恐) ↓ものおそろし

上 四才 6

おく(置) ↓うちおく・かきおく・かたらひお

く・きこえおく・こころおく・ごらんじお

をしあてゝ

下 九才 6

おそろしくて

下 一六才 8

く・しおく・のたまひおく・みおく

をしあてゝ

下 三〇才 9

おつ(落) ↓こぼれおつ・ふりおつ

下 一六才 8

をきて

上 二四才 6

をしあてゝ

下 四二才 1

おつるを

上 二一才 4

おき 上二九才 10 \* (「起別」との掛詞)

おしあて(推当)

下 四〇才 8

おちぬれば

下 二二才 7

をき侍らんとこそ

をしあてに

下 四〇才 8

おつれば

下 四才 5

をかん

下 一八才 9

おしけつ(押消)

おつるを

おちに

下 二二才 2

をき給へとて

下 二一才 9

をしけたれ給はむも

上 二〇才 1

おつるを

下 二八才 1

をきたまへば

下 二二才 2

おしのく(押退)

上 四五才 3

おつれば

下 三八才 3

おき給ふ

下 二二才 3

をしのけ給へば

上 四九才 5

おつれば

上 二七才 3

をきたまへば

下 二四才 7

をしのけて

上 四九才 5

おち給はず

上 二七才 3

をきなど

下 二六才 1

をしのけて

上 五一才 3

おと(音)

上 一才 5

をきたてまつりて

下 三七才 5

おしのごふ(押拭)

をと

上 一才 5

をと	上五三才 10	おどろきがほなり (驚顔)	をのれ	上四五才 10
おとにも	下九ウ 7	おどろきがほにも	おはしつく (御座付)	上二〇才 8
をと	下二八ウ 2	おどろく (驚) ↓うちおどろく	おはしつきたれば	上一五ウ 5
おとしむ (貶)		おどろかるゝ	おはしつきて	上三〇ウ 2
おとしめられ給はんも	上七ウ 4	おどろかるゝ	おはしつきても	上一五ウ 5
おとす (落) ↓おぼしおとす・そぎおとす・そりおとす		おどろかれて	おはしつき給ふ	上三一ウ 3
おとすは	下三五才 2	おどろき	おはしつきたれば	上三七ウ 2
おとづる (訪)		おなじ (同)	おはしつきたり	上三八ウ 1
をとづれたまふさへ	下二一才 5	おなじくは	おはしつきたり	下二七才 2
をとづれ給ひて	下四五ウ 5	おなじくは	おはしつきたり	上三〇ウ 2
おとなし (大人)		おなじく	おはしつきたり	上三七ウ 2
おとなしく	上三七才 5	おなじ	おはしつきたり	上三八ウ 1
おとなしくも	下二三才 9	おなじ	おはしつきたり	下二七才 2
おとなしくも	下二九ウ 2	おなじ	おはしつきたり	上三〇ウ 2
おとなしく	下三九ウ 10	おなじ	おはしつきたり	上三一ウ 3
をとなしきまで	下四一ウ 7	おなじ	おはしつきたり	上三七ウ 2
おとなしく	下四五才 8	おなじ	おはしつきたり	上三八ウ 1
おとなしやかなり (大人)		おなじ	おはしつきたり	下二七才 2
おとなしやかなる	上二才 5	おなじ	おはしつきたり	上三〇ウ 2
おとなしやかに	下四三ウ 1	おなじ	おはしつきたり	上三一ウ 3
おとる (劣)		おなじく	おはしつきたり	上三七ウ 2
をとるまじく	上一〇ウ 4	おなじ	おはしつきたり	上三八ウ 1
おどろかす (驚) ↓うちおどろかす		おのづから (自)	おはしつきたり	下二七才 2
おどろかしも	下一一ウ 1	をのづから	おはしつきたり	上三〇ウ 2
おどろかしたてまつれば	下二三才 5	おのれ (己)	おはしつきたり	上三一ウ 3

おはしますと	下二一才七	ききおはす・こもりおはす・ながめおはす・	おはして	上二六ウ八
おはします	下一五ウ三	なきおはす・はしりおはす	おはせぬを	上二七才四
おはしまして	下一七ウ六	おはして	おはして	上二七才八
おはしますとこそと	下一八才二	おはして	おはしたり	上二七ウ四
おはしましゝ	下二九才一	おはすらん	おはすべきぞ	上二七ウ七
おはします	下三四ウ九	おはすらん	おはせよと	上三〇才七
おはしまさず	下三八才八	おはすると	おはす	上三一才八
おはしませば	下四〇才一〇	おはしたり	おはしたるに	上三二ウ四
おはしますと	下四〇ウ七	おはしけれ	おはするに	上三三ウ五
おはしましける	下四二ウ九	おはせめ	おはする	上三四才八
おはしますなど	下四三ウ二	おはしたるに	おはして	上三六才六
おはしましたり	下四五才一	おはして	おはす	上三六ウ五
おはしませば	下四五才七	おはせむとて	おはせよかし	上三六ウ八
おはします(御座)《補助動詞》		おはするぞ	おはしたり	上三七才二
たづねおはしますほど	下七才二	おはせしを	おはする	上三七ウ六
かへらせおはしますが	下一〇才五	おはせて	おはせぬか	上三七ウ六
わたらせおはしますべき	下一一才七	おはしつれば	おはする	上三七ウ八
まいらせおはしますべき	下一一ウ一	おはして	おはして	上三七ウ九
つくさせおはします	下一五ウ二	おはするに	おはす	上三八ウ六
こしらへかねさせおはしますに	下一七ウ七	おはするに	おはすれば	上三九才七
つげさせおはしますなど	下二九ウ四	おはしつるをこそ	おはせよかし	上三九ウ一
よりかゝらせおはしまして	下三四ウ八	おはするぞ	おはせず	上三九ウ八
こもりおはします	下三八才九	おはしては	おはする	上四〇ウ四
をかせおはします	下三九才八	おはして	おはせず	上四一ウ二
みえさせおはします	下四五才九	おはしたるに	おはすれば	上四二ウ二
おはす(御) ↓いそぎおはす・かへりおはす・		おはするぞ	おはしつる	上四三ウ八

おはすと	上四四才 7	おはすらんと	下一八ウ 7	おふ(生)	
おはせしが	上四五才 1	おはせめ	下二〇才 1	おいて	下二六ウ 4
おはせで	上四六才 6	おはしたり	下二〇才 7	おほいどの(大殿)	↓うちのおほいどののしる
おはすらん	上四七才 10	おはして	下二二才 8	のせうしやう・きみのおほいどののなかの	
おはせざんなるこそ	上四九才 3	おはせよと	下二三ウ 5	きみ	
おはして	上四九ウ 7	おはせよとて	下二四才 2	おほいどの、	上九ウ 10
おはせよと	上四九ウ 8	おはして	下二五ウ 5	おほいどのの	上四四ウ 8
おはして	上四九ウ 9	おはして	下二六才 2	おほいどの	上四五ウ 4
おはすらん	上五〇才 2	おはしたるか	下二六ウ 2	おほいどのへも	上四六才 5
おはせざ	上五〇才 5	おはして	下二九才 2	おほいどの、	上五一ウ 6
おはせよ	上五一ウ 6	おはしけるにや	下二九ウ 6	おほいどの、	下二七才 8
おはするに	上五三ウ 3	おはしたれば	下三一ウ 3	おほいどの、	下二七ウ 1
おはすれば	下一ウ 3	おはせよと	下三二才 6	おほい殿は	下三一才 8
おはせず	下六才 1	おはせざらんとて	下三二ウ 9	おほいどの、	下四〇才 4
おはせざとて	下六才 5	おはせよ	下三四ウ 1	おほいどの、	下四一才 5
おはしけるぞ	下六ウ 3	おはせぬば	下三六才 10	おほいどのきたのかた	下三二ウ 6
おはする	下六ウ 6	おはせぬ	下三八ウ 3	おほいどののしるのせうしやうどの(大殿四位	
おはせんずらん	下一二才 6	おはす	下三九ウ 3	少将殿)	
おはせんこそ	下一二ウ 1	おはすらん	下四〇ウ 6	おほいどのの、四位の少将殿にや	上七才 10
おはせんを	下一二ウ 4	おはしたり	下四〇ウ 8	おほいどのの、中納言	下二八ウ 7
おはせよと	下一三才 3	おはすと	下四一才 7	おほいどのの、中納言	
おはするを	下一三才 4	おはする	下四一ウ 7	おほいどののわかぎみ(大殿若君)	
おはせざりし	下一四才 2	おはするを	下四二才 2	おほいどのの、わか君は	下三九才 3
おはせよと	下一五ウ 7	おはせし	下四三ウ 8	おぼえ(覚) ↓おほむおぼえ	
おはせざりし	下一七才 3	おびたし(夥)		おぼえ	下三八ウ 9
おはするに	下一七ウ 9	おびたしく	上三一ウ 1		

おほかた (大方)	下 一七才 5	おぼしいる (思入)	上 二五ウ 2	おぼしすつ (思捨)	上 二四才 5
大かたの	おぼしいりそ	おぼしいる (思入)	上 二七ウ 1	おぼしすてじと	
おほかたなり (大方)	おぼしいりそ	おぼしいる (思入)	上 四八才 5	おぼしそむ (思染)	上 七才 2
大かたに	おぼし入てこそと	おぼしいるぞ	上 五一ウ 4	おぼしそめたる	
大かたに	おぼしいらるれども	おぼしいりそ	下 一ウ 4	おぼしたつ (思立)	
おほきなり (大)	おほしいりそ	おほしうとむ (思疎)	下 三〇ウ 3	おぼしたつなゝど	上 一九ウ 8
大きに	おほしいりそ	おほしおとす (思落)	下 一六ウ 5	おぼしたばかり	上 三六才 10
大きに	おほしうとむ	おほしおとしけるこそ	上 四四ウ 9	おぼしとどこほる (思滞)	下 一九才 7
大きに	おほしおとす (思落)	おほしかへす (思返)	下 二五ウ 3	おぼしとはんじと	上 二五ウ 8
大きに	おほしおとす (思落)	おほしこがる (思焦)	上 五〇ウ 1	おぼしとまる (思止)	上 一九ウ 5
大きに	おほしおとす (思落)	おほしこがれたり	下 一六才 10	おぼしなぐさむ (思慰)	上 二四ウ 2
大きに	おほしおとす (思落)	おほしこがれたり	下 一九ウ 10	おぼしなぐさむ	下 三二ウ 7
大きに	おほしおとす (思落)	おほしおとしけるこそ	上 一七才 7	おぼしなげかましと	上 四三才 7
大きに	おほしおとす (思落)	おほしおとしけるこそ	下 二九才 1	おぼしなげかる	下 三二才 5
大きに	おほしおとす (思落)	おほしおとしけるこそ	上 五二才 2	おぼしなげきて	下 三二ウ 2
大きに	おほしおとす (思落)	おほしおとしけるこそ	上 四六ウ 9	おぼしなす (思為)	上 六ウ 10
大きに	おほしおとす (思落)	おほしおとしけるこそ		おぼしなせかしや	上 二六ウ 3
大きに	おほしおとす (思落)	おほしおとしけるこそ		おぼしなし給へ	上 二八才 8
大きに	おほしおとす (思落)	おほしおとしけるこそ		おぼしなすにこそと	

おぼしなすなん	上五一才 4	おぼしめしなす (思召成)		おほしゆるす (思許)	上五ウ 7
おぼしなして	上五一ウ 5	おぼしめしなすなん	上九才 7	おほしゆるし給へとて	
おぼしなして	下五才 10	おぼしめしなほす (思召直)		おぼしよる (思寄)	下二ウ 2
おぼしなすなとて	下二一ウ 1	おぼしめしなをしたるにこそと	下二一ウ 6	おほしよるにも	下二ウ 2
おぼしなびく (思靡)		おぼしめしよる (思召寄)		おほしよるとも	下一一才 2
おぼしなびかぬなん	上二〇才 7	おぼしめしより侍と	上九才 10	おほしよる	下一九ウ 1
おぼしなる (思成)		おぼしめす (思召)		おほしよる	下三四ウ 3
おぼしなるぞ	上二五才 3	おぼしめす	上二六ウ 2	おほしよわる (思弱)	
おぼしなりぬる	上二〇才 3	おぼしめさぬか	上五二ウ 10	おほしよはりて	上一一才 5
おぼしなる	上四三才 1	おぼしめすまじければ	下五ウ 4	おぼしよする (思忘)	下三三才 5
おぼしのたまふ (思宣)		おぼしめすらんも	下一八ウ 9	おほしわするゝ	
おぼしのたまふ	上二三才 5	おぼしめすまじき	下一九ウ 5	おほしわたる (思渡)	
おぼしはなつ (思放)		おぼしめさば	下一九ウ 6	おほしわたるに	上二一ウ 8
おぼしはなたで	下二四ウ 3	おぼしめさじ	下二〇才 3	おほしわたりつるに	下四一才 8
おぼしまどふ (思惑)		おぼしめすとは	下二二才 3	おほしわづらふ (思煩)	
おぼしまどふ	上二六才 3	おぼしめす	下三〇才 5	おほしわづらふ	上七ウ 6
おぼしまどふも	上二五才 8	おぼしめす	下三一ウ 2	おほしわづらひて	上一〇ウ 7
おぼしまどふ	上二六才 3	おぼしめすも	下三六才 7	おほしわづらひつるを	上一九才 6
おぼしみる (思見)		おぼしめして	下三七才 3	おほしわづらひて	上五四ウ 1
おぼしみたる	下一〇才 8	おぼしめす	下三七ウ 2	おほしわづらひて	上五四ウ 9
おぼしめしあはす (思召合)		おぼしめすに	下三八ウ 4	おほしわぶ (思侘)	
おぼしめしあはせて	下二二ウ 9	おぼしめす	下三八ウ 4	おほしわびたり	下三九才 3
おぼしめしいづ (思召出)		おぼしめして	下三九才 10	おほす (仰) ↓ のたまひおほす	
おぼしめしいでゝ	下四四ウ 6	おぼしめせども	下四〇才 5	おほせらるべき	上八才 2
おぼしめしちぎる (思召契)		おぼしやる (思遣)		おほせらるゝなん	上八才 5
おぼしめしちぎるも	上二一ウ 5	おぼしやるゝ	上二九才 1	おほせらるれば	上三九才 5

おほす — おぼす

おほす	上四六才 3	おぼす	上二八ウ 3	おぼさんと	上四一才 9
おほせらるゝ	上五二才 4	おぼす	上一九ウ 6	おぼしたるに	上四一ウ 3
おほせらるれば	上五四ウ 4	おぼしたるを	上一九ウ 9	おぼしけるにも	上四一ウ 5
おほせらるゝも	下一才 2	おぼさん	上二〇才 10	おぼすとも	上四三ウ 3
おほせられけるに	下五才 7	おぼせど	上二〇ウ 10	おほしな	上四五才 10
おほせらるれば	下一二ウ 10	おぼして	上一一ウ 1	おほすらんも	上四五ウ 2
おほせらるれば	下一八ウ 3	おぼして	上二二才 4	おほされず	上四六才 4
おほせらるゝ	下二二ウ 9	おぼせば	上二四才 4	おほすらん	上四八ウ 8
おほせければ	下四三ウ 4	おぼすにや	上二七才 4	おほせずとも	上四九才 10
おぼす(思) ↓ものおぼす		おぼして	上二七ウ 2	おぼしたり	上四九ウ 4
おぼしたる	上一才 7	おぼしたれば	上二七ウ 5	おぼしつらめ	上五〇才 1
おぼして	上二才 3	おぼす	上二八ウ 7	おほせば	上五〇才 4
おぼして	上二ウ 5	おぼすらんと	上二八ウ 9	おほせば	上五〇才 10
おぼしたる	上一〇才 10	おぼせば	上二八ウ 10	おぼしたり	上五一才 6
おぼしたり	上一一ウ 7	おぼせど	上二九才 8	おぼさんも	上五二ウ 1
おぼすに	上一二ウ 3	おぼして	上二九ウ 2	おほせば	上五二ウ 6
おぼすらん	上一二ウ 6	おぼす	上三一ウ 2	おぼさん	上五二ウ 9
おぼしたる	上一三才 4	おぼしそ	上三四才 3	おほすに	下一ウ 10
おぼして	上一三才 8	おぼされん	上三五ウ 7	おほすらんも	下五才 9
おぼして	上一三才 10	おぼされけめ	上三五ウ 9	おほさじ	下五才 9
おぼして	上一三ウ 6	おぼすにや	上三六才 4	おほさすや	下五ウ 2
おぼして	上一六才 8	おぼすにや	上三六ウ 3	おほせども	下一〇ウ 2
おぼしながら	上一六才 10	おほし	上四〇才 2	おほしつる	下一四才 6
おぼす	上一六ウ 1	おほしければ	上四〇才 7	おぼしたまひけめ	下一四才 9
おほせば	上一七才 1	おほしながら	上四〇ウ 3	おほさで	下一五才 8
おぼさん	上一八才 9	おほせども	上四一才 1	おほして	下一五ウ 10

おぼす	下二六才3	おぼさずやなど	下三五ウ9	おぼえず	上一七才5
おぼせば	下二七才1	おぼして	下三八才8	おぼえぬ	上一九才6
おぼさで	下二七ウ10	おぼして	下三九才8	おぼえずとて	上二八ウ4
おぼして	下二九ウ3	おぼせば	下四〇才6	おぼえて	上二九ウ6
おぼして	下二〇才7	おぼして	下四一ウ1	おぼえず	上二九ウ8
おぼすにも	下二〇ウ7	おぼさるゝ	下四四才8	おぼえてこそとて	上三一才3
おぼすべきと	下二一才4	おぼつかなし(覚東無)		おぼえず	上三二才9
おぼしけり	下二一ウ5	おぼつかなくて	上二才10	おぼえたり	上三三才4
おぼさぬ	下二二才6	おぼつかなし	上七才5	おぼゆれ	上三三才8
おぼせば	下二二才7	おぼつかなきを	上三七才1	おぼえて	上三七ウ8
おぼして	下二二ウ1	おぼつかなくこそ	下二一才3	おぼゆらめ	上四〇才8
おぼして	下二三才10	おほとなあぶら(大殿油)		おぼえて	上四五ウ6
おぼして	下二四ウ6	おほとなあぶら	上二ウ7	おぼえ給はず	上四六ウ2
おぼして	下二五才6	おほとの(大殿)		おぼえぬに	上四七才2*
おぼして	下二五才9	おほとの	上一六才4	おぼえて	上五三ウ9
おぼしたり	下二五才9	おほとのごもる(大殿籠)		おぼゆれなど	下四ウ7
おぼせば	下二六ウ7	おほとのごもりても	上三二才3	おぼえて	下七才8
おぼして	下二九ウ1	おぼめかし		おぼえぬ	下八ウ9
おぼすらん	下三〇ウ2	おぼめかしく	上八ウ5	おぼえて	下一〇才4
おぼすらん	下三一ウ6	おぼめく		おぼゆれ	下一〇才7
おぼせば	下三二才2	おぼめけば	上六才6	おぼえて	下一三才6
おぼせども	下三二才10	おぼゆ(覚)		おぼえて	下一四ウ1
おぼして	下三三ウ7	おぼえざめり	上七ウ1	おぼえて	下一五ウ8
おぼして	下三四ウ7	おぼえ侍と	上八才6	おぼえて	下一六才8
おぼして	下三五才4	おぼゆるに	上一〇才10	おぼゆれば	下一九才3
おぼさば	下三五ウ3	おぼえたまふ	上一〇ウ5	おぼゆれども	下二〇才10



御かたへ	上三二ウ 3	御かほをも	下二三ウ 10	御車を	上四〇ウ 1
御かたより	上四九オ 4	御かほを	下二四ウ 8	御車の	上四二ウ 3
御かたに	上四九ウ 9	御かほの	下二四ウ 10	御車	上四三ウ 2
御かたばかりへ	下六オ 6	御かほ	下三六ウ 8	御車に	上四四オ 10
御かたより	下一一オ 6	御かほの	下四一ウ 5	御くるま	上四四ウ 2
御かたへの	下二五ウ 6	おほむきやうだい (御鏡台)	おほむくるまよせ (御車寄)	御くるま	上二六オ 4
御かたに	下二五ウ 7	御きやうだい	御くるまよせまで	御くるまよせまで	上二六オ 4
御かたへ	下三六オ 5	おほむぐそくども (御具足共)	おほむくわほう (御果報)	おほむくわほう (御果報)	下四〇ウ 2
おほむかへし (御返)	御ぐそくども	御ぐそくども	御くわほうに	御くわほうに	下四〇ウ 2
御返しも	上一一オ 5	おほむくち (御口)	おほむぐゑんぶく (御元服)	おほむぐゑんぶく (御元服)	下四五ウ 3
御返しをも	下三三ウ 4	御くちの	御げんぶく	御げんぶく	下四五ウ 3
御返しせぬは	下三五オ 9	おほむくちずさむ (御口遊)	おほむけさ (御袈裟)	おほむけさ (御袈裟)	下二八オ 4
おほむかへりごと (御返事)	おほくちずさみ給ふ	御くちずさみ給ふ	御けさなど	御けさなど	下二八オ 4
御返事	下一三オ 3	おほむくび (御首)	おほむけしき (御気色)	おほむけしき (御気色)	上一オ 7
御返事	下一三ウ 1	御くびに	御けしき	御けしき	上一オ 7
おほむかほ (御顔)	おほむくらゐ (御位)	おほむくらゐ (御位)	御けしきの	御けしきの	上五オ 8
御かほの	上二二オ 9	御くらゐ	御けしきに	御けしきに	上一〇オ 4
御かほ	上二〇オ 8	おほむくるま (御車)	御けしき	御けしき	上一四ウ 8
御かほ	上二一オ 3	御車	御けしき	御けしき	上一九ウ 2
御かほ	上二四ウ 7	御くるまに	御けしきの	御けしきの	上二二ウ 10
御かほに	上二五オ 2	御くるま	御けしきの	御けしきの	上二八オ 3
御かほより	上二八ウ 4	御車	御けしき	御けしき	上三〇ウ 5
御かほ	上三〇ウ 7	御車に	御けしき	御けしき	上三〇ウ 5
御かほの	上三三オ 10	御車に	御けしき	御けしき	上三六ウ 1
御かほを	上三四オ 7	御車に	御けしき	御けしき	上三六ウ 7
御かほも	上四五オ 6	御車	御けしき	御けしき	下二ウ 9
			御けしき	御けしき	下七オ 2



おほむこころならひ (御心習)	上三三ウ 7	おほむことわり (御理)	下三四オ 7	御さまなりと	上四五ウ 2
御心ならひにやとて		御ことほりに	下三六オ 7	御さまも	上五一ウ 1
おほむこころまうけす (御心設)	上一一オ 8	おほむこゑ (御声)	上九オ 8	御さまを	下二八オ 9
御心まふけし給へる		御こゑにて	上二六オ 8	御さまは	下四一ウ 8
おほむこころもとながる (御心許無)	上四八オ 10	御こゑにて	下八ウ 1	おほむさまども (御様共)	下四四オ 7
御心もとながらせ給へる		御こゑの	下九オ 2	御さまども	上二八オ 2
おほむこと (御事)	上七ウ 5	御こゑの	下二六オ 5	おほむしとね (御褥)	上二四ウ 3
御ことにも	上八ウ 7	御こゑを	下二九ウ 7	御しとね	上五ウ 5
御ことこそ	上一三ウ 8	おほむさま (御様)	上一オ 3	おほむしやうぞく (御装束)	上二四ウ 3
御事	上一五ウ 3	御さまは	上一ウ 1	御しやうぞくなど	上二四ウ 3
御事を	上一六ウ 10	御さまも	上五ウ 9	御しやうぞく	上四八ウ 3
御事	上一三オ 5	御さま	上七オ 8	御しやうぞく	下二八オ 3
御こと	上二七オ 9	御さまは	上七ウ 9	おほむしやうぞくす (御装束)	下二二オ 9
御ことも	上四三オ 9	御さまを	上一〇ウ 8	御しやうぞくしたまひて	
御ことをや	下四オ 8	御さまを	上一一ウ 2	おほむしやうぞくども (御装束共)	上一五オ 7
御ことよ	下一一ウ 9	御さまを	上一四オ 2	御しやうぞくども	上三一オ 8
御ことならねば	下一二オ 4	御さまを	上一六ウ 5	御しやうぞくども	
御ことゝ	下一二オ 7	御さまを	上一七ウ 3	おほむしゆくせ (御宿世)	下一四オ 8
御ことにも	下一四オ 8	御さまを	上一二ウ 10	おほむしゆくせにてこそ	
御こと	下一五オ 5	御さまを	上二七オ 5	おほむしゆくせ (御数珠)	下二四オ 7
御ことの	下三九ウ 8	御さまを	上二八ウ 6	おほむすがた (御姿)	
御ことを	下四二オ 5	御さまを	上四一オ 1	御すがたをも	下四二ウ 5
おほむこと (御琴)					
御こと	上四二ウ 6				
御こと	下三オ 4				

おほむすくせ (御宿世)	上七ウ 6	御袖より	下 一八才 10	御つかひの	上四九才 5
御すくせは	上二〇ウ 9	御袖に	下 二八才 6	御つかひ	下 一〇才 7
御すくせに	上二八才 7	御袖を	下 三三才 7	御つかひ	下 三六ウ 4
御すくせかなと	下 一六ウ 7	御袖	下 四二才 10	御つかひの	下 三八才 10
御すくせかな	下 四三ウ 3	おほむそば (御側)	下 四四ウ 6	おほむつぼね (御局)	下 八才 8
おほむすずり (御硯)	下 一〇ウ 3	御そばの	下 九才 6	御つぼねへ	下 一〇ウ 2
御すずり	下 一〇ウ 3	御そばに	下 三七ウ 5	御つぼねへ	下 二三才 1
おほむすまひ (御住居)	下 二二ウ 6	御そばに	下 三九才 8	御つぼねへも	下 三八才 8
御すまゐにて	下 二二ウ 6	御そばへ	下 三九ウ 1	おほむつれづれ (御徒然)	上 三二ウ 7
おほむせうそく (御消息)	上 一〇才 1	おほむたすけ (御助)	上 一九才 7	御つれづれは	上 三一ウ 7
御せうそくと	上 一〇ウ 7	御たすけとこそ	下 一〇ウ 4	おほむつれづれなり (御徒然)	上 四一ウ 9
御せうそく	上 一〇ウ 7	おほむたたうがみ (御晝紙)	下 一〇ウ 4	御つれづれなるべければ	上 四一ウ 9
おほむせうそこ (御消息)	上 一〇才 8	御たゝうがみに	下 一〇ウ 4	おほむて (御手)	上 二四ウ 8
御せうそこ	上 一〇才 8	おほむたはぶれ (御戯)	下 一〇ウ 4	御てにて	上 二四ウ 8
御せうそこも	下 一〇才 9	御たはぶれの	下 三八才 6	御てを	下 二六ウ 3
おほむぞ (御衣)	上 三二ウ 1	おほむたびね (御旅寝)	下 三八才 6	おほむてうづども (御手水共)	上 一五才 4
御ぞも	上 三二ウ 1	御たびねをも	上 六才 3	御てうづどもなど	上 一五才 4
御ぞに	上 三九ウ 5	おほむため (御為)	下 一四才 7	おほむとし (御歳)	下 四〇ウ 5
御ぞ	上 五二才 8	御ためは	下 一四才 7	御とし	下 四〇ウ 5
御ぞの	下 二二才 2	おほむつかひ (御使)	上 四一ウ 6	おほむとのあぶら (御殿油)	上 三五才 8
御衣	下 三四ウ 5	御つかひ	上 四一ウ 6	御とのあぶら	下 二六才 9
おほむそで (御袖)	上 三二ウ 5	御つかひは	上 四三才 5	御とのあぶら	上 三五才 8
御袖の	上 三三ウ 5	御つかひ	上 四四才 5	おほむとのごもる (御殿籠)	上 三三ウ 4
御袖にて	上 三四才 6	御つかひ	上 四四才 5	御とのごもるにや	上 三三ウ 4
御袖にて	上 三四才 6	御つかひ	上 四八才 3	おほむとのみ (御宿直)	上 三三ウ 4
御袖にて	上 五四才 7	御つかひ	上 四八才 6		

御とのみ	上五才7	御ひとり	上二才8	御まへの	下二才4
おほむなぐさめ(御慰)		おほむひとりね(御独寝)		御まへの	下四才4
御なぐさめにも	上五一才4	御ひとりねこそ	上三〇才5	おほむまゆ(御眉)	上三〇ウ7
おほむなごりをし(御名残惜)	下一才4	おほむふえ(御笛)	下三才1	御まゆも	上三一才7
御名ごりおしく	下二九才6	御ふゑ		御まゆばかり	
おほむなのり(御名乗)		おほむふすま(御衾)	上四二ウ6	おほむみ(御身)	上七ウ2
御なのりを	上二八ウ9	御ふすまなどの		御身を	上七ウ2
おほむなほし(御直衣)		おほむふみ(御文)	上三四才8	御身には	上三才2
御なをしに	下一八才4	御ふみは	上四一才10	御身に	上三才7
御なをし	下四一ウ2	御ふみをば	下一三才7	御身の	下二五ウ5
おほむなみだ(御涙)		御ふみ	下二九才2	御身を	下二七才9
御なみだを	上二四ウ8	おほむふるまひ(御振舞)	下一一才3	御身の	下二七ウ2
御なみだの	下六ウ2	御ふるまひ		御身の	下三八ウ8
御なみだ	下三三才6	おほむまご(御孫)	下四一才5	おほむみみ(御耳)	上三八ウ4
御なみだぞ	下四五才5	御まご		御みゝに	
おほむはさみ(御鋏)		おほむまじり(御交)	下七ウ3	おほむむかへ(御迎)	上九ウ4
御はさみは	下一六才4	御まじりの		御むかへの	上三才9
おほむはら(御腹)		おほむまへ(御前)	上二七ウ10	御むかへの	上三ウ2
御はら	下四〇才9	御まへゝ	上三〇ウ10	御むかへ	上二五ウ10
おほむひざ(御膝)		御まへなる	上三七才6	御むかへに	上四一ウ10
御ひざ	上二一才2	御まへにて	上三八ウ3	おほむむすめ(御娘)	下二四ウ1
御ひざに	上二四ウ5	御まへに	上四九才2	御むすめ	上二七才4
御ひざに	上二七才2	御まへに	下七才1	おほむむね(御胸)	
御ひざに	下九ウ2	御まへに			
おほむひとり(御一人)		御まへに			

御むね	上二二才 2	おほむもと (御元)	おほむよすが (御縁)	下二一才 2
おほむむま (御馬)	御もとに	御もとに	御よすが	
御むまに	下二五才 10	御もとへ	おほむれう (御料)	下二一才 4
御むまに	下二七才 1	おほむものいみ (御物忌)	御れうに	下二一才 4
おほむめ (御眼)	御ものいみにて	御物いみも	御れうに	下二九才 6
御めも	上三〇才 8	おほむものおもひ (御物思)	おもおもし (重重)	上三三才 8
御め	下七才 6	御物思ひの	おもくしくも	上三五才 8
御めは	下二六才 2	おほむものがたり (御物語)	おもかげ (面影) ↓ おほむおもかげ	上四一才 1
御めに	下二九才 5	おほむものがたり (御物語)	おもかげ	上四一才 1
御め	下四二才 2	御物がたりの	おもかげに	上三二才 1
御め	下四四才 10	おほむやど (御宿)	おもかげを	上四六才 10 *
おほむめうつり (御目移)	御やど	おほむやど (御宿)	おもかげ	上五二才 4
御めうつりと	上三三才 4	おほむやまごもり (御山籠)	おもかげの	下二七才 10
おほむめのと (御乳母)	御山ごもりの	御山ごもり	おもかげ	下二七才 10
御めのと	上二四才 4	おほむゆ (御湯)	おもかげ	下二八才 5
御めのと	上二五才 5	御ゆをだにのみ	おもしろし (面白)	下三〇才 1 *
御めのと	上二八才 4	御ゆをだに	おもしろく	下三三才 4
御めのと	上二六才 7	おほむゆかり (御縁)	おもしろく	下二七才 5
御めのと	上二六才 8	御ゆかりと	おもしろく	下二八才 4
御めのと	上三七才 10	御ゆかりの	おもしろき	下二六才 1
御めのと	下二六才 2	おほむゆくへ (御行方)	おもしろき	下三六才 3
おほむめのとご (御乳母子)	御ゆくゑは	御ゆくゑの	おもだたし (面立)	下三六才 3
御めのとごの	上二四才 1	おほむよういども (御用意共)	おもだたし (面立)	上二八才 8
おほむもてなし (御持成)	上三一才 2	御よういどもの	おもはし (思) ↓ ものおもはしげき・ものおも	
御もてなしこそ	上三六才 2		はしげなり・ものおもはしき	
御もてなしに				

おもはしき	上三五ウ 1	おもひおこす (思起)	おもひすます (思澄)	下二八才 1
おもはず (思) ↓ものおもはず		思ひおこし	思すましたる	
おもひ (思) ↓おほむおもひ・おほむものおもひ		おもひかく (思掛)	おもひそむ (思初)	
ひ・かたおもひ・ものおもひ・ものおもひ		おもひかけぬ	おもひそめつる	
ども		おもひかけぬ	おもひたつ (思立)	下二七ウ 4
思ひの	上一才 5	おもひかけず	おもひたちけん	下二九ウ 9
思ひの	上三八才 4	思ひかけず	おもひたちしか	下二九ウ 10
おもひ	上四三ウ 6	おもひかぬ (思兼)	おもひたどる (思辿)	
おもひは	上五一才 7	おもひかねて	思ひたどらず	上八才 4
思ひならばこそ	上五二ウ 2	おもひかへす (思返)	おもひつく (思付)	上八才 4
おもひに	下一才 9	おもひかへして	おもひつきぬる	上一六才 7
おもひ	下四才 8	おもひかへして	おもひつづく (思続)	
思ひの	下三一才 9	おもひくらぶ (思比)	おもひつゞくるに	上四才 7
おもひの	下三二才 2	思ひくらぶれば	おもひつゞけ給ふ	上四三才 5
おもひあはず (思合)		おもひこがる (思焦)	おもひつゞけ給ふに	下四才 4
おもひ合する	下五才 3	思ひこがるらん	おもひなす (思倣)	下三二才 6
おもひあはする	下七ウ 8	おもひさだめし	おもひなして	下三二才 6
おもひあはする	下八ウ 5	思ひさだめし	おもひのほかなり (思外)	下五才 9
おもひいつ (思出)		思ひさだめし	おもひのほかなる	下三三才 6
おもひ出る	上五一才 10	おもひしづむ (思鎮) 《下二段》	思ひのほかなる	
おもひいでらるゝを	下七ウ 9	おもひしづめて	おもひほる (思惚)	下一才 5
おもひ出る	下四三才 9	おもひしづむ (思沈) 《四段》	おもひほれたらん	
おもひいる (思入)		思ひしづみて	おもひまうく (思設)	下一才 5
おもひいる	下三〇才 10 *	おもひしづみて	思ひまうけつる	上四二才 2
おもひうつす (思移)		おもひすつ (思捨)	おもひみだる (思乱)	
おもひうつして	下二才 4	おもひすてにし	おもひみだれて	下二六ウ 10

おもひめぐらす (思巡)	上四二オ 9	おもひ給へながら	上二一ウ 3	おもふ	上三三オ 8
おもひめぐらすに		思ひ給へ	上二一ウ 4	おもはざりしに	上三三ウ 10
おもひやる (思遣)		おもへ	上一二ウ 5	思ひきこゆる	上三四オ 4
おもひやられけれ	下二ウ 3	思ふ	上一六ウ 9	おもはぬ	上三四ウ 9 *
思ひやるに	下五ウ 9	思へど	上一九ウ 3	おもはばやと	上三九オ 5
思ひやるに	下一八ウ 6	思へばこそ	上二〇ウ 3	おもふらん	上三九ウ 10
おもひよる (思寄)		おもふを	上二二ウ 3	おもはん	上四〇オ 2
おもひよらぬ	上一ウ 6	おもふに	上二三オ 2	思ふらん	上四〇ウ 4
おもひよらぬ	上四七ウ 8	思へば	上二三オ 2	思ふに	上四一ウ 4
おもひよらぬ	下一〇ウ 10	おもふに	上二三ウ 1	おもふに	上四二オ 1
思ひよらざりける	下一六ウ 7	おもふ	上二三ウ 5	おもはざりしを	上四三オ 3
おもひわく (思分)		おもふ	上二四オ 1	思ふ	上四三ウ 10
おもひわき侍らず	上八オ 8	おもへば	上二四オ 6	おもひつゝ	上四四オ 10
おもひわかざりつれば	上三二ウ 8	思ひつるに	上二五オ 7	おもへば	上四八ウ 9
思ひわけられず	下一三オ 9	おもふぞと	上二五ウ 6	思ふばかり	上四八ウ 10
おもひわすれ (思忘)		思ふに	上二五ウ 8	おもはざりけるよとて	上四八ウ 10
おもひわすれもぞ	上五一オ 2	おもふ	上二七ウ 1	おもひつれ	上四九オ 7
おもひわづらふ (思煩)		おもへども	上二八オ 7	おもひ侍りつらん	上四九オ 10
おもひわづらひ給ふに	上四ウ 7	おもへば	上二八ウ 3	思ひ侍を	上五〇ウ 7
おもひわづらふに	下一三ウ 7	おもふべき	上三〇ウ 8	思ふこそ	上五三オ 1
おもふ (思) ↓ものおもふ		おもへども	上三〇ウ 9	おもはばやと	上五四オ 6
おもふ	上六オ 7	おもふらん	上三二オ 2	おもはぬ	上五四ウ 3
おもふ	上六ウ 1 *	思ふと	上三二オ 5	思ふは	上五四ウ 4
おもへども	上七ウ 10	おもへる	上三二オ 7	思ひ侍る	下一オ 7
おもひ給ながら	上九ウ 1	思ひつらん	上三二ウ 9	おもふらん	下二オ 1
おもへども	上一〇ウ 9	おもはずは	上三三オ 1 *	おもふらんは	下二オ 6

おもふ	下二ウ5	おもひこそ	下二〇ウ7	おもひ	下四二オ5
思ふなど	下四オ6	おもひたてまつれ	下二一オ3	おもひしに	下四二オ8
おもふ	下五オ1	おもへば	下二一オ8	思ひ侍りつる	下四三オ1
おもふ	下五オ4	おもひて	下二一ウ8	おもむく(趣・赴)	下四三オ1
おもへど	下五オ9	おもふに	下二二ウ1	おもむきなば	下四四ウ7
おもひたまはんが	下五オ9	思はゞこそ	下二三オ8	おもやす(面瘦)	下四四ウ7
思ひつゝ	下五ウ6	思ひて	下二七オ6	おもやせたまへる	上三三オ10
おもはねば	下五ウ7	おもはんと	下二八オ2	おや(親)	上三三オ10
おもへば	下六オ2	おもはゞ	下二九ウ9	おやに	上二九オ8
おもふ	下六ウ6	思ふに	下二九ウ10	おやの	上三二オ1
思ふ	下七ウ4	おもひし	下三〇オ1	おやの	上四〇ウ7
思ひ給ふも	下八ウ4	おもふ	下三〇オ2	おやの	上四八ウ10
おもはせたてまつるまじきをと	下九オ1	おもふ	下三〇ウ3	おやの	下二二ウ5
おもひて	下九オ3	おもふ	下三〇ウ6	おやの	下三〇オ2
おもふに	下九ウ7	おもへども	下三〇ウ10	おやに	下三五ウ3
思ふなど	下一〇オ8	おもへば	下三一オ2	おやたち(親達) ↓おほむおやたち	下三五ウ3
おもひたてまつれども	下一二オ3	おもふ	下三一オ8	おやたちをも	下一九ウ4
思ひたてまつるも	下一二オ8	おもふとも	下三二オ5	おやたちをも	下一九ウ9
おもふとも	下一二ウ8	おもはんと	下三三オ1	おやたちに	下二五オ10
おもひて	下一三ウ9	思ひ給へかしと	下三五オ8	おゆ(老)	下二五オ10
おもひたてまつるべからず	下一四ウ2	おもへども	下三五ウ10	おひたるにも	下二二オ4
おもひ侍るぞ	下一五オ4	おもふ	下三六オ7	およぶ(及)	下二二オ4
おもはゞこそ	下一五ウ8	おもひしに	下三七オ8	およばで	下二七ウ7
おもふに	下一六オ2	おもふ	下三八オ1	おりちらす(織散)	下二七ウ7
おもふらんと	下一七オ7	おもひ	下三九オ1	おりちらしたる	下四一ウ2
おもふのみぞ	下二〇オ5	おもふ	下四一オ9	おりもの(織物) ↓うきおりもの	下四一ウ2

おる(下)

をり給ふ

上四四ウ 2

おり給へば

下三五ウ 1

おろかなり(愚)

おろかなりん

上二ウ 4

をろかなるべき

上二ウ 4

をろかなるべきにも

上二ウ 4

をろかならず

上二ウ 4

をろかには

上二ウ 4

をろかは

上二ウ 4

おろしこむ(下籠)

おろしこめて

上四六オ 7

おろす(下)

おろしたてまつりて

上三八ウ 2

# か

か(香)

かには

上四オ 3

か(日) ↓ さつきのいつか・なぬか・はつか・ふ

つか・みか・よか

か ↓ なにやかや

かい(戒) ↓ おほむかい

かいを

下二八オ 3

かいまみありく(垣間見歩)

かいまみありきたまふ

上二ウ 10

かう(香) ↓ くんえかう

かうの

上四オ 3

かうの

下二八ウ 2

かうの

下四四オ 7

かうい(更衣)

かういなどの

下四五オ 2

かうし(格子) ↓ みかうし

かうし

下八オ 9

かうし

上二ウ 9

かうばし(香)

かうばしかりつるも

上四六オ 8

かかぐ(掲)

かかづらふ(拘)

上五ウ 1

かかづらふと

上三ウ 1

かがみ(鏡) ↓ たまかがみ

かがみに

上二〇オ 9

かがみに

下二六ウ 2

かかやく(輝)

かかやく

下三六ウ 8

かかやく

上二〇オ 9

かかり(斯)

かゝる

上三ウ 9

かきをきたてまつり給へば	上二七オ 2	かきはらふ (掻払)	上二四ウ 9	かぎりなし (限無)	上三〇ウ 9
かきをきても	上四四オ 2	かきはらひ給へば	上二四ウ 9	かぎりなし	上四二オ 5
かきをき給へる	上四六ウ 8	かきまぎらはす (掻紛)	上四七オ 7	かぎりなし	上四四ウ 4
かきおこす (掻起)	上五三ウ 8	かきまぎらはし給へるに	上四七オ 7	かぎりなし	上四六ウ 3
かきをこし給ひて	上五三ウ 8	かきみだす (掻乱)	下三〇ウ 7	かぎりなし	上四六ウ 3
かきくだす (掻下)	下三四ウ 4	かきみだし給へり	下三〇ウ 7	かぎりなし	下四オ 2
かきくだして	下三四ウ 4	かきみだる (掻乱)	上四九ウ 8	かぎりなし	下三〇オ 3
かきくもる (掻曇)	下三二オ 9	かきみだれて	上四九ウ 8	かぎりなし	下三〇オ 3
かきくもりたる	下三二オ 9	かきやる (掻遣)	上三四オ 6	かぎりなし	下三二オ 7
かきくらす (掻暗)	下二六ウ 8	かきやりて	上三四オ 6	かぎりなし	下三二オ 7
かきくらす	下二六ウ 8	かきやりて	上四五オ 9	かぎりなし	下三八ウ 5
かきくる (掻暗)	上二六ウ 7	かきよす (掻寄)	下二五オ 1	かく (斯) ↓ ともかくにも かくにも ・とまれ かくも あれ・ともあれ かくも あれ・ともかくも ・と	下三八ウ 5
かきくれて	上二六ウ 7	かきよせて	下九ウ 2	ゆひかくいひ	上七ウ 2
かきくれて	上四七オ 2 *	かぎり (限)	下九ウ 2	かく	上七ウ 2
かきくれて	上四七ウ 9	かぎりも	上二六ウ 2	かく	上八オ 2
かきくれて	下六ウ 10	かぎりなるらんとして	上三〇オ 1 *	かく	上八オ 5
かきたつ (掻立)	下二六オ 9	かぎりなるべき	上三〇オ 3	かく	上八オ 8
かきたて、	下二六オ 9	かぎりは	上四五オ 10	かく	上九オ 10
かきたゆ (掻絶)	上五〇オ 5	かぎりは	下二四ウ 6	かくと	上二〇ウ 8
かきたえて	下五ウ 10	かぎりならめ	下二四ウ 6	かく	上二〇ウ 8
かきたへて	下五ウ 10	かぎり	下二四ウ 6	かく	上二〇ウ 8
かきたえて	下二一ウ 6	かぎり	下二六オ 9	かく	上二二ウ 6
かきならす (掻鳴)	下三オ 4	かぎり	下二二オ 2	かく	上二二ウ 6
かきならし給ふ	下三オ 4	かぎり	下二二オ 2	かく	上二二ウ 6
かきのく (掻退)	下九ウ 5	かぎりなれば	下二四ウ 5	かく	上二二ウ 6
かきのけ給へば	下九ウ 5	かぎり	下三三ウ 9	かく	上二二ウ 6



かく(掛・懸) ↓おもひかく				
かけて	上二オ 4	かくては	上三八オ 8	かごしまいらする
かけ給へり	上二六ウ 7	かくては	上五二ウ 5	かごと(託言)
かけさせたまへ	下一四ウ 4	かくては	下五オ 9	かごとにてなん
かけ給ふに	下二〇ウ 4	かくて	下八オ 4	かさなりそでぐち(重袖口)
かけ給て	下二二オ 5	かくて	下一一ウ 9	かさなり袖ぐち
かけ給ふべき	下二七ウ 2	かくては	下一四オ 7	かさなる(重)
かくし(隠) ↓ものかくし		かくて	下二三ウ 7	かさならずとも
かくす(隠) ↓とりかくす		かくる(隠) ↓うちかくる	下二八ウ 7	かさならぬれば
かくしたまふこそ	上一八ウ 7	かくれ給ふ	上五三ウ 1	かさね(重) ↓まつかさね・もみぢがさね
かくし給	上一八ウ 8	かくれなんとて	下三一ウ 9	かしこ(彼処) ↓ここかしこ
かくすとも	上二二オ 4	かくれ(隠) ↓みやまがくれ		かしこも
かくしそ	下五オ 4	かくれなし(隠無)		かしこの
かくしたてまつるべき	下五オ 7	かくれなければ	上二〇ウ 2	かしこへ
かくせと	下八オ 1	かくれなければ	下一二オ 9	かしこへ
かくしてん	下八オ 1	かげ(影・景) ↓おほむうしろかげ・おほむお		かしこへは
かくして	下二五ウ 10	もかげ・おもかげ・つきかげ・ほかげ		かしこに
かくて(斯) ↓とてもかくても		かげに	上二オ 1	かしこに
かくて	上四オ 7	かげや	下一三ウ 4	かしこへ
かくて	上四ウ 4	かけかけし(懸懸)		かしこまる(畏) ↓うちかしこまる
かくて	上七ウ 7	かけくしき	上五二オ 4	かしこまりて
かくて	上二〇ウ 10	かけても(掛)		かしこまりて
かくて	上一五ウ 8	かけても	上三一オ 1	かしこまりて
かくて	上一八オ 10	かけわたす(掛渡)		かしづく(傳)
かくて	上二九オ 4	かけわたして	上一ウ 8	かしづきこえ給ふ
かくて	上三六オ 8	かごす		かしづき給ふべき

かしづきこえんと	上二九ウ 1	かたなし・たとへむかたなし・やるかたなし・ゆふがた・ゆふつかた	上二オ 4	かたへとばかりにて	下二二ウ 6
かしづきこえたまふ	上四一オ 2		かたへも		下二三オ 6
かしづきこえ給ふ	下二一ウ 3		かたへ		下二五ウ 5
かしづきたまふ	下四〇ウ 1		かたへ		下二六ウ 8
かず(数) ↓ ひかず			かたおもひ(片思)		上五四ウ 2
かすかなり(幽・微)			かたおもひぞとよ		下八ウ 10
かすかなる	上一八ウ 10		かたおもひこそ		下三一ウ 7
かずならず(不数)			かたがた(方方)		
数ならぬ	上七オ 1		かたぐへ		上三〇ウ 6
かずならぬ	上七ウ 2		かたぐへ		上三九ウ 4
かずならぬ	上八オ 8		かたぐ		下一八ウ 9
かずならずとも	上一〇オ 4		かたぐ		下一九ウ 7
かずならぬ	上一七ウ 10		かたぐに		下二〇ウ 8
かずならぬ	上一〇オ 8		かたぐに		下二六ウ 10
かずならぬ	上二六ウ 4		かたこと(片言)		上一八オ 6
かすむ(霞)			かたこと		
かすみて	上三オ 9		かたし(難) ↓ ありがたし・ごらんじがたし・さ		
かぜ(風) ↓ まつかぜ・やまかぜ			りがたし・しのびがたげなり・しのびがた		
かぜにやと	上二オ 7		し・しりがたし・すてがたし・せきがたし・		
風の	上四三オ 9		たへがたし・なびきがたし・のがれがたし・		
かぜも	下三二ウ 5		はなれがたし・みすてがたし・ゆりがたし		
かた(方) ↓ あげがた・いづかた・いはむかた			かたからめ		上八ウ 7
なし・いふかたなし・おほいどのきたのか			かたきこそと		上五〇オ 10
た・おほかた・おほかたなり・おほむかた・			かたからめ		下一四ウ 6
きたのおほむかた・きたのかた・きりつぼ			かたければ		下二〇オ 3
のおほむかた・したかた・せむかた・せむ					



かなしく	上四九ウ 3	かなはぬ	上三八オ 6	かの	上五〇オ 7
かなしくて	上五三オ 4	かなはじと	下二三ウ 7	かの	下二三オ 1
かなしくて	下五ウ 10	かならず(必)		かの	下四四ウ 8
かなしき	下六ウ 9	かならず	上二八オ 9	かの	下四五ウ 5
かなしくとて	下二一ウ 7	かならずしも	上二八オ 9	かの	下四五ウ 5
かなしく	下二一ウ 7	かならず	下四オ 1	かの	下四五ウ 5
かなしくて	下二一ウ 7	かならず	下七オ 7	かばかり	上二一オ 10
かなしければ	下二九オ 9	かならず	下二二オ 9	かばかりこそ	上二二ウ 4
かなしき	下二〇オ 5	かぬ↓おもひかぬ・こしらへかぬ・せきかぬ・ なぐさめかぬ		かばかり	上五四ウ 3
かなしかるべきを	下二三オ 2	かねて(予)	上四二ウ 8	かはず(交) ↓いひかはす	下二二オ 3
かなしき	下二五ウ 4	かねても	下二七オ 3	かはり(代) ↓おほむこころかはり	
かなしく	下二八ウ 7	かねてより	下二八オ 4	かはりに	上四五ウ 9
かなしく	下三一ウ 5	かねてより	上二八オ 4	かはりに	上五〇ウ 7
かなしき	下三二オ 7	かねてより	上二八オ 4	かはりに	上五二オ 6
かなしくも	下三五オ 4	かの(彼)	上二八オ 4	かはる(代・変・替)	
かなしくて	下三六オ 3	かの	上二八オ 4	かはりたまふまじき	上二一ウ 2
かなしくこそとて	下四五オ 3	かの	上二八オ 4	かはるまじきを	上二二オ 8
かなしさ(悲)		かの	上二八オ 4	かはりけるよとて	上三三ウ 6
かなしきを	上三三オ 6 *	かの	上二八オ 4	かはらずとも	上三六オ 2
かなしきを	上三八オ 10	かの	上二八オ 4	かはる	上四二ウ 8
かなしきぞ	下二四オ 4	かの	上二八オ 4	かはらぬ	上四三オ 6
かなしき	下四二ウ 9	かの	上二八オ 4	かはりたるぞとこそ	上四九ウ 10
かなしきは	下四三オ 1	かの	上二八オ 4	かはらじを	上五〇オ 9
かなしきよとて		かの	上二八オ 4	かはらずは	上五一ウ 8
かなふ(適・叶)		かの	上二八オ 4	かはりたまへる	下四一ウ 8
かなはぬ	上二一ウ 4	かの	上二八オ 4		
かなはずは	上二二ウ 1	かの	上二八オ 4		

かはれる	下四二ウ 5	かへりおはす (帰御)	かほも	上四八ウ 2
かひ (甲斐)	上七ウ 9	かへりおはすべき	かほを	上五三ウ 8
かひ	上二八オ 3	かへりこと (返事) ↓おほむかへりごと	かほを	上五四ウ 6
かい	上二二オ 4	返事を	かほの	下六ウ 6
かひ	上五一ウ 7	かへりて (却)	かほ	下七ウ 5
かひ	下二二ウ 8	かへりて	かほに	下九ウ 6
かひ	下二七ウ 6	かへりて	かほに	下九ウ 9
かひ	下三二オ 5	かへりまゐる (帰参)	かほの	下一〇オ 2
かひな (腕)	上三ウ 4	かへりまいりて	かほの	下一六ウ 2
かいなを		かへりまいらんほど	かほの	下一八オ 9
かひなし (甲斐無)		かへる (帰) ↓たちかへる・むせかへる	かほに	下二六ウ 6
かひなき	下五オ 9	かへり侍らんと	かほに	下三〇ウ 8
かひなし	下三二ウ 8	かへり侍らば	かほに	下三八オ 2
かふ (替) ↓ひきかふ・めしかふ		かへらせおはしますが	かほに	下四二ウ 1
かへなど	上五二オ 9	かへり侍らば	かみ (上)	下四二ウ 1
かへて	下一一ウ 5	かへれよ	かみの	上一五オ 2
かへて	下二七ウ 3	かへらん	かみも	上四七ウ 4
かへて	下三九ウ 7	かへりて	かみ (髪)	上四七ウ 4
かへし (返) ↓おほむかへし		かへりたまふ	かみの	上三オ 5
かへす (返) ↓おぼしかへす・おもひかへす・くりかへす		かほ (顔) ↓うきことしらずがほなり・おどろ	かみの	上一二オ 10
返したてまつらんとて	上五ウ 4	きがほなり・おほむかほ・しらずがほなり	かみは	上三二オ 9
かへし給ふ	上四〇ウ 1	かほは	かみは	上三五ウ 9
かへり (返) ↓たちかへり・たちかへりおはす・たちかへりたちかへり		かほの	かみの	上四五オ 5
		かほ	かみの	上五三ウ 6
		かほ	かみの	上四三ウ 6
		かほ	かみの	下九オ 8
		かほ	かみを	下九ウ 5



きえうせなば	下二一才7	きぎ給ふとも	下三ウ6	きこゆ(聞)《本動詞・自動詞》	上一ウ6
きかす(聞)		きゝしに	下五才1	きこゆ	
きかせよと	下一才6	きゝ侍る	下五才9	きこゆれば	上一三ウ9
ききおはす(聞御)		きゝ給て	下五才9	きこゆれば	上一六才9
きゝおはす	上二才1	きゝも	下七ウ5	きこえず	上一三才8
ききおはす	上一六才8	きゝ給へば	下八才6	きこゆれば	下八才7
きく(菊)		きゝも	下一三才6	きこえぬに	下八才8
きくの	上三才5	きゝ給へると	下一七ウ8	きこゆれば	下九才2
きく(聞) ↓うちきく・みきく		きかば	下二三才5	きこえぬべく	下九ウ7
きゝ侍るをとて	上三ウ6	きゝ給へと	下四〇才1	きこえぬに	下三八ウ1
きゝや	上五ウ3	きゝ給ひて	下四〇ウ7	きこゆるは	上六才7
きゝ給ひけん	上七才5	きゝ給へば	下四一才1	きこえ給へば	上八才7
きゝ給ひて	上一六才4	きゝ給て	下四一才4	きこえ給ふに	上八ウ4
きゝたてまつるとも	上一八ウ5	きゝ給へども	下四一才8	きこえさせんとのみ	上一〇ウ7
きくに	上二八才3	きこえおく(聞置)		きこえ給ふに	上一五才9
きゝ給ふに	上三六ウ2	聞えをきしが	下一一才4	きこえたまへば	上一九才8
きゝたまひて	上三七才9	きこえにくし(聞憎)		きこゆれば	上一九ウ7
きゝて	上三九才5	きこえにくけれど	上九才10	きこえじと	上一二ウ7
きゝて	上四三才9	きこしめす(聞召)		きこえて	上一二ウ2
きゝて	上五一才9	きこしめして	上三六才7	きこえ給ふ	上一三才7
きゝ給はんにも	上五一ウ6	きこしめして	上三九ウ10	きこえよとて	上一四ウ1
きかれたてまつらんも	上五二才10	きこしめして	上五三才6	きこえたり	上一四ウ4
きゝて	上五四才5	きこしめして	下一ウ3	きこえまほしき	上一四才1
きゝ給ひて	下三才5	きこしめしける	下一三才7	きこゆれば	上一四ウ1
きゝたまふ	下三ウ1	きこしめして	下三一才4	きこえ給へば	下三ウ6
きゝ給へりしにやと	下三ウ4	きこしめしなば	下四四才4	きこえたまはで	下三ウ8

きこえん	下二〇ウ 5	かたりきこえ給へば	上二七オ 10	きせたてまつりて	上二五オ 8
きこゆべかりしかども	下一一オ 9	したがひきこえて	上二九オ 9	きせたてまつりて	上三一オ 9
きこゆれば	下一三ウ 1	かしづききこえんと	上二九ウ 1	きたなし(汚) ↓こころきたなし	
きこゆれば	下一三ウ 9	よびきこえ給へば	上二九ウ 6	きたのおほむかた(北御方)	
きこゆれば	下一八オ 2	そゝのかしきこゆ	上三〇ウ 1	きたの御かたへと	下二九オ 3
きこえたまへば	下一八オ 9	思ひきこゆる	上三四オ 4	きたのかた(北方) ↓おほいどのきたのかた	上三八ウ 4
きこゆとも	下二〇オ 2	よびきこえ給へば	上四〇ウ 2	きたのかた	
きこえそ	下二六オ 7	かしづきこえたまふ	上四一オ 3	きたのかたへ	下二六オ 6
きこゆれ	下二八ウ 9	かたりきこえよなど	上四四オ 6	きたのかた	下四四オ 4
きこえ給へば	下三五オ 8	しりきこえず	上四四ウ 10	きちやう(几帳) ↓みきちやう	
きこえ給て	下三五ウ 9	かしづききこえ給ふ	下二一ウ 3	きちやう	上二二オ 7
きこゆ	下三八ウ 6	きこえまつはず(聞纏)	上九オ 1	きちやう	上一四ウ 3
きこゆ	下四〇オ 9	きこえまつはし給へば		きちやう	上四五オ 3
きこゆ	下四三ウ 1	きさいのみや(后宮)	下四三オ 10	きちやう	上五一ウ 3
きこゆ(聞)《補助動詞》		きさいの宮にて		きと	
かしづききこえ給ふ	上一オ 8	きさき(后)		きと	上二ウ 1
かたりきこゆ	上五オ 10	きさきにこそ	下三八ウ 10	きなす(着做)	
いらへきこえんにも	上七オ 8	きさみ		きなし	上一七オ 10
そゝなかしきこえ給へば	上一五ウ 2	きさみには	下四二オ 7	きぬ(衣) ↓からぎぬ	
うけひききこえしに	上一六オ 6	きさらぎ(如月)	下一九オ 8	きぬの	上三オ 8
もてなしきこえんと	上一八ウ 3	二月にと		きぬ	上九オ 2
もてなしきこえんと	上一九オ 5	きし(岸)	下二九オ 7	きぬ	上三〇オ 9
うけひききこえ給ふ	上一九ウ 5	きしに		きぬ	上三一ウ 6
よびきこえたまひて	上二〇オ 4	ぎしき(儀式)	上一六ウ 2	きぬの	上五三ウ 2
かたりきこえ給へば	上二二オ 5	ぎしきの		きのふ(昨日)	下九ウ 5
ひきぐしきこえて	上二二ウ 2	きす(着)			

きのおほいど きのふまでは きのふけふ(昨日今日) きのふけふ きは(際) きはの きはの きびし(厳) きびしく きびしく きびしく きびしき きみ(君) ↓あまぎみ・うばぎみ・おほいどの のわかぎみ・さだいしやうのひめぎみ・し のびねのきみ・だいしやうのひめぎみ・ち うなごんのきみ・とのひめぎみ・によ うのきみ・ははぎみ・ひめぎみ・べん のきみ・むばぎみ・わかぎみ	上九ウ6 下二八オ5 上七オ3 上二〇ウ4 上四九オ8 上三九オ8 上四五ウ4 上四九オ4 下二一オ6	君のおほいどの中の君に きむだち(君達) きんだちよりも きやう(京) 京には 京の きやう(興) ↓あいしきようず きやう(卿) ↓こしきぶぎやうのみや きやうきやうなり(軽軽) きやうくなりと きやうくなりと きやうくなりと きやうだい(御鏡台) ↓おほむきやうだい きゆ(消) きえも きえや きよら(清) きよらを きら(綺羅) きらを	下四五ウ2 上二オ7 下二八ウ7 下四〇ウ8 上四〇オ2 上四九オ9 下四オ4 下七ウ1* 上二二ウ5 下二八オ6	きりも きりつぼ(桐壺) きりつぼにて きりつぼのおほむかた(桐壺御方) きりつぼの御かた きりつぼの御かたこそ きりつぼの御かたこそ きる(着) ↓ひききる ゝ(き) 給へる き給て き給て き給て き給ひて きん(琴) きんの きんつね きんつね きんつね きんつね きんつねは	上三四ウ8* 上二オ9 上二九ウ10 下三七オ2 下三八ウ7 上一一ウ9 上三九ウ5 下一八オ5 下四一ウ3 上一ウ5 下一ウ4 下七オ1 下一八ウ1
君と 君に きみは きみを きみの	上二七ウ6* 上一九オ2 上三三オ7* 上四五オ1 下一八オ7 下三六オ10	きら(霧) きりの	上三四ウ1*	く(来) ↓いでく・すぐしく・ちりく・ふぎく・ まゐりく こぬとや くさ(草) ↓あやめぐさ・わすれぐさ	上四一オ9

く

くさふかし (草深)

くさふかき

下四二オ9

くちおしく

下三九オ3

くら (鞍)

くら

下二六オ1

くし (髪) ↓みぐし

ぐす (具) ↓ひぎぐす

ぐして

上二五ウ3

くはし (詳・委・精)

くわしく

下三四ウ4

くらし (暗)

くらぎ

上八ウ9

ぐして

ぐしなば

ぐしたてまつるべし

ぐして

ぐしたてまつるとも

ぐしたてまつり

ぐそく (具足) ↓おほむぐそくども

くだす (下) ↓かきくだす・ときくだす

くだり (行) ↓ひとくだり

くち (口) ↓おほむくち・かさなりそでぐち

くちずさむ (口遊) ↓おほむくちずさむ

くちずさみ給ひて

くちつき (口付)

くちつきなどを

くちなし (梔子)

くちなし

くちをし (口惜)

くちおしかるべき

くちおしかるべく

くちおしき

くちおしく

下三八ウ3

くゆりかゝる (燻掛)

上四オ5

くる (眩) ↓かきくる

くどく (口説)

くどきて

くはしくは

くはふ (加)

くわへて

くび (首) ↓おほむくび

くふ (食)

くひたる

くほん (九品)

くも (雲)

くもる (曇) ↓かきくもる

くもるの

くもるに

くもるの

下三〇オ8\*

くらま (鞍馬)

下二二ウ6

くれて 上二五才4  
 くれて 上四六ウ2  
 くるゝ 上四七才9  
 くれて 下二三才3  
 くれて 下二五才4  
 くるゝ 下二五ウ4  
 くれて 下三〇ウ8  
 くるし(苦) ↓ ころぐるし・ころぐるしげ  
 なり・ころぐるしぎ・みぐるし  
 くるしからぬ 上五才5  
 くるしからん 上八ウ9  
 くるしく 上二六才3  
 くるしけれとて 上三六ウ9  
 くるしく 上五〇ウ7  
 くるしきと 上五四ウ4  
 くるしき 下八ウ2  
 くるしからましと 下一五才4  
 くるしきに 下三二才7  
 くるしむ(苦) 上四〇才9  
 くるしむるも  
 くるま(車) ↓ おほむくるま・ころぐるま  
 くるま 上二六才8  
 くるま 上三五才2  
 車に 上三七才3  
 くるまよせ(車寄) ↓ おほむくるまよせ  
 くれ(暮) ↓ あけくれ

暮ほどに 上四〇才3  
 暮にも 下一五才9  
 暮を 下二三ウ8  
 くれは 下二四ウ1  
 暮は 下二四ウ7  
 暮と 下二五才6  
 くれと 下三〇才3  
 くれなる(紅) 上二四才7  
 くれなるの 上三四才10  
 くれゆく(暮行) 上二才1  
 くれゆけば 上二九ウ5  
 くれゆくに 上四三ウ2  
 くわほう(果報) ↓ おほむくわほう  
 ぐゑんぶく(元服) ↓ おほむぐゑんぶく  
 ぐゑんぶくす(元服) 下四〇才8  
 げんぶくして 下二八ウ2  
 くんえかう(薰衣香) 下二八ウ2  
 くんゑかうの  
 け(毛) 下二六ウ4  
 けにて

# け

け ↓ おほろけなり  
 け ↓ ものけ  
 げ ↓ いたしげなし・いとほしげなり・うつくしげなり・こちよげなり・ころぐるしげなり・ころすごげなり・ころぼそげなり・ことごとしげなり・しのびがたげなり・たのもしげなり・なからんげなり・なつかしげなり・なめげなり・のこりゆかしげなり・はづかしげなり・ものおもしげさ・ものおもしげなり・ものころぼそげなり・ものはづかしげなり・ものものしげなり・よるまじげなり・らうたげなり・をさなげなり  
 けさ(今朝) 上二才8  
 けさは 上二八ウ7  
 けさは 下二九ウ6  
 けさ(袈裟) ↓ おほむけさ 下二八才10  
 けさ  
 けさう(懸想) ↓ うちけさうず 上二二才7  
 けざやかなり 上二二才7  
 けざやかに 下三三ウ7  
 けしからぬ 上二二ウ8  
 けしき(気色) ↓ おほむけしき 上四ウ5  
 けしきにて  
 けしき

けしきの	上三才 4	けたかくて	下四五才 7	けふあす (今日明日)	上七才 9
けしきの	上二三ウ 10	けつ (消) ↓ いひけつ・おしけつ		けふあす	
けしきの	上三二才 7	けづる (梳)		けぶり (煙)	下二八ウ 2
けしき	上三九才 4	けづりに	上五〇ウ 2	けぶりに	下四四才 7
けしきも	上四二ウ 8	げに (実)		げんざん (見参)	下二四ウ 9
きしきも	上四六才 7	げに	上二四才 3	げんざんは	下二九ウ 3
けしきにて	上四六才 9	げに	上二五ウ 2	げんざんに	
けしきも	上五四才 10	げに	上二一ウ 4		
けしきも	下一才 1	げに	上二二才 10		
けしき	下一ウ 6	げに	上三三ウ 9		
けしき	下四ウ 8	げに	上三四ウ 10		
けしきも	下四ウ 9	げに	上四五ウ 1		
けしきばかりにて	下六才 8	げにもと	下五ウ 5	こ (此・是)	上二二ウ 9
けしきの	下七ウ 8	げに	下八ウ 5	こは	上二二ウ 9
けしきも	下一〇才 5	げにもとは	下三五ウ 10	こは	上四六才 9
けしきをだに	下一五ウ 6	けはひ (気配)		こは	上五三ウ 3
けしき	下二〇才 8	けはひ	上五ウ 3	こは	上五四才 8
けしきも	下三五才 4	けはひ	上三五才 7	こは	下九ウ 10
けたかし (気高)		けふ (今日) ↓ きのふけふ		こは	下二四才 10
けたかきものから	上一〇ウ 2	けふの	上一七ウ 7 *	こ (子) ↓ あこ・おほむこ・おほむめのとこ・す	
けたかく	上一一ウ 5	けふの	上四一才 4	のこ・みこ	
けたかき	上一五ウ 9	けふは	上四一ウ 4	子は	上四八ウ 10
けたかきをさへ	上一六ウ 7	けふ	上四八才 2	子は	下三〇才 2
けたかき	上一九才 9	けふの	下七才 3	こ	下四二才 7
けたかく	下二ウ 10	けふは	下二八才 9	こならざらん	下四二才 9
けたかく	下四二才 1	けふは	下三七ウ 2	こ (五) ↓ なむこふい	

こ





心えて	下二六才 4	こころかるし (心軽)	心ぐるしくて	下六才 9
こころうし (心憂)		心かろき	心ぐるしくて	下二〇才 9
心うくも	上八ウ 4	心かろく	心ぐるしく	下二四才 4
心うや	上二六ウ 2	こころきたなし (心汚)	心ぐるしき	下三五ウ 4
心うく	上二九才 6	こゝろきたなく	こころぐるしげなり (心苦)	下五才 9
心うき	上三〇ウ 9	こころぐるし (心苦)	心ぐるしげに	下五才 9
心うけれとて	上三四ウ 6	心ぐるしく	心ぐるしげなるをも	下二二ウ 4
心うく	上四一才 6	心ぐるしくて	心ぐるしげなり	下三八才 4
心うく	上四六才 2	心ぐるしく	こころぐるしき (心苦)	下三九ウ 8
こゝろうき	上四六才 2	心ぐるしき	心ぐるしきに	
心うくて	上四八才 4	心ぐるしく	こころことなり (心殊)	上三五才 4
心うきこそ	上四八ウ 9	心ぐるしかるべけれと	心ことに	下三六ウ 7
心うくて	下三才 7	心ぐるしく	こゝろことに	
心うけれ	下二二ウ 1	心ぐるしく	こころぎし (志) ↓おほむこころ <small>おほむこころ</small>	
心うくとばかり	下二三ウ 5	心ぐるしく	心ぎしの	上一二ウ 3
心うき	下二四才 9	こゝろぐるしくこそ	心ぎしは	上三四才 4
心うけれと	下一五才 6	心ぐるしく	心ぎしは	上五〇才 9
心うくて	下一八才 10	心ぐるしけれ	心ざしとこそ	下二七才 3
心うきに	下二一才 5	心ぐるしと	こころしづかなり (心静)	
心うくこそ	下二三ウ 4	心ぐるしくて	こゝろしづかに	上一ウ 3
心うけれ	下二五才 2	心ぐるしけれと	こころすげなり (心凄)	
こころうく	下三〇才 4	心ぐるしく	心すげにこそ	下一八ウ 2
こころおく (心置)		心ぐるしく	こころづよし (心強)	
心をき給ふべきこそ	上二二才 10	心ぐるしくて	心づよくは	下二四ウ 5
心をきたまふ	上二三才 4	心ぐるしやとて	心づよく	下二五ウ 3
心をき給ふこそ	上三四ウ 5	心ぐるしく	こころつらし (心辛)	

心つらきは	下九ウ 2	心やすく	下一九ウ 9	こしらへなぐさめたまふ	上二七ウ 8
こころならず (不心)		心やすくて	下二一ウ 3	ごぜん (御前)	
心ならず	上三一ウ 10	こころやり (心遣)		ごぜんなど	上三〇ウ 10
心ならぬ	上四九ウ 9	心やりに	下六ウ 9	御前へも	上三〇ウ 3
心ならずも	下五ウ 9	こころゆく (心行)		ごぜんなど	上三一ウ 10
心ならず	下三八ウ 6	心ゆきたる	下五ウ 9	こそ (去年)	
こゝろならぬ	下三九ウ 9	心ゆきて	下五ウ 3	こそより	上五二ウ 5
こころふかし (心深)		心ゆく	下三五ウ 4	こそこそと	
心ふかく	上二八ウ 7	こころよわし (心弱)		こそくと	上四四ウ 3
こころぼそげなり (心細)		心よはく	下二七ウ 10	ごたち (御達)	
心ぼそくこそ	下二一ウ 8	こし (濃)		ごたちなども	上一四ウ 5
心ぼそげにて	下二七ウ 6	こき	上一四ウ 7	ごち (此方)	
こころぼそし (心細) ↓ものこころぼそし・も		こく	下九ウ 7	ごちへ	上四ウ 8
のこころぼそげなり		こしきぶきやうのみや (故式部卿宮)		こと (事) ↓うきことしらずがほなり・おほむ	
こころもとながる (心許無) ↓おほむこころも		こしきぶきやうのみやの	上一八ウ 9	かへりごと・おほむこと・かへりこと・た	
とながる		こしばがき (小柴垣)		だごと・なにごと・やむごとなし	
こころもとなし (心許無)		こしばがきの	上一ウ 4	事なるに	上一ウ 2
心もとなく	下四一ウ 8	こしばがきの	上一ウ 10	事ぞかし	上二ウ 2
こころやすし (心安)		ごしよ (御所) ↓さむでうのごしよ		ことの	上四ウ 5
こゝろやすく	上一五ウ 2	ごしらふ (拵) ↓すかしこしらふ		こと	上五ウ 10
こゝろやすく	上一五ウ 8	こしらへて	上一四ウ 4	こと	上六ウ 7
こころやすく	上一六ウ 9	こしらへたまふ	上二四ウ 3	ことにや	上六ウ 8
こころやすく	上一二ウ 3	こしらへ給ふとも	下五ウ 6	ことにも	上七ウ 6
心やすく	上一二ウ 3	こしらへかぬ (拵兼)		ことなれば	上七ウ 7
心やすく	上一二ウ 1	こしらへかぬさせおはしますに	下一七ウ 7	ことにか	上八ウ 1
心やすく	上一八ウ 3	こしらへなぐさむ (拵慰)		ことにも	上八ウ 5
心やすく	上三六ウ 8				

こと	上八ウ 2	ことやと	上一九ウ 4	ことぞかし	上二六ウ 4
ことゝは	上九ウ 1	ことゝ	上一九ウ 5	事	上二八ウ 2
ことは	上二〇ウ 9	事	上二〇ウ 5	こと	上二八ウ 5
ことなれば	上二〇ウ 10	ことゝ	上二〇ウ 8	ことにも	上二八ウ 10
ことなれば	上二〇ウ 9	こと	上二〇ウ 2	ことも	上二九ウ 4
ことゝ	上二〇ウ 4	ことの	上二〇ウ 1	ことゝは	上三〇ウ 9
ことと	上二二ウ 4	ことのみ	上二二ウ 2	ことは	上三〇ウ 9
こと	上二二ウ 6	ことならば	上二二ウ 1	こと	上三一ウ 2
ことの	上二二ウ 7	こと	上二二ウ 5	ことなれども	上三一ウ 2
ことを	上二三ウ 9	ことこそ	上二二ウ 5	こと	上三二ウ 2
こと	上二四ウ 7	こと	上二二ウ 8	ことを	上三二ウ 2
ことや	上二四ウ 9	ことも	上二二ウ 1	ことかな	上三三ウ 1*
ことにて	上二五ウ 2	こと	上二二ウ 4	ことなれば	上三六ウ 8
ことの	上二五ウ 10	こと	上二二ウ 5	ことばし	上三八ウ 6
ことなり	上二五ウ 10	こと	上二二ウ 4	こと	上三八ウ 6
ことにも	上二六ウ 5	こと	上二二ウ 5	ことも	上三八ウ 5
ことも	上二六ウ 5	ことの	上二三ウ 4	こと	上三九ウ 10
事と	上二六ウ 7	こと	上二三ウ 6	こと	上四〇ウ 4
ことなれば	上二六ウ 1	こと	上二三ウ 8	ことにて	上四〇ウ 8
こと	上二六ウ 6	ことを	上二三ウ 8	こと	上四〇ウ 4
ことの	上二七ウ 3	ことも	上二四ウ 1	こと	上四〇ウ 7
こと	上二七ウ 6	こと	上二四ウ 10	ことなれども	上四二ウ 2
こと	上二八ウ 5	ことゝ	上二四ウ 1	ことを	上四二ウ 6
こと	上二八ウ 6	ことを	上二四ウ 2	ことなれども	上四二ウ 7
ことの	上二九ウ 6	こと	上二四ウ 10	こと	上四三ウ 2
こと	上二九ウ 1	こと	上二六ウ 2	こと	上四三ウ 3
こと	上二九ウ 1	事と	上二六ウ 3	ことは	上四三ウ 10
					上四四ウ 1



ことのみ	下二六才九	事なれば	下二七ウ五	こと	下三五ウ四
ことも	下二六ウ三	こと	下二七ウ十	こと	下三五ウ六
ことぞ	下二六ウ五	ことの	下二九才六	ことの	下三六才三
ことは	下二七才六	ことのみにて	下二九才九	ことをと	下三六ウ一
こと	下二八ウ四	ことなり	下二九才十	ことの	下三七ウ九
ことの	下二九才一	事	下二九ウ一	ことに	下三八才七
こと	下二九ウ七	事も	下二九ウ十	ことを	下三八ウ三
こと	下二〇才三	こと	下三〇才三	こと	下三八ウ五
ことも	下二〇才十	こと	下三〇ウ二	ことゝ	下三九才三
ことも	下二〇ウ五	ことを	下三〇ウ六	ことは	下三九ウ三
事こそ	下二一才二	事の	下三一才二	事	下四〇才三
こともやと	下二一才八	ことを	下三一才八	事は	下四〇才五
ことに	下二一ウ七	事	下三一才九	ことを	下四〇才六
ことの	下二二ウ五	こと也けりと	下三一ウ二	こと	下四〇ウ七
ことゝ	下二二ウ十	ことゝ	下三二才六	ことは	下四一才八
ことも	下二三才六	事	下三二才七	こと	下四一才十
こと	下二三才九	ことに	下三三才二	ことなるに	下四一ウ一
ことも	下二三ウ二	ことゝ	下三三ウ一	ことの	下四三才一
ことは	下二四才三	こと	下三三ウ二	事なども	下四三才九
ことの	下二四才五	ことゝ	下三三ウ七	こと	下四四ウ三
ことの	下二四才八	ことこそ	下三四才一	ことこそ	下四四ウ八
こと	下二五ウ一	ことにや	下三四才四	ことかな	下四四ウ十
事	下二五ウ十	こと	下三四ウ三	こと	下四五ウ二
ことなれば	下二七才五	ことぞとて	下三五才二	こと(琴) ↓おほむこと	
こと	下二七ウ三	ことぞや	下三五才九	ことの	上一ウ六
ことにも	下二七ウ四	ことぞと	下三五才十	ことの	上二才三

こと	上二ウ 3	ことゞもを	下三六ウ 2	ことほりぞ	下八ウ 4
ことを	上三四ウ 7	ことゞも	下四四ウ 5	ことほりぞとて	下一〇オ 1
こと(言) ↓かごと・かたこと		ことなり(殊) ↓こころことなり		ことほりなる	下一八オ 8
ごと(毎) ↓たびごと		ことに(殊)		ことほり	下二〇オ 8
ことごとし(事)		ことに	上一一オ 6	ことほりと	下二〇オ 8
ことぐしく	上三ウ 2	ことに	上三四オ 4	ことほりぞかし	下二八ウ 3
ことぐしく	下二六オ 7	ことに	下四〇オ 5	ことわる(断)	下三七オ 10
ことごとしげなり(事)		ことに	下四〇ウ 10	ことほらばやと	上五一オ 9
ことぐしげに	上九ウ 8	ことのは(言葉)		こなた(此方)	
ことさら(殊更)		ことのはも	上八オ 7	こなたへと	下一ウ 4
ことさら	上二九オ 2	ことのはも	上三二オ 8	こなたへと	下一七ウ 10
ことさら	下七ウ 7	こと葉	下九オ 10	こなたへと	下四一ウ 1
ことさら	下二二オ 8	ことば(言葉) ↓ひとことば		こにようぼう(小女房)	
ことさら	下二八ウ 4	こと葉	下二二オ 5	こ女ぼうの	上四四オ 4
ことし(今年)		ことゆゑなし(事故無)		この(此)	
ことし	上一八ウ 1	ことゆへなくて	下四一オ 7	この	上五オ 4
ことしばかりこそと	下一七オ 1	ことわり(理) ↓おほむことわり		この	上五ウ 1
ことし	下三四オ 1	ことほりぞかし	上一オ 6	この	上八ウ 1
ことしうち(今年内)		ことほりとぞと	上七オ 1	この	上一八ウ 9
ことし内は	上四ウ 4	ことほりとぞ	上一八オ 9	この	上一九オ 2
ことども(事共)		ことほりなり	上二五オ 8	この	上一九ウ 3
ことゞも	上二四ウ 5	ことほりなり	上四三ウ 1	この	上二〇オ 3
ことゞも	上三一ウ 7	ことほりの	上四五ウ 2	この	上二一ウ 9
ことゞも	下五オ 9	ことほりぞかし	下二オ 6	この	上三六オ 8
ことゞも	下八オ 2	ことほりにこそ	下二オ 10	この	上四三ウ 8
ことゞも	下三〇オ 6	ことほりの	下五オ 9	この	上四四ウ 8



恋のと	下二ウ 8	恋しかりなんと	下三七ウ 1	こぼれおつるを	上五四オ 7
こひを	下七オ 10 *	恋しけれ	下三七ウ 10	こぼれかかる (零掛)	
こひ (乞) ↓いとまごひ		こひしくも	下四一オ 9	こぼれかゝりたるは	上三オ 5
こひし (恋)		恋しくも	下四二オ 4	こぼれかゝりて	上四五オ 6
恋しければ	上四ウ 1	恋しく	下四二ウ 5	こぼれそむ (零初)	上二二オ 7
恋しく	上一〇ウ 5	こひしき	下四三オ 8	こぼれそめては	上三四オ 2
恋しからん	上二四オ 10	こひしがる (恋)	上三七オ 6	こまごまと (細細)	上一三オ 10
恋しからん	上二四ウ 10	こひしがり侍れば	上五二ウ 3	こまぐと	上一三ウ 2
恋しかるべきを	上二六オ 2	こひしさ (恋)	上四八ウ 5	こまぐと	下二一ウ 4
恋しきにとて	上二七ウ 7	こひしきの	上五四ウ 1	こまぐと	下二九ウ 4
恋しと	上二八ウ 9	こびん (小髻)	上一〇ウ 2	こまやかに	上三五ウ 10
恋しき	上三二ウ 2	こびんなども	上一四オ 1	こまやかに	上四五オ 8
恋しきぞ	上三六オ 5	こふ (恋)	上二八ウ 5	こみや (故宫)	上二六ウ 5
恋しくは	上三七ウ 6	こひたまふらん	上二八ウ 5	こ宮	上四四ウ 5
恋しけれども	上三七ウ 7	こぼる (零)	上二八ウ 5	こ宮の	
こひしきを	上四一オ 6	こぼれて	上一〇ウ 2	こむ (込・籠) ↓おろしこむ・とりこむ	
こひしき	下二ウ 8	こぼるばかりにて	上一四オ 1	こもり (籠) ↓おほむやまごもり・やまごもり・やまごもりのちうなごん	
こいしけれども	下六オ 4	こぼるゝを	上二八ウ 5	こもりおはす (籠御)	
恋しかるべきかと	下六ウ 5	こぼれける	上三七ウ 3	こもりおはしつるに	上一〇オ 9
恋しと	下六ウ 6	こぼれける	上一八ウ 1	こもりおはすべき	上一八ウ 1
恋しければ	下一〇オ 9	こぼれて	上三九ウ 5		
恋しく	下一二ウ 1	こぼるゝを	下四九ウ 5		
恋しとは	下二〇ウ 7	こぼれける	下四五オ 5		
こひしき	下三二オ 10	こぼれいづ (零出)	下二五ウ 7		
恋しく	下三三オ 4	こぼれいでゝ			
恋しき	下三三ウ 2	こぼれおつ (零落)			

こもりおはするを	上三六オ6	御らんじいるべき	上八オ10	御らんじけり	下二ウ10
こもりおはしたれば	上三六ウ1	御らんじいるゝ	下五オ9	御らんじ侍らん	下五オ10
こもりおはする	上四〇オ4	ごらんじおく(御覧置)	上二七オ6	御らんじけん	下一三オ1
こもる(籠) ↓うちこもる・おほとのごもる・おほむとのごもる・とちこもる・ひきこもる	上四オ9	ごらんじおくる(御覧送)	下四四ウ1	御らんずらん	下一六ウ10
こもりて	上四一オ5	御らんじをくりて	下三八オ2	御らんじ	下一八ウ8
こもり給ふべきなれば	下三八オ9	ごらんじおこす(御覧遣)	上二二オ9	御らんずれば	下二二ウ3
こもりおはします	下四〇ウ8	御らんじおこせたまへば	上二二オ9	御らんず	下二九オ2
こもり給へる	上三二オ10	ごらんじがたし(御覧難)	上二二オ9	御らんず	下三二オ1
こゆ(肥)	下二六ウ5	御らんじがたくこそ	上二二オ9	御らんじて	下三七オ6
こえて	上三四ウ2*	ごらんじさだむ(御覧定)	上二二オ9	御らんじて	下三九オ5
こえて	上三〇オ1*	御らんじさだめざらん	上二二オ9	御らんず	下三九オ9
こよひばかりや	上三二ウ6	ごらんじわたす(御覧渡)	上二二オ9	御らんずぬ	下四一オ8
こよひの	下二四ウ9	御らんじわたす	上二二オ9	御らんじたらんさへ	下四一ウ7
こよひは	上三〇オ1*	ごらんず(御覧)	上二二オ9	これ(此・是・之)	
こよひばかりこそ	上三二ウ6	御らんじて	上二二オ9	これにや	上五ウ1
ごらん(御覧)	下二四ウ9	御らんずるも	上二二オ9	これも	上六ウ10
御らん	上二四ウ9	御らんじて	上二二オ9	これへ	上二二オ1
ごらんじ(御覧)	上三九オ3	御らんぜよ	上二二オ9	これさへ	上二四オ2
御らんじ	上四八ウ6	御らんじて	上二二オ9	これさへ	上二四オ8
ごらんじ(御覧)	上四五ウ10	御らんじて	上二二オ9	これを	上二五オ4
御らんじも	上四八ウ6	御らんじて	上二二オ9	これも	上二六ウ3
ごらんじいだす(御覧出)	上五三ウ2	御らんずれば	上二二オ9	これさへ	上二八ウ9
御らんじいだして	上五三ウ8	御らんずるに	上二二オ9	これに	上三一オ5
ごらんじいる(御覧入)	下二ウ3	御らんず	上二二オ9	これぞ	上三四ウ10
	下七オ9	御らんじて	上二二オ9	これも	上三五ウ3





さしぬき (指貫)	下 一八オ 5	さそふ (誘)	下 三二ウ 5 *	左中弁は	上 四七オ 9
さしぬき	下 四一ウ 3	さそふ		さつき (皐月)	下 三二オ 8
さしのく (差退)	上 四オ 1	さだいしやうのひめぎみ (左大将姫君)	上 一四ウ 7	さつき (五月)	下 三二オ 8
さしはなつ (差放)	上 一〇オ 3	左大将のひめ君	下 四五ウ 4	さつき (五月五日)	上 一七オ 8
さしはなつ (差放)	上 一〇オ 3	左大将のひめ君の	上 一九ウ 1	五月五日の	上 一七オ 8
さしも (然)	上 四二オ 2	さだかなり (定)	上 四七ウ 3	さて	上 七ウ 1
さしも	下 二二オ 6	さだかなり	下 九オ 9	さて	上 一オ 6
さしよる (差寄)	上 五オ 5	さだかに	下 四一ウ 10	さて	上 一四オ 4
さしより給ひて	上 二三オ 3	さだかには	下 四二ウ 3	さて	上 五一オ 7
さしより給ひて	上 五オ 5	さだかならねども	上 三六オ 9	さて	上 五ウ 6
さす (射)	下 二四ウ 7	さだまる (定) ↓ うちさだまる	上 三六オ 9	さて	下 二ウ 4
さしたるに	上 四ウ 2	さだまる (定) ↓ おぼしきさだむ	上 三六オ 9	さて	下 二ウ 7
さす (止) ↓ よみさす	上 九オ 9	さだむ (定) ↓ おぼしきさだむ・おもひさだむ・	上 三六オ 9	さて	下 二オ 5
さすがなり (流石)	下 二七ウ 8	さだめ	上 二一ウ 9	さて	下 二オ 8
さすがに	下 一九オ 9	さだめられ候なれば	上 二一ウ 10	さて	下 二五ウ 5
さすがに	下 二七ウ 8	さだめられ候なれば	上 二四オ 2	さて	下 三〇オ 3
さすがに	下 四三ウ 3	さだめ給へば	上 二九オ 5	さて	下 四四ウ 3
さすがに	下 二〇ウ 5	さだめ給はずや	上 四三ウ 6	さて	下 四五オ 5
さすがに	下 二〇ウ 6	さだめ給ふに	下 一九オ 8	さても	上 七オ 7
さぞ (嘸)	下 二七オ 5	さだめなし (定無)	上 三二オ 6	さても	上 一八ウ 4
さぞこそと	下 二七オ 5	さだめなければ	上 三二オ 6	さても	上 二〇ウ 3
		さちうべん (左中弁)	上 一四ウ 2	さても	上 四九オ 2
		さちう弁なる	上 一五ウ 7	さても	下 一〇ウ 10
		さちう弁	上 一五ウ 7	さても	下 一オ 4

さても	さても	下二九才5	さぶらひ給ふ	上五〇ウ7	さま	上二一ウ10
さま	さても	下二九才5	さぶらひ給ふ	下三才3	さまの	上二二才2
さ	さ	上四才5	さぶらひ給へば	下三ウ9	の給へるたま	上二二ウ10
さと	さと	上四才5	さぶらひ給ふ	下五才9	さまの	上一八才8
さと(里) ↓ふるさと・やまさと	さと	下九才5	さぶらひ給ふ	下七ウ6	さまにて	上一八才10
さとは	さながら(然乍)	上四八才9	さぶらひ給ふとも	下八才10	さまにて	上一九才1
さながら	さばかり	上四二ウ10	さぶらひ給へば	下一才8	さま	上二〇ウ9
さばかり	さばかり	上四三ウ3	さぶらはず	下一四才7	さまにて	上一一才1
さばかり	さばかり	上四二ウ10	さぶらふ	下一六才5	さまなれば	上一一才10
さばかり	さばかり	上四三ウ3	さぶらひたまへば	下一八才4	さまの	上一一ウ3
さばかり	さばかり	下二一才2	さぶらひたまふと	下二二ウ2	さまかな	上二六ウ10
さはやかなり(爽)	さはやかなり	下二一才2	さぶらひたまへ	下三才5	さまに	上二七ウ2
さはやかに	さはやかに	上二四ウ5	さぶらひ給ふ	下三〇ウ4	さま	上三一ウ1
さはり(障)	さはり	上二四ウ5	さぶらひ給ふ	下四二才4	さまも	上三二才9
さはり	さはり	上四九ウ10	さぶらふ(候)《補助動詞》	下四二才4	さまを	上三二ウ2
さはり	さはり	下二九才6	さだめられ候なれば	上二一ウ10	さまの	上三三才3
さはりがちなり(障勝)	さはりがちなり	下二九才6	しらせ給ひ候はぬかと	下六才10	さま	上三五才5
さはりがちなりつるを	さはりがちなり	下四二才5	さま(様) ↓ありさま・いかさまに・おほむあ	下六才10	さまに	上三五才7
さびし(寂)	さびし	下四二才5	りさま・おほむさま・おほむさまども・な	さまに	さまに	上三五ウ5
さびしき	さびしき	下四五才2	にさま・ひがさまなり・ほかさま・ほかざ	さまの	さまの	上三八才10
さぶらひつく(候付)	さぶらひつく	下四五才2	まなり	さまの	さまの	上三九ウ6
さぶらひつき給へ	さぶらひつき給へ	下二五才1	さまにて	さまを	さまを	上四八ウ6
さぶらひつき給へ	さぶらひつき給へ	下二五才1	さまにも	さまを	さまを	上五〇ウ5
さぶらひつき給へ	さぶらひつき給へ	下二三才4	さまの	さまにて	さまにて	上五一才5
さぶらふ(候)《本動詞》	さぶらふ(候)	上三九才6	さまの	上二〇才10	さまにてこそ	上五一ウ7
さぶらひ給ふ	さぶらひ給ふ	上三九才6	さま	上二一ウ5	さま	上五四ウ10

さまにて

下一ウ 7

さまざまなり (様々)

さゆ (冴)

上二九ウ 10\*

さまなれば

下二オ 9

さまぐに

上九ウ 8

さゆる

さまの

下二ウ 4

さまぐに

上一六オ 4

さらに (更)

さまの

下四オ 2

さまぐに

上四〇ウ 8

さらに

上四オ 10

さまの

下四オ 8

さみだれ (五月雨)

下三二オ 8

さらに

上一〇ウ 3

さまの

下四ウ 1

五月雨

上五二ウ 3

さらに

上一二オ 9

さまも

下四ウ 4

さむ (覚)

上五二ウ 3

さらに

上一九ウ 4

さまの

下八ウ 9

さむれば

上二九ウ 7

さらに

上二六オ 1

さまは

下九ウ 6

さむし (寒)

上二九ウ 7

さらに

上二六ウ 1

さまの

下一〇オ 6

さむき

上二九ウ 7

さらに

上三五ウ 5

さまを

下一〇ウ 1

さめざめと

上二四ウ 6

さらに

上四六ウ 2

さまを

下一一ウ 5

さめぐと

下二四ウ 6

さらに

下一〇オ 2

さまの

下一六ウ 1

さめぐと

下三九ウ 6

さらに

下二五ウ 6

さまを

下一八オ 6

さめぐと

下四〇オ 2

さらに

下二五ウ 6

さまにと

下二〇ウ 2

さも (然)

上三ウ 6

さらに

下三一オ 2

さまは

下二八ウ 3

さも

下四オ 9

さらに

下三三ウ 3

さまに

下三一オ 5

さも

上三ウ 6

さらに

下三三ウ 3

さま

下三七ウ 6

さやう (然様)

下四オ 9

さらば (然)

下三三ウ 3

さまの

下三八オ 4

さやうの

上二二オ 8

さらば

上三ウ 5

さまを

下三九ウ 7

さやうの

下二オ 4

さらば

上三〇オ 5

さまを

下四一ウ 4

さやうの

下五オ 2

さらば

上三九オ 8

さまぐの

下三〇オ 6

さやうに

上八オ 10

さらば

下二二ウ 8

さまぐの

下三五ウ 9

さやうに

下九オ 1

さらば

下二二ウ 8

さまぐの

下三〇オ 6

さやうに

上八オ 10

さらば

下二二ウ 8

さまぐの

下三五ウ 9

さやうに

下九オ 1

さらば

下二二ウ 8

さまぐの

下三五ウ 9

さやうに

下九オ 1

さらば

下二二ウ 8

さり(然)	上二オ9	さらせ給て	下四五オ10	三条なる	上二五オ9
さればこそ	上六ウ5*	さるほどに(然)	下三一オ3	三条へ	上二五ウ4
さらぬだに	上九ウ9	されど(然)	上二ウ3	三条へ	上二九オ10
さらぬ	上二三ウ10	されども(然)	上三八オ6	さむでうのごしよ(三条御所)	上三九ウ8
さればこそ	下三ウ2	されども	下一四オ7	さむど(三度)	下二七ウ8
さらぬ	下二二オ10	されども	下三一ウ6	三ど	
さらぬ	下四四オ1	されども	上二二オ6	さむよねん(三四年)	上四三ウ8
さるべき	下四五ウ6	されども	上二二オ6	三四年	
さがたし(去難)	上二八ウ6	さればよ(然)	上二二オ6		
さがたく	下二四ウ3	さればよと	下九ウ8		
さりとて(去)	上四一ウ4	さればよ	下二六オ5		
さりとて	上五〇オ8	さればよ	下四三ウ6		
さりとて	下三〇ウ8	さはぎて	下四三ウ6		
さりととも	上四一ウ4	さはぎて	下四三ウ6		
さりととも	上五〇オ8	さはぎければ	下二六オ5		
さりととも	下三〇ウ8	さはぎて	下二六オ5		
さりながら(然)	下八ウ10	さはぐにぞ	下四三ウ6		
さりながら	下二五ウ1	さむがい(三界) ↓るてんさむがい	下四三ウ6		
さる(然)	下二二オ10	さむじふご(三十五)	下四三ウ7		
さる	下二七ウ3	卅五に	下四三ウ7		
さる	下四〇ウ3	さむじふにん(三十人)	上三一ウ6		
さる(去) ↓たちさる		卅人ばかり	上三一ウ6		
		さむでう(三条)	上二八ウ2		
		三でうなる	上二八ウ2		

じ

しきぶぎやうのみや (式部卿宮) ↓こしきぶぎやうのみや	したかふ	上二〇ウ10	しづみなきを	上八ウ6
しきみ (櫛)	したがひきこえて	上二九ウ9	しづ心なく	上一三ウ8
しぐれ (時雨)	したがひ給はゞ	上三六ウ3	しづ心なき	下一九ウ1
しぐれに	したがひたてまつり給へ	下一四ウ1	しづみふす (沈伏)	
時雨や	したがひて	下三五ウ7	しづみふして	上五〇ウ5
しぐれの	したがひ給へ	下三五ウ3	しづみふしたるをさへ	下三七ウ7
しげし (繁)	したし (親)	上四二ウ1	しづむ (沈) 《四段》 ↓おほししづむ・おもひしづむ 《四段》・なきしづむ・ふししづむ	
しげからんと	したたかなり (強)	上二ウ9	しづみ侍べきにも	上二三ウ8
しげう	したゝかならず	上四二ウ5	しづみて	上三五ウ6
しげしげと	したたむ (認) ↓とりしたたむ	下一九ウ5	しづみたまへば	上五一ウ2
しげくくと	したゝめて	上四二ウ5	しづみたまはじ	上五四ウ3
しじふあまりなり (四十余)	したゝめて	下二四ウ4	しづみ給はゞ	下五四ウ1
四十あまりなる	したため (認)	下二五ウ5	しづみ給はん	下三四ウ9
じじゆう (侍従) ↓みんのじじゆうのないし	したひゆく (慕行)	下二ウ8	しづみ給へる	下三八ウ5
侍従に	したひゆくべき	下二ウ8	しづむ (沈) 《下二段》 ↓おもひしづむ 《下二段》	下四四ウ7
した (下)	したふ (慕)	下二ウ8	しづらひはつ (設果)	
したに	したひたまへば	下二ウ6	しづらひはてなば	上二五ウ10
したに	したひ給へる	下二七ウ9	しづらふ (設) ↓とりはらひしづらふ	
したまでも	したひ給ひて	下四四ウ2	しづらひて	上一八ウ2
しだい (次第)	しづかなり (静) ↓こころしづかなり	下五ウ9	しどけなし	
しだいをも	しづかに	下一八ウ7	しどけなく	上一七ウ9
したかた (下形)	しづかならず	下一八ウ7	しとね (褥) ↓おほむしとね	
したかたなれば	しづこころなし (静心無)	下一八ウ7	しとねなど	上一四ウ4
したがふ (従) ↓をれしたがふ			しとみ (蓐) ↓たてじとみ	

しな(品)						
しなも	上三五ウ10	しのびねのないし(忍音内侍)	下三四ウ9	しばの		下二八ウ1
しなす(為)		しのびねのないしと	下三六ウ3	しばし(暫)		
しなしたてまつらじ	上四五ウ1	しのびねのないし	下三七ウ4	しばしにても		
しならふ(為習)		しのびやかなり(忍)		しばし		上二二ウ9
しならひけれとて	上三四ウ3	しのびやかに	上一四ウ9	しばし		上四一ウ3
しのびいる(忍入)		しのぶ(忍)《四段》↓たちしのぶ		しばしも		上四一ウ7
しのびいらせ給て侍を	下一一ウ2	しのびて	上三ウ10	しばし		下五ウ9
しのびがたげなり(忍難)		しのびて	上四ウ3	しばしこそ		下一〇ウ4
しのびがたげに	上五三ウ7	しのびたる	上一八ウ10	しばし		下一二ウ5
しのびがたげに	下九ウ6	しのびて	上一九ウ1	しばし		下一七ウ3
しのびがたし(忍難)		しのぶべき	上二五ウ2	しばし		下二〇ウ10
しのびがたければ	下二二ウ7	しのぶべき	上二六ウ1	しばし		下三二ウ3
しのびしのびなり(忍忍)		しのべども	上三〇ウ2	しふ(執)		
しのびくゝに	下八ウ7	しのびたる	上三八ウ2	しうは		下七ウ7
しのびね(忍音)		しのびて	上四二ウ2	じふ(十)↓さむじふじ・さむじふにん・しじ		
しのびねこそ	下四ウ4	しのびて	上四四ウ1	ふあまりなり		
しのびねに	下七ウ6	しのばん	上五二ウ4	じふいち(十二)		
しのびねの	下八ウ2	しのばれぬを	上五二ウ5	十一にて		下四〇ウ9
しのびねも	下三一ウ9	しのぶと	下四ウ5	じふに(十二)		
しのびねは	下三二ウ9	しのぶべき	下五ウ9	十二の		下四〇ウ4
しのびねも		しのばれんとや	下一七ウ3	じふねんあまり(十年余)		
しのびねのきみ(忍音君)	下三五ウ1	しのび給ふも	下一八ウ8	十年あまりが		下四二ウ10
しのびねのきみは	下三ウ5	しのびて	下二五ウ9	じふべん(十返)		
しのびねの君は	下五ウ9	しのぶべきにも	下四一ウ10	十べん		下四一ウ2
しのびねのきみと	下一五ウ1	しば(柴)		じふろくにち(十六日)		
				十六日と		上二九ウ5

しほ	↓ひとしほ				
しほたる (潮垂)					
しほたれ給へるに		下四四ウ6	しやうじ	上九オ3	しらせで
しほる (絞) ↓おぼししほる			しやうぞく (装束) ↓おほむしやうぞく・おほむしやうぞくす・おほむしやうぞくども		しらせぬぞと
しま (鳥) ↓えぞがしま			せうぞく	上二四オ5	しらせ給へと
しみそむ (滲染)			しやうぞく	上二四オ9	しらずがほなり (不知顔)
しみそめたらん		下二二オ4	じやうど (浄土)	下八ウ8	しらぶ (調)
しむ (染) ↓たきしむ			じやうどの		しらべ
しみたるばし		下八オ10	しやうぶ (菖蒲)		しり (尻)
しみ給へること		下二二ウ7	しやうぶの	上二七オ10	しり
しみて		下三七ウ9	しやうぶの	上二七ウ4	しりに
しめやかなり			しゆくせ (宿世) ↓おほむしゆくせ		しりがたし (知難)
しめやかなる		上二八ウ3	しゆけ (出家)	下二七オ3	しりがたき
しめる ↓うちしめる			出家の	下二七オ7	しりはつ (知果)
しものがれ (霜枯)			しゆけの		しりはてぬ
霜がれに		下二二ウ10	じゆず (数珠) ↓おほむじゆず		しる (知) ↓いひしる・うきことしらずがほなり・ひとしれず・みしる
しもつき (霜月)			しよぎやうでん (承香殿)	下八オ5	しらでは
しも月		上二四ウ1	しよぎやうでんの	下二七ウ4	しり侍らず
霜月にと		上二九ウ3	しよぎやうでんへと	下二九オ1	しるかな
十一月にも		上二九オ5	しよぎやうでんの	下二九オ3	しらぬ
霜月ばかりの		下二ウ1	しよぎやうでんの	下二九ウ3	しらぬ
しもよ (霜夜)			しよぎやうでんは	下四三オ10	しらず
霜夜に		上二九ウ10*	しよぎやうでんによろご (承香殿女御)	下三八ウ5	しらぬ
しやうがす (唱歌)			しよぎやうでんの女御と		しらず
しやうがし給		下二八ウ6	しらす (知)	上五〇オ6	しれば
しやうじ (障子)			しらせてたびたまへとのみ		しり侍らず
					上二七ウ10*
					上二七ウ3
					上二五ウ8
					上二五ウ1
					上二二オ3
					上二一オ1
					上七オ7
					上六オ3
					上四ウ2
					上四オ9
					上九ウ10
					上二ウ2
					上二オ4
					上二六オ6
					下三ウ4
					下四〇オ6
					下二九ウ7
					下四〇ウ6
					下二一オ3

しり給へながら	上二九ウ 6	しるまじぎをと	下五ウ 7	しるべにて	下四二ウ 8
しらせ給はぬやらん	上二〇ウ 1	しらせ給ひ候はぬかと	下六オ 10	しるし(白)	
しらるらめど	上二〇ウ 3	しり侍らんと	下六ウ 1	しろき	上三オ 8
しらぬ	上二一オ 1	しらぬ	下七ウ 5	しろき	上一四オ 10
しられ給はで	上二二ウ 5	しらず	下一〇ウ 1	しろき	上三一ウ 6
しらず	上二六オ 10	しりたてまつりたらば	下一一オ 9	しろき	上三一ウ 6
しらねとて	上三四オ 5	しらず	下一六ウ 2	しろき	上三一ウ 9
しらず	上三八オ 3	しりたりとも	下一七ウ 10	しろく	上三一オ 1
しらぬ	上四〇ウ 7	しらじとこそ	下一八ウ 8	しろく	上三三ウ 1
しらで	上四一オ 8	しり給べき	下二二オ 3	しろく	上三五オ 10
しりても	上四二ウ 9	しらず	下三一オ 2	しろく	上四三ウ 10
しられ給はで	上四三オ 1	しり給べき	下四一ウ 10	しろく	上四五オ 8
しらず	上四三オ 7	しりたてまつらで	下四二ウ 10	しろく	上五三ウ 10
しりきこえず	上四四ウ 10	しるし(印)		しろく	下二四ウ 10
しらず	上四六ウ 6	しるしに	上三ウ 1	しろく	下二六ウ 5
しらぬ	上四九ウ 1	しるし(著)		しろく	下四二オ 1
しらで	上四九ウ 10	しるきと	上七オ 9	しるしめす(知)	
しられでは	上五〇オ 3	しるく	上三二オ 7	しろしめしたるにやと	上五四ウ 5
しり給ふらんと	上五〇ウ 1	しるきは	下四オ 8	しろしめしけるにこそ	下三ウ 2
しらせ給はぬ	上五一ウ 9	しるければ	下四ウ 2	しろしめしけるこそと	下一八オ 10
しらず	上五三ウ 7	しるく	下七ウ 4	しろしめされぬ	下二二ウ 10
しらぬ	下一オ 6	しるければ	下一〇オ 9	しる(四位) ↓うちの おほいどのの しるのせうし	
しり給へば	下三オ 6	しるかりし	下三一オ 6	やう・おほいどのの しるのせうしやうどの	
しられぬ	下三オ 7	しるべ(標)		しをる(菱) ↓なきしをる	
しらず	下三ウ 10	しるべにや	下二オ 5	しほれ給へり	下三三オ 7
しらぬ	下五オ 5	しるべにて	下一一オ 5		



すべきと	上五四ウ 8	したる	下二四ウ 10	してと	下四四ウ 10
し侍らんと	下一オ 8	して	下二五ウ 4	す(簾) ↓みす	
する	下一ウ 1	して	下二六オ 1	ずいじん(隨身) ↓みずいじん	
すれ	下二オ 8	する	下二六オ 4	ずいじんに	上一ウ 7
したるこそ	下二ウ 4	せよとて	下二六ウ 10	ずいじんに	上四ウ 9
したるをなど	下四オ 2	いかゞし侍らん	下二七オ 8	ずいじんの	上四一オ 10
すれども	下四オ 5	し給へ	下二九ウ 1	ずいじんの	下二五ウ 8
する	下五オ 9	して	下三一オ 9	ずいじん	下二八ウ 8
せん	下五オ 9	したまはず	下三二オ 3	すがき(簀垣)	
すべき	下五オ 9	しつゝ	下三二オ 7	すがき	下二八ウ 1
しぐれの	下七ウ 5	して	下三二ウ 2	すかしこしらふ(賺慰)	
して	下七ウ 5	しけん	下三二ウ 2	すかしこしらへられて	下三六オ 4
するは	下八オ 2	したまふ	下三三オ 2	すかす(賺)	
したるを	下八ウ 9	し給はず	下三三ウ 4	すかしたまへば	下二四オ 1
すれとて	下九ウ 4	し給へ	下三四ウ 2	すかしたてまつる	下二四オ 5
せぬ	下一〇ウ 6 *	して	下三四ウ 5	すかしたまふ	下二四オ 10
すべき	下一三ウ 7	せぬは	下三五オ 10	すがた(姿) ↓おほむすがた・かりぎぬすがた・	
して	下一四オ 4	して	下三六オ 6	みめすがた	
したまはず	下一六ウ 3	したまはず	下三六オ 9	すぎごころ(好心)	
する	下二〇オ 6	したる	下三七ウ 6	すぎ心と	上九オ 7
せめと	下二〇ウ 7	するを	下三八オ 1	すきま(透間)	
し侍らんずれば	下二〇ウ 10	せられ給ふ	下四〇オ 4	すきま	上二〇ウ 5
して	下二三ウ 3	しける	下四一オ 3	すぎゆく(過行)	
せじ	下二三ウ 3	する	下四一ウ 5	すぎゆくに	下三八オ 4
せざと	下二三ウ 6	して	下四三オ 6	すく(好)	
し給ふ	下二四ウ 8	して	下四四オ 1	すぎ給はざらんも	上一四オ 3

すぐ(過) ↓うちすぐ・ゆきすぐ

すぐるまで

上二六才 8

すこし

上二才 7

すこし

下七ウ 3

過るにも

上二九才 6

すこし

上三才 3

すこし

下三四ウ 8

すぎたるも

下二〇才 8

すこし

上三ウ 5

すこし

下三五才 7

すべす(過) ↓みすぐす

すぐし給ふべき

上四ウ 4

すこし

上六才 5

すこし

下三七才 8

すぐぎめと

上二一ウ 5

すこし

上九才 4

すこし

下四三才 5

すぐすべきと

上二五才 7

すこし

上二二才 10

すぐし(凄) ↓こころすぐげなり

すぐすべきと

上四一才 7

すこしの

上一二ウ 7

すぐしく(過來)

すぐさまほしけれと

上四六才 3

すこし

上一七ウ 8

すぐしきぬ

下三五才 7

すぐすを

下二一才 3

すこしも

上二七才 3

すぐす(過) ↓をりすぐす

すぐしたまふ

下三二ウ 6

すこし

上三三ウ 8

すぐすなど

上二〇ウ 5

すぐすとよ

下三九ウ 9

すこし

上三五才 1

すぐしなばやと

下一九ウ 1

すぐし給ふ

下四〇才 7

すこし

上三五才 7

すぐしたまふ

下四五ウ 3

すぐせ(宿世) ↓おほむすぐせ

すぐせこそ

下二五才 2

すこし

上四三ウ 10

すさまじく

下二八ウ 2

すくなし(少)

上六ウ 5\*

すこし

上五一才 2

すさむ(遊) ↓おほむくちずさむ・くちずさむ

すくなき

上二五ウ 9

すこし

上五一才 7

ずゞ

下三二ウ 3

すくなからず

下三四ウ 6

すこし

上五一才 9

すずし(涼)

下一四ウ 7

すくひたつ(救立)

すくひたてゝ

すこし

上五一ウ 5

すすみいづ(進出)

上二二才 3

すぐる(勝)

すぐれて

すこし

上五二才 7

すゝみいづれば

下九ウ 8

すぐれたまへる

上三五ウ 6

すこし

下七才 6

すすむ(勸)

下六才 8

すけ(典・佐) ↓うちのないしのすけ・ひやう

ゑのすけ

すこし

下七才 8

すゝめ給へども

下六才 8

すこし

すこし

下七才 8

すゝめ給へども

下六才 8



せうなごんと

上一五ウ 4

せむかたなし(為方無)

上二四ウ 9

そうし給へば

下二二ウ 5

せき(関)

上三四ウ 1\*

せんかたなく

上二七ウ 8

そぎおとす(削落)

下二五ウ 9

せきには

上三四ウ 8\*

せんかたなく

上三八ウ 3

そぐ(削)

下二六ウ 1

せきあふ(塞取)

上三〇ウ 2

せんかたなく

下二四ウ 4

そぎてばやと

下二六ウ 1

せきがたし(塞難)

上三〇ウ 2

せんかたなく

下二四ウ 8

そこ(底)

上九ウ 5

せきがたくて

上三〇ウ 2

せんかたなからんと

下三二ウ 2

そこ(其処)

下二五ウ 9

せきかぬ(塞兼)

下四ウ 1

せめてもの

上二七ウ 8

そこに

下二五ウ 9

せきかねたるを

上五〇ウ 9

せめて

上五三ウ 1

そこに

下二五ウ 9

せきもり(関守)

下四ウ 2

せめて

下六ウ 9

そこ

下二五ウ 9

せきもりと

下四ウ 2

せんざい(前裁)

下三二ウ 10

そこ

下二五ウ 9

せく(塞)

下四三ウ 2

せんざい

下四四ウ 4

そこ

上三七ウ 1

せきも

上八ウ 10

そ(衣) ↓おほむぞ

下四四ウ 7

そそなかす(唆)

下二五ウ 9

せし(狭) ↓ところせし

上五一ウ 9

そうじて(総じて)

上五〇ウ 10

そそなかす(唆)

上二五ウ 9

せちなり(切)

下三〇ウ 1

そうす(奏)

上五二ウ 3

そぞろかなり(聳)

下二五ウ 9

せちに

上五〇ウ 9

そうす(奏)

上五〇ウ 10

そぞろかなり

下二五ウ 9

せちに

下二七ウ 8

そ(衣) ↓おほむぞ

下二四ウ 4

そそなかす(唆)

下二五ウ 9

せちなる

下三八ウ 5

そうす(奏)

下二四ウ 8

そそなかす(唆)

下二五ウ 9

せむ(責)

上七ウ 6

そうす(奏)

下二四ウ 8

そそなかす(唆)

下二五ウ 9

せめ給へども

上五三ウ 6

そうす(奏)

下二四ウ 8

そそなかす(唆)

下二五ウ 9

せむかた(為方)

下二三ウ 10

そうす(奏)

下二四ウ 8

そそなかす(唆)

下二五ウ 9

せんかたも

下二三ウ 10

そうす(奏)

下二四ウ 8

そそなかす(唆)

下二五ウ 9

そ



そふ(添)《下二段》

そへて 上二四才10  
 そへて 上二六才3  
 そへて 上二八才5  
 そへて 上四七才1\*  
 そへて 上五〇才8  
 そへて 上五一才2  
 そへて 下一三才5  
 そへて 下三二才7  
 そへて 下四〇才1  
 そむ(染) ↓おほしそむ・しみそむ  
 そむる 上六ウ2\*  
 そむ(初) ↓おもひそむ・こぼれそむ・なれそむ・みそむ  
 そむきはつ(背果) 下三三才9  
 そむきはつべき  
 そむく(背) 上五〇才2  
 そむくとも 上五〇才5  
 そむき給はず 下一九才3  
 そむかんの そむき 下三六才1  
 そむくらんも 下三七才10  
 そめ(染) ↓すみぞめ・ちやうじぞめ  
 そら(空) ↓うのはのそらなり  
 空も 上二九ウ8  
 そらは 下七才3

そらに

そら

そりおとす(剃落)

そりおとして

そる(剃)

そりたてまつる

それ(其)

それも

それにてこそ

それに

それに

それと

それに

それに

それは

それほど(其程)

それほどは

下三二才9

下三四才2

下二八ウ5

下二七ウ7

上二七ウ7

上二九ウ7

上五三才2

上五三才4

下二九才10

下三二才9

下三九ウ4

上二八才1

たいだいし(怠怠)

たいぐしかるべきにも

だいじ(大事)

大なるべきと

だいしやう(大将) ↓さだいしやうのひめぎみ

大しやうの

大将の

大将も

大将こそ

大将は

大将の

大将の

大将の

大将の

大将も

大しやうも

大しやうの

大将の

大将の

だいしやうどの(大将殿)

大将殿にも

大将どのへも

大将殿へも

大将殿に

大将殿も

上二八才6

上二八才7

上二八才5

上二八才6

た

た(誰)

たが

たが

たがとか

たが

下八才8

下一七ウ2

下一七ウ8

下三八才10

だいしやうのひめぎみ (大将姫君)	上四四ウ 10	たがいに	下二ウ 10	たぐひなく	上二六オ 1
大将のひめぎみの	上四四ウ 10	たがふ (違)	上二ウ 10	たぐひなく	上三三オ 4
大将のひめぎみにも	下二〇オ 6	たがはぬ	上二〇オ 2	たぐひなく	下二五オ 9
だいしやうのむすめ (大将女)	下二〇オ 6	たがはゞ	上二〇オ 2	たぐひなく	下二五オ 9
大将のむすめに	下二〇オ 6	たがはぬこそ	上二七オ 1	たけ (丈) ↓ りたけ	上二二オ 10
だいなごん (大納言) ↓ ごんだいなごん	下二〇オ 6	たがふなるを	上三九オ 10	たけに	上二二オ 10
だいはんどころ (台盤所)	下二〇オ 6	たがひ給ふと	上四〇ウ 8	たけに	上三五ウ 9
だいはんどころにて	下二〇オ 6	たがはじとなん	下五オ 4	たけ (竹)	上三五ウ 9
たいめん (対面)	下二七オ 7	たがふ	下六ウ 6	竹の	下二八ウ 1
たいめん	下二七オ 7	たがはずは	下八ウ 5	たけし (猛)	下二八ウ 1
たいめん	上八ウ 10	たがひまいらせて	下二七オ 8	たけき	上二八オ 10
たうだいのみかど (当代帝)	下四四ウ 9	たがはで	下三〇ウ 4	たけき	下三五ウ 6
たうだいの御かどは	下四四ウ 9	たがはぬを	下三九オ 10	たけだち (丈立)	下三五ウ 6
たえず (不絶)	下四五ウ 3	たがへ (違) ↓ ところたがへ	下三九オ 10	たけだちも	下四三オ 5
たえず	下四五ウ 3	たき (滝)	下二八ウ 2	たすく (助)	下四三オ 5
たえだえなり (絶絶)	下四五ウ 3	たきの	下二八ウ 2	たすけたてまつらんと	下二五ウ 2
たえぐゝに	下二一オ 5	たきしむ (焚染)	上三一オ 8	たすけ (助) ↓ おほむたすけ	下二五ウ 2
たえま (絶間)	下二一オ 5	たきしめたる	上三一オ 8	たそがれ (黄昏)	上二オ 2
たえまぞと	下二六オ 8	たきしめて	下二八オ 7	たそがれに	上二オ 2
たかし (高) ↓ けたかし	下二六オ 8	たく (焚)	下二八オ 7	たそかれどき (黄昏時)	上二オ 2
たかう	下四一オ 2	たきたまふ	上四オ 3	たそかれどきに	下二〇ウ 8
たかく	下四一オ 2	たぐひ (類)	上四オ 3	ただ (唯)	下二〇ウ 8
たがひ (互)	下四一ウ 3	たぐひ	上二ウ 5	ただ	上五オ 6
たがひの	下四一ウ 3	たぐひ	上二ウ 5	たゞ	上八ウ 9
たがひに (互)	下三ウ 10	たぐひなし (類無)	下三六ウ 10	たゞ	上九オ 6
たがひに	下三ウ 10	たぐひなきぞかしと	上二九オ 9	たゞ	上九オ 6
たがひに	下二オ 6		上二九オ 9		上二九オ 6



たゞいまの	下四〇才 4	たちいでべき	上四三ウ 8	たちのく	下四五ウ 2
たゞいまの	下四三才 10	立出ても	上四八ウ 1	たちまさる(立勝)	
たゞいまの	下四四ウ 3	たちかへり(立返)	上四六ウ 10*	たちまさりてや	上一二ウ 2
ただごと(只事)		立かへり	上四八才 6	たちまふ(立舞)	上六才 9
たゞごとには	上一一才 5	たちかへり		たちまふべき	上四六才 1
たたずみありく(佇歩)		たちかへりおはす(立返御座)	上二七才 6	たちまふべき	上四六ウ 7
たゝずみありきたまひつらめ	上五ウ 2	たちかへりおはしたり		立まふべき	上一四才 6
たゝずみありきて	下一才 10	たちかへりたちかへり(立返立返)	下四四才 6	たちまふべくも	下一七才 10
たたずみくらす(佇暮)		たちかへりく		たちよる(立寄)	
たゝずみくらしして	下二三才 1	たちかへる(立返・立帰)	上四才 9	たちより給ひて	上四ウ 9
たたずむ(佇)		立かへりなば	上四ウ 6	たちより給ひて	下一〇才 10
たゝずみたまへば	上二ウ 6	たちかへりて	上三才 5	たちより給て	下一〇ウ 8
たゝずみて	下一七ウ 5	たちかへり給はず	上三九ウ 7	たちより給ふ	下二八才 8
ただなり(直)		たちかへりつゝ	下一〇才 6	たちよりて	下四一才 1
たゞならず	上一六才 1	たちかへりて	下二四ウ 7	たつ(発・立)《四段》↓いでたつ・うちあから	
たゞには	下一ウ 9	たちかへりて		めたつ・おぼしたつ・おもひたつ・ききだつ	
ただひと(直人)		たちかへりて	上二四才 10	たちたまふ	上一三ウ 7
たゞ人には	上一一ウ 6	たちかへりて	上五四ウ 7	たちたまふ	上二〇ウ 7
たゞ人の	下三才 9	たちささらせたまひても		たつばかり	上二五才 5
たち(達) ↓おほむおやたち・おやたち・きむ		たちしのぶ(立徳)	下一二ウ 4	たちつらん	上三四ウ 1*
だち・にようばうたち・ひじりたち・みや		立しのびて		たちつらん	上四七才 3*
たち		たちとどまる(立止)	下八才 4	たち給ふ	上四九才 2
たち(立) ↓たけだち		たちとゞまりて		たち給へども	下一〇才 4
たちいづ(立出)		たちのく(立退)	上四才 6	たちたまふ	下一九才 1
立いでゝ	上四一ウ 9	たちのきたまふ	下九ウ 1	たちぬるぞ	下一九才 1

たちたまふ	下二二ウ 8	たづねたてまつりて	下四四ウ 8	やどりたてまつらん	上一一オ 3
たちて	下三六オ 8	たづねありく(尋歩)		みたてまつりけれど	上一一オ 4
たつ(立)《下二段》↓かきたつ・すくひたつ・		たづねありきたまへば	下四〇ウ 9	いれたてまつる	上一一オ 10
つくろひたつ・ふきたつ		たづねいる(尋入)		わたしたてまつらんと	上一二ウ 8
たてゝ	上三八オ 6	たづね入給ふべきとて	下四二オ 10	わたしたてまつらん	上一三オ 8
たてぬべき	上四七オ 7	たづねまゐる(尋参)		まちたてまつりつれば	上一五オ 6
たて	上四九オ 1	たづねまゐらぬもの	上六ウ 9	きせたてまつりて	上一五オ 8
たてゝ	下二九ウ 8	たづねまいりぬるを	上九オ 6	みたてまつり給ふ	上一八オ 4
たてゝも	下三五ウ 6	たづねまいらんとて	上四七ウ 1	きゝたてまつるとも	上一八ウ 6
たて給はんずるに	下三八ウ 10	たてじとみ(立部)		みたてまつれと	上一九オ 7
たつ(裁)↓いそぎたつ		たてじとみの	上二ウ 5	よびたてまつりて	上一二ウ 10
たづぬ(尋)		たてまつる(奉)《本動詞》		みたてまつり給て	上一二ウ 9
たづぬ	上四ウ 2	たてまつる	上一四オ 8	みえたてまつらじと	上一三ウ 9
たづぬべからんと	上四ウ 7	たてまつるに	上一四オ 10	むかへたてまつらんとて	上一四オ 1
たづねたてまつりつる	上九ウ 5	たてまつれば	上四六ウ 9	みたてまつるに	上一五オ 6
たづねたまへると	上三七ウ 10	たてまつり給て	上四八ウ 3	わたしたてまつりて	上一五オ 10
たづね給ふ	上四四オ 4	たてまつりて	下一三オ 3	みせたてまつるべき	上一五ウ 3
たづねこそ	上五一ウ 10	たてまつらんと	下一三オ 8	みせたてまつらん	上一五ウ 5
たづね侍る	下六ウ 1	たてまつる	下二八オ 5	みせたてまつらんと	上一五ウ 6
たづねおはします	下七オ 2	たてまつる(奉)《補助動詞》		したてまつりて	上一六オ 1
たづね給ふ	下一〇ウ 9	みたてまつる	上一オ 5	いだきのせたてまつり給	上一六オ 6
たづねたまはんと	下二〇オ 5	返したてまつらんとて	上五ウ 4	あなづられたてまつらじとて	上一六ウ 6
たづねて	下四〇オ 1	みしりたてまつらねども	上六オ 1	いだきたてまつりて	上一六ウ 9
たづね給へば	下四一オ 4	みたてまつる	上七ウ 8	かきをきたてまつり給へば	上一七オ 2
たづね給へると	下四一オ 6	みたてまつりし	上八ウ 6	たてまつる	上一七ウ 6
たづね給へるかな	下四二オ 6	たづねたてまつりつる	上九ウ 6	きせたてまつりて	上一三オ 9

物おもはせたてまつらんとこそ	上三三ウ 9	みたてまつりて	下二四ウ 2
みせたてまつれば	上三四ウ 4	みたてまつるも	下二五ウ 2
のせたてまつるに	上三八ウ 7	みたてまつりつるに	下二五ウ 1
おろしたてまつりて	上三八ウ 2	おもひたてまつれども	下二五ウ 2
いれたてまつり給ふ	上三八ウ 3	みきゝたてまつらんも	下二六ウ 1
うらやみたてまつるに	上三八ウ 9	思ひたてまつるも	下二六ウ 6
たてまつり給へども	上四一ウ 10	みつけたてまつりたらば	下二六ウ 6
たてまつらんと	上四一ウ 10	とりたてまつりて	下二二ウ 4
みたてまつらで	上四一ウ 10	おどろかしたてまつれば	下二二ウ 6
しなしたてまつらじ	上四五ウ 2	いれたてまつる	下二二ウ 6
みたてまつり給ふ	上四五ウ 1	したがひたてまつり給へ	下二二ウ 6
出したてまつらん	上四五ウ 7	おもひたてまつるべからず	下二四ウ 1
みたてまつりて	上四五ウ 9	待たてまつらん	下二四ウ 2
みたてまつる	上四七ウ 9	ちかづきたてまつるも	下二四ウ 9
きかれたてまつらんも	上四九ウ 7	みたてまつりしかば	下二五ウ 1
みたてまつりて	上五二ウ 10	うちとけみえたてまつり給ふ	下二五ウ 3
みたてまつるを	下一ウ 3	みえたてまつらじと	下二五ウ 5
みたてまつり給ひしかと	下一ウ 4	みたてまつるに	下二六ウ 2
みせたてまつらんよ	下三ウ 7	みたてまつるも	下二六ウ 6
かくしたてまつるべき	下三ウ 9	あらせたてまつらん	下二六ウ 8
みえたてまつり給ふぞ	下五ウ 7	おもひたてまつれ	下二九ウ 9
いだしたてまつるとも	下五ウ 1	みえたてまつらぬ	下二一ウ 4
みあはせたてまつらざ	下五ウ 3	みたてまつらんと	下二一ウ 8
ものおもはせたてまつるまじきをと	下八ウ 3	なびきたてまつり給ふとも	下二二ウ 10
なびきたてまつる	下九ウ 1	ぐしたてまつるべし	下二二ウ 7
しりたてまつりたらば	下一〇ウ 4	すかしたてまつる	下二三ウ 8
	下一一ウ 9		下二四ウ 5
		ぐしたてまつるとも	下二四ウ 5
		物おもはせたてまつるべき	下二四ウ 2
		ものおもはせたてまつらん	下二五ウ 1
		たすけたてまつらんと	下二五ウ 2
		まちたてまつる	下二六ウ 1
		つげたてまつらんとて	下二六ウ 6
		みせたてまつれば	下二六ウ 9
		入たてまつるに	下二七ウ 6
		えやつしたてまつるまじきと	下二七ウ 1
		そりたてまつる	下二七ウ 7
		たてまつりて	下二八ウ 4
		はるけたてまつらん	下二八ウ 8
		つきたてまつりつるにこそと	下二八ウ 9
		うちすてたてまつる	下三〇ウ 2
		ひきぐしたてまつりてこそ	下三〇ウ 5
		なぐさめたてまつるに	下三四ウ 8
		ぐしたてまつり	下三四ウ 10
		みえたてまつり給へば	下三五ウ 8
		みえたてまつらん	下三六ウ 3
		をきたてまつりて	下三七ウ 5
		うみたてまつり給へば	下三八ウ 2
		てんじやうせさせたてまつりたまふ	下三九ウ 3
		5	
		わかれたてまつりし	下四二ウ 6
		みたてまつれば	下四二ウ 8
		はなれたてまつりしかば	下四二ウ 3

みたてまつらんと	下四二ウ 6	たね(種)	上 一オ 6	たびごと(度毎)	上 一七ウ 2
ねんじたてまつりしに	下四二ウ 7	たねと	上 一七オ 8	たびごとに	上 二九オ 3
しりたてまつらで	下四二ウ 10	たねと	上 四七ウ 6	たびごとに	下 三九オ 9
たてまつり給ふ	下四三ウ 10	たねども(種共)	下 二〇ウ 9	たびたび(度度)	上 一〇ウ 6
みをきたてまつれば	下四四オ 3	たねども	上 三六オ 3	たびく	上 四八ウ 1
みたてまつらん	下四四オ 4	たのむ(頼)《四段》↓うちたのむ	下 一六オ 6	たびく	下 三ウ 4
たづねたてまつりて	下四四ウ 9	たのまるべきにも	上 二〇オ 6	たびく	下 三六ウ 4
みたてまつりたまへるとぞ	下四五ウ 6	たのむべき	上 一五ウ 7	たびね(旅寝)↓おほむたびね	下 四四オ 1
たとひ(仮令)	上四九オ 6	たのもし(頼)	下 三〇オ 4	たふ(堪え)	上 四五ウ 8
たとひ	上五〇オ 2	たのもしぎ	下 四オ 2	たへ	上 五〇オ 6
たとへ(仮令)	下五ウ 2	たのもしげなり(頼)	下 八オ 3	たふ(給・賜)	
たとへ	下二四ウ 2	たのもしげなる	下 一七ウ 4	しらせてたびたまへとのみ	上 五〇オ 6
たとへ	上三二ウ 2	たばかり給てや	下 三二オ 3	たふれふす(倒伏)	下 二六ウ 5
たとへなし(譬無)	上三八オ 10	たはぶる(戯)↓わらひたはぶる	下 一七ウ 4	たふれふして	上 二六オ 9
たとへむかたなし(譬方無)	上二二オ 1	たはぶれ給へば	下 三二オ 3	たへがたし(堪難)	上 四五ウ 8
たとへんかたなし	上二七オ 3	たはぶれ給へば	上 五ウ 6	たへがたく	下 二六ウ 8
たとへんかたなきを	下 一オ 1	たはぶれ	上 五一オ 7	たえがたければ	上 一六ウ 4
たとへんかたなし	下二九ウ 6	たはぶれも	上 一八オ 6	たま(玉)	下 一四ウ 6
たとへんかたなし	上 八オ 3	たはぶれ		玉かと	
たどる(迪)↓おもひたどる	上三四ウ 9*	たはぶれ(戯)↓おほむたはぶれ		玉と	
たどられ侍と	上四七ウ 2	たび(旅)			
たどるらん		たびは			
たどられてと		たびに			
		たび(度)↓いまひとたび・このたび			
		たびに			

たまかがみ(玉鏡)	下二八才 8	み給へれば	上三ウ 4	きこえ給へば	上八才 7
たまかゞみを	下二八才 8	たきたまふ	上四才 3	いらへ給へば	上八ウ 4
たまたま(偶)	下二〇ウ 3	たちのきたまふ	上四才 6	きこえまつはし給へば	上九才 1
たま〜	上二四ウ 8	すぐし給ふべき	上四ウ 4	いなみ給はんも	上九才 1
たまはる(賜・給)	上二四ウ 8	おもひわづらひ給ふに	上四ウ 7	いざりいで給ふ	上九才 3
給らせたまふに	上二四ウ 8	まもり給ひつと	上四ウ 8	みなをりたまひて	上九才 4
たまふ(給)《本動詞》	上八ウ 10	たちより給ひて	上四ウ 9	いひかはしたまふ	上九ウ 3
給はんと	上四七ウ 1	いはせ給ふ	上五才 2	まかでたまへるに	上九ウ 7
給てと	上四七ウ 1	あかし給ふべきと	上五才 4	いでやり給はねば	上九ウ 7
たまふ(給)《補助動詞・下二段》	上四七ウ 1	さしより給ひて	上五才 5	いで給	上二〇才 6
つかふ	上九ウ 1	たゞみありきたまひつらめ	上五ウ 2	まいり給ければ	上二〇才 8
おもひ給ながら	上九ウ 1	し給ひぬらんと	上五ウ 3	みえ給ふにも	上二〇ウ 3
おもひ給へながら	上二一ウ 3	おぼしゆるし給へとて	上五ウ 7	おぼえたまふ	上二〇ウ 6
思ひ給へ	上二一ウ 4	みたまひつる	上五ウ 9	きこえ給ふ	上二〇ウ 7
しり給へながら	上二九ウ 6	うちかたらひ給ふ	上六才 2	し給はず	上二一才 6
たまふ(給)《補助動詞・四段》	上二九ウ 6	みちびきはて給へかしてて	上六才 4	し給へる	上二一才 9
のゝしられ給しは	上二一才 1	ほゝゑみたまへば	上六才 5	とゞめたまふ	上二一ウ 1
かゝやきたまふ	上二一才 3	いで給ふは	上六ウ 3	いり給へる	上二一ウ 8
かしづききこえ給ふ	上二一才 8	いひなし給ふ	上七才 3	給へる	上二一ウ 10
ながめたまふほどに	上二一ウ 4	きゝ給ひけん	上七才 5	み給ふに	上二二才 8
みせたまふ	上二一ウ 8	せめ給ば	上七才 6	つくろい給はぬ	上二二才 8
ながめゐたまひつるに	上二二才 5	めでのゝしられ給ふ	上七才 10	うちあかみ給へる	上二二才 9
たゞずみたまへば	上二二ウ 6	し給へる	上七ウ 1	そばみ給へるを	上二二ウ 5
かいまみありきたまふ	上二二ウ 10	ときめきたまふ	上七ウ 3	たちかへり給はず	上二三才 5
のぞき給へば	上三才 1	みすぐし給ふべきにも	上七ウ 3	かよひありき給ふ	上三才 7
みたまへば	上三才 5	おとしめられ給はんも	上七ウ 5	いでたまふ	上三ウ 1

出給ふ	上二三ウ3	むつかり給へば	上二三ウ5	し給はず	上二〇ウ8
ありきたまふらん	上二三ウ5	なり給ふ	上二七オ2	わらひあそび給へば	上二二オ2
むつかり給へば	上二三ウ5	まかで給ひて	上二七オ9	まぎらはしたまふに	上二二オ4
たちたまふ	上二三ウ7	そひふし給に	上二七オ10	いさめたまふにやと	上二二オ6
ありきたまふらんなど	上二三ウ9	み給へるに	上二七ウ1	心え給ふに	上二二オ6
うちほゝゑみたまへるに	上二四オ1	まぼり給に	上二七ウ3	入給て	上二二オ8
ちらし給へる	上二四オ2	うちやり給へば	上二七ウ8	したまふ	上二二オ9
すぎ給はざらんも	上二四オ3	はぢしらひ給ひて	上二七ウ9	かはりたまふまじぎ	上二二ウ2
給らせたまふに	上二四ウ8	いひけち給へるに	上二八オ2	うちしめり給へる	上二二ウ3
み給ふに	上二四ウ10	さしならび給へるは	上二八オ3	申給へば	上二二ウ9
みたまふに	上二五オ8	みたてまつり給ふ	上二八オ4	すべりいで給ふ	上二二オ3
きこえたまへば	上二五オ9	なり給て	上二八オ5	なぐさめかたりきこえ給へば	上二二オ5
のりたまふ	上二五オ10	かくしたまふこそ	上二八ウ7	とゞめ給はず	上二二オ8
ためらひ給へども	上二五ウ1	かくし給	上二八ウ8	心をき給ふべきこそ	上二二オ10
そゝなかしきこえ給へば	上二五ウ2	し給はん	上二八ウ9	しられ給はで	上二二ウ5
出給ふ	上二五ウ3	むまれ給しを	上二九オ3	かたらひたまふ	上二二ウ6
のり給ふ	上二五ウ4	かしづき給ふべき	上二九オ3	まいりたまふべき	上二二ウ7
みたまふに	上二五ウ6	うせ給て	上二九オ4	いでたまふ	上二二ウ7
なり給ひて	上二六オ1	なくなり給しかば	上二九オ5	おき給はず	上二二ウ8
なやみたまへば	上二六オ2	申給へば	上二九ウ4	みたてまつり給て	上二二ウ9
きゝ給ひて	上二六オ4	うけひききこえ給ふ	上二九ウ6	さしより給て	上二三オ3
むつかりたまふ	上二六オ7	ときめき給へば	上二〇オ1	心をきたまふ	上二三オ4
むまれたまへる	上二六オ9	をしけたれ給はむも	上二〇オ1	おきあがり給て	上二三オ7
うけひき給はぬ	上二六ウ1	よびきこえたまひて	上二〇オ4	まぎらはし給へば	上二三オ10
そひたまへる	上二六ウ7	しらせ給はぬやらん	上二〇ウ1	なぎみたまへり	上二三ウ2
		たちたまふ	上二〇ウ7	つくし給ふ	上二三ウ5

もてなし給へども	上二三ウ10	おぢ給はず	上二七オ3	まいり給はず	上三〇ウ3
さだめ給へば	上二四オ2	うちひそみたまふ	上二七オ5	つくろひ給はぬと	上三〇ウ4
みたまひては	上二四オ4	あがり給はず	上二七オ7	み給ふに	上三〇ウ7
心え給へ	上二四オ7	こしらへなぐさめたまふ	上二七オ9	うちほゝゑみ給へば	上三一オ4
むまれ給し	上二四オ9	かたりきこえ給へば	上二七オ10	さしならび給はん	上三一オ6
ならひ給へば	上二四オ10	なき給へば	上二七オ10	ひきなをし給へば	上三一オ10
なり給はんも	上二四ウ2	なぐさみ給へなど	上二七ウ3	いで給ふ	上三一オ10
こしらへたまふ	上二四ウ3	なぐさめ給ふ	上二七ウ3	出給ふ	上三一ウ1
なき給へば	上二四ウ6	まいり給へば	上二七ウ4	おほしつき給ふ	上三一ウ4
なき給ふぞ	上二四ウ7	みつげ給て	上二七ウ4	みたまへば	上三一ウ8
かきはらひ給へば	上二四ウ9	まいり給へば	上二八オ1	し給ふらん	上三二オ5
み給まじき	上二五オ1	うちみあげ給ひて	上二八オ1	出給ふ	上三二ウ3
み給へとて	上二五オ2	やせたまへる	上二八オ1	ね給はざりけると	上三二ウ4
さしあて給へば	上二五オ2	うけひきたまはぬとて	上二八オ2	み給へると	上三二ウ9
むせかへり給へば	上二五オ3	み給へかし	上二八オ6	いひまぎらはし給ふ	上三三オ3
み給て	上二五オ5	まぎらはしたまふ	上二八ウ6	かたらひたまふ	上三三オ9
ゝ(な)げき給ひそ	上二五オ9	なつき給て	上二九オ2	み給へば	上三三オ10
み給へば	上二六オ1	おひいで給へば	上二九オ3	おもやせたまへる	上三三オ10
なき給へば	上二六オ5	ふし給て	上二九ウ4	もてなしたまふ	上三三ウ6
のり給ひて	上二六オ6	ひきつくるひ給ふ	上二九ウ4	ひきむけ給へば	上三三ウ7
いだきのせたてまつり給	上二六オ6	わたり給へと	上二九ウ5	うちゑみ給へるに	上三三ウ8
なき給ふ	上二六オ8	よびきこえ給へば	上二九ウ6	うちなみだぐみたまへば	上三四オ1
なき給ふに	上二六ウ1	あがり給はず	上二九ウ7	のごひ給へば	上三四オ7
おぼしなし給へ	上二六ウ3	せきあへ給はず	上三〇オ2	やり給はぬかと	上三四オ9
やり給はず	上二六ウ8	やり給はねば	上三〇オ10	かきたまふ	上三四オ10
かきをきたてまつり給へば	上二七オ3	のり給ても	上三〇ウ1	うちをき給ふ	上三四ウ5

心をき給ふこそ	上三四ウ6	成給て	上三七ウ4	たてまつり給へども	上四一オ10
かたらひたまふ	上三四ウ7	み給はで	上三七ウ5	やり給はず	上四一ウ2
み給へば	上三四ウ7	わらひたはぶれ給へば	上三七ウ7	とゞまりたまふと	上四一ウ3
わらひたまひ	上三四ウ10	なき給へば	上三七ウ8	みえたまはず	上四一ウ4
出給へと	上三五オ2	たづねたまへると	上三七ウ10	なぐさみ給へ	上四一ウ10
出給ふ	上三五オ4	いそぎいで給はんと	上三八オ1	出給ひし	上四二オ3
ゐたまへる	上三五オ5	なきたまふ	上三八オ6	なき給ふ	上四二オ8
つくるひたまはぬ	上三五オ6	なきたまへる	上三八オ9	よせ給へ	上四二ウ3
つきたまはず	上三五オ7	いれたてまつり給ふ	上三八ウ4	とりあつめ給ふに	上四二ウ7
きこえ給ふ	上三五オ7	ゆきたまへる	上三八ウ5	いでたまひしにても	上四二ウ10
み給へば	上三五オ9	なり給ひぬ	上三八ウ8	しられ給はで	上四三オ1
すぐれたまへる	上三五ウ6	さしそひたまへば	上三八ウ10	とりこめ給て	上四三オ4
したがひ給はゞ	上三六オ3	さぶらひ給ふ	上三九オ6	おもひつゞけ給ふ	上四三オ5
きゝ給ふに	上三六ウ2	出給へとて	上三九オ10	なぐさみたまひしを	上四三オ10
わたり給へり	上三六ウ2	き給て	上三九ウ5	なきふし給へるも	上四三ウ1
うちそばみ給つるを	上三六ウ4	ながめ給へる	上三九ウ6	いで給へ	上四三ウ3
かたらひたまはず	上三六ウ4	つくりあらため給て	上三九ウ9	とりはなし給ひしより	上四三ウ5
とゞまりたまひて	上三六ウ5	うつし給はんと	上三九ウ9	さだめ給はずや	上四三ウ6
出給ふ	上三六ウ6	かへし給ふ	上四〇ウ1	みまはし給ふに	上四三ウ7
いで給ふ	上三六ウ7	よびきこえ給へば	上四〇ウ2	かき給ふ	上四四オ1
うちなみだぐみ給ふ	上三六ウ10	まいり給ふに	上四〇ウ3	いで給ふ	上四四オ3
しかりたまはんとて	上三七オ4	たがひ給ふと	上四〇ウ8	たづね給ふ	上四四オ5
まいりたまへる	上三七オ9	うちあからめたち給	上四〇ウ9	のり給	上四四ウ1
し給へ	上三七オ9	かきづききこえたまふ	上四一オ3	をり給ふ	上四四ウ2
きゝたまひて	上三七オ10	まいり給ふに	上四一オ4	よりふし給ぬ	上四四ウ3
のせ給ふ	上三七ウ2	こもり給ふべきなれば	上四一オ6	なき給ふ	上四四ウ4

かるしめられ給ふまじぎを	上四四ウ 7	あかし給	上四八オ 10	なぐさめ給へとて	上五二オ 7
はなやぎ給へる	上四四ウ 9	御心もとながらせ給へる	上四八オ 10	なきしほれ給へる	上五二オ 8
すたれ給へる	上四四ウ 9	おきあがりたまひて	上四八ウ 3	ふし給へるに	上五二ウ 8
をしのけ給へば	上四五オ 3	たてまつり給て	上四八ウ 4	わすれ給ふ	上五三オ 2
うちそばみ給へるに	上四五オ 4	出給ふ	上四八ウ 4	ながれたまはず	上五三オ 5
とだえ給ふ	上四五ウ 3	つゝ給へば	上四八ウ 5	せめ給へども	上五三オ 7
いで給はぬにこそ	上四五ウ 4	なきしほれ給へる	上四八ウ 6	わたらせ給ふ	上五三オ 9
みたてまつり給ふ	上四五ウ 7	申給はで	上四九オ 1	かくれ給ふ	上五三ウ 1
なぐさみ給へなど	上四五ウ 10	たち給ふ	上四九オ 2	おき給ふこそ	上五三ウ 5
み給へば	上四六オ 8	まいり給へば	上四九ウ 2	うづもれ給へる	上五三ウ 5
とひたまへば	上四六ウ 1	まぎらはし給へば	上四九ウ 3	ひきのけたまへば	上五三ウ 6
おぼえ給はず	上四六ウ 2	なき給ふ	上四九ウ 9	なき給ふを	上五三ウ 8
し給ふ	上四六ウ 4	そむき給はず	上五〇オ 5	かきをこし給ひて	上五三ウ 8
うしなひたまふべきにこそ	上四六ウ 5	たびたまへとのみ	上五〇オ 6	うちおどろかれ給ひて	上五四オ 2
なき給ふ	上四六ウ 7	いのり給ふ	上五〇オ 7	なきぬらし給ふよ	上五四オ 8
かきをき給へる	上四六ウ 8	入給はず	上五〇オ 8	こひたまふらん	上五四ウ 2
み給へば	上四六ウ 9	しり給ふらんと	上五〇ウ 1	しづみたまはじ	上五四ウ 3
かきまぎらはし給へるに	上四七オ 7	まいり給へるに	上五〇ウ 3	なき給へば	上五四ウ 6
むせかへり給ふ	上四七オ 8	そうし給へば	上五〇ウ 10	たちさらせたまひても	上五四ウ 8
いだし給へり	上四七ウ 3	うちほらはせ給て	上五〇ウ 10	まいり給ふ	下一ウ 4
なきこがれ給へば	上四七ウ 5	しづみたまへば	上五一ウ 2	ひきつくろひ給へども	下一ウ 6
ふし給へる	上四七ウ 10	きゝ給はんにも	上五一ウ 7	うけ給へば	下一ウ 8
いで給ふらん	上四八オ 2	しらせ給はぬ	上五一ウ 9	ほほゑみ給へば	下二ウ 5
わたり給へと	上四八オ 3	し給らぬ	上五一ウ 10	御くちずさみ給ふ	下二ウ 9
まいりたまはず	上四八オ 5	み入給へ	上五二オ 3	そゝなかし給へば	下三オ 1
あがり給はず	上四八オ 9	まいり給ひて	上五二オ 7	吹たて給ふ	下三オ 2

さぶらひ給ふ	下三才 3	なさせ給ひてよ	下五才 9	ながめありき給ふに	下八才 5
あそび給ふに	下三才 3	きゝ給て	下五才 9	きゝ給へば	下八才 6
かきならし給ふ	下三才 4	おもひたまはんが	下五才 9	わたらせ給へる	下八才 9
きゝ給ひて	下三才 5	いでたち給ふらんとも	下五才 9	さぶらひたまふかと	下八才 10
しり給へば	下三才 6	みえたてまつり給ふそ	下五才 1	うちきゝ給へば	下八才 1
ふし給へり	下三才 8	こしらへ給ふとも	下五才 6	思ひ給ふも	下八才 4
わたらせたまひて	下三才 9	ふししづみ給へば	下五才 8	つくし給はん	下八才 6
きゝたまふ	下三才 1	いさめ給へども	下五才 9	あくがれ給ふぞ	下八才 10
うつぶき給へば	下三才 4	さし出給へる	下六才 4	もとめ給ふに	下九才 4
きゝ給へりしにやと	下三才 4	まいり給へば	下六才 6	のぞきたまへば	下九才 5
とひ給ふに	下三才 5	やせあをみ給ひて	下六才 7	まぼり給へば	下九才 1
きこえ給へば	下三才 6	すゝめ給へども	下六才 8	かきのけ給へば	下九才 5
きき給ふとも	下三才 7	うちをきたまへば	下六才 9	ひきのけ給へば	下九才 1
みたてまつり給ひしかと	下三才 7	しらせ給ひ候はぬかと	下六才 10	なきあかみ給へる	下九才 2
とひ給へば	下三才 8	とひ給へば	下六才 1	たち給へども	下九才 4
きこえたまはで	下三才 8	やり給はず	下六才 2	のぞきたまへば	下九才 10
さぶらひ給へば	下三才 9	まぼり給ひて	下六才 2	なき給へる	下九才 1
たはぶれ給へば	下四才 2	まいり給へり	下六才 10	たちより給て	下九才 9
おもひつゞけ給ふに	下四才 5	まぼられ給ふ	下七才 6	たづね給ふ	下九才 9
心え給て	下四才 7	うちずむじ給て	下七才 2	わたらせ給ひけるぞとて	下九才 5
やり給へ	下四才 10	みおこさせ給へる	下七才 2	なき給へば	下九才 6
くちずさみ給ひて	下四才 3	うちゑみ給へるを	下七才 3	さぶらひ給ふとも	下九才 8
とり給へども	下四才 3	さぶらひ給ふ	下七才 6	うけ給しかば	下九才 10
みえ給へ	下四才 6	なくさみ給へかし	下七才 10	しのびいらせ給て	下九才 3
とひ給へば	下五才 6	たはぶれ給へば	下八才 3	なきこがれ給ふ	下九才 6
さぶらひ給ふ	下五才 9	まかで給へるに	下八才 4	み入給はず	下九才 7

わすれ給はぬ	下二オ2	いでき給へりければ	下七オ8	みあげ給はず	下二〇ウ3
しみ給へる	下二ウ7	うとみ給けれ	下七オ9	よりたまへば	下二〇ウ4
入給はねば	下三オ6	とはせ給はぬを	下七ウ1	かけ給ふに	下二〇ウ4
み給へば	下三オ9	うらみ給へば	下七ウ2	うちわらひ給へるにも	下二〇ウ6
かきたまふ	下三ウ2	ふきたまへば	下七ウ5	しいだし給へる	下二〇ウ9
かきたまふ	下三ウ6	きゝ給へると	下七ウ8	をとづれたまふさへ	下二一オ5
わたらせ給へば	下三ウ7	とひ給へども	下七ウ8	をとづれ給へば	下二一オ6
まいり給へる	下三ウ8	いらへ給はん	下七ウ9	とゞまり給へば	下二一ウ2
すみ給ふらんと	下四オ4	まいり給ふ	下八オ3	かしづきこえ給ふ	下二一ウ3
さぶらひ給へば	下四オ7	き給て	下八オ5	かたらひあかしたまへば	下二一ウ5
おぼしたまひけめ	下四オ9	やせたまへるしも	下八オ5	とゞまり給ふに	下二一ウ6
したがひたてまつり給へ	下四ウ2	ひきよせたまひて	下八オ7	いで給ふとて	下二一ウ8
かけさせたまへ	下四ウ4	み給へ	下八オ7	をき給へとて	下二一ウ10
さぶらひつき給へ	下五オ1	しのび給ふも	下八オ8	めし給へる	下二一オ1
なき給へば	下五オ7	なのり給へと	下八オ9	をきたまへば	下二一オ2
しられ給しよりは	下五ウ3	きこえたまへば	下八オ9	しり給べき	下二一オ3
おきだにあげり給はず	下五ウ4	吹たまへば	下八ウ4	おき給ふ	下二一オ4
うちとけみえたてまつり給ふ	下五ウ6	あそび給ひつらめとて	下八ウ5	かけ給て	下二一オ5
とらせ給しかば	下六オ5	しやうがし給	下八ウ6	出たまふ	下二一オ6
み入給はね共	下六オ8	たちたまふ	下九オ1	御しやうぞくしたまひて	下二一オ9
わたらせ給ふ	下六オ10	ほのめかし給ふさへ	下九オ2	まいり給へば	下二一ウ1
したまはず	下六ウ3	しをかせたまふ	下九オ6	さぶらひたまへば	下二一ウ3
やつれ給へども	下六ウ3	さだめ給ふに	下九オ8	そうし給へば	下二一ウ5
やつれ給ふとも	下六ウ5	つくし給ふに	下九ウ4	たちたまふ	下二一ウ8
とまり給ふ	下七オ6	ならび給べき	下二〇オ2	まぎれ入たまふ	下二三オ1
うちながめ給へるに	下七オ8	たづねたまはんと	下二〇オ5	さぶらひつき給へ	下二三オ4

さぶらひたまふと	下二三才5	ふし給て	下二五ウ8	みたまふに	下二九ウ5
あくがれいで給ひなば	下二三才6	おこしたまふ	下二六才3	ふしまるび給へば	下二九ウ8
なびぎたてまつり給ふとも	下二三才8	ねいり給へるを	下二六才10	なぎたまふ	下三〇才2
まいらせ給はんずらん	下二三才10	みたまへと	下二六ウ1	まち給へども	下三〇才4
なぎたまへば	下二三ウ5	いだかれ給ふ	下二六ウ3	みえたまはず	下三〇才4
したひたまへば	下二三ウ7	にたまへる	下二六ウ6	たばかり給てやと	下三〇才4
まちたまへ	下二三ウ8	ゆづり給て	下二六ウ9	み給へば	下三〇才6
すかしたまへば	下二四才1	はなち給はで	下二六ウ9	かき給て	下三〇才7
はなれ給はねば	下二四才4	いで給ふ	下二六ウ10	さぶらひたまへ	下三〇ウ5
をきたまへば	下二四才7	のり給に	下二七才1	かきみだし給へり	下三〇ウ7
なぎたまへば	下二四才8	やつしすてさせ給はずとも	下二七才10	まちたまひつるに	下三〇ウ8
出給ふべき	下二四才9	かけ給ふべき	下二七ウ2	あがり給はず	下三〇ウ10
すかしたまふ	下二四才10	せいし給ふとも	下二七ウ5	すて給へる	下三〇ウ10
待給へとて	下二四ウ4	らいし給へば	下二七ウ8	出給ひし	下三一才1
出給へば	下二四ウ4	みえ給はず	下二七ウ9	なぎしづみ給へり	下三一才3
いで給ふ	下二四ウ5	したひ給へる	下二七ウ9	うせ給ひぬると	下三一才3
いでたまへども	下二四ウ5	たもち給ふ	下二八才3	まいり給て	下三一才7
し給ふ	下二四ウ8	もち給へば	下二八才5	ひきうごかし給へば	下三一ウ9
みたまへば	下二四ウ9	ゆきすぎ給へる	下二八才7	なぎたまへば	下三二ウ10
いでたまへば	下二五才4	たちより給ふ	下二八才8	したまはず	下三二才3
おぼえ給はず	下二五才5	うちみまはし給へば	下二八ウ1	なぎこがれ給へば	下三二才4
まちたまふ	下二五才6	出給ひしが	下二八ウ8	わたらせ給て	下三二才4
まいり給へば	下二五才7	つれ給はざらんと	下二八ウ10	なぐさめ給ふも	下三二才6
ひきつくろひたまへば	下二五才8	みたまへば	下二九才5	すぐしたまふ	下三二ウ6
はしりありきたまふぞ	下二五ウ4	し給へ	下二九ウ2	なぎ給へども	下三二ウ8
かき給へば	下二五ウ6	いれ給へ	下二九ウ3	なぎ給へば	下三三ウ9

なり給へかし	下三三才1	まいり給ふ	下三六才5	よびよせ給て	下三九ウ2
したまふ	下三三才2	したまはず	下三六才9	おぼえ給はぬかと	下三九ウ2
おこなひ給へども	下三三才3	なぐさみ給はん	下三六ウ1	とひ給へば	下三九ウ2
つみたまふ	下三三才5	つくしたまふ	下三六ウ2	なみだぐみ給て	下三九ウ5
しほれ給へり	下三三才7	まいり給へと	下三六ウ4	まぎらはし給へば	下三九ウ6
とり給へども	下三三ウ3	むかひ給はぬ	下三六ウ8	なき給ふ	下三九ウ7
し給はず	下三三ウ4	うちすて給はん	下三六ウ9	なり給はゞ	下三九ウ10
ほめ給へば	下三四才7	ひきつくろひたまへる	下三六ウ9	きゝ給へと	下四〇才1
しづみ給はゞ	下三四才9	うせ給し	下三七才1	かたり給へば	下四〇才2
し給へ	下三四ウ2	ひきつくろひ給へば	下三七才8	なきゐたまへり	下四〇才2
み給へと	下三四ウ4	あそび給へば	下三七ウ4	ひきはなち給ひし	下四〇才3
まいり給へば	下三四ウ6	御らんじおこせたまへば	下三八才2	せられ給ふ	下四〇才4
うちわらはせ給へば	下三四ウ10	まぎらはし給へる	下三八才4	すぐし給ふ	下四〇才7
ゐたまへば	下三五才1	しづみ給はん	下三八才5	むまれ給へり	下四〇才7
なぐさめ給へども	下三五才3	うちわらひ給へる	下三八才6	なり給ふ	下四〇才9
つくし給ふこそ	下三五才5	まいり給ふとも	下三八ウ1	かしづぎたまふ	下四〇ウ1
思ひ給へかしと	下三五才8	時めきたまふと	下三八ウ1	うせ給ひぬるぞと	下四〇ウ4
きこえ給へば	下三五才9	うみたてまつり給へば	下三八ウ3	なり給ひて	下四〇ウ5
おり給へば	下三五ウ1	ゐさせたまへば	下三八ウ7	しらせ給へと	下四〇ウ6
まかでたまふ	下三五ウ2	いでき給はゞ	下三八ウ10	いのりたまふ	下四〇ウ7
したがひ給へ	下三五ウ3	たて給はんずるに	下三八ウ10	きゝ給ひて	下四〇ウ7
みせ給ふそ	下三五ウ4	なり給へば	下三九才4	こもり給へる	下四〇ウ9
うせ給し	下三五ウ4	てんじやうせさせたてまつりたまふ	下三九才4	たづねありきたまへば	下四〇ウ9
みえたてまつり給へば	下三五ウ8	5		きゝ給へば	下四一才1
きこえ給て	下三五ウ9	かよひ給へるに	下三九才7	たづね給へば	下四一才4
なり給ふに	下三六才2	わたらせ給はぬ	下三九ウ1	きゝ給て	下四一才4

とひ給へば	下四一才5	かへりたまふ	下四四才2	たまる(溜)	上五ウ6
たづね給へると	下四一才6	ふしぎがらせたまふべきなど	下四四才5	たまたぬ	
きゝ給へども	下四一才8	申給ひ	下四四才6	ため(為) ↓ おほむため	
いり給	下四一ウ1	やり給はず	下四四才6	ためにこそ	
き給ひて	下四一ウ3	み給へば	下四四才6	ために	上四二才6
にほひいりたまへる	下四一ウ4	しづみ給へる	下四四才7	ために	上四二ウ1
みいだし給ふに	下四一ウ5	わすれ給ふな	下四四才9	ためし(例)	下二七ウ2
みたまへば	下四一ウ6	をしのごひ給ふ	下四四ウ1	ためしに	上一七ウ7*
かはりたまへる	下四一ウ8	したひ給て	下四四ウ2	ためしやは	下三三ウ10
おぼえ給へども	下四一ウ10	なき給し	下四四ウ3	ためらふ(躊躇)	
しり給べき	下四一ウ10	おぼえ給ふ	下四四ウ3	ためらひ侍らんも	上一一ウ3
みたまへば	下四二才2	まいり給へば	下四四ウ4	ためらひ給へども	上一五ウ1
うちかしこまりたまひて	下四二才3	しほたれ給へるに	下四四ウ7	ためらひて	上二六ウ1
さぶらひ給ふ	下四二才4	まいりよりたまひて	下四四ウ7	ためらひて	下四二ウ2
たづね給へるかな	下四二才6	申給へば	下四四ウ10	たもつ(保)	
たづね入給ふべきとて	下四二才10	なきたまへば	下四五才4	たもち給ふ	下二八才3
なき給ふ	下四二ウ1	なりたまふ	下四五才6	たもち給ふとも	下四五才8
あへ給はず	下四三才2	たもち給ふとも	下四五才8	たもと(袂)	
まぼりたまふに	下四三才3	さらせ給て	下四五才10	たもとに	上一八才1*
とひたまふ	下四三才9	つき給ふ	下四五ウ1	たゆ(絶) ↓ かきたゆ	
かたり申給へば	下四三ウ2	いはれ給へる	下四五ウ1	たえなん	下一三ウ4*
なり給へども	下四三ウ7	かよひ給ひて	下四五ウ2	たえて	下一六ウ3
やつれたまへども	下四三ウ9	すごしたまふ	下四五ウ3	たえつる	下二一才10
みえ給はず	下四三ウ9	まいり給て	下四五ウ5	たより(便・頼)	
ふせぎたまふべき	下四三ウ10	をとづれ給ひて	下四五ウ6	たよりに	上二才10
たてまつり給ふ	下四四才1	みたてまつりたまへるとぞ	下四五ウ7	たよりなし(頼無)	

# ち

たよりなくては	上三才3	中将にこそと	上二〇才3	中将殿は	上二五才8
たよりなく	上一五ウ1	中将	上二〇才3	中将どの、	上四五ウ1
たる(垂) ↓しほたる		中将を	上一一ウ10	中将どの、	下四一才5
たれ(誰)		中じやうは	上二三ウ6	ちうなごん(中納言) ↓おほいどののちうなごん	
たれとか	上四ウ6	中将	上二四ウ4	ん・やまごもりのちうなごん	
たれとも	上七才7	中将も	上二五才3	中納言の	上五〇才9
たればかりして	上一四ウ6	中将	上二六才5	中納言と	上三〇ウ5
たれとは	下九才9	中将	上二六ウ8	中納言に	上三八ウ8
たれを	下一六才6	中将は	上二七才5	中納言は	上四六才4
たれと	下四一才5	中将の	上二七才8	中納言	下一才9
たれか	下四二才9	中将は	上二八ウ9	中納言には	下二才7
		中将	上二九ウ3	中納言の	下三才5
		中将も	上三〇才2	中納言の	下三才9
		中将も	上三七ウ8	中納言は	下四才7
		中将は	上三八ウ8	中納言などこそ	下四ウ10
		中将	上四一ウ7	中納言なども	下五才9
ち(路) ↓いへぢ・やまぢ・ゆめぢ		中将	上四一ウ10	中納言の	下五ウ10
ちうぐう(中宮)		中将の	上四四才4	中納言の	下七ウ2
中宮にも	下三九才7	中将に	下四〇ウ5	中納言に	下七ウ7
中宮の	下三九才9	中将は	下四一ウ5	中納言の	下八才4
中宮も	下四〇才5	中将も	下四二ウ1	中納言は	下一五ウ3
中宮は	下三九ウ6	中将は	下四四才2	中納言の	下一六ウ6
中宮も	下四〇ウ1	中将の	下四四ウ1	中納言は	下一七ウ10
中宮は	下四五才4	中将	下四四ウ7	中納言に	下一八ウ6
中宮は	下四五ウ1	中将殿の	上二三才5	中納言は	下二四才3
ちうじやう(中将) ↓とうのちうじやう	上一六ウ6			中納言は	下二五才7

中納言の	下二九才4	ちうべん(中弁) ↓さちうべん			上二一才9
中納言	下三一才3	ちうもん(中門)		ちぎりにて	上二七ウ9
中納言こそ	下三一ウ5	中もん		ちぎりならんとて	下二五才3
中納言と	下三三才1	ちかし(近) ↓ほどちかし		ちぎり	下三四才3
中納言も	下三四才4	ちかく		ちぎりいづ(契出)	上四六ウ10*
中納言の	下三七ウ6	ちかき		ちぎりいでにし	
中納言に	下三九才5	ちかく		ちぎる(契) ↓おほしめしちぎる	
中納言の	下三九ウ3	ちかくて		ちご(稚児)	上二六ウ10
中納言も	下四〇ウ3	ちかき		ちごの	
中納言に	下四五才6	ちかく		ちち(父)	下四〇ウ5
ちうなごんどの(中納言殿)		ちかづく(近付)		ちゝの	下四一ウ5
中納言殿も	上五一ウ8	ちかづきたてまつるも		ちゝの	
中納言殿の	上五二ウ1	ちかまさり(近勝)		ちと(些)	上八ウ3
中納言どのの	下二三才6	ちかまさりは		ちと	上三六ウ8
中納言殿も	下三五ウ4	ちから(力)		ちとも	上四二ウ2
中納言殿も	下四五ウ2	ちから		ちと	下二二ウ4
中納言どのに	下四五ウ2	ちからなし(力無)		ちと	下二五ウ9
ちうなごんにふだう(中納言入道)		ちからなき		ちと	下二六才3
中納言入道	下四一才4	ちからなき		ちと	下三九ウ9
ちうなごんのおほむいもつと(中納言御妹)		ちからなく		ちとも	
中納言の御いもつと	下三七才1	ちからなく		ちびきのいし(千引石)	上五三才7
中納言の御いもつと	下三八ウ7	ちからなく		千びきのいしを	
ちうなごんのきみ(中納言君)		ちからなし		ちひさし(小)	
中納言の君や	上四ウ8	ちからなき		ちいさき	上三才10
中納言のきみと	下二〇ウ9	ちぎり(契)		ちいさき	上三ウ2
中納言のきみと	下二五ウ10	ちぎりかと		ぢもく(除目)	

ぢもくに  
ちやうじぞめ(丁子染)

上三八ウ7

つかまつる(仕)

つかまつりぬと

下四四ウ9

つきせぎりしこそ

下三七ウ9

ちやうじぞめの

下一八オ4

つき(月) ↓あかつき・かみなつき・きつき・  
しもつき・としつき・はづき・ふたつき・む

つきひ(月日)  
月ひも  
つく(付・着・即) 《下二段》 ↓みつく

ちらし給へる

上一四オ2

つき

つき

ついで  
ついで

ちりく(散来)

上六ウ3

月に

上二オ2

つけて  
つけて

ちりぢりなり(散散)

上四七オ5

月の

上五ウ10

つけても  
つけても

ちりぐくに

上四七オ5

月も

上九ウ3

つけても  
つけても

ちりく

上四七オ5

月より

上一六オ1

つけても  
つけても

ついで(次) ↓ひついで

上二五ウ6

つき(付) ↓くちつき・ひたひつき

下三〇オ8\*

つけても  
つけても

つるでに

上四二ウ3

つきかげ(月影)

下二三ウ3\*

つくては  
つくては

つるゝ給へば

上四八ウ5

月影の

下三一オ1

つくて  
つくて

つかうまつる(仕)

下二一ウ8

つきす(尽)

上二五ウ10

かづく・とりつく・まちつく

つかさめし(司召)

上二六ウ6

つきせぬも

上二四ウ4

つきて  
つきて

つかさめしの

上二六ウ6

つきせぬ

上三七オ5

つきて  
つきて

つかへ(仕) ↓みやづかへ

上二六ウ6

つきせぬ

下八ウ3

つきたてまつりつるにこそと

むつかひ

上二六ウ6

つきせぬ

下二二ウ3

つき給ふ

つかへ(仕) ↓みやづかへ

上二六ウ6

つきせぬ

下二八ウ4

つげたてまつらんとて

つかへ(仕) ↓みやづかへ

上二六ウ6

つきせぬ

下二八ウ4

つげたてまつらんとて

つぐせおはしませなど	下二九ウ 4	つくぐと	下二四ウ 9	つゝましくて	下二〇ウ 3
つくす(尽)		つくぐと	下四三オ 2	つつむ(包)	上二二オ 7
つくさめ	上二三ウ 5	つくぐと	上三九ウ 9	つゝむ	
つくし給ふ	上二三ウ 5	つくぐと		つて(伝) ↓ ひとづて	上四三オ 9
つくしけん	上三一ウ 5	つくぐと	つくる(作) ↓ こわづくる	つてにも	
つくす	下二オ 1	つくぐと	つくるひたつ(繕立)	つと	
つくし給はん	下八ウ 6	つくぐと	つくろひたてられて	つとや	下三九オ 3
つくさせおはします	下二五ウ 2	つくぐと	つくろひたてゝ	つどふ(集) ↓ まありつどふ	
つくし給ふに	下一九ウ 4	つくぐと	つくるふ(繕) ↓ ひきつくろふ	つな(綱)	
つくし	下二八オ 6	つくぐと	つくろひ給はぬ	つなは	下四三ウ 6
つくしたる	下三四オ 1	つくぐと	つくろひ給はぬと	つね	
つくし給ふこそ	下三五オ 5	つくぐと	つくろひたまはぬ	つね(常) ↓ よのつね・よのつねし	上二一オ 9
つくしたまふ	下三六ウ 2	つくぐと	つくろはぬ	つねより	
つくづくと		つくぐと	つけ(付) ↓ うちつけ・うちつけなり	つねなり(常)	上二一オ 5
つくぐと	上四オ 7	つくぐと	つごもりわたり(晦日辺)	つねにこそ	上二〇オ 5
つくぐと	上七ウ 7	つくぐと	卅日わたりに	つねならず	上二五ウ 6
つくぐと	上二〇ウ 10	つくぐと	つたふ(伝) ↓ いひつたふ	つねに	上二五ウ 3
つくぐと	上二二ウ 4	つくぐと	つたへんなど	つねに	下二二ウ 9
つくぐと	上二七ウ 3	つくぐと	つづき(続) ↓ うちつづき	つひに(終)	下二一オ 1
つくぐと	上二〇ウ 9	つくぐと	つづく(続) ↓ いひつづく・おもひつづく・か	つるには	上二七ウ 1
つくぐと	上二一オ 3	つくぐと	たりつづく・のたまひつづく・ひきつづく	つるに	上三四オ 4
つくぐと	上三六ウ 4	つくぐと	つゞくるに	つるに	上三六オ 3
つくぐと	上三九ウ 6	つくぐと	つゞけて	つるに	下二四ウ 7
つくぐと	上四九ウ 5	つくぐと	つつまし(慎)	つるには	下二五ウ 2
つくぐと	下六ウ 2	つくぐと	つゝましくて	つぶつぶと	
つくぐと	下二六ウ 7	つくぐと	つゝまし	つぶくと	下九オ 2

つぶる (潰)	上二三オ2	つゆ	上二二オ8	つらき	下五オ9
つぶれて		つゆ (露)	上五ウ6	つらしとも	下三〇ウ3
つぼ (壺) ↓ふじつぼ		露も	上三三ウ10	つらしと	下三四オ6
つぼね (局) ↓おほむつぼね		露の	上四七オ4*	つる (連)	
つぼねへ	上四四ウ1	露も	上五四オ10	つれ給はざらんと	下二八ウ10
つぼねへとぞ	下二九オ4	露	下四ウ3	つるゝ	下三〇ウ1*
つぼねへ	下二九ウ4	露	下四ウ3	つれて	下三三ウ8
つぼねへ	下三一ウ3	露	下一〇オ4	つれづれ (徒然) ↓おほむつれづれ	上二四オ7
つぼねへ	下三四オ8	露をも	下一四ウ5	つれぐこそ	上二四オ7
つぼねにてこそ	下三五オ1	つゆぞ	下二八ウ1	つれぐと	上三二オ5
つぼねへ	下三五ウ1	露も	下二一ウ1	つれぐは	上三九ウ1
つま (端)		露に	下三三オ6	つれづれなり (徒然) ↓おほむつれづれなり	上二四オ3
つまなりける	上三三ウ4	つゆけし (露)	上二九オ4	つれぐならめと	下二二ウ9
つみふかさ (罪深)		露けき		つれなく	下三六オ2
つみふかさ	下二五ウ1	つよし (強) ↓こころづよし		つれなし	
つみふかうなる	下八オ2	つらさ (辛)			
つみふかき	下二九オ9	つらさ	上四一ウ5		
つむ (積)		つらさの	下九ウ10		
つみたまふ	下三三オ5	つらさは	下二一オ1		
つもりゆく (積行)		つらさに	下二七ウ2		
つもりゆくも	下一九オ8	つらし (辛) ↓こころづらし			
つもる (積)		つらけれと	上二八ウ7		
つもる	上三ウ1	つらく	上二九ウ6		
つもりて	上四五ウ8	つらければ	上四二オ6		
		つらきはとこそ	上五一ウ4		
		つらきをば	上五二ウ10		
つゆ 《副詞》				てう (調) ↓ばんしきてう	上三二ウ6

て

て (手) ↓おほむて	上三四ウ10				
ても					
てあたり (手当)					
てあたり	上三三オ10				
てあたり	上三三ウ6				

てうし (調子)

てうしに

下二八ウ 2

てうづ (手水) ↓おほむてうづども

てづから (手)

上四六オ 8

てづから

下六オ 7

てて (父)

上二七ウ 4

てゝの

上二七ウ 4

てまさぐり (手弄)

上二七ウ 5

てまさぐりに

上二七ウ 5

でん (殿) ↓こうきでん・しよきやうでん・し

よきやうでんにようご

上二七ウ 5

てんじやうす (殿上)

下二九ウ 2

殿上せさせて

下二九ウ 2

てんじやうせさせたてまつりたまふ下三九オ

下三九オ

4

# と

と (外)

とへ

上四オ 4

とへも

上四一オ 5

とを

下七オ 8

とに

下二八オ 3

と (戸) ↓あみど

ど (度) ↓いまいちど・さむど

とうぐう (東宮)

上二オ 9

春宮の

下三八ウ 6

とうぐうに

下四〇オ 9

とうぐうの

下四三ウ 1

とう宮と

下四五オ 6

春宮も

下四五オ 10

とうぐう

下四五オ 10

とうのちうじやう (頭中将)

下三オ 2

とうの中將

下三オ 2

とが (咎)

上四一オ 2

とがも

上四一オ 2

とかく

上七オ 7

とかく

上二七オ 8

とかく

上三〇オ 5

とかく

上五三オ 2

とかく

下四ウ 3

とかく

下八ウ 10

とかく

下二〇オ 5

とかく

下二四オ 9

とかく

下三三ウ 3

とかく

下三五オ 3

とかく

下三三ウ 3

とかく

下三五オ 3

とき (時) ↓かたとき・たそかれどき・ひととき・むまのとき

とき

上二オ 1

時の

上四一オ 6

とき

上五〇ウ 2

とき

下五ウ 1

とき

下二〇オ 9

とくとく	上九ウ7	所も	上五二ウ9	とし	下一六ウ9
とくとくと	上三〇オ10	ところも	下六ウ6	としも	下三三ウ4
とくとくと	上三七ウ10	ところにも	下一二ウ3	とし(疾)	上三五オ2
とくとくと	下一三ウ1	ところへも	下一九オ10	とくとく	上三六ウ6
とこ(床)		所へ	下二七オ2	とくとく	上三九オ9
ところ	下六オ2	ところまでは	下二八オ8	とくとく	上四八オ2
ところ(所) ↓ありどころ・だいばんどころ・		ところへ	下二九オ1	とくとく	上五一オ1
ひとところ		ところに	下三〇オ5	とくとく	上五二オ4
ところも	上六オ6	ところも	下三一ウ4	とくとく	下一九オ1
ところへも	上一二ウ8	ところ	下四〇ウ6	とくとく	下一九オ3
所	上一五ウ1	所はと	下四〇ウ9	とくとく	下二二ウ5
所	上一八ウ2	ところぞ	下四〇ウ10	とくとく	下二二ウ8
所は	上一九オ9	ところせし(所狭)		とくとく	下二四ウ1
ところ	上二〇オ10	所せき	上一三オ7	とくとく	下二四ウ8
ところ	上二五オ9	所せき	上一五ウ6	としごろ(年頃)	
所	上二五ウ1	所せきを	上二三オ10	としごろ	下四一オ7
所にて	上二七ウ2	ところせきに	上四八オ1	としごろ	下四二オ4
所へ	上三四オ8	ところたがへ(所違)		としつき(年月)	
ところの	上三五ウ2	ところたがへにや	上八オ3	とし月	上七オ2
ところの	上三七ウ9	とし(年) ↓おほむとし・みとせ		とし月にも	上四五オ2
所も	上四〇オ2	としの	上三ウ1	とし月	下二〇オ1
ところも	上四〇ウ4	としも	上一七オ1	とし月の	下二七ウ5
所へ	上四〇ウ9	としを	上三八ウ7	とだえ(途絶)	
所に	上四二オ8	としも	上四五ウ8	とだへ	上四〇ウ10
所なれば	上四三ウ8	としの	上五〇ウ6	とだえの	下二〇オ8
ところ	上四九オ6		下一五オ9		



とのゝ	上四三才 4	とひたまへば	上四六ウ 1	とみにも	上三〇ウ 2
殿より	上四四才 5	とひ給ふに	下三ウ 4	とみに	上三九ウ 4
とのゝ	上四六ウ 3	とひ給へば	下三ウ 8	とみに	下二〇ウ 2
とのよりは	上四八才 1	とひ給へば	下五才 6	とも(共) ↓もろともに	
とのゝ	上四八才 10	とひ侍らん	下五才 9	ともに	上三九才 5
殿の	上四八ウ 4	とひ給へば	下六才 10	ともに	上四九ウ 3
殿の	上四九才 4	とふに	下九ウ 10	ども(共) ↓おほむぐそくども・おほむさまど	
とのゝ	下六才 4	とはせ給はぬを	下一七ウ 1	も・おほむしやうぞくども・おほむてうづ	
とのゝ	下一才 6	とひ給へども	下一七ウ 8	ども・おほむよういども・ことども・たね	
とのゝ	下四才 9	とひ給へば	下三九ウ 2	ども・ねども・ほうごども・ものおもひど	
とのへ	下二才 8	とひ給へば	下四一才 5	も・ものども・もののねども	
とのも	下二才 9	とひたまふ	下四三才 9	ともあれかくもあれ	
とのゝ	下二才 10	とほざかる(遠)		ともあれかくもあれ	上二九才 9
殿へ	下二五才 7	とおざかるべき	上四三才 3	ともかく	
との	下二五才 8	とほし(遠)		ともかく	上五一ウ 10
とのゝ	下二六ウ 2	とをぎ	上二三才 6	ともかくも	
との	下二九才 2	とをくは	下二一才 6	ともかくも	上八ウ 3
とのも	下二九ウ 8	とをうて	下三四才 3	ともかくも	上四九才 1
との	下四四才 4	とをく	下四二才 7	ともかくも	下三ウ 8
とのごもる(御殿籠) ↓おほむとのごもる		とまる(止) ↓おほしとまる		ともすれば	
とのひめぎみ(殿姫君)		とまりなんと	下七才 7	ともすれば	下一ウ 7
とのゝ姫君	上二五ウ 3	とまり給ふ	下七才 6	ともすれば	下四ウ 4
とのゝ(御宿直) ↓おほむとのゝ		とまれかくもあれ		ともすれば	下三三才 4
とはずがたり(不問語)		とまれかくもあれ	上七ウ 2	ともすれば	下三六才 8
とはずがたりも		とみに(頓)		とゆひかくいひ	
とふ(問) ↓おほしとふ	下一才 8	とみにも	上二二ウ 8	とゆひかくいひ	上二〇ウ 6

とらす (取)

とらせ給ひしかば

とり (鳥)

鳥の

とりの

とりあつむ (取集)

とりあつめ給ふに

とりいだす (取出)

とりいだし

とりにづ (取出)

とりに出で

とりにかくす (取隠)

とりにかくせ

とりにこむ (取込)

とりにこめ給て

とりにしたたむ (取認)

とりにしたためたる

とりにつく (取付)

とりにつきて

とりにつきて

とりにどりなり (取取)

とりにくりに

とりになす (取離)

とりにはなし給ひしより

とりにはらひしつらふ (取払設)

とりにはらひしつらひて

とる (取)

とる

とりに

とりに給へども

とりにたてまつりて

とりに

とらんとにや

とりに

とりに給へども

とりに

とを (十)

十ばかりに

十ばかりに

# な

な 《副詞》

な

な

な

な

な

な

な

な

上二〇才 9

上四一才 1

下四才 3

下二二才 6

下二二才 3

下二二才 3

下二二才 3

下四一才 4

上二五才 9

上二五才 2

上二七才 1

上三三才 3

上三三才 3

下五才 4

下五才 1

下二六才 7

下三〇才 3

ないし (内侍) ↓うちのないしのすけ・しのび

ねのないし・みんのじじゅうのないし

ないしの 上四四才 1

ないしも 上四四才 4

ないし 上四五才 6

ないし 上五〇才 2

ないし 上五一才 10

ないし 上五二才 7

ないし 上五二才 7

ないし 上五三才 7

ないし 上五三才 10

ないし 上五四才 9

ないし 下二才 4

ないし 下四才 8

ないし 下五才 9

ないし 下五才 9

ないし 下五才 9

ないし 下四才 7

ないし 下三三才 7

なえらかなり (菱)	上九才 2	中く	上三八才 2	ながらへけめと	上四二才 7
なへらかなる	下二二才 2	なかく	上四七ウ 2	ながらへん	下五才 9
なへらかなるとを		なかく	上五一ウ 5	なからんげなり (無)	
なか (中) ↓よのなか・きみのおほいどののな		なかく	下一〇ウ 4	なからんげに	上四四才 9
かのきみ		中く	下一三ウ 10	ながる (流)	
中に	上一ウ 5	中く	下一六ウ 4	ながれたまはず	上五三才 5
中に	上一一才 8	中く	下二二才 3	ながれいづ (流出)	
中にも	上一一ウ 4	中く	下二六ウ 7	ながれいづれば	上三四才 3
中に	下三才 9	中く	下二九ウ 6	なきあかむ (泣赤)	
なかだにも	下二三才 2	なかかなり	上三八才 4	なきあかみたと	上五三ウ 9
中までも	下三一ウ 6	中くなる		なきあかみ給へる	下一〇才 2
中にも	下三七ウ 6	ながむ (眺) ↓うちながむ	上一ウ 4	なきおはする	上二五才 5
なかに	下四一ウ 10	ながめたまふ	上三九ウ 6	なきおはす	上三八才 4
ながし (長)		ながめ給へる		なきおはす	下五ウ 10
ながきを	上一七ウ 5	ながめ (眺)		なきこがる (泣焦)	
ながき	上一七ウ 6 *	ながめをも	下一ウ 1	なきこがれ給へば	上四七ウ 4
ながき	上一一才 8	ながめ	下一ウ 7	なきこがれ給ふ	下一一ウ 6
ながき	上四三才 10	ながめありく (眺歩)	下八才 5	なきこがれ給へば	下三二才 4
ながき	下二二ウ 9	ながめありき給ふに	下二一才 10	なきしづむ (泣沈)	
なかつかさのみや (中務宮)		ながめありきつる		なきしづみて	下五才 9
中つかさの宮	上一九才 1	ながめおはす (眺御座)		なきしづみ給へり	下三一才 3
なかなか		ながめおはするを	上二〇ウ 10	なきしをる (泣菱)	
中く	上八才 6	ながめおはするに	上四九ウ 6	なきしほれ給へる	上四八ウ 6
なかくとは	上一〇ウ 8	ながめる (眺居)		なきしほれ給へる	上五二才 8
なかく	上一九ウ 4	ながめるたまひつるに	上二才 4	なきぬらす (泣濡)	
なかく	上二〇才 1	ながらふ (永)			

なきぬらし給ふよ	上五四才 8	なき給ふ	上四六ウ 7	なぐさみ給へなど	上四五ウ 10
なきはる (泣腫)		なき給ふ	上四九ウ 9	なぐさまで	上五〇ウ 4
なきはれたれば	上三〇ウ 8	なき給ふを	上五三ウ 8	なぐさむべき	上五二ウ 2
なきはれたる	上四八ウ 2	なき給へば	上五四ウ 6	なぐさむばかり	上五四才 9
なきはれて	下二四ウ 9	なく	下九ウ 6	なぐさむ	上五四才 10
なきふす (泣臥)		なき給へる	下一〇ウ 1	なぐさむべき	下一才 1
なきふし給へるも	上四三ウ 1	なき給へば	下一一才 6	なぐさむべき	下四ウ 3
なきみわらひみ (泣笑)		なきけり	下一一ウ 8	なぐさみ給へかし	下七ウ 10
なきみわらひみ	上三四ウ 6	なき給へば	下一五才 7	なぐさみ給はん	下三六才 10
なきぬる (泣居)		なきたまへば	下二三ウ 5	なぐさむ (慰) 《下二段》 ↓おほしなぐさむ・こ	
なきぬたまへり	上二三ウ 1	なきたまへば	下二四才 8	しらへなぐさむ・のたまひなぐさむ	
なきぬたまへり	下四〇才 2	なきたまふ	下三〇才 2	なぐさむる	上二六ウ 6
なく (泣) ↓うちなく		なきたまへば	下三一ウ 10	なぐさめ給ふ	上二七ウ 3
なかれけると	上二四ウ 6	なき給へども	下三二ウ 8	なぐさめなば	上五一才 2
なき給へば	上二四ウ 7	なき給へば	下三二ウ 9	なぐさめ給へとて	上五二才 7
なき給ふぞ	上二五才 1	なき給ふ	下三九ウ 7	なぐさめまほしく	下一〇ウ 2
なくぞと	上二六才 5	なき給し	下四二ウ 1	なぐさめ	下一四才 1
なき給へば	上二六才 8	なきたまへば	下四四ウ 2	なぐさめ給ふも	下三二才 6
なき給ふに	上二六才 10	なぐさむ (慰) 《四段》	下四五才 3	なぐさめたてまつるに	下三四才 8
なき給へば	上二七才 10	なぐさみぬべき	上六ウ 7	なぐさめ給へども	下三五才 3
なき給へば	上三七ウ 8	なぐさみ給へなど	上二七ウ 2	なぐさめ (慰) ↓おほむなぐさめ	
なきたまふ	上三八才 6	なくさむ	上三三才 2 *	なぐさめに	上二五才 7
なきたまへる	上三八才 9	なくさむ	上三三才 7 *	なぐさめには	下一才 4
なき給ふ	上四二才 8	なぐさみ給へ	上四一ウ 10	なぐさめかたらふ (慰語)	
なき給ふ	上四四ウ 4	なぐさみたまひしを	上四三才 9	なぐさめかたらひたまふ	上二二ウ 6



なし — など

なく	下七ウ 9	なく	下三三オ 5	なつかし(懐)	上二ウ 9
なし	下一〇オ 5	なく	下三三オ 7	なつかしく	上一三オ 5
なくて	下一〇ウ 5	なし	下三三ウ 6	なつかしければ	上一五ウ 9
なき	下一〇ウ 6*	なく	下三四オ 2	なつかしく	下一五ウ 9
なき	下一一オ 1	なければ	下三四オ 5	なつかしく	下三オ 4
なう	下一一ウ 5	なし	下三五オ 5	なつかしきは	下三オ 10
なく	下一一ウ 5	なし	下三七オ 1	なつかしくて	下六オ 2
なし	下一三オ 10	なかりしが	下三七オ 4	なつかしく	下二オ 5
なくとも	下一五ウ 6	なけれ	下三七ウ 7	なつかしげなり(懐)	
なき	下一六オ 7	なき	下三七ウ 10	なつかしげに	上六オ 1
なかりける	下一六ウ 5	なきを	下三八オ 10	なつく(懐)	
なかりしも	下一七オ 6	なし	下四二オ 7	なつき給て	上二九オ 2
なく	下一七オ 8	なくて	下四五ウ 2	なでしこ(撫子)	上四七オ 4*
なく	下一八オ 6	なし↓いたしげなし・いはけなし・しどけなし・		なでしこの	
なく	下一八オ 10	はしたなし		など(何)	
なきに	下一九ウ 8	なし(為)↓みなし		など	上一二ウ 6
なからん	下一一オ 4	なす(為)↓いひなす・おぼしなす・おぼしめ		など	上一三ウ 3
なきを	下一二ウ 3	しなす・おもひなす・きなす・しなす・のた		など	上一三オ 3
なく	下一四ウ 7	まひなす・まうしなす・みなす・もてなす		など	上一五オ 1
なからん	下一九ウ 1	なさせ給ひてよ	下五オ 9	など	上一六ウ 2
なかりけりと	下三〇オ 2	なしてかとして	下一七ウ 2	など	上一八オ 1
なかりし	下三一オ 9	なして	下一九ウ 8	など	上一三〇ウ 4
なく	下三一ウ 4	なすべき	下三〇オ 1	など	上一三三ウ 5
なく	下三二オ 8	なだらかなり		など	上一三七ウ 5
なし	下三二ウ 1	なだらかなりて	上三五ウ 4	など	上一四七ウ 6
なく	下三二ウ 7	なだらかに	上四〇ウ 5	など	上一五一ウ 3

などやらん	下七才10	なにか	下五才3	なにしに(何)	下二八ウ10
など	下一九才1	なにゝ	下一七才2	なにしに	下二八ウ10
など	下二〇ウ3	なにゝか	下一七ウ8	なにしに	下二九ウ9
など	下二六才3	なにゝてもと	下一八ウ3	なにと(何)	上六ウ6*
などか(何)	上二四才1	なにか(何彼)	上三八ウ6	なにとやらん	下二一才9
なか		なにかと		なにとかは	
などて(何)	上二ウ4	なにごころ(何心)	下二四ウ7	なにとか(何)	上三一才2
などて	下三二ウ8	なにごころなし(何心無)	下二五ウ3	なにとなく	上一ウ10
などに(何)	上四才1	なに心なく	下二六才10	なにとなき	上三五才9
などに		なに心なく		なにとなき	上五〇ウ3
などや(何)	上三九才3	なにごと(何事)	上三三才3	なにとなき	下八才6
などや	下二九ウ7	なに事なりとも	上二八才4	なにとなき	下一六才3
などや		なに事も	上三二ウ8	なにとなく	下一七才3
ななつ(七)	上一一ウ9	何事も	上三九才4	なにとなく	下一九才6
七ばかりに	下三二ウ10	なにごとにか	上四〇才7	なにとなく	下四二ウ7
七に	下三六ウ5	何ごとも	上五四才5	なにととも(何)	
七に	下三九才4	なにごとを	下一才5	なにととも	上二八ウ4
なに(何)		なにごとを		なにととも	上四六才3
なににも	上七ウ6	なにごとならんと	下一ウ10	なにやかや(何)	
なにをかは	上一八ウ8	なにごとを	下一四才10	なにやかやと	下一四ウ10
なにを	上二〇才6	なに事にか	下二七ウ2	なぬか(七日)	上四一才4
なにを	上二四ウ7	なにごとに	下三七ウ10	七日の	上四一才7
なにゝ	上三八才10	なにさま(何様)	上八才1	七日の	上四六才4
なにか	下一才8	なにさまにも			



なみだの	上二一オ 3	なみだの	下二ウ 7	なみだぐみ給て	下三九ウ 5
なみだも	上二二オ 3	なみだ	下四オ 5	なみだみだれなり (涙乱)	
なみだの	上二二オ 7	なみだならではの	下六オ 3	なみだみだれに	下三〇ウ 7
なみだに	上二二ウ 8	なみだの	下七ウ 1 *	なみゐる (並居)	
なみだの	上二三オ 9	なみださへ	下九ウ 8	なみゐたり	上三一ウ 7
なみだより	上二三ウ 8	なみだぞ	下一三オ 2	なめげなり (無礼)	
なみだに	上二五オ 4	なみだの	下一四オ 1	なめげなれども	上八ウ 8
なみだに	上二六ウ 7	なみだに	下一五オ 8	なやむ (惱)	
なみだの	上二八ウ 5	なみだの	下一八ウ 1	なやみたまへば	上一六オ 1
なみだのみ	上三〇ウ 1	なみだの	下二二ウ 2	なよらぶ	
なみだに	上三三ウ 1	なみだに	下二五オ 4	なよらびて	下四三オ 4
なみだの	上三四オ 2	なみだの	下二五ウ 6	ならす (鳴) ↓ かきならす・ふきならす	
なみだに	上三四オ 5	なみだの	下二七ウ 8	ならひ (慣) ↓ おほむこころならひ	
なみだに	上三五オ 5	なみだの	下二八オ 1	ならひにこそ	上三一オ 1
なみだ	上三七オ 5	なみだの	下三一ウ 10	ならひの	下四二ウ 9
なみだぞ	上三七ウ 3	なみだを	下三二ウ 5 *	ならびなし (並無)	
なみだに	上四五オ 7	なみだ	下三二ウ 10	ならびなくて	上一九ウ 10
なみだの	上四五ウ 6	なみだに	下三四ウ 5	ならびなきを	下八ウ 7
なみだばかりや	上四七オ 3 *	なみだ	下三四ウ 10	ならびなかりしかば	下三八ウ 9
なみだは	上四八オ 1	なみだ	下三五オ 2	ならびなき	下四〇ウ 1
なみだに	上四八オ 9	なみだの	下三六オ 8	ならふ (慣・習) ↓ いひならふ・しならふ	
なみだを	上四九ウ 2	なみだに	下三七オ 6	ならひ給へば	上二四オ 10
なみだに	上五二オ 7	なみだ	下三八オ 3	ならはぬ	上三〇オ 5
なみだならでは	上五三オ 5	なみだの	下三九ウ 5	ならはで	上三〇オ 7
なみだの	上五四オ 7	なみだぐむ (涙) ↓ うちなみだぐむ		ならはぬ	上三二オ 4
なみだを	下一ウ 8	なみだぐみ給へば	下二一オ 6	ならひにたるをとて	上三九ウ 1

ならはねば	上五二才 9	なりて	上二九才 2	なれば	下二四ウ 2
ならはぬ	下九ウ 4	なりぬ	上二九才 5	なりけん	下二五才 2
ならはぬ	下三六才 1	なりぬれば	上二九ウ 3	なりぬ	下二八ウ 5
ならぶ(並)《下二段》↓さしならぶ《下二段》	上三三ウ 3	成て	上三六才 4	なり侍る	下二九才 8
ならべても	上三三ウ 3	成給て	上三七ウ 4	なり侍らば	下二九ウ 2
ならぶ(並)《四段》↓さしならぶ《四段》	上三五ウ 3	なりけるよとて	上三八才 5	なりぬとこそ	下三一ウ 1
ならぶ	上三九才 1	なり給ひぬ	上三八ウ 8	なりぬ	下三二才 8
ならぶべき	上三九才 1	成ぬるに	上三九ウ 8	なりぬ	下三二才 8
ならび給べき	下二〇才 2	なりては	上四〇才 5	なり給へかし	下三三才 1
ならぶ	下三七才 3	なりぬるを	上四一ウ 2	なりぬ	下三三才 8
なりゆく(成行)	下一九才 4	成ぬるを	上四三才 7	なりぬ	下三三ウ 5
なり行	下一九才 4	なり侍をとて	上四五才 2	なれども	下三三ウ 5
なる(慣)↓みみなる	上五ウ 7	なりてこそ	上四六才 2	なり給ふに	下三六才 2
なれたる	上五ウ 7	なりなば	上四六ウ 6	なり給へば	下三九才 4
なる(成)↓おほしなる	上二才 6	なるぞ	上四七才 5 *	なり給はゞ	下三九ウ 10
なるは	上九ウ 4	なりし	上四七ウ 6	なり給ふ	下四〇才 9
なるに	上九ウ 4	なりてとのみ	上五〇ウ 8	なり給ひて	下四〇ウ 5
なりなば	上二一才 2	なりぬるにや	上五一才 8	なり給へども	下四三ウ 4
なりなば	上二二才 4	なりて	下二才 3	なり給へども	下四三ウ 7
なり給ひて	上二六才 1	なりければ	下五才 9	なり給へども	下四三ウ 7
なり給ふ	上二七才 2	なる物をなど	下八才 2	なりたまふ	下四五才 6
なり給て	上二八才 5	なれば	下一五才 10	なれそむ(馴初)	下七才 6
なりぬ	上一九ウ 1	なりぬると	下一九ウ 6	なれそめたらん	
なるべき	上二〇才 6	なるべきを	下一九ウ 7	なれども《接続詞》	
なれば	上二三ウ 2	ならば	下二三才 9	なれども	
なり給はんも	上二四ウ 2	なりぬるを	下二四ウ 1	なれども	下三〇ウ 3

# に

にがにがし (苦苦)	上三九オ7	にほひかな	上二オ6
にがくしく		にほひの	上四オ2
にくし (憎) ↓きこえにくし		にほひを	上二八オ2
にくしと	上二二ウ6	にほひを	下二八オ7
にくしと	下八ウ4	にほひて	上二八ウ4
にくからず	下二七ウ3	にほひいる (匂入)	
にくしと	下三四オ3	にほひいらたまへる	下四一ウ4
にくむ (憎)		にようご (女御) ↓しよきやうでんのにようご	
にくまれて	下九ウ3	女御	上二オ9
にさむにち (二三日)		女御と	下二〇オ2
二、三日の	上二四ウ1	女御に	下四五ウ4
二、三日も	上三九オ10	にようごどの (女御殿)	
二、三日して	上四〇オ3	女御どのも	上九ウ6
にさむにん (二三人)		女御どのゝ	上二〇オ10
二三人ばかり	下四一ウ6	にようごのきみ	
にち (日) ↓じふろくにち・にさむにち		女御の君にも	上二二ウ2
にでう (二条)		にようばう (女房) ↓こにようばう	
二条へも	下六オ1	女ばうなどは	上二二ウ7
にはかなり (俄)		女ばう	上三〇ウ6
にはかに	下三九オ2	女ばう	上三〇ウ10
にふだう (入道) ↓ちうなごんにふだう		女ばうは	上三一オ6
にほひやかなり (匂)		女房に	上三一ウ6
にほひやかに	上二〇ウ1	にようばうたち (女房達)	下二五ウ10
にほひ (匂)		女ばうたちにも	下二二オ4

# ぬ

にようめん (女院)	下四五ウ1
女院とぞ	
にる (似)	
にぎめり	上四オ3
にぬ	上九ウ2
にたまへる	下二六ウ6
にたりけるかな	下三九オ6
にて	下四〇オ10
にぬ (二位)	
二位の	下四五オ5
にん (人) ↓さむじふにん・にさむにん	
ぬ (寝)	
ぬる	上三〇オ8
ぬ給はざりけると	上三二ウ4
ぬれば	上五二ウ3
ぬらす (濡) ↓なきぬらす	
ぬる (濡)	
ぬれて	上三二ウ5
ぬれたる	上五二オ8
ぬれぬ	下三四ウ5

# ね

ね (音) ↓しのびね・しのびねのきみ・しのび  
 ねのないし・もののねども  
 ねかな 上1ウ7  
 ねも 上2オ3  
 音に 上2ウ3  
 ねぞ 上1八オ1\* (「根」と掛詞)  
 ね 上3二ウ3  
 ねと 下3オ5  
 ねほど 下3オ10  
 ねは 下3ウ6  
 ねは 下1七ウ7  
 ね (根) 上1七ウ6\*  
 ねの 上1八オ1\* (「音」と掛詞)  
 ねぞ 上1八オ1\* (「音」と掛詞)  
 ね (寝) ↓おほむたびね・おほむひとりね・ひ  
 とりね  
 ねいる (寝入) 下2六オ10  
 ねいり給へるを  
 ねたし (妬) 下2ウ2  
 ねたきものから  
 ねども (音共) 下3七ウ4  
 ねども 下3七ウ8  
 ねん (年) ↓さむよねん・じふねんあまり

ねんごろなり (懇)

ねんごろに

ねんごろに

ねんず (念)

ねんじたる

ねんじたてまつりしに

ねんぶつ (念仏)

ねんぶつをも

ねんぶつも

念仏も

ねん仏

念仏も

# の

の (野)

のゝ

野にも

野の

のがる (逃)

のがるべきも

のがるべき

のがるべき

のがるべくも

のがれがたし (逃難)

のがれがたかりける

のく (退) ↓おしのく・かきのく・さしのく・た

ちのく・ひきのく

のごふ (拭) ↓おしのごふ

のごひ給へば

のこりとどまる (残留)

のこりとゞまらん

のこりとゞまるべき

のこりゆかしげなり

のこりゆかしげに

のこる (残)

のこるべき

のす (載) ↓いだきのす

のせ給ふ

のせたまつるに

のぞく (覗)

のぞき給へば

のぞきたまへば

のぞきたまへば

のたまひおく (宣置)

の給をきつるを

の給ひをきしが

の給をきし

のたまひおほす

のたまひおほせて

下四三ウ3

上八オ6

上1〇ウ6

下四ウ1

下四二ウ6

下五オ9

下二八ウ6

下四一オ2

下四二オ5

上二二ウ1

上二九オ7

下二二ウ1

上二二ウ1

上三七ウ1

上三八オ7

上三オ1

下九オ5

下1〇オ10

上四二オ3

上四三オ2

下二七オ5

下三五ウ5

上1四ウ2





はかなく	上四五ウ 2	はしの	上四八ウ 4	はちすの	下一四ウ 8
はかなかりける	下一一ウ 8	はしとや	下三〇オ 1	はつ(果) ↓しつらひはつ・しりはつ・すみは	
はかなかりけり	下二五オ 6	はしたなし	上二一オ 5	つ・そむきはつ・みちびきはつ・みはつ	
はかばかし(抄摺)		はしたなき	上四二オ 8	はて、	上三一ウ 7
はかぐしく	下五オ 9	はしたなく	上四三ウ 4	はて、	上四六オ 5
はかま(袴)		はしたなき	上四三ウ 4	はて、	下三オ 8
はかま	上二四オ 6	はじめ(始)	上四三オ 10	はつか(廿日)	下七ウ 6
はかまに	上二四オ 10	はじめにこそと	下三三オ 9	廿日ばかり	上三六オ 10
はかまにて	上三一ウ 7	はじめにこそ	下三ウ 6	はづかし(恥) ↓ものはづかしげなり	
はかま	上三一ウ 9	はじめて(初)	下九オ 4	はづかし(恥) ↓ものはづかしげなり	上三三ウ 4
はかまばかり	上三九ウ 5	はじめて	上三七オ 2	はづかし(恥) ↓ものはづかしげなり	上三三ウ 4
はかまの	下九オ 8	はしら(柱)	上二一オ 1	はづかし(恥) ↓ものはづかしげなり	上三三ウ 4
はかまなど	下三六ウ 6	はしらの	下二四オ 3	はづかし(恥) ↓ものはづかしげなり	上三三ウ 4
ばかり ↓いかばかり・かばかり・さばかり		はしりありく(走歩)	上九オ 9	はづかし(恥) ↓ものはづかしげなり	上三三ウ 4
はかる(量) ↓おしはかる		はしりありきたまふぞ	上九オ 9	はづかし(恥) ↓ものはづかしげなり	上三三ウ 4
はこ(箱)	上四二ウ 6	はしりいづ(走出)	上九オ 9	はづかし(恥) ↓ものはづかしげなり	上三三ウ 4
はこ		はしりいで、	上九オ 9	はづかし(恥) ↓ものはづかしげなり	上三三ウ 4
はこぶ(運)	上二四ウ 4	はしりおはす(走御座)	上九オ 9	はづかし(恥) ↓ものはづかしげなり	上三三ウ 4
はこぼるゝに		はぢ(恥)	上九オ 9	はづかし(恥) ↓ものはづかしげなり	上三三ウ 4
はさみ(鋏) ↓おほむはさみ		はぢの	上九オ 9	はづかし(恥) ↓ものはづかしげなり	上三三ウ 4
はさみなど	上五五オ 1	はぢしらふ(恥)	上九オ 9	はづかし(恥) ↓ものはづかしげなり	上三三ウ 4
はさみも	下一六オ 2	はぢしらひて	上九オ 9	はづかし(恥) ↓ものはづかしげなり	上三三ウ 4
はし(端)		はぢしらひ給ひて	上九オ 9	はづかし(恥) ↓ものはづかしげなり	上三三ウ 4
はしの	上五ウ 8	はちす(蓮)	上九オ 9	はづかし(恥) ↓ものはづかしげなり	上三三ウ 4
はしの	上三〇ウ 4	はちすの	上九オ 9	はづかし(恥) ↓ものはづかしげなり	上三三ウ 4
はしの	上三六ウ 4		上九オ 9	はづかし(恥) ↓ものはづかしげなり	上三三ウ 4

はなす (離) ↓とりはなす					
はなだ (標)					
はなだなど	上二四才10	はなれがたりける	下四三ウ7	母上の	下二四才3
はなつ (放) ↓おぼしはなつ・さしはなつ・ひ		はなれがたし (離難)			
きはなつ		はなれがたく	上四〇才7	はうへの	下六才7
はなつな	上五四ウ10	はは (母)			
はなたぬを	下九ウ10	母なる	上三七才6	はうへも	下二九才2
はなち給はで	下二六ウ9	母の	上三八ウ4	はうへも	下二九才2
はなたで	下四二ウ2	はなる	上四九才7	はうへも	下二九才2
はなばなと		母	上四九ウ7	はばかり待るなど	上九ウ2
はなぐと	上五三ウ9	ははうへ (母上)		はばかりてなんと	上二九才10
はなやかに (華)		はうへの	上九ウ10	はばかりてなきにも	上二九才10
はなやかに	上一才10	はうへなど	上一〇才8	はがる	下三一ウ4
はなやかに	上三三ウ2	は上の	上二七ウ10	はばかりてなきにも	下三才5
花やかに	下一五才10	はうへは	上二八ウ6	はぎみ (母君)	上一〇ウ7
花やかなる	下一八才5	母上の	上三七才5	は君も	上一六才8
花やかに	下二二才9	母上の	上三八才1	は君	上一八才3
はなやかに	下二五才7	はうへ	上四三ウ3	は君は	上一八ウ9
はなやかなる	下二八才6	母上	上四四ウ3	はぎみなどの	上二二ウ3
はなやぐ (華)		母上は	上四八才5	は君	上二二ウ9
はなやぎ給へる	上四四ウ8	母うへ	上四九才2	は君の	上二三才6
はなやまぶき (花山吹)		母上は	上四九ウ3	はぎみの	上二四才5
花山ぶきの	上三九ウ5	母上も	上五二ウ8	母君	上二六才3
はなる (離)		母うへも	上五三ウ1	は君と	上二六才7
はなるべき	上二二ウ10	母うへも	下五ウ8	は君	上二六ウ2
はなるべしとは	下八ウ8	母上の	下六才6	はぎみの	上二七才4

は、君はとて	上二七ウ 4	侍めと	上二七ウ 4	侍らめ	上五二オ 1
は、君	上二七ウ 6	侍しに	上二七ウ 6	侍と	上五二オ 3
母ぎみ	上三七オ 2	侍しかども	上三七オ 2	侍らねば	下一オ 7
母君の	上三七オ 3	侍は	上二〇ウ 1	侍らぬ	下五オ 9
母ぎみ	上三七ウ 2	侍にやと	上二二オ 6	侍るべき	下五オ 9
母ぎみの	上三七ウ 4	侍らず	上二八オ 10	侍んと	下五オ 9
母ぎみは	上三八オ 2	侍れ	上三一オ 1	侍しかば	下一オ 7
母ぎみの	上三八オ 9	侍らん	上三六ウ 8	侍を	下一オ 7
は、ぎみは	下六ウ 3	侍を	上三七ウ 10	侍れ	下一オ 7
は、ぎみはとて	下二六ウ 2	侍らんと	上四一ウ 7	侍らぬぞ	下二一オ 9
は、君に	下二六ウ 6	侍べき	上四二オ 9	侍る	下二二ウ 5
はべり(侍)《本動詞》	侍ると	侍る	上四二ウ 1	侍らぬ	下二七オ 10
侍れば	上四オ 5	侍べきと	上四二ウ 2	侍らず	下二七ウ 5
侍つると	上四オ 6	侍り	上四三ウ 5	侍るまじきこそ	下二九オ 6
侍らじと	上五オ 8	侍れ	上四四ウ 6	侍れども	下二九オ 6
侍らぬものをと	上六オ 6	侍らん	上四四ウ 7	侍るに	下三一オ 8
侍らぬ物をと	上六ウ 7	侍らじ	上四五オ 10	侍るぞとて	下四四オ 10
侍らぬを	上八オ 2	侍れば	上四五ウ 3	侍りつれ	下四四ウ 8
侍らんと	上八オ 3	侍とて	上四五ウ 9	はべり(侍)《補助動詞》	
侍らず	上八オ 5	侍れば	上四九オ 5	き、侍るをとて	上三ウ 6
侍て	上八ウ 1	侍りつる	上四九オ 5	しり侍らず	上四ウ 3
侍を	上八ウ 2	侍らざりつるを	上四九オ 8	うけたまはり侍と	上四ウ 5
侍れども	上八ウ 3	侍ものをとて	上四九オ 9	あくがれ侍り	上四ウ 10
侍と	上九オ 5	侍る	上四九ウ 1	ふけ侍	上五オ 1
	上九オ 8	侍と	上五〇ウ 5	申侍らん	上五オ 7
			上五一オ 5	申侍らんとて	上五オ 9

まよひ侍べるに	上六才3	きゝ侍る	下五才9	はやはや(早速)	上二九ウ5
し侍らぬをとて	上六才9	御らんじ侍らん	下五才10	はやく	
たどられ侍と	上八才4	たづね侍る	下六ウ1	はやりかなり(逸)	
おぼえ侍と	上八才6	しり侍らんと	下六ウ2	はやりかに	上三五才8
おもひわき侍らず	上八才8	はるけ侍るまじきかとよ	下二ウ3	はら(腹) ↓ おほむはら	
おぼしめしより侍と	上九ウ1	ひきこもりたく侍しかども	下二ウ3	はらを	上四九才1
はゞかり侍るなど	上九ウ2	おもひ侍るぞ	下二ウ4	はらから(同胞)	
ためらひ侍らんも	上九ウ4	もち侍らずと	下二ウ5	はらからなりとも	下四才1
しり侍らず	上九ウ3	し侍らんずれば	下二ウ10	はらふ(払) ↓ うちはらふ・かきはらふ・とり	
しづみ侍べきにも	上二才8	かへり侍らば	下二才6	はらひしつらふ	
こひしがり侍れば	上三才7	まいり侍らんと	下二ウ5	はる(腫) ↓ なきはる	
かへり侍らんと	上三才8	いで侍らんと	下二ウ9	はれて	上三三才1
まいり侍じとなん	上四一ウ8	み侍らんと	下二才1	はる(春)	上三八ウ7
かへり侍らば	上四一ウ10	とゞめ侍らんとて	下二才6	春の	下二六ウ9
なり侍をとて	上四九才2	し侍らん	下二才9	春の	下三三ウ5
をき侍らんとこそ	上四九才7	なり侍る	下二才8	春に	下三八ウ2
おもひ侍りつらん	上四九才10	なり侍らば	下二ウ2	春	下四五才10
すみ侍	上五〇才4	おぼえ侍るとて	下三ウ4	春は	
みたまへあつかひ侍	上五〇ウ6	申侍るを	下四二ウ7	はる(晴)	
思ひ侍を	上五〇ウ7	思ひ侍りつる	下四三才1	はれず	上四〇ウ6
申侍	上五一ウ5	はや(早)	下四三才1	はるゝ	下四ウ9
そうし侍れば	上五二才3	はや	上三九ウ1	はるゝ	下二一ウ5
し侍と	上五三才8	はや	上四二才1	はるゝ	下三二才9
思ひ侍る	下一才7	はや	上五〇才10	はるかなり(遙)	
し侍らんと	下一才8	はやし(早)	上三六ウ6	はるかなる	上二一三ウ4
とひ侍らん	下五才9	はやうは		はるかに	上二六才8

はるく(晴)

はるけ侍るまじきかとよ

はるけたてまつらん

はればれし(晴晴)

はれぐしく

はれぐしく

はれぐしく

はれぐしくも

はれま(晴間)

はれま

はれまも

はれやかなり(晴)

はれやかに

ばんしきてう(盤渉調)

ばんしきてうに

はむべり(侍)《本動詞》

はんべる

はんべれども

はむべり(侍)《補助動詞》

まいりはんべれば

ひの

ひ

ひ

ひに

ひに

ひも

ひなど

ひにて

ひまで

ひより

ひにも

ひ

ひも

ひも

ひ

ひを

ひに

ひに

ひも

ひ

ひの

ひに

ひより

ひに

ひに

ひ(火)

上二オ7

上三オ5

上四ウ1

上六ウ3

上一八オ5

上一一オ7

上一二ウ9

上一二ウ7

上一四オ2

上一四オ9

上一九ウ3

上一九ウ5

上一九ウ8

上一四三ウ1

上一四七ウ7

上一四八ウ2

上一五〇オ7

上一五一ウ2

上一五四ウ7

下一ウ2

下一〇ウ8

下一三ウ5

下一四オ3

下一三ウ7

下一四〇ウ1

火

ひ(乾)

ひも

ひがざまなり(僻様)

ひがざまに

ひかす(引)

ひかされて

ひかず(日数)

ひかずをも

ひ数の

ひかず

ひかずの

ひかず

ひかふ(控)

ひかへて

ひがめ(僻目)

ひがめにやと

ひかり(光)

ひかり

ひかりに

ひかり

ひかり

ひかりは

ひかり

ひかり

ひかり

上三ウ1

上三九ウ4

上二二ウ4

下四〇ウ3

上四オ7

上二九オ6

下四ウ8

下一九オ8

下三二オ3

下一〇ウ10

下九ウ9

上一オ2

上五ウ10

上一四ウ10

上二九オ2

下一六ウ9

下二四ウ7

下三一オ4

下三六オ6

# ひ

ひ(日) ↓ あへるひ・つきひ・ひとひ

ひも

上二オ1

ひかる (光)	ひかりけん	ひかる	ひきぐるす (引具)	ひきぐるす (引退)	ひきなをし給へば	上三才 10
ひきあげて	上二才 4	ひきあげて	ひきぐるしてこそ	ひきのく (引退)	ひきのけたまへば	上三才 6
ひきあげて	下二才 10	ひきあげて	ひきぐるして	ひきのけ給へば	ひきのぶ (引延)	下二才 1
ひきあげて	上二才 8	ひきあげて	ひきぐるして	ひきのぶ (引延)	ひきのぶる	上二才 4
ひきあはす (弾合)	上二才 8	ひきあはす (弾合)	ひきぐるしたてまつりてこそ	ひきはなつ (引放)	ひきはなち給ひし	上二才 4
ひきあはせてこそ	下二才 4	ひきあはせてこそ	ひきこもる (引籠)	ひきむく (引向)	ひきむく (引向)	下四才 3
ひきいる (引入) ↓うちひきいる	上五才 6	ひきいる (引入) ↓うちひきいる	ひきこもりたく侍しかども	ひきむけて	ひきむけて	上二才 5
ひき入て	上五才 6	ひき入て	ひきつくるふ (引繕)	ひきむけ給へば	ひきむけ給へば	上三才 6
ひきうごかす (引動)	下三才 9	ひきうごかす (引動)	ひきつくるひて	ひきよす (引寄)	ひきよせたまひて	下二才 7
ひきかづく (引被)	上三才 9	ひきかづく (引被)	ひきつくるひ給へども	ひきよす (引寄)	ひきよせたまひて	上三才 6
ひきかづきて	上四才 10	ひきかづきて	ひきつくるひ	ひく (引) ↓うけひく	ひく (引) ↓うけひく	上二才 7
ひきかづきて	上四才 8	ひきかづきて	ひきつくるひたまへば	ひく (引) ↓うけひく	ひく (引) ↓うけひく	上二才 7
ひきかづきて	上五才 8	ひきかづきて	ひきつくるひなど	ひく (引) ↓うけひく	ひく (引) ↓うけひく	上二才 7
ひきかづきて	上五才 2	ひきかづきて	ひきつくるひたまへる	ひく (引) ↓うけひく	ひく (引) ↓うけひく	上二才 7
ひきかづきて	上三才 7	ひきかづきて	ひきつくるひ給へば	ひく (引) ↓うけひく	ひく (引) ↓うけひく	上二才 7
ひきかづきて	下三才 3	ひきかづきて	ひきつづく (引続)	ひく (引) ↓うけひく	ひく (引) ↓うけひく	上二才 7
ひきかふ (引換)	下二才 9	ひきかふ (引換)	ひきつづく (引続)	ひく (引) ↓うけひく	ひく (引) ↓うけひく	上二才 7
ひきかへて	下二才 3	ひきかへて	ひきとどむ (引留)	ひく (引) ↓うけひく	ひく (引) ↓うけひく	上二才 7
ひきかへたる	下四才 2	ひきかへたる	ひきとどむ (引留)	ひく (引) ↓うけひく	ひく (引) ↓うけひく	上二才 7
ひきかへて	下四才 2	ひきかへて	ひきとどむ (引留)	ひく (引) ↓うけひく	ひく (引) ↓うけひく	上二才 7
ひききる (引着)	上九才 2	ひききる (引着)	ひきなほす (引直)	ひく (引) ↓うけひく	ひく (引) ↓うけひく	上二才 7
ひきゝて	上九才 2	ひきゝて	ひきなほす (引直)	ひく (引) ↓うけひく	ひく (引) ↓うけひく	上二才 7
			ひきなをしても	ひく (引) ↓うけひく	ひく (引) ↓うけひく	上二才 7

ひぐらし	上二九ウ 3	ひたすら	上二三ウ 7	人にて	上五オ 3
ひぐらし	下三八オ 9	ひたひ (額)		人と	上五オ 9
ひごろ (日頃)		ひたひ	上三一ウ 10	人	上七オ 4
ひ比	下二一オ 10	ひたひつき (額付)		人に	上七オ 7
ひごろ	下三七オ 6	ひたいつぎの	上二二ウ 1	人は	上七ウ 1
ひざ (膝) ↓おほむひざ		ひたぶるなり (頓)		人のみ	上七ウ 3
ひさし (久)		ひたぶるにさへ	上三九ウ 10	人に	上七ウ 4
久しく	上一〇オ 9	ひたぶるに	下三四ウ 2	人も	上八オ 2
ひさしかりつる	上三六ウ 3	ひつ (漬)		人なん	上八オ 9
ひさしく	上三六ウ 10	ひちて	上二二ウ 8	人にも	上九ウ 2
ひさしく	下二六オ 4	ひちて	上四八オ 9	人にこそ	上一一オ 4
ひさしう	下三六ウ 8	ひついで (目次)		人にも	上一一ウ 1
ひしひし (犇犇)		ひついでなど	上一三ウ 1	人を	上一二オ 3
ひしく	上四三オ 3	ひと (人) ↓ただひと・よひと・わかうびと		人にも	上一二ウ 3
ひしめく (犇)		人の	上一オ 5	人には	上一四ウ 6
ひしめきて	上四九ウ 4	人の	上一ウ 7	人に	上一六オ 7
ひじり (聖)		人の	上二オ 4	人の	上一八ウ 5
ひじりに	下二七オ 3	人の	上二ウ 2	人	上一九ウ 4
ひじり	下二七オ 7	人や	上二ウ 7	人を	上一九ウ 6
ひじりも	下二八オ 1	人ならんと	上三オ 4	人なるを	上一九ウ 8
ひじりは	下四三オ 2	人の	上三ウ 4	人の	上一〇オ 7
ひじり	下四三ウ 7	人の	上三ウ 9	人に	上一〇ウ 4
ひじりたち (聖達)		人に	上四ウ 1	人に	上一二ウ 1
ひじりたちにも	下四四オ 1	人と	上四ウ 2	人に	上一六ウ 6
ひそむ (潜) ↓うちひそむ		人の	上四ウ 10	人には	上一八ウ 1
ひたすら (只管)					上一八ウ 8

ひと

人も 人の 人 人にて 人には 人は 人の 人ぞ 人も 人の 人は 人を 人 人の 人に 人の ひとより 人には 人も 人を 人も 人 人の 人にては 人も 人の 人

上四六才9 上四六才7 上四五才10 上四四ウ9 上四四ウ6 上四二ウ8 上四二ウ2 上三九才1 上三八ウ9 上三六才8 上三六才1 上三五ウ8 上三五ウ7 上三五ウ6 上三五ウ2 上三四才4 上三三ウ2 上三三才9 上三三才3 上三二ウ8 上三二ウ1 上三二才4 上三二才3 上三一才7 上三〇ウ10

人の 人にか 人の 人の 人に 人に 人の 人の 人に 人か 人の 人の 人も 人の 人に 人を 人を 人の 人 人の 人の 人にては

下八ウ8 下八ウ5 下八ウ5 下八才6 下七ウ10 下六ウ6 下六才10 下五ウ7 下五才9 下五才3 下五才1 下四ウ8 下二才9 下二才1 上五四ウ10 上五四ウ3 上五四ウ1 上五二ウ10 上五二才3 上五一ウ4 上五〇ウ5 上四九ウ1 上四九才8 上四九才7 上四九才3 上四八ウ1

人こそ 人とも 人 人も 人も 人に 人は 人の 人の 人を 人の 人 人の 人を も 人に 人の 人も 人にも 人も 人も 人は 人に 人に 人を

下三七ウ7 下三七才9 下三七才4 下三七才2 下三七才1 下三六才2 下三五ウ10 下三五才5 下三三ウ4\* 下三二才10 下三一ウ2 下三一才10 下三一才8 下三〇ウ1\* 下二八ウ10 下二五ウ9 下二一才7 下二〇ウ6 下一九ウ6 下一八才1 下一七才8 下一二才9 下一〇才8 下一〇才7 下九ウ3 下九ウ1

ひと	人も	下三八才1	ひとつに	上三三才1*	人々は	下八才4
人は	人	下三八才10	一ならぬ	上四〇才8	人々	下一九才9
人に	人に	下三九才2	ひとつなるを	下二才2	人々	下二〇才4
人をも	人をも	下三九才10	ひとつならぬ	下一四才10	人々も	下二一才6
人の	人の	下三九才10	ひとつには	下一七才1	人々をも	下二二才10
人と	人と	下四〇才8	ひとつを	下一九才8	人々も	下三二才7
人を	人を	下四一才4	一は	下二九才3	人々	下三二才7
人の	人の	下四一才6	ひとつは	下二九才3	人々の	下三七才3
人は	人は	下四一才10	ひとつに	下三一才6	ひとへ(単)	下三七才6
人の	人の	下四二才9	一の	下四〇才10	ひとへ	上一一才9
人に	人に	下四二才7	ひとつづて(人伝)	下四〇才10	ひとへ	上一四才7
ひとがら(人柄)	ひとがら	下四三才9	人づては	上八才8	ひとへ	下九才7
人がら	人がら	上九才1	人づてならで	下一二才2	ひとへに(偏)	下三六才6
ひとくんだり(二行)	ひとくんだり	上二四才5	人づてには	下四一才7	ひとへに	下一二才5
ひとくだりと	ひとくだりと	上二四才5	ひととき(一時)	上四三才4	ひとめ(人目)	上六才1
ひとことば(一言葉)	ひとことば	下三三才3	一時も	上二〇才4	人めも	上二六才10
一ことばの	一ことばの	下三三才3	ひとつところ(一所)	上二五才4	人めも	上三八才3
ひとしほ(一入)	ひとしほ	上三八才3	ひとつゝころにて	下三四才1	人めをも	上四五才9
ひとしほ	ひとしほ	下二三才4	一所に	上二七才3	人め	下一〇才2
ひとしほ	ひとしほ	下二三才4	ひとひ(一日)	上二七才3	人めも	下三一才2
ひとしほ	ひとしほ	下七才10*	一日	上三才2	ひとめみる(人目見)	上五二才2
ひとしほ	ひとしほ	下七才10*	ひとびと(人々)	上四才1	人めみても	上五二才2
ひとしほ	ひとしほ	下七才10*	人々	上四九才6	ひとよ(一夜)	上四〇才6
ひとしほ	ひとしほ	上八才9	人々	上四九才6	ひとよ	上四〇才6
ひとつつ	ひとつつ	上八才9	人々	上四九才6	ひとよ	上四〇才6
ひとつつ	ひとつつ	上八才9	人々	上四九才6	ひとよ	上四〇才6
ひとつつ	ひとつつ	上八才9	人々	上四九才6	ひとよ	上四〇才6

ひとり — びんなし

ひとり (一人) ↓おほむひとり	上三〇才 8	ひめ君	上二〇ウ 10	ひめぎみに	下四三才 8
ひとり	上三〇才 8	ひめ君	上二一才 4	びやうぶ (屏風)	
ひとり	下二一才 10	ひめ君も	上二一才 9	びやうぶ	上一四ウ 3
一人	下二八ウ 8	姫君にも	上一一ウ 7	ひやうゑ (兵衛)	
ひとり	下三五ウ 6	ひめぎみ	上二二ウ 8	ひやうゑとて	上四四才 3
ひとりね (独寝) ↓おほむひとりね	上三二才 4	ひめ君は	上二三ウ 8	ひやうゑ	上四六才 10
ひとりねを	上三二才 4	ひめ君は	上二四ウ 5	ひやうゑのすけ (兵衛佐)	下三才 2
ひびきあふ (響合)	上一ウ 6	姫君の	上二七才 5	ひやひやと	
ひゞきあひて	上一ウ 6	ひめ君にも	上二九ウ 2	ひやくくと	上三二ウ 5
ひま (隙)	上三才 1	ひめぎみ	上二九ウ 8	ひる (乾)	
ひま	上六ウ 1 *	姫君は	上三二ウ 4	ひる	上五〇ウ 1
ひまなれば	上三七才 9	ひめ君に	上三四ウ 3	ひる (昼) ↓よるひる	
ひまも	下六才 3	ひめぎみは	上三六ウ 6	ひる	下一二才 1
ひまを	下九才 3	ひめぎみは	上五〇才 7	ひるは	下三八才 9
ひまと	下一三ウ 9	ひめぎみは	下一五才 7	ひるがへす (翻)	
ひまも	下一五ウ 9	ひめ君の	下一七才 2	ひるがへし	下二八才 8
ひま	下三八才 10	ひめぎみも	下一九ウ 10	ひれふす (平伏)	
ひまに	下三九ウ 1	ひめぎみも	下一一ウ 5	ひれふして	上五三ウ 7
ひめぎみ (姫君) ↓さだいしやうのひめぎみ・		ひめぎみは	下二三ウ 5	ひれふして	下一〇才 10
だいしやうのひめぎみ・とのひめぎみ		ひめぎみ	下二四ウ 4	ひれふして	下一三才 4
姫君の	上二才 7	ひめ君は	下二五才 5	ひるざる (広) ↓うちひろざる	
ひめ君など	上二才 9	ひめ君の	下二五ウ 6	びん (鬢) ↓こびん	
ひめ君と	上三才 4	ひめぎみの	下二七ウ 9	びんなし (便無)	
姫君の	上一五ウ 2	姫君は	下三〇才 3	びんなかるべしとて	上八才 1
ひめ君	上一七才 10	ひめぎみの	下三三ウ 5	びんなければ	上九才 2

ふ

びんなき	上二ウ 4	ふえを	下二八ウ 4	ふくむ(含) ↓うちふくむ	
びんなの	上五三ウ 6	ふかさ(深) ↓つみふかさ		ふけゆく(更行)	
びんなぎ	下五ウ 5	ふかし(深) ↓くきふかし・こころふかし・つみふかし・よぶかし		ふけゆけば	下二四オ 10
びんなぎ	下二五ウ 2	みふかし		ふし(節) ↓をりふし	
びんなぎ	下二五ウ 5	ふかきを	上九オ 5	ふしいる(臥入)	
びんなぎ	下二五ウ 8	ふかきにこそ	上五二オ 1	ふしいるぞ	上五四オ 5
びんなからんと	下二九オ 7	ふかく	下二ウ 1	ふしぎがる(不思議)	
びんなぎ	下三五オ 10	ふかき	下二八オ 4	ふしぎがらせたまふべきなど	下四四オ 5
びんなく	下三五ウ 8	ふかく	下二九オ 4	ふししづむ(臥沈)	
		ふかく	下四五オ 2	ふししづみて	上四二オ 7
		ふきく(吹来)		ふししづみて	上四六ウ 7
		吹くる	上二オ 6	ふししづみ給へば	下五ウ 8
		ふきたつ(吹立)		藤つぼ(藤壺)	
		吹たて給ふ	下三オ 1	ふしまるぶ(臥転)	下三六ウ 3
		吹たて、	下三オ 3	ふしまるび給へば	下二九ウ 8
ふ(経) ↓ありふ	上四オ 8	ふきたつる	下三七ウ 7	ふす(臥) ↓うちふす・しづみふす・そひふす・たふれふす・なきふす・ひれふす・よりふす	
へば		ふきならず(吹鳴)	下二八ウ 10	ふし給て	上二九ウ 4
ふるとも	上三〇オ 4 * (「降る」と掛詞)	ふきならずして		ふし給へる	上四七ウ 10
ふるとも	上五〇オ 3	ふく(更) ↓うちふく		ふし給へるに	上五二ウ 8
ふる	下四ウ 8	ふけ侍	上五オ 1	ふし給へり	下三オ 8
ふる	下三二オ 3	ふけぬれば	上三一ウ 8	ふし給て	下二五ウ 8
ふえ(笛) ↓おほむふえ	下二ウ 2	ふくる		ふすま(衾) ↓おほむふすま	
ふる	下三オ 5	ふく(吹) ↓うちふく		ふせ(布施)	
ふる	下三オ 10	ふきたまへば	下二七ウ 5	ふせに	下二八オ 3
笛の	下三ウ 6	吹たまへば	下二八ウ 4		
ふる	下二七ウ 5	ふきたる	下二六ウ 4		
ふる	下二七ウ 7				



# ほ

ほい(本意)	上二〇オ 2	ほこりに	上三五オ 10	ほど	上二一ウ 4
ほい		ほこる(誇)		ほども	上一八オ 7
ほいなし(本意無)		ほこりて	下四四オ 9	ほども	上一八ウ 8
ほいなきを	上一〇オ 4	ほし(欲)		ほども	上二二ウ 8
ほいなるべし	上一〇オ 4	ほしきかとして	上二四ウ 8	ほども	上二二オ 10
ほひなかるべし	上二〇オ 2	ほそし(細) ↓ ころほそげなり・ものころ		ほども	上二二ウ 3
ほうなれば	下二三オ 7	ほそし・ものころほそげなり		ほども	上二三ウ 2
ほう(報)		ほそき	上三オ 1	ほども	上二四ウ 4
ほうなれば	上四九ウ 1	ほそく	下四三オ 4	ほども	上二四ウ 10
ほうごども(反古共)		ほそめなり(細)		ほども	上二九オ 5
ほうごども	下一九オ 4	ほそめに	上九オ 3	ほども	上三〇オ 6
ほか(外) ↓ おもひのほかなり		ぼだい(菩提)		ほども	上三一ウ 8
ほかの	上二三ウ 8	ぼだいの	下二九オ 7	ほども	上三一ウ 10
ほかなる	下二三ウ 5	ほだし(絆)		ほども	上三三オ 2 *
ほかは	下二三ウ 2	ほだしかな	下六ウ 7	ほども	上三三オ 7 *
ほかげ(火影)		ほだしと	下四二オ 8	ほども	上三三ウ 6
ほかげは	上一〇ウ 4	ほど(程) ↓ いくほど・このほど・これほど・さ		ほども	上三五ウ 3
ほかざま(外様)		るほどに・それほど		ほども	上三五ウ 4
ほかざまへ	下一六ウ 8	ほどに	上一ウ 4	ほども	上三六オ 6
ほかざまなり(外様)		程は	上二ウ 2	ほども	上三六オ 8
ほかざまにも	上二二オ 4	程の	上八ウ 9	ほども	上三六ウ 3
ほかざまに	上二三オ 5	ほどは	上九オ 4	ほども	上三八ウ 7
ほかざま		ほども	上九ウ 2	ほども	上四〇オ 7
ほかざまに		ほどにや	上九ウ 3	ほども	上四一オ 5
ほかざま		ほどの	上一二オ 9	ほども	上四一オ 6
ほかざま		ほどをしも	上一三オ 6	ほども	上四一オ 7
ほかざま				ほども	上四一オ 7

ほどは	上四一ウ 8	ほのかなりし	上一〇ウ 4	ほろくくと	上四五才 5
ほど	上四二ウ 4	ほのかに	上一一ウ 10	ほろくくと	上四五ウ 7
ほどに	下一ウ 1	ほのかに	下一〇才 9	ほろくくと	下四才 5
ほど	下三才 10	ほのかに	下一一ウ 3	ぼんぶ(凡夫)	
ほどに	下四才 4	ほのかに	下三九ウ 4	ぼんぶの	下四二ウ 9
ほどは	下五才 9	ほのかには	下四一ウ 9		
ほど	下七才 2	ほのかに	下四二ウ 4		
ほどは	下一二才 2	ほのぼの			
ほどに	下一六才 7	ほのぐ	下九才 9		
ほどに	下二〇才 6	ほのめかす(仄)			
ほどは	下一一才 4	ほのめかして	下一二ウ 10	ま(間) ↓ すきま・たえま・はれま	上三才 1
ほど	下二一ウ 9	ほのめかし給ふさへ	下一九才 2	まの	上三三ウ 7
ほど	下二二ウ 9	ほふくゑきやう(法華経)		まの	下四才 4
ほどに	下二四才 10	ほけきやうを	下四一才 1	まの	下一六才 7
ほど	下二六ウ 6	ほふもん(法門)		まうく(設) ↓ おもひまうく	
ほどは	下二六ウ 9	ほうもんの	下二七才 4	まうけ(設) ↓ おほむこころまうけす	
ほど	下三〇才 2	ほほゑむ(微笑) ↓ うちほほゑむ		まうしあきらむ(申明)	
ほどは	下三四ウ 2	ほうゑみたる	上三ウ 7	まうしあきらめん	下二七ウ 3
ほど	下四二才 7	ほゝゑみたまへば	上六才 5	まうしなす(申為)	
		ほほゑみ給へば	下二ウ 5	まふしなすに	上九ウ 9
		ほむ(褒)		まうしまぎらはす(申紛)	
ほとけの	上一九才 7	ほめ給へば	下三四才 7	ままぎらはしつゝ	下五才 9
ほどちかし(程近)		ほる(惚) ↓ おもひほる		まうす(申) ↓ かたりまうす・ものまうす	
ほどちかければ	上四四ウ 1	ほろほると		申せば	上一ウ 10
ほのかなり(仄)		ほろくくと	上二二才 7	申さんやと	上五才 1
ほのかにも	上一才 4	ほろくくと	上三四才 2	申侍らん	上五才 7
ほのかに	上八ウ 5				

ま

申侍らんとて	上五才 9	まうづる	下二二ウ 4	まかりなん	下三四才 10
申て	上九ウ 6	まうで (詣) ↓ものまうで		まきもの (巻物)	
申給へば	上一九ウ 4	まかす (任)	上二八才 5	まきもの	上三才 2
申給へば	上二一ウ 9	まかせて	上三五才 4	まぎらはす (紛) ↓いひまぎらはす・かきまぎ	
申せば	上三一才 2	まかすべきにとて	下二六才 9	らはす・まうしまぎらはす	
申て	上三七ウ 10	まかせぬ	上三三ウ 8	まぎらはしたまふに	上二一才 4
申つる	上四一ウ 7	まかせては	下三九ウ 8	まぎらはしたまふ	上二八ウ 5
申せば	上四七ウ 1	まかせず	上九ウ 7	まぎらはしたまふ	上四九ウ 2
申けるに	上四七ウ 9	まかづ (罷出)	上九ウ 7	まぎらはし給へば	下二二ウ 2
申給はで	上四九才 1	まかでたまへるに	上九ウ 7	まぎらはしつゝ	下二二ウ 2
申せば	上五一才 5	まかで給ひて	上二七才 9	まぎらはしつゝ	下二二ウ 7
申侍	上五一ウ 5	まかで給へるに	下八才 4	まぎらはし給へる	下三八才 3
申せば	上五三才 8	まかでたまふ	下三五ウ 1	まぎらはし給へば	下三九ウ 5
申せば	下一才 5	まかなふ (賄)		まぎる (紛)	
申さで	下三ウ 3	まかなふ	下六才 7	まぎれぬべきを	上四二ウ 9
申ければ	下一三才 8	まがふ (紛)		まぎれぬ	上五二ウ 3
申せば	下一六才 5	まがふべくも	下九ウ 6	まぎれで	下一二ウ 1
申に	下一一才 1	まががし (禍禍)		まぎるゝにも	下一五ウ 1
申せば	下二六才 3	まがくしき	下四ウ 6	まぎるゝぞ	下二八ウ 6
申せば	下二七ウ 1	まかりかよふ (罷通)		まぎれべくも	下四三ウ 9
申	下四一才 2	まかりかよふ	上二〇才 10	まぎれ (紛)	
申ければ	下四一才 6	まかりかよふ	上二五ウ 1	まぎれ	上八ウ 9
申侍るを	下四二ウ 7	まかりかよふ	上四九才 6	まぎれいる (紛入)	
申給ひ	下四四才 5	まかる (罷)		まぎれ入たまふ	下二三才 1
申給へば	下四四ウ 9	まかりなん	上三五才 3	まくら (枕)	
まうづ (詣)		まかりて	上三九才 9	まくらに	上三ウ 4

まくらより	上四七ウ 10	まざるとかや	下九ウ 10	又	上四〇ウ 2
まご(孫) ↓おほむまじり		まざるに	下二四オ 8	又	上五二オ 10
まごと(実)		まざりて	下三七オ 5	又	下一オ 8
まごとに	上一オ 2	まして(況)	上一オ 4	又	下二オ 8
まごとの	下二五ウ 1	まして	下五オ 9	また	下五オ 1
まことなり(実)		まして	下二一オ 6	又	下一〇オ 6
まことに	上二一ウ 6	まして	下二一オ 6	又	下一〇オ 10
まことに	上二八ウ 6	ましてとばかりにて	下四一ウ 9	又	下一二オ 8
まことなるどて	上三四ウ 4	まして	上二五ウ 7	又	下一七ウ 4
まことなるどて	上三四ウ 10	まじり(交) ↓おほむまじり		また	下一八オ 2
まことに	上五一オ 6	まじる(交)		又	下一九ウ 2
まことに	上五一ウ 8	まじり		又	下一九ウ 5
まことに	下一三オ 9	まず(交) ↓うちまず		又	下一一オ 7
まことに	下二五オ 5	また(又)		又	下二二オ 10
まことに	下四二ウ 8	又	上四ウ 6	又	下二三オ 7
まことや(誠)		また	上一三オ 9	又	下二四ウ 3
まことや	上四二オ 10	又	上一四ウ 9	又	下二六ウ 7
まことや	上四六オ 4	又	上一四ウ 10	また	下三一オ 1
まなぐり(弄) ↓てまなぐり		又	上一八ウ 9	又	下三一オ 8
まなぐりに	上六ウ 3	又	上一一ウ 10	又	下三四ウ 10
まなり(勝) ↓いやまなりなり・ちかまなり		又	上一三オ 2	又	下三五オ 7
まなる(勝) ↓うちまなる・たちまなる		又	上一四オ 4	また	下三六ウ 10
まなるに	上一六ウ 5	また	上一四オ 8	また	下三七オ 3
まなるに	上一六ウ 8	又	上一七オ 10	又	下三八オ 8
まなるへし	上一九オ 10	又	上一五オ 2	又	下三九ウ 8
まなるへぎと	上三八オ 5	また	上三九ウ 7	まだ(未)	

まだ	上二二オ 8	まづ	上四六オ 5	まはる(廻)	下二オ 2
またのあした(又朝)		まづ	上五一オ 3	まはれば	
又のあしたは	下二一ウ 8	まづ	下一三オ 2	まふ(舞) ↓たちまふ	
または(又)		まづ	下二一三オ 10	まへ(前) ↓おほむまへ	
又は	下二三ウ 1	まづ	下二三ウ 9	まへに	上五オ 6
まちつく(待付)		まづ	下二四オ 2	まへの	
まちつけて	上三二ウ 3	まづ	下三三ウ 3	まぼる(目守) ↓うちまぼる	上三二オ 9
まつ(待)		まづ	下三三オ 3	まぼり給に	
まちたてまつりつれば	上二五オ 6	まづ	下三三オ 3	まぼり給に	上一七ウ 3
待たてまつらん	下二四ウ 8	まづ	下四一ウ 5	まぼり給ひて	下六ウ 2
まちたまへ	下二三ウ 8	まづ	下四二オ 2	まぼられ給ふ	下七オ 6
待給へとて	下二四ウ 4	まつかさね(松重)	上三一ウ 9	まぼり給へば	下九ウ 1
まちたまふ	下二五オ 6	松かさね		まぼりたまふに	下四三オ 3
まちたてまつる	下二六オ 1	まつかぜ(松風)	下二八ウ 2	まぼろし(幻) ↓ゆめまぼろし	
まち給へども	下三〇オ 4	松かぜ		まま(俣) ↓ありのまま・そのまま	
まちたまひつるに	下三〇ウ 8	まづは(先)	上三二ウ 7	まゝに	上一一ウ 7
まづ(先)		まづは		まゝに	上一五ウ 9
	上三オ 6	まつはす(纏) ↓きこえまつはす		まゝにて	上二七オ 7
	上五ウ 8	まどふ(惑) ↓おぼしまどふ	上三一ウ 3	まゝ	上四四ウ 2
	上八ウ 7	まどふ	下二七オ 2	まゝに	上四六ウ 1
	上二五ウ 5	まどろむ(微睡)		まゝに	上五一ウ 1
	上二六オ 5	まどろまで	上三三オ 6 *	まゝに	下四ウ 8
	上二九オ 8	まどろまねば	下三二ウ 1	まゝに	下五オ 9
	上三一ウ 10	まはす(回) ↓みまはす・うちみまはす		まゝ	下八ウ 6
	上三二オ 2	まばやかなり(目映)		まゝに	下一一ウ 6
	上三七ウ 3	まばやかに	下五オ 9	まゝに	下二一オ 10
				まゝに	下三二オ 4

まみ(眉)

まみ

下七才5

まろに

上二二ウ4

まいらせつる

上四才4

まみの

下二六ウ6

まろが

上二五ウ1

まいらせんと

上一三ウ2

まみなどの

下四二才1

まろを

上四九才9

まいらせんと

上一九ウ9

まみなどの

下四三才7

まろ

上五一才1

まいらせんと

上二七ウ6

まめやかなり(忠実)

まめやかに

上七才2

まろが

下二ウ1

まいらせよと

上五一才1

まめやかに

上七才5

まろは

下三ウ10

まいらせよとのみ

上五二才4

まめやかに

上一九ウ1

まろ

下四才10

まいらせおはしますべき

下一ウ1

まめやかに

上四七ウ3

まろが

下五才3

まぬらす(参)《補助動詞》

上二ウ6

まめやかに

下五才6

まろに

下五才4

かごしまいらする

下二三ウ1

まもる(守) ↓うちまもる

下三四才6

まろが

下六ウ4

みまいらせんずる

下二七才8

まもる(守) ↓おほむまゆ

上三ウ9

まろをば

下七ウ10

たがひまいらせて

下二七才8

まゆ(眉) ↓おほむまゆ

上四五才7

まろは

下八ウ4

まぬらく(参来)

上一〇才3

まゆの

丸

まろは

下八ウ7

まいらこんとて

下二二才6

まよひいづ(迷出)

上四五才7

まろに

下一一才3

まぬりつどふ(参集)

上九ウ5

まよひ出つらん

下二才5

まろは

下二〇ウ10

まいらつどいて

下三七ウ3

まよふ(迷)

上六才2

まろが

下二一ウ9

まぬりよる(参寄)

下四四ウ7

まよひ侍べるに

上三四ウ2\*

まろが

下二六ウ1

まぬりよる(参)

下四四ウ7

まよふらんと

下二才9

まろは

下三三ウ10

もてまぬる

上二ウ7

まよひぬべき

下二一才2

まろか

上三四才6

まぬり給ひつと

上四ウ8

まれなり(稀)

まろか

まろか

まぬり給ひつと

上四ウ8

まれなれども

まろか

まろか

まぬり給ひつと

上四ウ8

まろ(麻呂)

まろか

まろか

まぬり給ひつと

上四ウ8

まろは

上二二ウ6

まろぶ(転) ↓ふしまろぶ

上三四才6

まぬらまほしけれとて

上一〇才5

まぬらす(参)《本動詞》

まいらせつる

上四才4

まいらせんと

上一三ウ2

まいらせんと

上一九ウ9

まいらせよと

上二七ウ6

まいらせよとのみ

上五二才4

まいらせおはしますべき

下一ウ1

まぬらす(参)《補助動詞》

上二ウ6

かごしまいらする

下二三ウ1

みまいらせんずる

下二七才8

たがひまいらせて

下一〇才3

まぬらく(参来)

下二二才6

まぬりつどふ(参集)

上九ウ5

まぬりよる(参寄)

下四四ウ7

もてまぬる

下四四ウ7

まぬり給ひつと

上四ウ8

まぬらまほしけれとて

上一〇才5

まいり給ければ	上二〇ウ 1	まいりければ	上四八ウ 1	まいりたるぞ	下二六ウ 1
まいるに	上二二オ 6	まいり給へば	上四九オ 2	まいりて	下二七オ 4
まいりぬ	上一三オ 9	まいるも	上四九ウ 5	まいり給て	下三一オ 7
まいるを	上一五ウ 7	まいり給へるに	上五〇ウ 3	まいらせて	下三三オ 1
まいるべきと	上一八オ 8	まいり給ひて	上五二オ 6	まいれ	下三三ウ 8
まいりたまふべき	上二二ウ 7	まいる	上五三オ 10	まいりて	下三四ウ 3
まいりぬ	上二五ウ 10	まいりなば	上五三ウ 4	まいり給へば	下三四ウ 6
まいるに	上二六ウ 9	まいり給ふ	下一ウ 4	まいり給ふ	下三六オ 5
まいり給へば	上二七ウ 3	まいりなば	下三ウ 9	まいり給へと	下三六ウ 4
まいり給へば	上二七ウ 10	まいり給へば	下六オ 6	まいり給ふとも	下三八オ 10
まいらん	上三〇オ 5	まいり給へり	下六ウ 10	まいりはんべれば	下四二ウ 8
まいらん	上三〇オ 6	まいるとも	下八オ 8	まいりて	下四四オ 3
まいり給はず	上三〇ウ 3	まいり給へる	下一三ウ 8	まいり給へば	下四四ウ 4
まいりて	上三五オ 2	まいりて	下一六ウ 6	まいり給て	下四五ウ 4
まいらんよ	上三七オ 1	まいり給ふ	下一八オ 3		
まいらん	上三七オ 3	まいりたるに	下二〇ウ 3		
まいりたまへる	上三七オ 7	まいりたるぞ	下二一オ 1		
まいらんと	上三七オ 8	まいる	下二一オ 1		
まいりて	上三九オ 9	まいり給へば	下二二ウ 1		
まいり給ふに	上四〇オ 4	まいり侍らんと	下二二ウ 5		
まいり給ふに	上四〇ウ 3	まいらせ給はんずらん	下二三オ 10		
まいり侍じとなん	上四一オ 4	まいりて	下二三ウ 9		
まいりてければ	上四一ウ 8	まいらん	下二四ウ 2		
まいりたまはず	上四三ウ 2	まいらんよと	下二四ウ 8		
まいれと	上四八オ 4	まいり給へば	下二五オ 7		
	上四八オ 7	まいれば	下二六オ 7		

# み

み(身) ↓うきみ・おほむみ

身なれば	上七オ 1
身の	上八オ 9
身を	上九ウ 2
身に	上一七ウ 10*
身には	上二〇オ 9
身にも	上二六ウ 4
	上二八ウ 1

みーみぐし

身は	上三六才3	みあげ給はず	下二〇ウ2	みかくまでこそ	下一四ウ6
みは	上四五ウ8	みあはず(見合)		みがきて	下二八才9
身はと	上四六ウ7	みあはせてまつらず	下八才3	みかど(御門) ↓ たうだいのみかど	
身も	上四七ウ4	みあらはず(見現)		御かどの	上一七才3
身も	下五才9	みあらはさぬ	上二ウ1	御門の	上三八ウ8
身も	下五ウ4	みいだす(見出)		みかどの	上三九才3
身にも	下六ウ8	みいだし給ふに	下四一ウ4	御かど	下一ウ3
身の	下八ウ2	みいる(見入)		御門	下一ウ8
身こそ	下一九ウ2	み入給へ	上五二才3	みかども	下三才3
身	下一九ウ8	み入給はず	下一一ウ7	御かど	下三才8
身なれば	下一一才7	み入給はね共	下一六才8	御かどの	下八才7
身と	下二三才10	みえ(見)	下二三ウ3	御かどは	下一五ウ1
身こそ	下二三ウ2	みえも		御かどは	下一七ウ9
身に	下二四才6	みおく(見置)	上七ウ9	御かどの	下三〇ウ4
身と	下二五才2	みきて	下四四才2	御かどは	下三三ウ2
身に	下二七ウ3	みきたてまつれば		御かども	下四〇才10
身に	下二八ウ5	みおこす(見遣)	下七ウ2	御かどの	下四三才9
身と	下二九才8	みおこさせ給へる		御門	下四五才10
身を	下三六才1	みか(三日)	上三五才3	みきく(見聞)	下一二才7
身に	下三六才2	三か	上三六才5	みきゝたてまつらんも	
身に	下三七ウ9	三日の		みきちやう(御几帳)	
身は	下四三ウ4	みかうし(御格子)	上四才4	みきちやうの	上一一才8
身に	下四五才3	みかうし	上一一ウ8	みきちやう	上三一ウ8
み(見) ↓ うしろみ		みかうしなど	上一二才6	みぐし(御髪)	上五三ウ1
みも		みかく(磨)		御ぐし	上三四才6
みあぐ(見上) ↓ うちみあぐ					

御ぐし	上三九ウ 3	みせたてまつらんと	上二五ウ 6	御だいなど	上四九ウ 4
御ぐしにて	上三九ウ 3	みせたてまつれば	上三四ウ 4	御だいなど	下六オ 7
御ぐしを	上四五オ 9	みせたてまつらんよ	下三ウ 9	みだす(乱) ↓かきみだす	
御ぐし	上五〇ウ 2	みせたてまつれば	下二六オ 9	みたまへあつかふ(見扱)	
御ぐし	上五二オ 8	みせ給ふそ	下三五ウ 4	みたまへあつかひ侍	上五〇ウ 5
御ぐしを	下二五オ 1	みす(御簾)	上二〇ウ 1	み給へあつかひて	上五二ウ 8
御ぐしは	下二六ウ 3	みす	上二〇ウ 1	みだりこち(乱心地)	
御ぐしを	下二七ウ 7	みすの	上七オ 3	みだり心ちの	上四八オ 4
御ぐし	下三四ウ 4	みす	上七オ 3	みだる(乱) ↓おもひみだる・かきみだる・も	
みぐるし(見苦)	上八ウ 2	みす	上二〇ウ 1	のおぼしみだる	
みぐるしく侍を	上四二ウ 4	みすの	上二〇ウ 1	みだれたる	上四五オ 6
みぐるしき	上四二ウ 4	みすの	上二〇ウ 1	みだらす	下五オ 9
みぐるしき	下一九オ 4	みすの	上二〇ウ 1	みだれて	下四五オ 4
みぐるしく	下二四ウ 1	みずいじん(御隨身)	上二〇ウ 1	みだれ(乱) ↓なみだみだれなり	
みこ(御子)	上一九オ 9	みずいじんに	上二〇ウ 1	みだれに	下二オ 4
みこの	下三八ウ 3	みすぐす(見過)	上七ウ 3	みだれかかる(乱懸)	
御こも	上六オ 1	みすぐし給ふべきにも	上七ウ 3	みだれかゝりたる	下九ウ 5
みしる(見知)	上六オ 1	みすつ(見捨)	下八ウ 8	みち(道)	
みしりたてまつらねども	上六オ 1	みすて、	下八ウ 8	道の	
みす(見)	上二ウ 8	みすてがたし(見捨難)	上二〇ウ 1	みちの	上三オ 6
みせたまふ	上二二ウ 4	みすてがたくてと	上二〇ウ 1	みちや	上三ウ 4
みせまほしく	上二二ウ 4	みそむ(見初)	上七オ 3	みちの	上三四ウ 9*
みせて	上二二ウ 4	みそめて	上七オ 3	みちに	下六ウ 7
みせて	上二四ウ 1	みそめしも	上七オ 3	みちに	下四ウ 7
みせたてまつるべき	上二五ウ 3	みだい(御台)	下三三オ 10	みちびきはつ(導果)	下二五ウ 2
みせたてまつらん	上二五ウ 5	御だいなど	上四八オ 7	みちびきはつ(導果)	上六オ 4

みつ (満)	上 一 一 一 七	身づからは	下 二 〇 一 五	みまはす (見回) ↓うちみまはす	上 四 三 一 七
みちて		身づから	下 二 七 一 三	みまほし給ふに	
みついへ		身づからには	下 二 九 一 七	みみ (耳) ↓おほむみみ	
みついゑと	下 一 〇 一 三	身づからの	下 三 三 一 三 一 八	みゝにも	上 三 三 一 三 一 六
みつゑ	下 二 五 一 九	身づからを	下 三 四 一 九	みゝに	下 一 九 一 二
みつ家も	下 二 八 一 四	みつく (見付)	上 二 一 〇 一 〇	みみなる (耳慣)	
みづから (自)		みつけれなば	上 三 一 〇 一 〇	みゝなれぬほどの	上 一 一 一 五
身づからの	上 八 一 一 七	みつけて	上 三 一 〇 一 一	みめすがた (見目姿)	
みづからも	上 二 八 一 三	みつけたる	上 一 七 一 二	みめすがたばかりにも	下 三 七 一 七
みづから	上 三 一 一 九	みつつけ給て	上 二 七 一 四	みや (宮) ↓きさいのみや・こしきぶぎやうの	
身づからは	上 三 六 一 八	みつけたる	上 三 三 一 三 一 八	みや・こみや・なかつかさのみや・わかみや	
身づからと	上 四 二 一 四	みつけたてまつりたらば	下 一 二 一 四	みやこ (京)	
身づから	上 五 〇 一 六	みとせ (三年)	下 三 四 一 二	宮こに	上 七 一 〇 九
みづからは	上 五 〇 一 七	三年	下 三 四 一 二	みやこの	下 二 一 一 二
身づから	上 五 二 一 五	みとせは	下 三 五 一 六	みやこに	下 三 四 一 四
身づから	上 五 三 一 九	みどり (緑)	上 四 三 一 九	みやたち (宮達)	
身づから	上 五 三 一 四	みどりの		宮たち	下 四 〇 一 七
身づからの	下 一 一 一 三	みな (皆)	上 三 一 一 一	みやづかへ (宮仕)	
身づから	下 一 一 一 七	みな	下 四 四 一 一	みやづかへの	上 二 〇 一 二
身づからの	下 一 一 一 六	みなし (見倣)	上 二 一 一 三	宮づかへも	上 四 五 一 八
身づからさへ	下 一 〇 一 六	みなしにや	下 一 〇 一 二	宮づかへも	上 四 六 一 三
身づからの	下 一 一 一 四	みなす (見倣)		宮づかへ	上 五 〇 一 六
身づからこそ	下 一 一 一 九	みなずに		みやづかへなどにも	上 五 二 一 九
身づからは	下 一 四 一 四	みはつ (見果)		宮づかへをも	下 五 一 〇 九
みづからは	下 一 六 一 五	みはて	上 四 一 一	みやまがくれ (深山隠)	下 三 四 一 一



みる

みる	上二八才6	みて	上三七才1	みたてまつるに	下一六ウ6
みたてまつれと	上一九才7	み給はで	上三七ウ5	みたてまつるも	下一六ウ8
みんは	上一九ウ8	みぬぞよとて	上三七ウ7	み給へ	下一八才7
みたてまつり給て	上二二ウ9	みん	上四二才6	みたてまつらんと	下二二才10
みたまひては	上二四才4	みたてまつらで	上四五才2	みまいらせんずる	下二三ウ1
みるまじき	上二四ウ10	みたてまつり給ふ	上四五ウ7	み侍らんと	下二四才1
み給まじき	上二五才1	み給へば	上四六才8	みたまへば	下二四ウ9
み給へとて	上二五才2	み給へば	上四六ウ9	みまほしければ	下二六才2
み給て	上二五才5	みたてまつりて	上四七才9	みるまじければとて	下二六才4
みたてまつるに	上二五才6	みたてまつる	上四九ウ7	みたまへと	下二六ウ1
み給へば	上二六才1	みても	上五二ウ2	みるべきと	下二六ウ7
みんと	上二七ウ2	みざりつる	上五四才3	みたまへば	下二九才5
み給へかし	上二八才6	みたてまつりて	下一才3	みたまふに	下二九ウ5
みんと	上二八ウ3	みたてまつるを	下一才4	み給へば	下三〇才6
みる	上二九才3	みまほしき	下二ウ4	みる	下三一才1
み給ふに	上三〇ウ7	みたてまつり給ひしかと	下三ウ7	みばやと	下三二才10
みたまへば	上三一ウ8	みる	下四ウ6	みる	下三二ウ2
み給へると	上三二ウ9	みる	下八ウ6	みるに	下三四才2
みてましと	上三三才2*	みるに	下九ウ9	み給へと	下三四ウ3
みるにも	上三三才3	みるに	下九ウ9	みるに	下三六才6
み給へば	上三三才10	みしより	下一〇ウ7*	みずは	下三七ウ1
み給へば	上三四ウ7	みたてまつりて	下一一ウ3	みたまへば	下四一ウ6
み給へば	上三五才9	みたてまつるも	下一一ウ7	みたまへば	下四二才2
みるべきぞかし	上三五ウ4	みたてまつりつるに	下一二才1	みたてまつれば	下四二才8
みずは	上三五ウ8	み給へば	下一三才9	みたてまつらんと	下四二ウ6
みねば	上三七才1	みたてまつりしかば	下一五才3	みたてまつらんと	下四四才4

み給へば  
みたてまつりたまへるとぞ  
みるみる  
みるくくと

下四四才6  
下四五ウ6  
上二才3

むかふ  
むかひ給はぬ  
むかへ(迎) ↓ おほむむかへ  
むかへなりとも

下二六ウ3  
下三六ウ8  
下八ウ8

むつかしき  
むつかしけれ  
むつかしき  
むつかしきと

上四五才9  
上五一才1  
上五一才3  
上五二才2

みるめ(見目)

みるめも

みるめ

みわく(見分)

みわけぬまじきに

みゐる(見居)

みゐたり

みゐたり

上四七才8  
上五〇ウ9  
下四一ウ8

むく(向) 《下二段》 ↓ ひきむく  
むくつけし  
むくつけき

上三〇ウ7  
下三三ウ9

むげなり(無下)

むげに

むげに

むげに

むし(虫)

むしの

むす(生)

むして

むすめ(娘) ↓ おほむむすめ・だいしやうのむ  
すめ

上六ウ10  
下二五才3

むせかへる(噎返)

むせかへり給へば

むせかへり給ふ

むせぶ(噎)

むせびて

むつかし(難)

むつかしと

下四〇ウ10

むなしくも

むなしき

むね(胸) ↓ おほむむね

むね

むね

むね

むねの

むねの

むね

正月も

むなし(空)

むなしくも

むなしき

むね(胸) ↓ おほむむね

むね

むね

むね

むねの

むねの

むね

下二〇才6

上二〇才6

むねは	下九ウ 7
むね	下二才 8
むね	下一三才 10
むね	下一八才 2
むねも	下一八ウ 7
むね	下二六才 5
むねの	下四三ウ 6
むぼうへ (乳母上)	上三八才 4
むば上も	上二五才 4
むば君も	上二七才 2
むま (馬) ↓おほむむま	
むまのとき (午時)	上四一才 4
むまのときより	
むまる (生)	
むまれたまへる	上一六才 9
むまれ給しを	上一九才 2
むまれ給し	上二四才 9
むまれ給へり	下四〇才 7
むりやうごふ (無量劫)	
むりやうごうを	上五〇才 3

め

め (目) ↓おほむめ・ひがめ・ひとめ・ひとめ	
みる・みめすがた・みるめ・よめ・わけめ	
めを	上三才 4
めの	上三才 9
めも	上五ウ 10
めにも	上二三ウ 6
めも	上三一ウ 5
め	上三二才 1
めには	上三二才 1
めにも	上三五才 7
め	上五四ウ 10
めをも	下八才 3
めのみ	下一七才 2
めも	下二〇ウ 2
めも	下二三才 3
めも	下二五ウ 4
め	下二六ウ 1
め	下二六ウ 9
めも	下二七ウ 9
めも	下三〇ウ 8
め ↓ほそめなり	
めうつり (目移) ↓おほむめうつり	
めうつりには	上三五ウ 6
めかし ↓いまめかし・いろめかし	
めぐらす (巡) ↓おもひめぐらす	
めぎし (目差)	下二六ウ 4
めぎしに	
めざまし (目覚)	
めざましき	上三一才 1
めざましき	下九ウ 4
めし (召) ↓おぼしめしあはす・つかさめし	
めしかふ (召替)	下三四ウ 5
めしかへさせなど	
めす (召) ↓きこしめす・しろしめす	
めしつる	上二才 8
めして	上一八ウ 4
めして	上四六才 10
めして	上五四ウ 9
めせば	下一ウ 4
めして	下三才 4
めして	下四ウ 8
めして	下一〇ウ 4
めしければ	下一七ウ 10
めし給へる	下二二才 1
めして	下二五ウ 9
めづらかなり (珍)	
めづらかなる	上五三ウ 3
めづらかなる	下四四ウ 10
めづらし (珍)	
めづらしき	上四才 2

めづらしく	上二〇才 9	めんぼく (面目)
めづらしきに	上一五才 1	めんぼく
めづらしく	上一六才 2	
めづらしき	上一五ウ 7	
めづらしと	上二七ウ 5	
めづらしく	下二〇才 10	
めづらしく	下三八才 7	もし (若)
めづらしく	下三八ウ 4	
めでたし (目出)		
めでたきに	上一八才 3	もし
めでたかるべき	上三一ウ 2	もし
めでたかるべき	下一一ウ 9	もし
めでたかるべき	下一四才 7	もし
めでたく	下一六ウ 10	もし
めでたく	下二一ウ 7	もし
めでたき	下三八ウ 5	もし
めでのしる (愛罵)		
めでのゝしられ給ふ	上七才 9	もし
めのと (乳母) ↓おほむめのと・おほむめのご		
めのと	下二六ウ 8	もし
めやすし (目安)		
めやすく	上一五才 7	もし
めんだう (馬道)		
めんだうに	下一七ウ 4	もしや
めんだうに	下二二ウ 10	もし
めんだうまでも	下二四ウ 4	もし (文字)

も

めんぼく (面目)		めんぼく	下五ウ 4	もしは	上三才 10
めんぼく				もしも	下二五ウ 7
				もつ (持)	
				もち侍らずと	下一六才 5
				もち給へば	下二八才 5
				もつまじき	下四二才 7
				もてなし (持成) ↓おほむもてなし	
				もてなす (持成)	
				もてなしきこえんと	上一八ウ 3
				もてなしきこえんと	上一九才 5
				もてなし給へども	上二三ウ 10
				もてなしつる	上三三ウ 2
				もてなしたまふ	上三三ウ 5
				もてなして	上四〇ウ 5
				もてなして	下四ウ 5
				もてなして	下一五ウ 7
				もてなして	下三五ウ 7
				もてまゐる (持参)	
				もてまゐる	上三四ウ 7
				もてまいりたるに	下三〇才 5
				もと (許) ↓おほむもと・ここもと・こころも	
				となし	
				もとに	上二ウ 6
				もとへと	上三七才 4
				もとむ (求)	
				もとめ給ふに	下九才 3

もとより (元)	上二五才5	物にこそ	上四四ウ7	ものいひす (物言)	下七ウ10
もとよりのは	物も	物にこそ	上四六ウ2	物いひせぬ	
もの (者・物) ↓うきおりもの・うすもの・ま	物を	物	上四六ウ8	ものいふ (物言)	
きもの	ものに	ものに	上四八ウ7	物いふ	下八才6
物にて	上五才6	ものゝ	上四九才5	ものいみ (物忌) ↓おほむものいみ	
もの	上六ウ10	物なども	上五二才2	物いみなどに	上四才8
ものにも	上二一才2	物も	下三ウ3	物いみ	上四八才2
もの	上二一才1	物なりけり	下四才3	ものうし (物憂)	
ものとも	上二一才10	ものを	下五才9	物うく	上四三ウ5
ものも	上二二ウ7	ものぞよ	下七ウ10	ものおそろし (物恐)	
もの	上二一才9	物ぞ	下八ウ2	物おそろしき	上三〇才8
もの	上二七才7	ものは	下九才1	ものおぼす (物覚)	
もの	上二八才6	物も	下二一ウ7	ものおぼしたる	上二〇ウ9
ものゝ	上二〇ウ1	ものも	下二一才8	物おぼしたる	上二一才9
ものなれば	上二一才5	物をも	下二一才4	物おぼしたる	下一ウ7
ものゝみ	上二一才7	ものかなと	下二〇ウ9	ものおぼしみだる (物覚乱)	
物も	上二五才4	物より	下二二才5	物おぼしみだれで	下一四ウ10
ものを	上二八ウ2	物へ	下二二ウ4	ものおもはしげさ (物思)	
物も	上三〇才9	物も	下二三才3	ものおもはしげさの	下二二ウ3
物も	上三一才3	物なれば	下二四才6	ものおもはしげなり (物思)	
物にこそとて	上三三ウ10	物より	下二六ウ9	ものおもはしげに	上二三才1
物など	上三五才7	ものかなとは	下三〇ウ10	ものおもはしき (物思)	
ものゝ	上三七才6	ものゝ	下三七ウ3	物おもはしきは	上三九才2
ものは	上四二ウ1	ものゝ	下三七ウ8	ものおもはず (物思)	
もの	上四二ウ5	物	下四二才7	物おもはせたてまつるべき	下二五才1
物をも	上四二ウ7	物を	下四三才1	ものおもはせたてまつらん	下二五才10

ものおもひ (物思) ↓おほむものおもひ	物がなしく	下三才 6	物まうでの	下二五ウ 9
もの思ひの	ものこころぼそげなり (物心細)	下三才 9	ものまうで	下二六才 4
物おもひの	ものこころぼそげに	下一ウ 9	ものまうでとて	下二八ウ 8
物思ひ	ものこころぼそし (物心細)	下二七才 10	物まうでならば	下二八ウ 10
ものおもひこそ	物心ぼそくて	下二七才 10	ものめかす (物)	上三五才 1
物おもひも	ものども (物共・者共)	上九ウ 5	物めかして	上四〇才 1
物おもひの	物ども	上四ウ 4	ものめかしなば	上四〇才 1
もの思ひに	物ども	上四二ウ 5	ものものし (物物)	上三一ウ 10
ものおもひども (物思共)	物ども	下四三ウ 10	ものくしく	下四三才 5
物おもひどもの	物ども	上八ウ 1	ものくしく	上三一ウ 10
ものおもふ (物思)	ものけ (物怪)	下三才 9	ものものしげなり (物物)	上三六才 1
ものおもふらんと	ものけに	上七ウ 4	ものくしげにぞ	上一ウ 2
物おもはせてまつらんとこそ	ものねども (物音共)	上七ウ 4	もみぢ (紅葉)	上六ウ 2 *
もの思へる	ものねども	上七ウ 4	もみぢを	上六ウ 3
物おもひたる	ものゝねども	上七ウ 4	もみぢを	上六ウ 7
ものおもふにこそと	ものほかなし (物果無)	上七ウ 4	もみぢの	上一〇才 2
物おもひたる	物ほかなき	上七ウ 4	もみぢの	上一三ウ 10
物おもひたる	物ほかなき	上七ウ 4	もみぢに	下四一ウ 2
物おもふは	ものほづかしげなり (物恥)	下七ウ 3	もみぢ	上一四才 6
物おもふとのみ	物ほづかしげに	下七ウ 3	もみぢがさね (紅葉重)	上一四才 6
物おもひつる	ものふとし (物太)	上三二才 10	もみぢがさね	上一四才 6
ものかくし (物隠)	物ふとく	上三二才 10	もみぢす (紅葉)	下三三才 8
ものかくし	ものまうす (物申)	下五才 9	もみぢして	下三三才 8
ものがたり (物語) ↓おほむものがたり	物申せども	下五才 9	もよほす (催)	上三四才 1
物がたりは	ものまうで (物詣)	下二〇ウ 10	もよほされて	上三四才 1
ものがなし (物悲)	物まうで	下二〇ウ 10		

もよほされて	下二ウ 6	やうに	上九オ 5	やうやうに(漸)	下三四ウ 4
もよほされて	下三二ウ 10	やうの	上一四ウ 4	やうくくに	
もよほされて	下三九ウ 6	やうに	上一六ウ 4	やがて(廳)	
もり(守) ↓せきもり		やうも	上二〇ウ 6	やがて	上一九オ 2
もろこひ(諸恋)		やうに	上二〇ウ 8	やがて	上三四オ 2
もろこひならましかば	上五四ウ 2	やうにと	上二八オ 8	やがて	上三九オ 9
もろともに(諸共)		やうにて	上三五オ 9	やがて	上四四オ 6
もろともに	上二三ウ 1	やうも	上三五ウ 5	やがても	上五〇オ 4
もろともに	上二三ウ 7	やうの	上四二ウ 6	やがて	下六ウ 2
もろともに	上二六オ 5	やうにと	上五三オ 2	やがて	下一〇ウ 1
もろともに	上五四オ 5	やうにて	下六オ 8	やがて	下二八オ 5
もろともに	下一九ウ 1	やうにて	下七ウ 5	やがて	下三五ウ 1
もろともに	下三一ウ 8	やうにて	下八オ 6	やがて	下三八ウ 5
もん(紋) ↓うきもん		やうにて	下九オ 9	やがて	下三九ウ 4
もん(門) ↓ちうもん		やうに	下一六オ 3	やがて	下四二ウ 8
		やうに	下一六オ 3	やがてやがて	下二六オ 8
		やうにて	下二四ウ 8	やがてく	
		やうに	下二四ウ 10	やくなし(益無)	
		やうに	下二六ウ 4	やくなき	下二九オ 10
		やうなる	下四四オ 10	やす(瘦) ↓おもやす	
		やうに	下四四ウ 3	やすたまへる	上二八オ 1
		やうやう(漸)	上二オ 2	やすたまへるしも	下一八オ 5
		やうく	上九ウ 3	やすし(安) ↓こころやすし・めやすし	
		やうく	上四三ウ 2	やすく	上五一ウ 5
		やうく	下三六オ 4	やすき	下三四オ 2
		やうにも		やすむ(休) ↓うちやすむ	

やすらふ(休)	山の	下三〇オ9*	やゝ	下一〇オ5
やすらふに	やまかぜ(山風)		やゝ	下四二ウ2
やすらはるゝを	山かぜ	下四三ウ10	やり(遣) ↓こころやり	
やせあをむ(瘦青)	やまごもり(山籠) ↓おほむやまごもり	下三九ウ10	やりすつ(破捨)	
やせあをみ給ひて	山ごもりの	下四五ウ5	やりすて	下一九オ4
やせやせと(瘦瘦)	山ごもりをも		やる(遣) ↓いでやる・いひやる・うちやる・お	
やせくゝとして	やまごもりのちうなごん(山籠中納言)	下三三オ3	しやる・おほしやる・おもひやる・かきや	
やつ(八)	山ごもりの中納言は		る・みやる	
八ばかりに	やまざと(山里)	上三ウ9	やり給はず	上二六ウ7
やつしすつ(箕捨)	山里には	上六ウ5*	やり給はねば	上三〇オ10
やつしすてさせ給はずとも	山里に	下四二オ9	やり給はぬかと	上三四オ9
やつす(箕)	山ぎとへ		やらねば	上三九ウ4
やつしたてまつるまじきと	やまち(山路)	下三三オ6	やり給はず	上四一ウ1
やつして	山ぢの		やり給へ	下四オ9
やつる(箕)	やまぶき(山吹) ↓はなやまぶき	下三六ウ5	やり給はず	下六ウ2
やつれ給へども	やまぶきの		やり給はず	下四四オ6
やつれ給ふとも	やまべ(山辺)	下三三オ8	やるかたなし(遣方無)	
やつれたまへども	山べの		やるかたなし	上四一ウ6
やつれて	やみ(闇)	上八ウ2	やをら	上二ウ5
やど(宿) ↓おほむやど	やみにさへ	下二九オ7	やをら	下八ウ1
やどの	やみをば	下四四オ9	やをら	
やどる(宿)	やみ			
やどりたてまつらん	やむごとなし(止事無)	上二六ウ1		
やま(山) ↓のやま・みやまがくれ	やむごとなき	上二六ウ1		
山にも	やや(稍)	上二六ウ1		
山の	やゝ			

ゆ

ゆ(湯) ↓おほむゆ

ゆかし(懐) ↓のこりゆかしげなり

ゆかしと

上二オ3

行べき

上四七オ2

ゆふつかた

上一八ウ4

ゆかしければ

上四ウ6

ゆくぞとこそ

下二七オ1

ゆふべ(夕)

上八ウ6

ゆかしと

上五一オ6

ゆかざらん

下三四ウ2

ゆふべ

上四七ウ7

ゆかしうも

下四二オ4

ゆかぬなるべし

下三六オ3

ゆめ(夢)

上四七ウ7

ゆかしがる(懐)

上二三ウ9

ゆくすゑも

上六オ2

夢の

上三二ウ7

ゆかしがり

上四ウ6

ゆくすゑの

上二〇ウ9

夢にや

上三二ウ9

ゆかしさ(懐)

下二四オ5

ゆくすゑ

上二二オ5

ゆめの

上三三オ2\*

ゆかしさに

下四一ウ6

ゆくすゑも

上四三オ6

夢の

上三七ウ2

ゆかり(縁) ↓おほむゆかり

上四七オ4\*

ゆくへ(行方) ↓おほむゆくへ

上四六ウ5

ゆめに

上四三オ8

ゆかりと

下四オ6

ゆくゑも

上四オ9

夢

上五二ウ3

ゆき(雪) ↓はつゆき

下二ウ2

ゆくゑも

上四五オ5

夢にも

下二〇ウ9

ゆき

下六ウ10

ゆくゑも

下二〇ウ1

夢ならす

下二三ウ2

雪

下五オ2

行ゑも

下二〇ウ6\*

夢にも

下三三オ10

ゆきかよふ(行通)

下二八オ7

行ゑをも

下二六ウ9

ゆめち(夢路)

下三一ウ3

ゆきすぎ(行過)

下二八オ7

行ゑをも

下三一オ10

夢

下四一ウ5

ゆきすぎ給へる

下二八オ7

行ゑをも

下四〇オ1

ゆめうつつ(夢現)

下四四オ10

ゆく(行) ↓おいゆく・くれゆく・こころゆく・

したひゆく・すぎゆく・つもりゆく・なり

ゆづる(讓)

下二六ウ9

夢うゝつとも

下二七オ1

ゆく・ふけゆく

上三一ウ3

ゆふがた(夕方)

上二四ウ4

夢路に

上三一ウ3

ゆくらんと

上三八ウ5

ゆふがた

上三七オ7

ゆめまぼろし(夢幻)

下二七オ1

ゆきたまへる

上四〇オ10

ゆふつかた(夕方)

上三七オ7

夢まぼろしの

下二九オ8

ゆきたりと

上四〇オ10

ゆふつかた(夕方)

上三七オ7

夢まぼろしの

下二九オ8

ゆめみる (夢見)  
夢みる  
ゆめゆめ (努努)

上四三才 8

夜  
よ  
夜なるに

上二二才 6  
上二五才 9  
上二九才 8

世は  
よの  
世には  
世には

上三三才 10  
上三六才 9  
上三九才 1

ゆめく

ゆめく

ゆめく

ゆめく

ゆゆし

ゆゝしく

ゆりがたし (許難)

ゆるがたきに

ゆるす (許) ↓おぼしゆるす

ゆゑ (故) ↓ことゆゑなし

ゆへ

ゆへぞよと

ゆへぞと

ゆへに

ゆへ

下五才 2

下三〇才 7

下三一才 6

下四二才 5

下四三才 3

夜の

夜の

夜の

夜の

夜の

よ

夜は

よも

よ

よ

夜は

よも

よ

よ

よ

よ

よ

よ

よ

下四才 4

下二一才 2

下二二才 4

下二四才 10

下二五才 7

よは

下二才 2

下四才 3

下五才 6

下六才 8

下一〇才 6 \*

下一一才 5

下一二才 9

下一四才 5

下一五才 7

下一六才 7

下一七才 10

下一六才 7

下一七才 10

下一八才 3

下一八才 3

下一九才 9

下一九才 9

下一九才 9

下一九才 9

# よ

よ (夜) ↓しもよ・ひとよ

夜は

夜も

夜

上五才 1

上五才 7

上一一才 7

よに

世ならば

世に

世に

世に

世に

世に

世に

世に

上二〇才 5

上一〇才 3

上二八才 8

よなめりと

世に

世に

世に

世に

世に

世に

世に

世に

下一七才 10

下一六才 7

下一七才 10

下一六才 7

下一七才 10

下一六才 7

下一七才 10

下一六才 7

下一七才 10



よせて	上四四ウ 2	世中に	下二九オ 9	よも	下一八ウ 8
よすが(縁) ↓おほむよすが		世の中に	下四四オ 10	よも(四方)	
よすが	上五一ウ 9	よはよはし(弱弱)		よもの	下三三オ 8
よせ(寄) ↓おほむくるまよせ		よはくしく	下二八オ 2	よもすがら(終夜)	
よそ(他所)		よひ(宵) ↓こよひ		よもすがら	上三二ウ 4
よそにて	上二一ウ 10	よひと(世人)		よりかかる(寄掛)	
よそに	上二九ウ 8	よ人も	下三九オ 1	よりかゝらせおはしまして	下三四ウ 8
よどの(夜殿)		よびよす(呼寄)		よりふす(寄臥)	
よどのは 上二七ウ 6 * (「淀野」との掛詞)		よびよせ給て	下三九ウ 2	よりふして	上三オ 8
よどの(淀野)		よぶ(呼)		よりふし給ぬ	上四四ウ 3
よどのは 上二七ウ 6 * (「夜殿」との掛詞)		よびきこえたまひて	上二〇オ 4	よりよりし(語義不詳)	
よのつね(世常)		よびたてまつりて	上二一ウ 10	よりくしき	上四四オ 9
よのつね	上五オ 8	よびて	上二七ウ 6	よる(寄・依) ↓おぼしめしよる・おぼしよる・	
よのつねの	上六ウ 1 *	よびきこえ給へば	上二九ウ 6	おもひよる・さしよる・たちよる・まゐり	
よのつねならず	上二三ウ 10	よびて	上三七オ 2	よる	
よのつねに	上三五ウ 7	よびきこえ給へば	上四〇ウ 2	よらまほし	上二ウ 1
よのつねのこそ	上三五ウ 8	よびて	上四九ウ 7	よりて	上三ウ 2
よのつねの	下二三オ 2	よぶかし(夜深)		よらぬ	上七ウ 7
よのつねにて	下二八ウ 9	夜ぶかく	下二五ウ 8	よりて	上五〇ウ 6
よのつねより	下四二オ 1	夜ぶかくほと	下二六オ 3	よらじと	下一オ 4
よのつねし(世常)		よみさす(読止)		よりたまへば	下二〇ウ 4
よのつねしく	下一五ウ 6	よみさしてんと	上三ウ 5	よりてこそ	下二九ウ 10
よのなか(世中)		よめ(夜目)		よる(夜)	
よの中に	上四〇オ 9	夜めにも	上七オ 8	よるより	上九ウ 5
よの中	下二一オ 9	よも	下五オ 9	よる	上一六ウ 4
				よるなど	下一七オ 5

よるひる (夜昼)

よるひる

よるひる

よるまじげなり

よるまじげなる

よるこび (喜)

よるこびに

よるし (宜)

よるしくは

よるしき

よるづ (万)

よるづの

よるづ

よるづの

よるづの

よわし (弱) ↓こころよわし

よはく

よわる (弱) ↓おぼしよわる

# ら

らいす (礼)

らいし給へば

らう (廊)

らうに

下五才 9

下二三ウ 7

上五一才 5

上五三ウ 4

上五三ウ 4

上五三ウ 4

上二〇ウ 4

上二〇ウ 4

上四一才 2

下五才 9

下二〇才 9

下二〇才 9

下三六ウ 1

下三六ウ 1

下五才 9

下五才 9

下五才 9

下二七ウ 8

下二七ウ 8

上二〇才 7

上二〇才 7

上二〇才 7

上二〇才 7

らうたげなり (労)

らうたげなる

らうたげに

らうたし (労)

らうたくて

らうたければ

らうたければ

らうたけれど

らうたく

らうらうじ (労)

らふくじく

らん (覧) ↓うちごらんじいだす・うちごらん

ず・ごらんじおく・ごらんじおくる・ごらん

んじおこす

上九才 8

上三六ウ 9

上二二才 3

るてん三がいと

# り

りやう (輜) ↓いちりやう

りんだう (童胆)

りんだうの

下二ウ 4

# る

るてんさむがい (流転三界)

# れ

れいならず (不例)

れいならず

れいの (例)

れいの

れう (料) ↓おほむれう

下二七ウ 7

下二七ウ 7

下二七ウ 7

上四六才 6

上四六才 6

上四六才 6

上四六才 6

上四六才 6

上四六才 6

上四〇ウ 2

上四九ウ 7

上四九ウ 7

下三才 8

下七ウ 6

下七ウ 6

下八才 3

わかをば	上二五ウ 3	わかうびと	上五ウ 8	わかぎみの	下一九オ 5
わかを	下二六オ 4	わかう人		わかぎみの	下一九ウ 5
わが(我)		わかぎみ(若君) ↓おほいどののわかぎみ		わかぎみの	下二〇オ 4
わが	上二二ウ 3	わか君	上二〇ウ 8	わか君の	下二五ウ 3
我	上二〇ウ 7	わか君ぞ	上二六オ 9	若君の	下二六オ 2
わが	上三〇オ 3 *	わかぎみ	上二七オ 2	若君	下二六オ 9
わが	上三二ウ 3	わか君	上二七オ 6	わか君の	下二七ウ 10
我	上三六オ 3	わか君は	上一八オ 5	わか君を	下三二ウ 1
わが	上四五ウ 3	わか君	上一一オ 1	わかぎみは	下三二ウ 8
わが	上四五ウ 7	わか君	上二四オ 1	わかぎみの	下四〇オ 6
我	上四九ウ 9	わか君を	上二四オ 4	わかぎみ	下四〇オ 8
わが	上四九ウ 10	わかぎみを	上二四ウ 5	わかざかり(若盛)	下四三オ 3
我	上五四オ 4	わかぎみの	上二五オ 5	わかざかりは	
我	下五オ 9	わか君の	上二五ウ 9	わかし(若)	
わが	下七ウ 4	わか君	上二六ウ 8	わかき	上二オ 7
わが	下一九ウ 2	わか君の	上二七オ 9	わかう	上一二ウ 10
我	下一九ウ 8	わか君	上二八ウ 9	わかき	上一三ウ 7
わが	下二三オ 10	わか君は	上二九オ 1	わかき	上五〇ウ 5
我	下二三ウ 2	わか君の	上三六オ 5	わかきにも	下二二オ 4
我	下二五ウ 5	わかぎみ	上三七ウ 10	わかき	下三七ウ 3
わが	下三五ウ 10	わか君の	上四三オ 8	わかき	下四三ウ 8
我	下三六オ 2	わか君を	上四三ウ 5	わかみや(若宮)	
我が	下四三オ 3	わか君	上四九ウ 7	わか宮をさへ	下三八ウ 2
我	下四三ウ 4	わかぎみも	下六オ 3	若宮は	下三八ウ 6
わかうど(若人)		わか君も	下六ウ 2	若宮も	下三八ウ 9
わかうど	上一五ウ 5	わかぎみの	下一六オ 4	わか宮	下四三オ 10

わかる(別) ↓おきわかる

わかれたてまつりし 下四二オ6

わかれ(別)

わかれの 上四三オ10

わかれと 下二二ウ9

わかれば 下二三オ2

わかれよりも 下二三ウ3

わく(分) ↓おもひわく・みわく

わけめ(別目)

わけめ 上五三ウ10

わざ(業)

わざ 上二ウ4

わざやとて 上五三ウ6

わざと 下五ウ5

わざなれ 下八ウ3

わざやと 下九オ3

わざかな 下九ウ3

わざ 下三二ウ2

わざ 下三三ウ9

わする(忘) 《下二段》 ↓おぼしわする

わすれて 上五オ1

わすれて 上二五オ6

わすれ給ふ 上五三オ1

わすれ給はぬ 下二二オ2

わすれてこそ 下二〇オ1

わすれて 下二〇オ10

わすれ給ふな 下四四オ9

わする(忘) 《四段》

わすられて 上四一オ2

わすれ(忘) ↓おもひわすれ

わすれがたさ(忘難)

わすれがたさに 下二五オ5

わすれがたみ(忘片身)

わすれがたみと 下三二ウ3

わすれぐさ(忘草)

わすれ草や 上四七オ6

わたし(渡) ↓たびわたし

わたす(渡) ↓かけわたす・ごらんじわたす

わたしたてまつらんと 上二二ウ8

わたしたてまつらん 上二三オ8

わたして 上二五オ3

わたしたてまつりて 上二九オ10

わたして 上四〇オ1

わたして 下五オ9

わたり(辺) ↓うちわたり・うづきわたり・つ

ごもりわたり 上四ウ1

わたりなる 上二五ウ4

わたる(渡) ↓おぼしわたる 上二九ウ5

わたりなほ 上三六ウ2

わたり給へと 上二九ウ5

わたり給へり 上三六ウ2

わたり給へり 上三六ウ2

わたり給へと 上四八オ3

わたらせ給ふ 上五三オ9

わたらせたまひて 下三オ8

わたらん 下七ウ1\*

わたらせ給へる 下八オ9

わたらせ給ひけるぞとて 下二一オ5

わたらせおはしますべき 下二一オ7

わたらせ給と 下二一オ10

わたらせ給へば 下三三ウ7

わたらせ給ふ 下二一オ10

わたらせ給て 下三二オ4

わたらせ給はぬ 下三九ウ1

わたりて 下四五ウ6

わづらはし(煩)

わづらはしくて 上二〇オ1

わづらはしき 上二四ウ8

わづらはしきこそ 上三六ウ9

わづらはしくて 下三ウ5

わづらはしく 下六オ5

わづらひ(煩)

わづらひをば 下二七ウ2

わづらひも 下四〇ウ3

わづらふ(煩) ↓おぼしわづらふ・おもひわづ

らふ 上八ウ2

わづらふ 上八ウ2

わななく(戦慄)

わななくに	下二六才5	われ	上二七ウ6*
わびし(侘)		我に	上二三才4
わびしく	下五才9	我も	上二六ウ7
わぶ(侘) ↓おぼしわぶ		我ながら	上三〇ウ8
はぶめり	上一四ウ9	我ながら	上三三才8
わらは(童)		我も	上三六ウ4
わらは	上三ウ2	我に	上四三才1
わらは	上四才4	われ	上四四才9
わらひあそぶ(笑遊)		われを	上四六ウ4
わらひあそび給へば	上一一才2	われぞ	上四七才1*
わらひたはぶる(笑戯)		我のみ	上五四ウ4
わらひたはぶれ給へば	上三七ウ6	われ	下二才6
わらふ(笑) ↓うちわらふ・なきみわらひみ	上三四ウ10	われさへ	下四ウ7
わらひたまひ		我にも	下一三ウ1
わりなし		われ	下一九ウ6
はりなけれ	上二二才10	我	下二九ウ1
はりなけれ	上二四ウ1	われこそ	下三〇才9*
はりなきや	上三六才5	我も	下三一ウ10
わりなき	下二才10	我を	下三五ウ2
わりなけれとて	下二ウ5	われも	下三九才1
わりなく	下四ウ10	我をば	下三九ウ2
わりなけれ	下三五才6	我も	下三九ウ7
わるし(悪)		わろし(悪)	
わるかんなるを	上三六ウ7	わろきを	上三五才1
われ(我)			
我さへ	上七ウ8		

# ゐ

ゐたけ(居丈)		上三一ウ10
ゐたけの		
ゐなほる(居直)		
ゐなをりたまひて		上九才4
ゐる(居) ↓ついゐる・ながめゐる・なきゐる・		
なみゐる・みゐる		
ゐ給へれば		上三ウ4
ゐたらんと		上三ウ10
ゐたまひつる		上五ウ9
ゐたるに		上一〇才7
ゐ給へるに		上一七ウ1
ゐて		上一一才2
ゐたまへる		上三五才5
ゐたまへば		下三五才1
ゐさせたまへば		下三八ウ7
ゐんのじじゅうのないし(院侍従内侍)		
院のじじゅうのないしなども		下一七才4

# ゑ

ゑ(絵)		
ゑにや		上三才2
ゑの		上三才9





平成二十一～二十三年度

活動報告・学内会員消息



平成二十一年度～二十三年度 活動報告・学内会員消息

平成二十一年度

〔前期〕

四月 十四日 研究会活動開始

・新入会員（三年生・石井聡子、豊川史子、中原縁、

二年生・大井さき）

・翻字作業継続

二十二日 ・作業継続

五月 十三日・二十日・二十七日 作業継続

六月 三日 ・会員研究発表

豊川史子 「『金光明最勝王経音義』におけるいろは歌と和

訓について」

石井聡子 「『更級日記』における『源氏物語』の一側面」

・作業継続

十日・十七日・二十四日 作業継続

七月 一日 ・作業継続

八日 ・会員研究発表

田辺美佳 「古今和歌集―伊達本と伝阿仏尼本の比較―」

田中祐輔 「漢字片仮名交じり文における「タマフ」語幹の

省略について」

松尾晋平 「法華百座聞書抄における表記について」

十五日 ・会員研究発表

田邊真心 「『御堂関白記』の用字研究」

・作業継続

二十二日・二十九日 作業継続

九月二十四日・二十八日 夏季集中作業

〔後期〕

十月 七日 ・会員研究発表

森岡信幸 「大言海増補資料初探―外来語「サンタクロース」

を例として―」

・作業継続

十四日・二十一日・二十八日 作業継続

十一月 四日・十一日 作業継続

十八日 ・会員研究発表

松尾晋平 「史記延久点の研究」

・作業継続

二十五日 ・作業継続

十二月 二日・九日・十六日 作業継続

一月 十三日・二十日・二十七日 作業継続

二月 三日 ・会員研究発表

中原縁 「梶井基次郎「桜の樹の下には」

平田哲也 「『雨ニモマケズ』の中の「デ」と「ド」」

大久保綾子 「久遠寺本『本朝文粹』においての国語学的研

究」

十日 ・会員研究発表

片桐まい 「遍照・素性の研究」

田邊真心 「平安時代公家日記の用字研究―『御堂関白記』

における否定表現―」

田辺美佳 「古今和歌集における仮名遣いについての研究―

為相の定家仮名遣い―」

松尾晋平「史記延久点に関する覚書―使役の助字を中心として―」

青木潤、熊崎由衣、田中祐輔、田邊真心、田辺美佳、山本純子は、研究会の日常活動を離れることとなった。

平成二十二年度

〔前期〕

四月 十四日 研究会活動開始

・新入会員（博士課程前期・郝朕婷、羌鶴、

三年生・松浦目委、山崎麻依、研究生・李玉婷）

・翻字作業継続

十九日・二十六日 作業継続

五月 十日 作業継続

十七日 翻字作業終了

二十四日 索引作成開始（品詞分解作業開始）

三十一日 作業継続

六月 七日 作業継続

十四日 作業継続（品詞分解作業終了）

二十一日・二十八日 作業継続（データ入力開始）

七月 五日・十二日・二十六日 作業継続

八月 二日 作業継続

九月二十七日・二十九日 夏季集中作業（データ入力終了）

〔後期〕

十月 四日 作業継続（逆引き作業開始）

十一月 十八日・二十五日 作業継続  
一日 作業継続

八日・十五日・二十二日・二十九日 作業継続

十二月 六日・十三日 作業継続

二十日 会員研究発表

森岡信幸「広島大学蔵本のびね旁書―仮名遣訂正を中心

に―」

・作業継続

一月 十七日・二十四日・三十一日 作業継続

二月 七日 会員研究発表

豊川史子「広島大学蔵『しのびね』の国語学的研究」

・作業継続

小倉健太、石井聡子、豊川史子、中原縁、平田哲也は、研究会の日常活動を離れることとなった。

平成二十三年度

〔前期〕

四月 十一日 研究会活動開始

・新入会員（三年生・藤原志穂、前田夏海、松嶋美樹）

・逆引き作業継続

四月 十八日・二十五日 作業継続

五月 二日・九日・十六日・二十三日・三十日 作業継続

六月 六日・十三日 作業継続

二十日 作業継続（逆引き作業終了）

二十七日 作業継続（データ訂正入力開始）

七月 四日・十四日・二十一日・二十八日 作業継続  
八月 四日 作業継続（データ訂正入力終了）

〔後期〕

十月 六日 作業継続（二度目の逆引き開始）

十三日・二十日・二十七日 作業継続

十一月 十日 会員研究発表

藤原志穂 「枕草子」の「をし」と「をかし」について

・作業継続

十七日 作業継続

二十四日 会員研究発表

前田夏海 「定家筆本更級日記における漢字とひらがなの表

記の違いについて」

・作業継続

十二月 一日・八日・十五日・二十二日 作業継続

一月 十二日・十九日・二十六日 作業継続

二月 二日・九日 作業継続

十六日・十七日 春季集中作業（二度目の逆引き作業並びにデータ訂

正入力終了）

郝朕婷、羌鶴、松浦目委、松尾晋平、山崎麻依は、研究会の日常活動を離れることとなった。



広島大学国語史研究会ウェブサイト

<http://web.mac.com/mmatumo/kokugosi/>

広島大學

國語史研究會會報 第參拾壹號

平成二十四年三月三十一日 発行（非売品）  
編集兼発行者 広島大學國語史研究會

〒七三九―八五二二

東広島市鏡山一丁目二番三号

広島大学大学院文学研究科日本語学研究室内